
平成 26 年度一般廃棄物処理実態等調査
資料編(アンケート結果等)

平成 27 年 3 月
仙 台 市

目次

1.ごみに関する市民意識調査.....	1
(1) 調査の概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の方法	1
3) 調査内容	1
4) 回収状況	1
(2) 集計結果	2
1) 居住区 1 (1)	2
2) 性別 1 (2)	2
3) 年齢 1 (3)	3
4) 世帯人数 1 (4)	4
5) 職業 1 (5)	4
6) 居住形態 1 (6)	4
7) 居住年数 1 (7)	5
8) 家庭ごみ(緑色の文字の袋)を出すときの袋の大きさ 2 (1)	5
9) 家庭ごみの排出量 2 (2)	7
10) プラスチック製容器包装(赤色の袋)を出すときの袋の大きさ 2 (3)	10
11) プラスチック製容器包装の排出量 2 (4)	12
12) プラスチック製容器包装を分別していない理由 2 (5) ※10)で「分別して いない」と回答した対象のみ	15
13) 1か月あたりのごみ袋費用 2 (6)	16
14) ビン・ペットボトルのフタをはずすことの認知度 2 (7) ①.....	19
15) ペットボトルのラベルをはずすことの認知度 2 (7) ②.....	21
16) ペットボトルをつぶすことの認知度 2 (7) ③.....	23
17) 小型家電製品回収・リサイクルの認知度 2 (8)	25
18) 3Rの認知度 3 (1)	26
19) ごみを出さないよう普段から行っている取り組み 3 (2) ①.....	29
20) ごみを出さないよう今後新たに取り組もうと考えているもの 3 (2) 2	36
21) 市の施策で効果があったと感じる施策 3 (3)	43
22) ごみに関する情報の収集方法 3 (4)	54
23) 震災以降の地域住宅の復興・回復状況 4 (1)	62
24) 震災以降の商店街のにぎわい、地域社会生活の復興・回復状況 4 (2)	64
25) 仙台市中心部の繁華街等の活気 4 (3)	66
26) 震災以降の趣味など楽しむゆとり 4 (4)	68
27) 震災以降のごみ排出マナー 4 (5)	70

28) 震災以降の生ごみ量 4(6)①	72
29) 生ごみ増減の理由 4(6)②	72
30) 震災以降のごみ分別行動における変化 4(7)	73
31) 震災以降に分別をしなくなった理由 4(8) ※30)で「分別していない」と回答した対象のみ	75
32) 震災後のごみ減量・3R推進に関する自由記述まとめ 4(9)	76
33) レジ袋について 5(1)	77
34) ごみ集積所について感じたこと 5(2)	79
35) ごみ減量に向けて有効な方法	83
36) 自由記入まとめ 5(4)	84
(3) 調査票	86
2.ごみに関する事業者アンケート	95
(1) 調査の概要	95
1) 調査の目的	95
2) 調査の方法	95
3) 調査内容	95
4) 回収状況	95
(2) 集計結果	96
1) 業種 1(1)①	96
2) 事業所の形態 1(1)②	96
3) 建物の所有状況 1(1)③	97
4) 従業員数 1(1)④	97
5) 延べ床面積 1(1)⑤	98
6) ごみの排出主体 2(1)	98
7) 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2(2)	101
8) 1週間あたりの可燃ごみの排出量 2(3)	105
9) 可燃ごみの処理(排出)方法 2(4)	105
10) 1週間あたりの資源物の排出実態及び排出量 2(5)①	105
11) 資源物の処理(排出)方法 2(5)②	107
12) 収集費用に搬入手数料が含まれていることの認知度 2(6)	108
13) 収集に関して普段感じていること 2(7)	111
14) ごみ減量・リサイクルの方針の状況 3(1)	112
15) ごみ減量・リサイクルの方針作成の条件 3(2) ※14)で“特に定めていない”と回答した対象のみ	115
16) ごみ減量化の責任者の有無 3(3)	119
17) ごみ減量・リサイクルの取組み状況 3(4)	122

18)	ごみ減量・リサイクルの取組み状況	3 (5)	125
19)	ごみ減量・リサイクルに有効な方法	3 (6)	128
20)	東日本大震災以降の排出ごみ量の変化	4 (1)	132
21)	東日本大震災意向のごみの分別方法の変化	4 (2)	135
22)	排出指導の経験	5 (1)	139
23)	リサイクル可能な紙類の混入防止の指導	5 (2)	141
24)	事業系紙類回収庫の認知度	5 (3)	143
25)	紙類の分別回収方法が身近にある場合の協力度	5 (4)	144
26)	食品廃棄物の排出の有無	5 (5)	146
27)	自由記入のまとめ	5 (6)	150
(3)	調査票		152

1.ごみに関する市民意識調査

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

仙台市では、平成 27 年度に仙台市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行うこととしており、震災以降のごみの排出状況や、市民の率直な意見・要望などを反映させていくため、アンケートによる調査を実施する。

本調査の目的は、ごみ・資源物の排出状況やごみの減量・リサイクル、市の諸施策の認知度等、現状での課題及び今後の意向等の意識を把握し、仙台市のごみ処理事業を適正に行うための基礎資料を得るとともに、実態を把握・整理し、計画の精度を高めることにある。

2) 調査の方法

- ①調査対象 : 無作為に抽出した仙台市内の 3,000 世帯
- ②発送日 : 平成 26 年 10 月 10 日 (金)
- ③締切日 : 平成 26 年 10 月 24 日 (金)
- ④調査方法 : 郵送による発送、回収

3) 調査内容

下記の項目についての質問を実施する

- ①個人属性について
- ②ごみの出し方などについて
- ③ごみ減量・3Rの取り組み等について
- ④東日本大震災による、ごみ分別行動等への影響について
- ⑤その他について

4) 回収状況

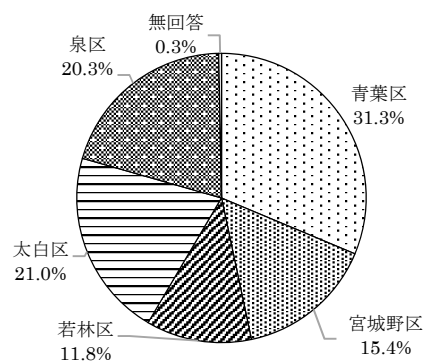
- ①発送数 : 3,000 件
- ②返送数 : 1,322 件
- ③回収率 : 44.1%

(2) 集計結果

1) 居住区 1 (1)

回答者の居住区は青葉区が 31.3%と最も多く、次いで太白区 21.0%、泉区が 20.3%となる。

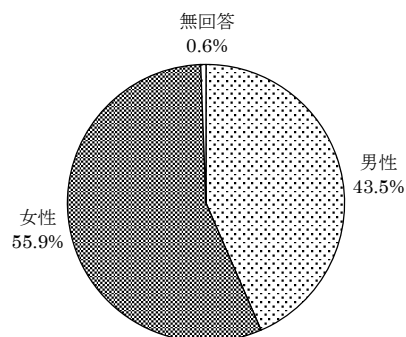
選択肢	件数	割合
青葉区	414	31.3%
宮城野区	203	15.4%
若林区	156	11.8%
太白区	277	21.0%
泉区	268	20.3%
無回答	4	0.3%
全体	1,322	100.0%



2) 性別 1 (2)

男性が 43.5%、女性が 55.9%となっており、回答者としては女性が多くなっている。

選択肢	件数	割合
男性	575	43.5%
女性	739	55.9%
無回答	8	0.6%
全体	1,322	100.0%

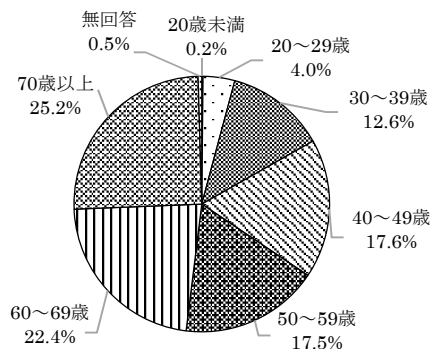


3) 年齢 1 (3)

回答者の年齢は、70歳以上が25.2%、次いで60歳代が22.4%、40歳代が17.6%となっており、50歳代以上が65.1%と過半数を占めている。

世帯主で「20歳未満」の方は2件しかなく統計上代表性に欠けることから、クロス集計を行う際には「20歳未満」を「20～29歳」に含め、「29歳以下」という項目名称とする。

選択肢	件数	割合
20歳未満	2	0.2%
20～29歳	53	4.0%
30～39歳	167	12.6%
40～49歳	233	17.6%
50～59歳	232	17.5%
60～69歳	296	22.4%
70歳以上	333	25.2%
無回答	6	0.5%
全体	1,322	100.0%

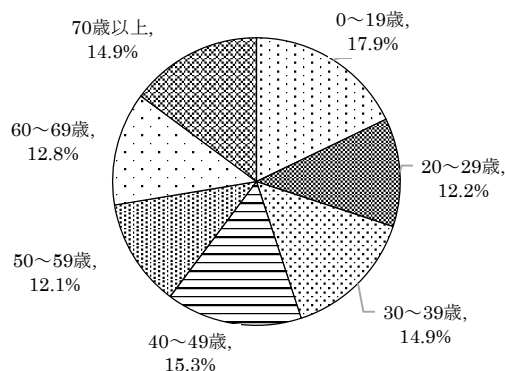


【参考】仙台市の年齢構成（平成26年9月時点）

アンケート回答者の年齢構成と実際の市の年齢構成を比較すると、本アンケートでは「20～29歳」の回答者の割合が非常に低い。

※上記円グラフと実際の市の年齢構成円グラフとを比較し、「20歳未満」の項目で大きく差が出ているのは、本アンケートがあくまで18歳以上の「世帯主」を対象としているためである。

年齢	人数	割合
0～19歳	188,052	17.9%
20～29歳	128,466	12.2%
30～39歳	156,836	14.9%
40～49歳	160,956	15.3%
50～59歳	127,816	12.1%
60～69歳	134,279	12.8%
70歳以上	156,420	14.9%
全体	1,052,825	100.0%

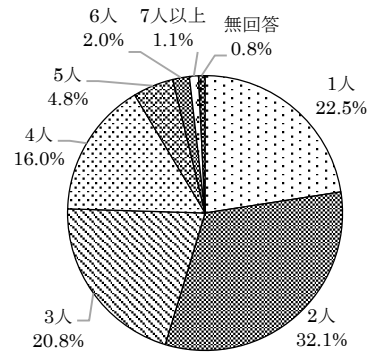


出典) 仙台市ホームページ「年齢別住民基本台帳人口」より作成
<http://www.city.sendai.jp/kikaku/seisaku/toukei/jinkou/graph4.html>

4) 世帯人数 1 (4)

回答者の世帯人数は、2人が32.1%、次いで1人が22.5%、3人が20.8%となる。

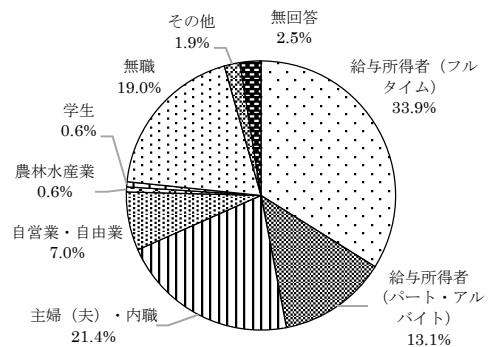
選択肢	件数	割合
1人	298	22.5%
2人	425	32.1%
3人	275	20.8%
4人	211	16.0%
5人	63	4.8%
6人	26	2.0%
7人以上	14	1.1%
無回答	10	0.8%
全体	1,322	100.0%



5) 職業 1 (5)

回答者の職業は、「給与所得者(フルタイム)」が33.9%、「主婦(夫)・内職」が21.4%、「無職」(年金生活者含)が19.0%となる。

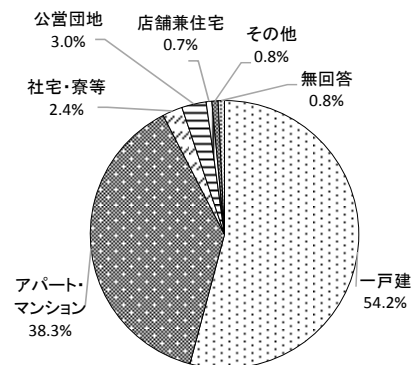
選択肢	件数	割合
給与所得者(フルタイム)	448	33.9%
給与所得者(パート・アルバイト)	173	13.1%
主婦(夫)・内職	283	21.4%
自営業・自由業	93	7.0%
農林水産業	8	0.6%
学生	8	0.6%
無職	251	19.0%
その他	25	1.9%
無回答	33	2.5%
全体	1322	100.0%



6) 居住形態 1 (6)

回答者の居住形態は、「一戸建」が54.2%と過半数を占めており、「アパート・マンション」が38.3%、公営団地が3.0%となる。

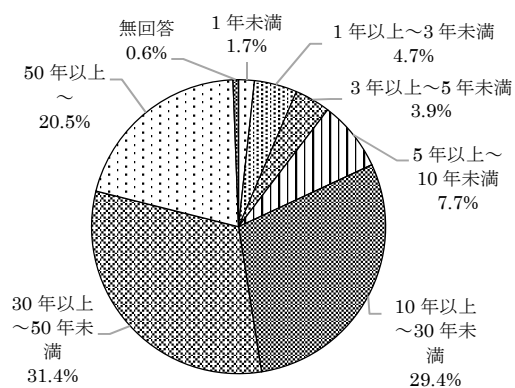
選択肢	件数	割合
一戸建	716	54.2%
アパート・マンション	506	38.3%
社宅・寮等	32	2.4%
公営団地	39	3.0%
店舗兼住宅	9	0.7%
その他	10	0.8%
無回答	10	0.8%
全体	1,322	100.0%



7) 居住年数 1 (7)

回答者の居住年数は、「30年以上～50年未満」が31.4%と最も多く、次いで「10年以上～30年未満」が29.4%、「50年以上～」が20.5%となっている。10年以上の居住は80%超を占めている。

選択肢	件数	割合
1年未満	23	1.7%
1年以上～3年未満	62	4.7%
3年以上～5年未満	52	3.9%
5年以上～10年未満	102	7.7%
10年以上～30年未満	389	29.4%
30年以上～50年未満	415	31.4%
50年以上～	271	20.5%
無回答	8	0.6%
合計	1,322	100.0%

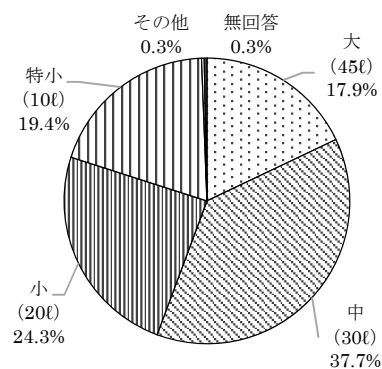


8) 家庭ごみ（緑色の文字の袋）を出すときの袋の大きさ 2 (1)

①単純集計（単一回答）

使用している袋のサイズは「中 (30ℓ)」が37.7%と最も多く、次いで「小 (20ℓ)」が24.3%、「特小 (10ℓ)」19.4%となる。

選択肢	件数	割合
大(45ℓ)	237	17.9%
中(30ℓ)	499	37.7%
小(20ℓ)	321	24.3%
特小(10ℓ)	257	19.4%
その他	4	0.3%
無回答	4	0.3%
全体	1,322	100.0%

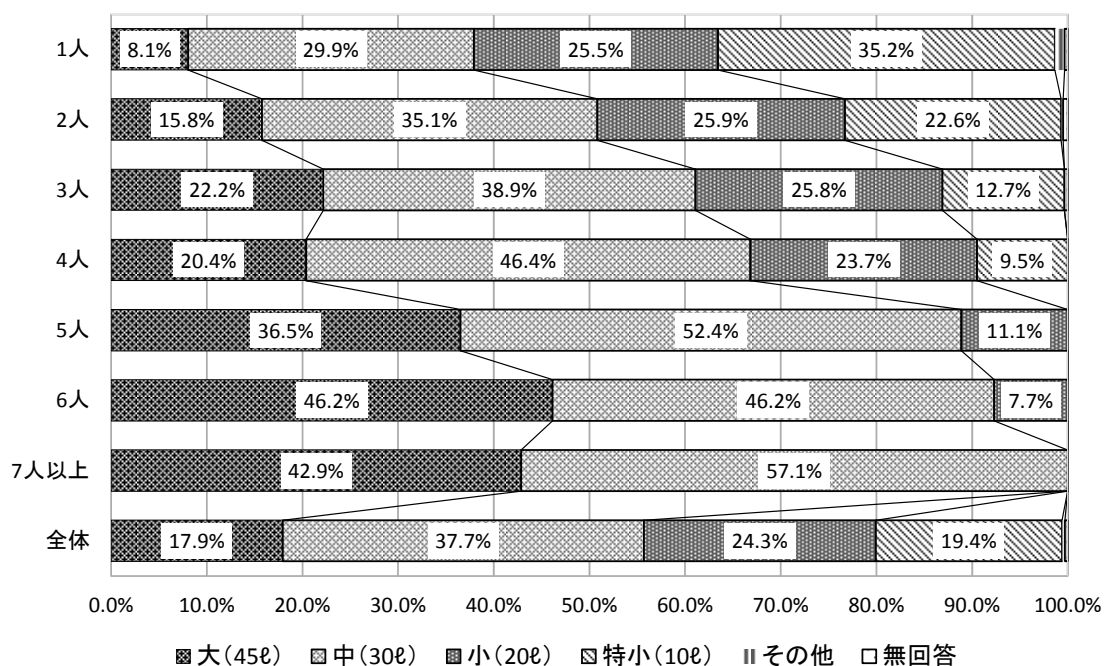


②クロス集計

●世帯人数

世帯人数で見ると、「大(450)」の使用は1人世帯では8.1%と少ないが、世帯人数が増えるにつれてその比率が高くなる。「中(300)」の使用も同様の傾向を示している。「特小(100)」の使用は、1人世帯では35.2%と多いが、世帯人数が増えるにつれてその回答比率が低くなる。

	大(450)	中(300)	小(200)	特小(100)	その他	無回答	全体
1人	24	89	76	105	3	1	298
2人	67	149	110	96	1	2	425
3人	61	107	71	35	0	1	275
4人	43	98	50	20	0	0	211
5人	23	33	7	0	0	0	63
6人	12	12	2	0	0	0	26
7人以上	6	8	0	0	0	0	14
無回答	1	3	5	1	0	0	10
全体	237	499	321	257	4	4	1,322

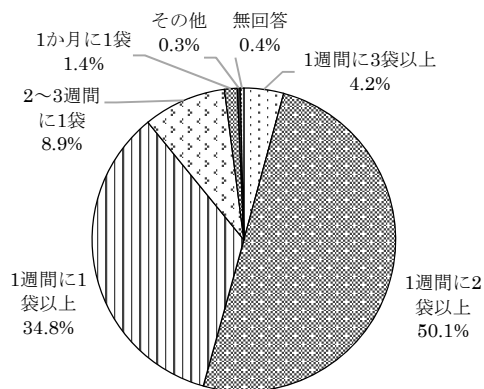


9) 家庭ごみの排出量 2 (2)

①単純集計 (単一回答)

「1週間に2袋以上」が50.1%と半数を占め、次いで「1週間に1袋以上」が34.8%、「2～3週間に1袋」が8.9%となる。

選択肢	件数	割合
1週間に3袋以上	56	4.2%
1週間に2袋以上	662	50.1%
1週間に1袋以上	460	34.8%
2～3週間に1袋	117	8.9%
1か月に1袋	18	1.4%
その他	4	0.3%
無回答	5	0.4%
全体	1,322	100.0%

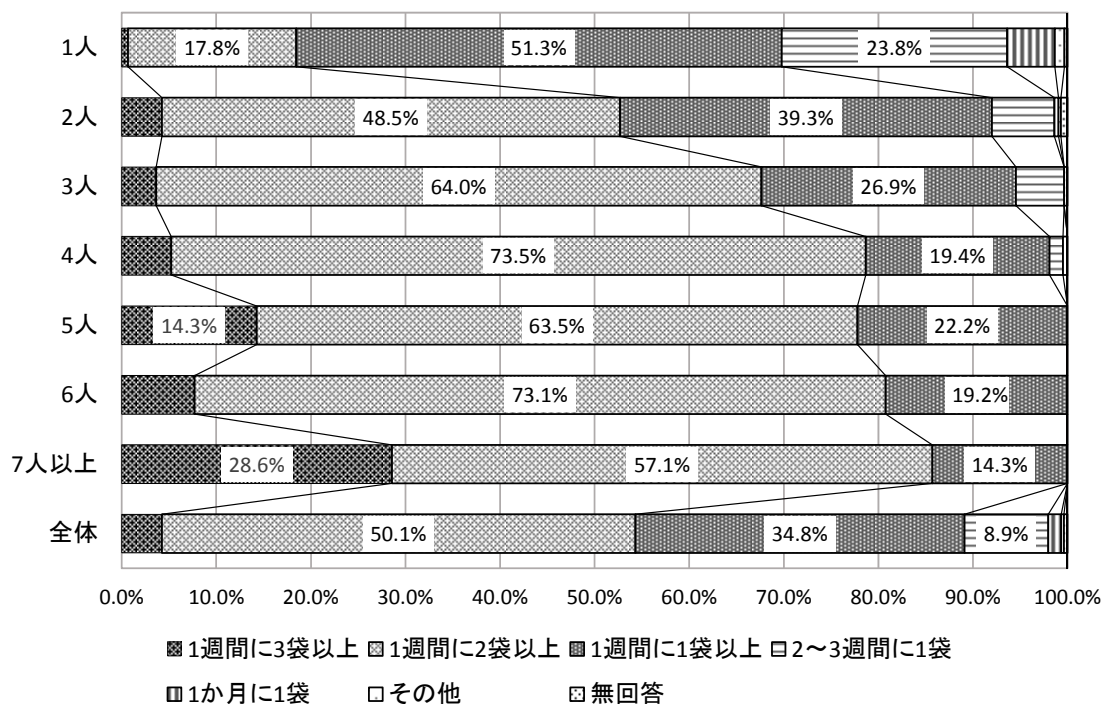


②クロス集計

●世帯人数

世帯人数で見ると、「1週間に1袋以上」は1人では51.3%と最も高いが、世帯人数が増えるにつれてその比率は低くなっている。一方で、「1週間に2袋以上」は1人では17.8%となっているが、3人世帯以上では過半数を占めている。

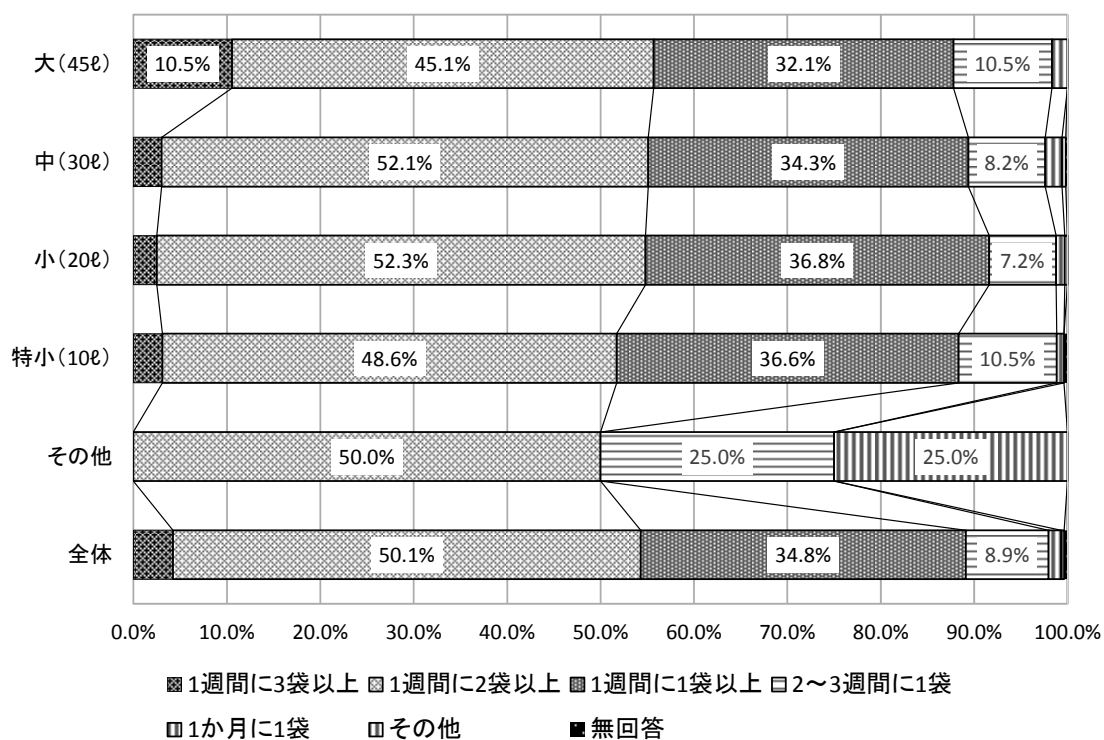
	1週間に3袋以上	1週間に2袋以上	1週間に1袋以上	2～3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答	全体
1人	2	53	153	71	15	3	1	298
2人	18	206	167	28	2	1	3	425
3人	10	176	74	14	0	0	1	275
4人	11	155	41	3	1	0	0	211
5人	9	40	14	0	0	0	0	63
6人	2	19	5	0	0	0	0	26
7人以上	4	8	2	0	0	0	0	14
無回答	0	5	4	1	0	0	0	10
全体	56	662	460	117	18	4	5	1,322



●家庭ごみ（緑色の文字の袋）を出すときの袋の大きさ

袋の大きさで見ると、大きい袋ほど「1週間に3袋以上」の割合が高い傾向がある。

	1週間に3袋以上	1週間に2袋以上	1週間に1袋以上	2~3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答	全体
大(45ℓ)	25	107	76	25	4	0	0	237
中(30ℓ)	15	260	171	41	9	2	1	499
小(20ℓ)	8	168	118	23	3	1	0	321
特小(10ℓ)	8	125	94	27	2	0	1	257
その他	0	2	0	1	0	1	0	4
無回答	0	0	1	0	0	0	3	4
全体	56	662	460	117	18	4	5	1,322

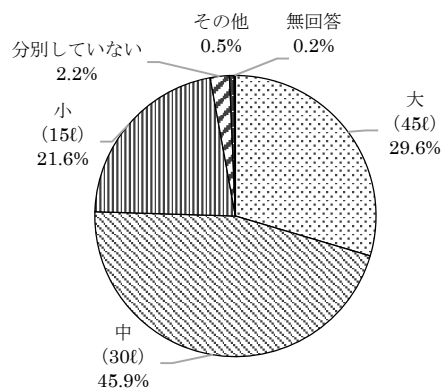


10) プラスチック製容器包装（赤色の袋）を出すときの袋の大きさ 2 (3)

①単純集計（単一回答）

「中(30ℓ)」が45.9%と最も多く、次いで「大(45ℓ)」が29.6%、「小(15ℓ)」が21.6%となる。

選択肢	件数	割合
大(45ℓ)	391	29.6%
中(30ℓ)	607	45.9%
小(15ℓ)	286	21.6%
分別していない	29	2.2%
その他	7	0.5%
無回答	2	0.2%
全体	1,322	100.0%

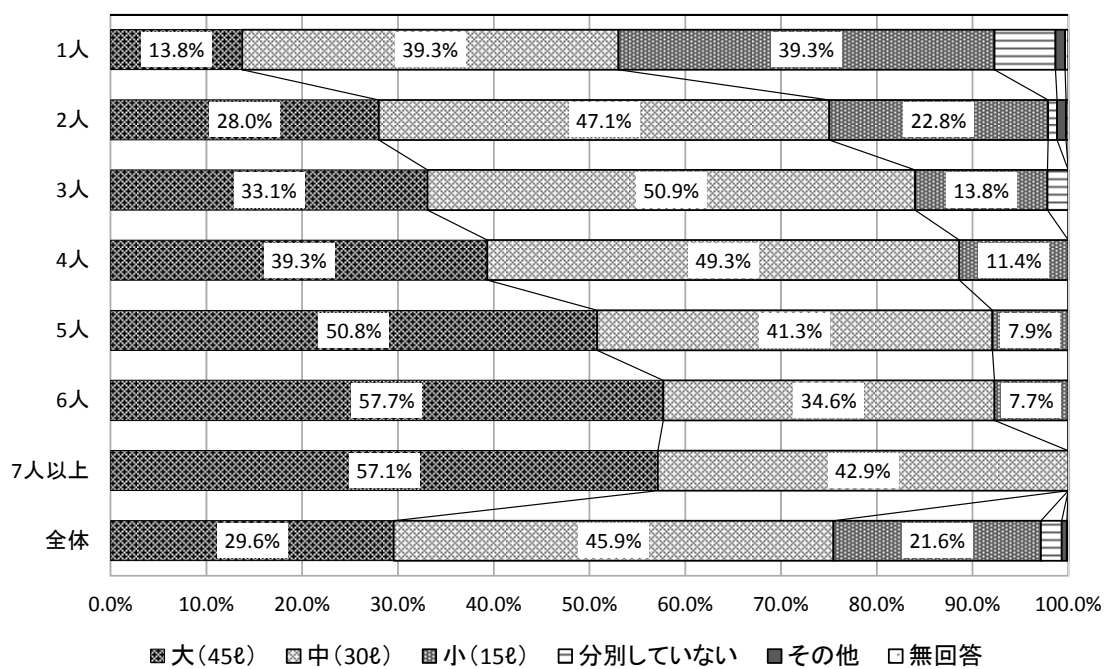


②クロス集計

●世帯人数

世帯人数で見ると、家庭ごみと同様に世帯人数が増えるほど大きい袋の使用率は高まり、世帯人数が少なくなるにつれて小さい袋の使用率が高まる傾向がある。

	大(45ℓ)	中(30ℓ)	小(15ℓ)	分別して いない	その他	無回答	全体
1人	41	117	117	19	3	1	298
2人	119	200	97	4	4	1	425
3人	91	140	38	6	0	0	275
4人	83	104	24	0	0	0	211
5人	32	26	5	0	0	0	63
6人	15	9	2	0	0	0	26
7人以上	8	6	0	0	0	0	14
無回答	2	5	3	0	0	0	10
全体	391	607	286	29	7	2	1,322

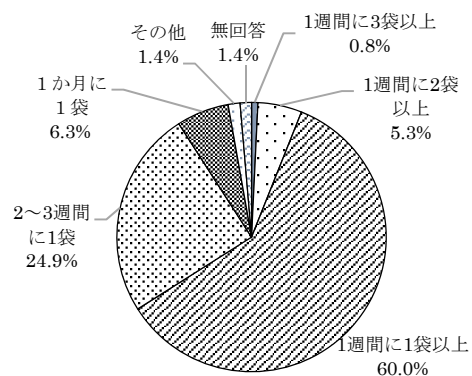


1 1) プラスチック製容器包装の排出量 2 (4)

①単純集計 (単一回答)

「1週間に1袋以上」が60.0%と過半数を占め、次いで「2～3週間に1袋」が24.9%、「1か月に1袋」が6.3%となる。

選択肢	件数	割合
1週間に3袋以上	10	0.8%
1週間に2袋以上	70	5.3%
1週間に1袋以上	793	60.0%
2～3週間に1袋	329	24.9%
1か月に1袋	83	6.3%
その他	19	1.4%
無回答	18	1.4%
全体	1,322	100.0%

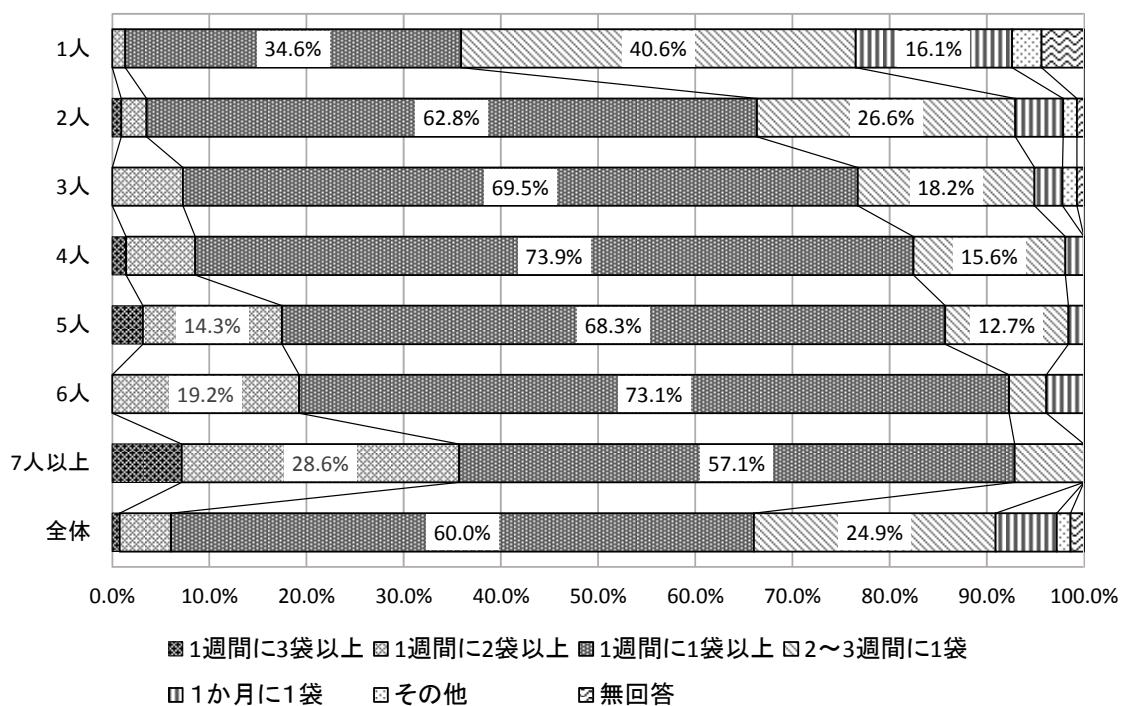


②クロス集計

●世帯人数

世帯人数で見ると、「1週間に1袋以上」は世帯人数の増加につれてその比率も高まるが、7人以上で57.1%と減少に転じる。「2～3週間に1袋」は1人で40.6%と最も多く、世帯人数が増えるにつれてその割合は減少傾向となる。

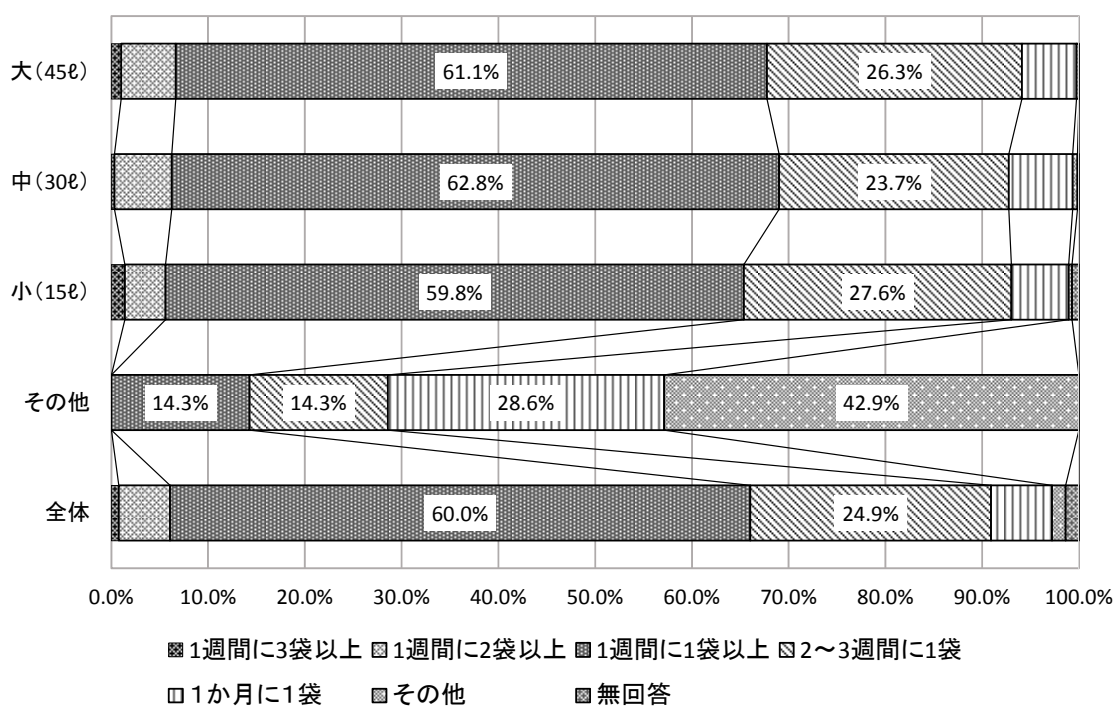
	1週間に3袋以上	1週間に2袋以上	1週間に1袋以上	2～3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答	全体
1人	0	4	103	121	48	9	13	298
2人	4	11	267	113	21	6	3	425
3人	0	20	191	50	8	4	2	275
4人	3	15	156	33	4	0	0	211
5人	2	9	43	8	1	0	0	63
6人	0	5	19	1	1	0	0	26
7人以上	1	4	8	1	0	0	0	14
無回答	0	2	6	2	0	0	0	10
全体	10	70	793	329	83	19	18	1,322



●プラスチック製容器包装（赤色の袋）を出すときの袋の大きさ

袋の大きさで見ると、大きな違いは見られない。

	1週間に3袋以上	1週間に2袋以上	1週間に1袋以上	2～3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答	全体
大(45ℓ)	4	22	239	103	22	1	0	391
中(30ℓ)	2	36	381	144	40	3	1	607
小(15ℓ)	4	12	171	79	17	1	2	286
分別していない	0	0	1	2	2	11	13	29
その他	0	0	1	1	2	3	0	7
無回答	0	0	0	0	0	0	2	2
全体	10	70	793	329	83	19	18	1,322

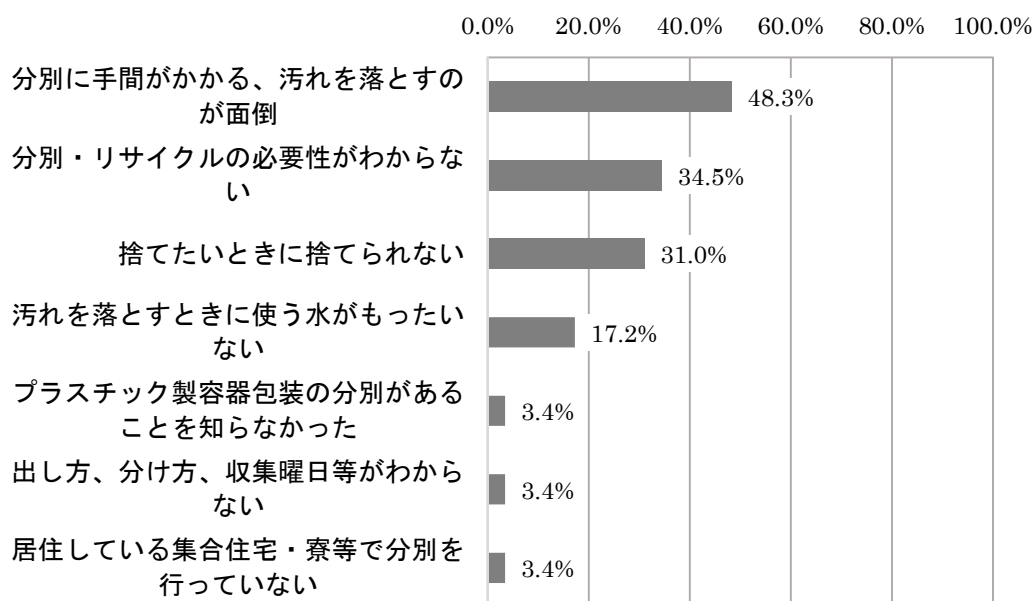


12) プラスチック製容器包装を分別していない理由 2(5) ※10)で「分別していない」と回答した対象のみ

①単純集計(複数回答)

「分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒」が48.3%と最も多く、次いで「分別・リサイクルの必要性がわからない」が34.5%、「捨てたいときに捨てられない」が31.0%となる。

選択肢	件数	割合
分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒	14	48.3%
分別・リサイクルの必要性がわからない	10	34.5%
捨てたいときに捨てられない	9	31.0%
汚れを落とすときに使う水がもったいない	5	17.2%
プラスチック製容器包装の分別があることを知らなかった	1	3.4%
出し方、分け方、収集曜日等がわからない	1	3.4%
居住している集合住宅・寮等で分別を行っていない	1	3.4%
その他	6	20.7%
無回答	1	3.4%
全体	29	100.0%

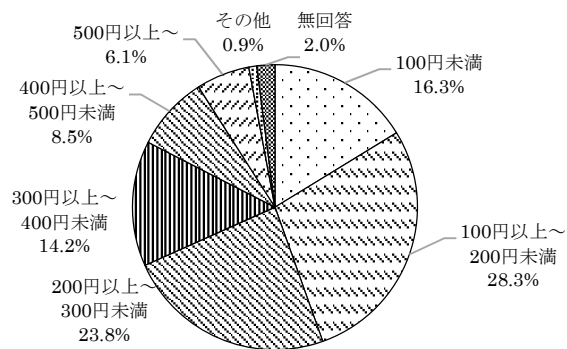


13) 1か月あたりのごみ袋費用 2(6)

①単純集計(単一回答)

「100円以上～200円未満」が28.3%と最も多く、次いで「200円以上～300円未満」が23.8%、「100円未満」が16.3%となる。

選択肢	件数	割合
100円未満	215	16.3%
100円以上～200円未満	374	28.3%
200円以上～300円未満	314	23.8%
300円以上～400円未満	188	14.2%
400円以上～500円未満	112	8.5%
500円以上～	80	6.1%
その他	12	0.9%
無回答	27	2.0%
全体	1,322	100.0%

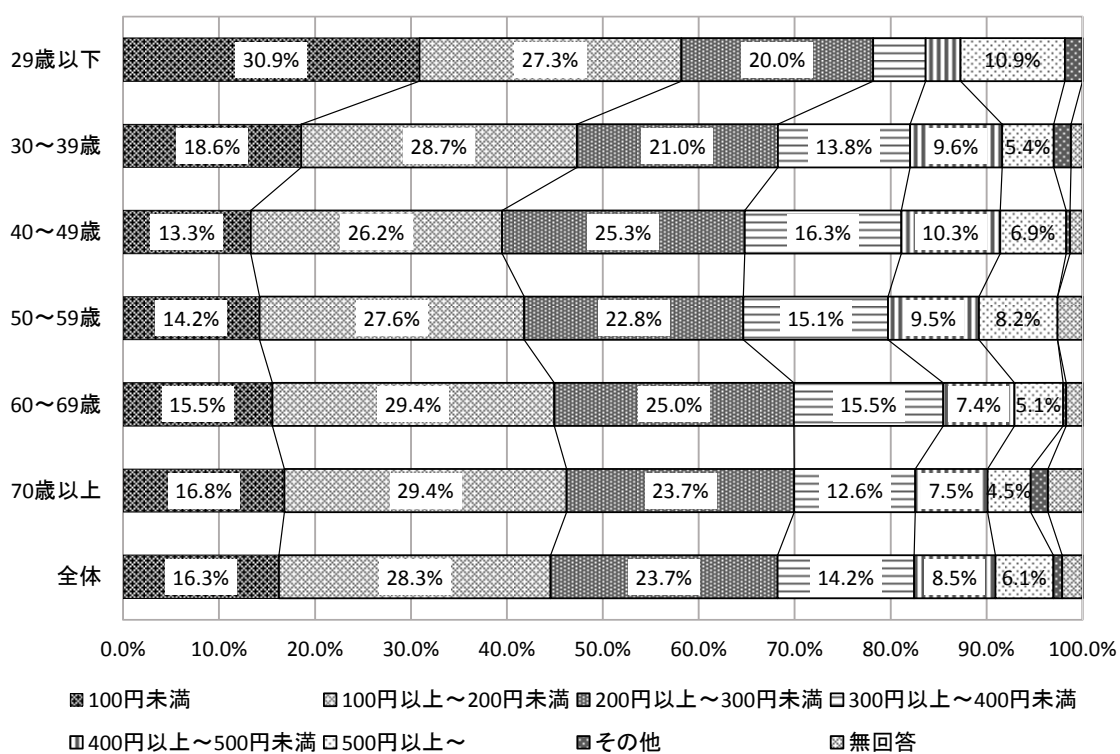


②クロス集計

●年齢

年齢で見たとき、年齢が高まるにつれて「100円未満」の比率が低くなっている。

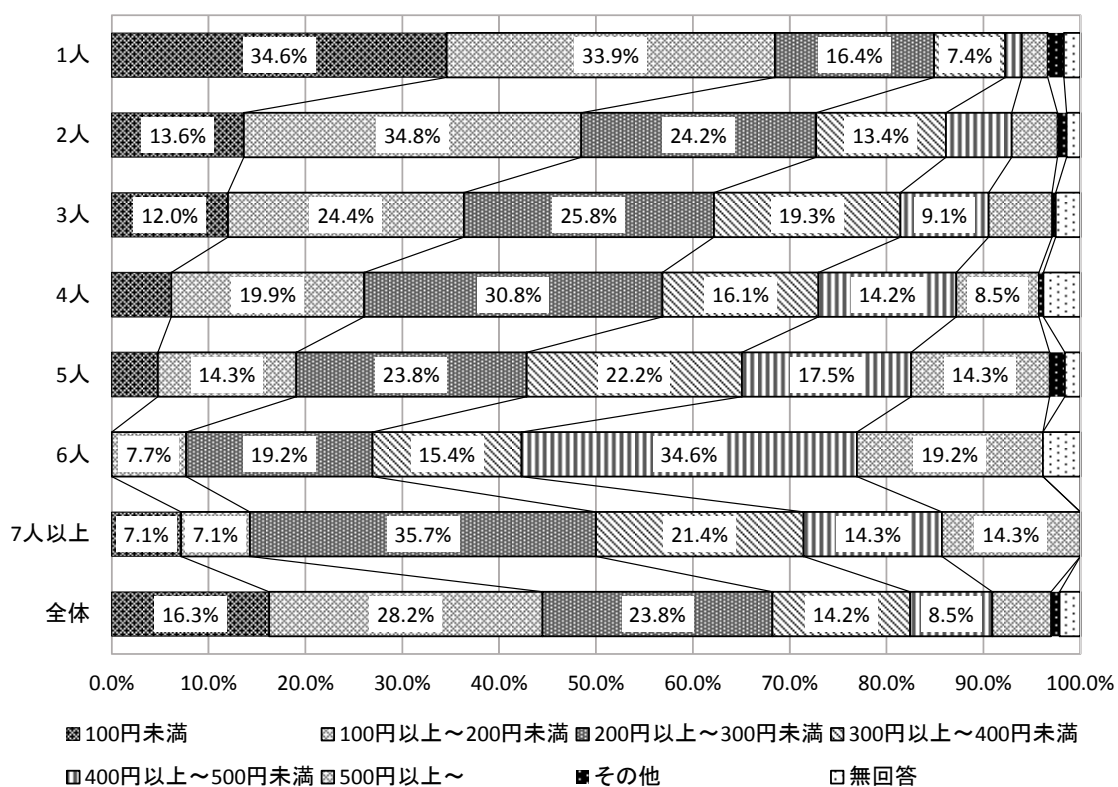
	100円未満	100円以上 ～200円未 満	200円以上 ～300円未 満	300円以上 ～400円未 満	400円以上 ～500円未 満	500円以上 ～	その他	無回答	全体
29歳以下	17	15	11	3	2	6	1	0	55
30～39歳	31	48	35	23	16	9	3	2	167
40～49歳	31	61	59	38	24	16	1	3	233
50～59歳	33	64	53	35	22	19	0	6	232
60～69歳	46	87	74	46	22	15	1	5	296
70歳以上	56	98	79	42	25	15	6	12	333
無回答	1	1	2	1	1	0	0	0	6
全体	215	374	313	188	112	80	12	28	1,322



●世帯人数

世帯人数で見ると、1人世帯では「100円未満」34.6%だが、世帯人数が増えるにつれてその比率が低くなっている。「100円以上～200円未満」も同様の傾向を示している。世帯人数が増えるにつれてごみ袋購入料金が高くなる傾向がある。

	100円未満	100円以上 ～200円未 満	200円以上 ～300円未 満	300円以上 ～400円未 満	400円以上 ～500円未 満	500円以上 ～	その他	無回答	全体
1人	103	101	49	22	5	8	5	5	298
2人	58	148	103	57	29	20	4	6	425
3人	33	67	71	53	25	18	1	7	275
4人	13	42	65	34	30	18	1	8	211
5人	3	9	15	14	11	9	1	1	63
6人	0	2	5	4	9	5	0	1	26
7人以上	1	1	5	3	2	2	0	0	14
無回答	4	3	1	1	1	0	0	0	10
全体	215	373	314	188	112	80	12	28	1,322

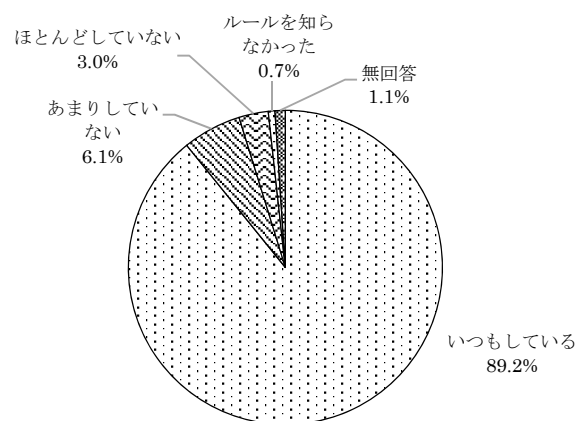


14) ビン・ペットボトルのフタをはずすことの認知度 2 (7) ①

①単純集計 (単一回答)

「いつもしている」が 89.2%となっており、前回調査より 0.2 ポイント増加している。

選択肢	件数	割合
いつもしている	1,179	89.2%
あまりしていない	80	6.1%
ほとんどしていない	40	3.0%
ルールを知らなかった	9	0.7%
無回答	14	1.1%
全体	1,322	100.0%

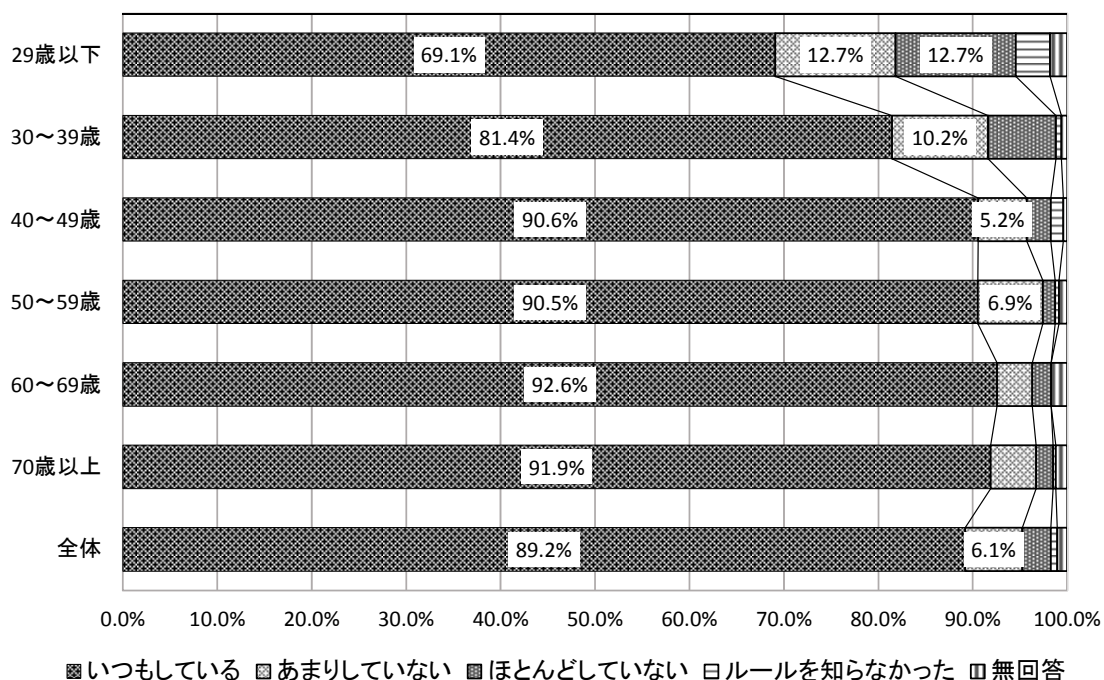


②クロス集計

●年齢

年齢が高まるにつれて、「いつもしている」の比率も高まる傾向にある。

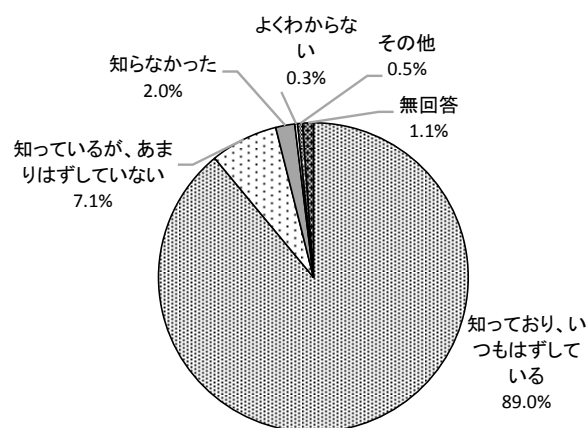
	いつもして いる	あまりして いない	ほとんどし ていない	ルールを知 らなかった	無回答	全体
29歳以下	38	7	7	2	1	55
30～39歳	136	17	12	1	1	167
40～49歳	211	12	6	3	1	233
50～59歳	210	16	3	1	2	232
60～69歳	274	11	6	0	5	296
70歳以上	306	16	6	1	4	333
無回答	4	1	0	1	0	6
全体	1,179	80	40	9	14	1,322



③平成 21 年度調査結果との比較

前回調査は今回調査と比較すると項目名が異なるが、ほぼ同一の回答比率となっている。缶・びんのふたをはずしてすてることは高い認知度を維持し続けているといえる。

選択肢	件数	割合
知っており、いつもはずしている	1,206	89.0%
知っているが、あまりはずしていない	96	7.1%
知らなかった	27	2.0%
よくわからない	4	0.3%
その他	7	0.5%
無回答	15	1.1%
全体	1,355	100.0%

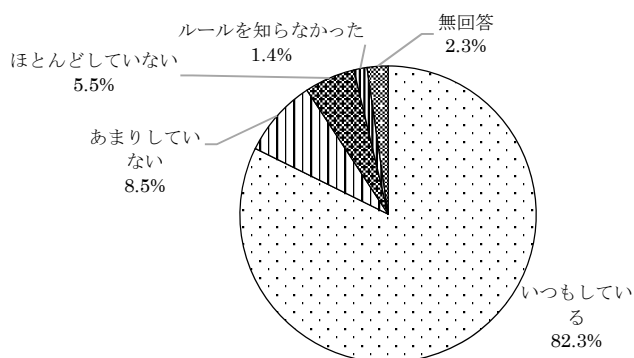


15) ペットボトルのラベルをはずすことの認知度 2 (7) ②

①単純集計 (単一回答)

「いつもしている」が 82.3%と最も多くなっている。(前回調査なし)

選択肢	件数	割合
いつもしている	1,088	82.3%
あまりしていない	112	8.5%
ほとんどしていない	73	5.5%
ルールを知らなかった	19	1.4%
無回答	30	2.3%
全体	1,322	100.0%

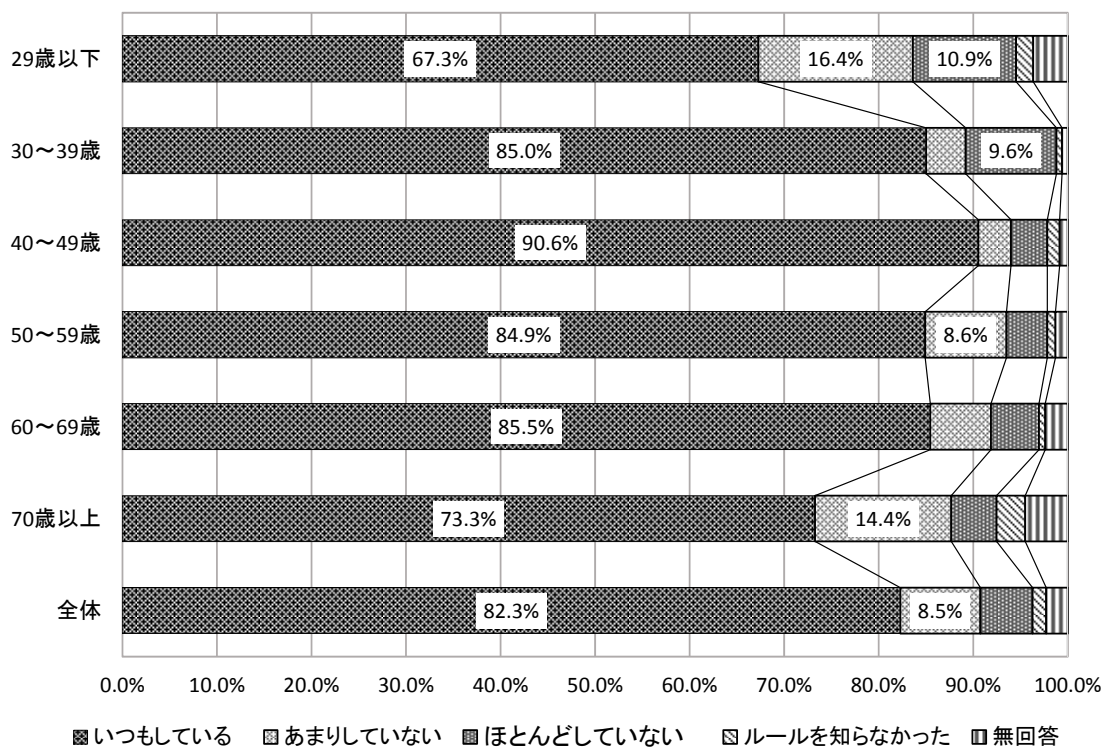


②クロス集計

●年齢

40歳代までは、「いつもしている」の割合が増加傾向にあるが、50歳代以降からは減少傾向に転じている。

	いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった	無回答	全体
29歳以下	37	9	6	1	2	55
30～39歳	142	7	16	1	1	167
40～49歳	211	8	9	3	2	233
50～59歳	197	20	10	2	3	232
60～69歳	253	19	15	2	7	296
70歳以上	244	48	16	10	15	333
無回答	4	1	1	0	0	6
全体	1,088	112	73	19	30	1,322

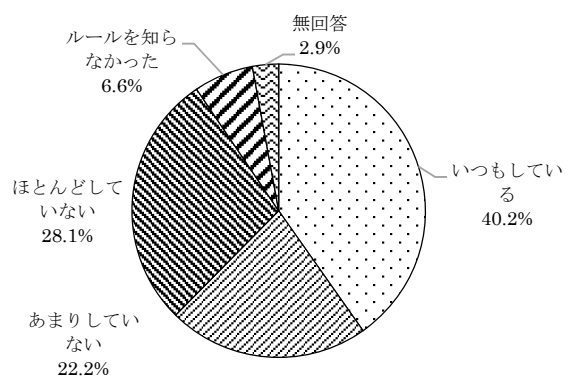


16) ペットボトルをつぶすことの認知度 2(7)③

①単純集計(単一回答)

「いつもしている」が40.2%で最も高く、次いで「ほとんどしていない」が28.1%となっている。

選択肢	件数	割合
いつもしている	532	40.2%
あまりしていない	293	22.2%
ほとんどしていない	372	28.1%
ルールを知らなかった	87	6.6%
無回答	38	2.9%
全体	1,322	100.0%

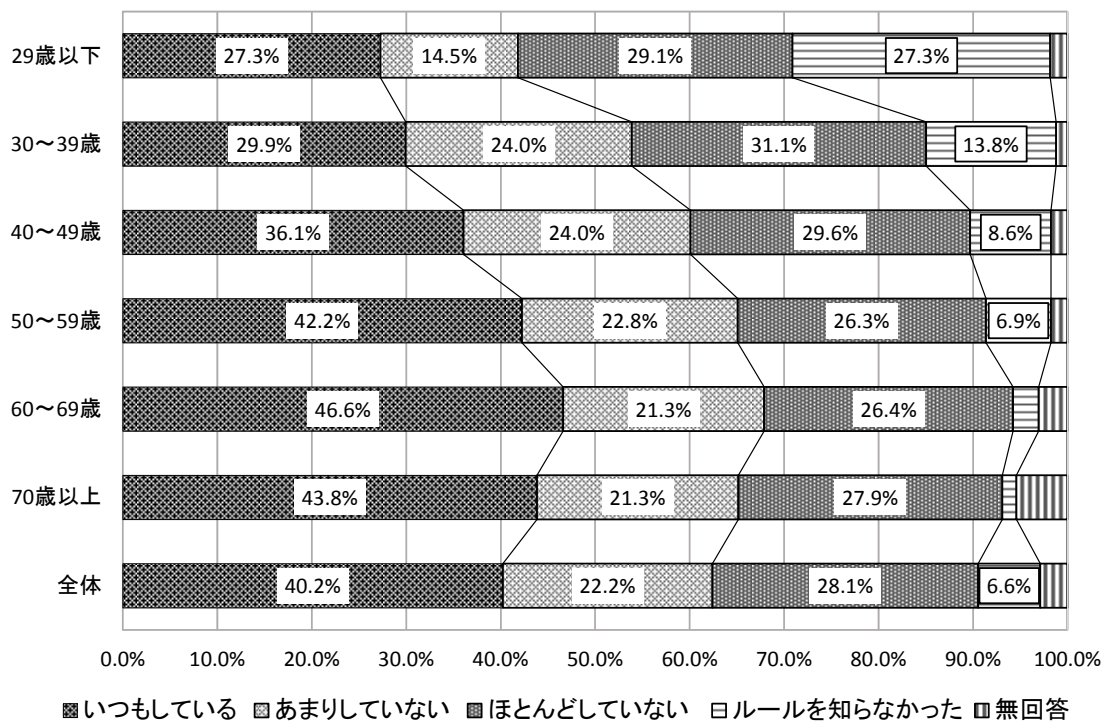


②クロス集計

●年齢

年齢が上がるにつれて、「いつもしている」の比率が高くなる傾向を示している。

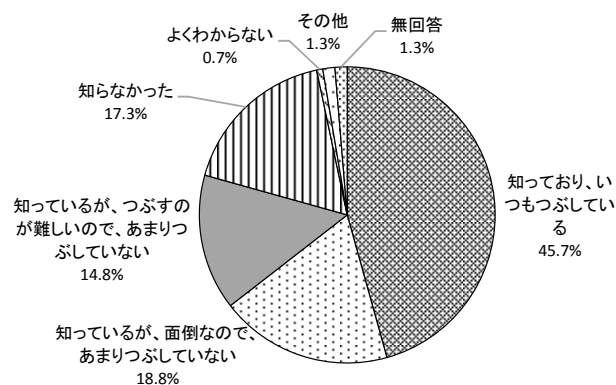
	いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった	無回答	全体
29歳以下	15	8	16	15	1	55
30～39歳	50	40	52	23	2	167
40～49歳	84	56	69	20	4	233
50～59歳	98	53	61	16	4	232
60～69歳	138	63	78	8	9	296
70歳以上	146	71	93	5	18	333
無回答	1	2	3	0	0	6
全体	532	293	372	87	38	1,322



③平成 21 年度調査結果との比較

前回調査では「知っており、いつもつぶしている」が 45.7%、今回調査の「いつもしている」は 40.2%であり、実践者数は減少したと考えられる。ただ、「ルールを知らなかった」は前回調査では 17.3%、今回調査では 6.6%と大きく減少しておりルールの認知度は向上したと考えられる。

選択肢	件数	割合
知っており、いつもつぶしている	619	45.7%
知っているが、面倒なので、あまりつぶしていない	255	18.8%
知っているが、つぶすのが難しいので、あまりつぶしていない	201	14.8%
知らなかった	235	17.3%
よくわからない	9	0.7%
その他	18	1.3%
無回答	18	1.3%
全体	1,355	100.0%

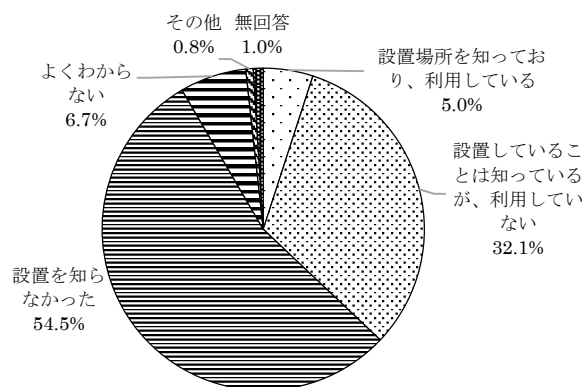


17) 小型家電製品回収・リサイクルの認知度 2 (8)

①単純集計 (単一回答)

「設置を知らなかった」が 54.5%で過半数を占めており、次いで「設置場所を知っているが、利用していない」が 32.1%となる。

選択肢	件数	割合
設置場所を知っており、利用している	66	5.0%
設置していることは知っているが、利用していない	424	32.1%
設置を知らなかった	721	54.5%
よくわからない	88	6.7%
その他	10	0.8%
無回答	13	1.0%
全体	1,322	100.0%

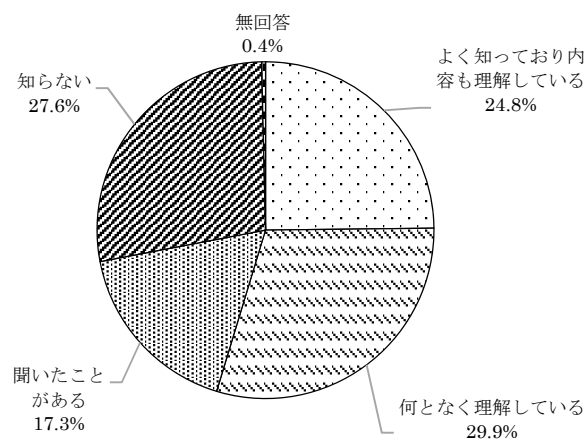


18) 3Rの認知度 3(1)

①単純集計(単一回答)

「何となく理解している」が29.9%で最も多く、次いで「知らない」が27.6%、「知っており内容も理解している」が24.8%となる。

選択肢	件数	割合
よく知っており内容も理解している	328	24.8%
何となく理解している	395	29.9%
聞いたことがある	229	17.3%
知らない	365	27.6%
無回答	5	0.4%
全体	1,322	100.0%

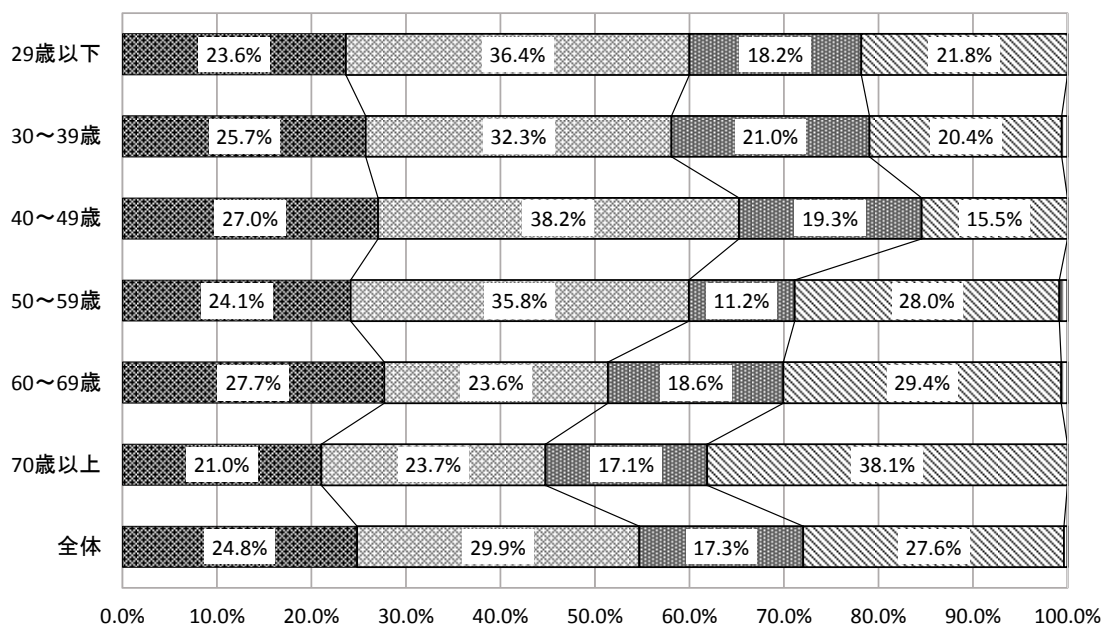


②クロス集計

●年齢

年齢が高まるにつれて、「何となく理解している」の比率が小さくなり、「知らない」の割合が大きくなる傾向を示している。

	よく知っており 内容も理解 している	何となく理解 している	聞いたことが ある	知らない	無回答	全体
29歳以下	13	20	10	12	0	55
30～39歳	43	54	35	34	1	167
40～49歳	63	89	45	36	0	233
50～59歳	56	83	26	65	2	232
60～69歳	82	70	55	87	2	296
70歳以上	70	79	57	127	0	333
無回答	1	0	1	4	0	6
全体	328	395	229	365	5	1,322

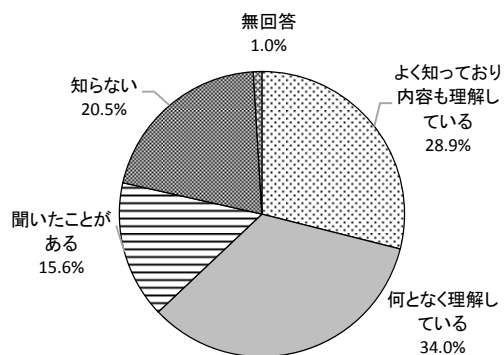


■よく知っており内容も理解している ■何となく理解している ■聞いたことがある ■知らない □無回答

③平成 21 年度調査結果との比較

前回調査では、「よく知っており内容も理解している」が 28.9%、「何となく理解している」34.0%であったが、今回調査では両項目とも前回調査を下回っており、「知らない」が 7%高くなっていることから、認知度が下がったと言える。

選択肢	件数	割合
よく知っており内容も理解している	392	28.9%
何となく理解している	461	34.0%
聞いたことがある	211	15.6%
知らない	278	20.5%
無回答	13	1.0%
全体	1355	100.0%

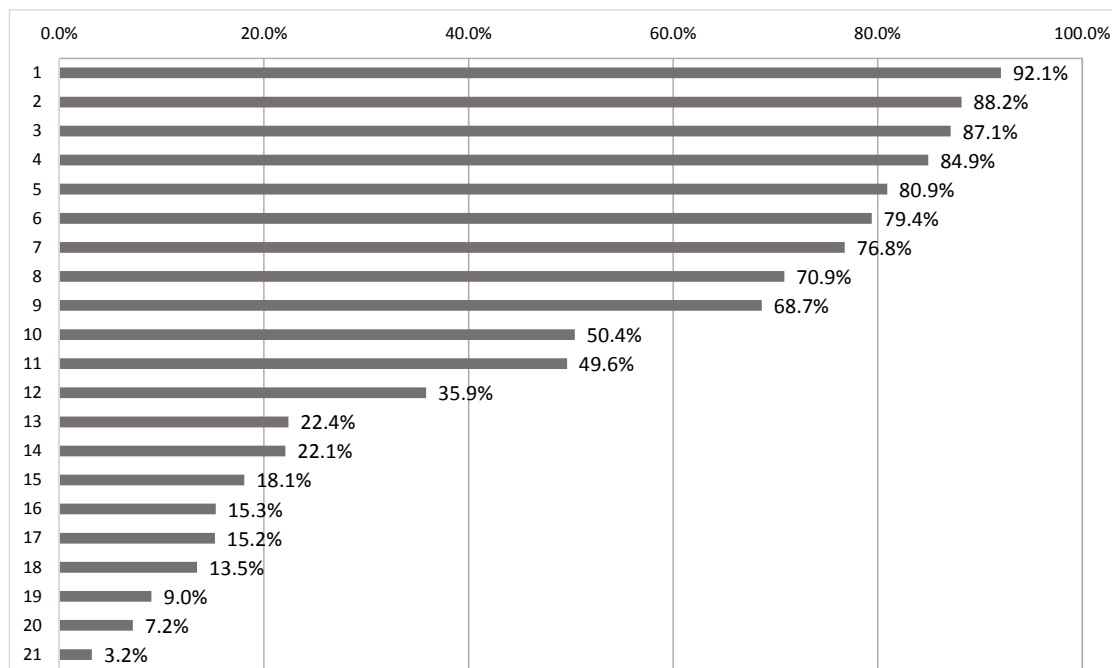


19) ごみを出さないよう普段から行っている取り組み 3 (2) ①

①単純集計 (複数回答)

「缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する」が 92.1%で最も高く、次いで「プラスチック製容器包装の分別を徹底する」が 88.2%、「家電製品や家具は、長く、大切に使う」が 87.1%、「マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る」が 84.9%となる。

選択肢	件数	割合
1. 缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	1,217	92.1%
2. プラスチック製容器包装の分別を徹底する	1,166	88.2%
3. 家電製品や家具は、長く、大切に使う	1,152	87.1%
4. マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	1,123	84.9%
5. 紙類の分別を徹底する	1,070	80.9%
6. 詰め替え商品を購入する	1,050	79.4%
7. 「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減	1,015	76.8%
8. 古紙や古布などを地域の集団資源回収に出す	937	70.9%
9. 過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	908	68.7%
10. コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る	666	50.4%
11. 再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する	656	49.6%
12. 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	474	35.9%
13. 乾電池は充電式のものを使う	296	22.4%
14. パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	292	22.1%
15. 不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をす	239	18.1%
16. マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	202	15.3%
17. フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	201	15.2%
18. 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	178	13.5%
19. 生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	119	9.0%
20. レンタル用品を活用する	95	7.2%
21. 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	42	3.2%
無回答	14	1.1%
全体	1,322	100.0%



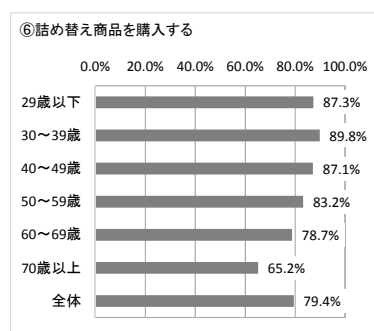
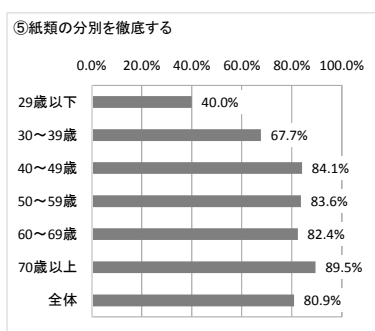
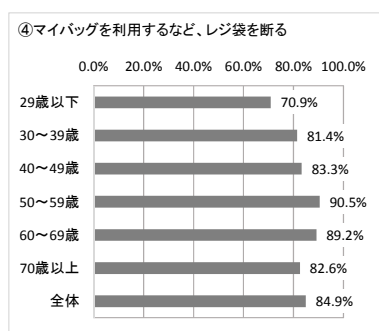
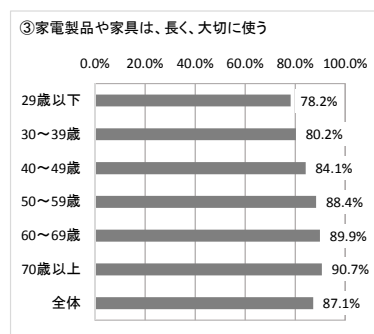
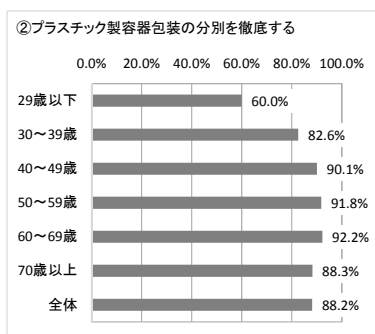
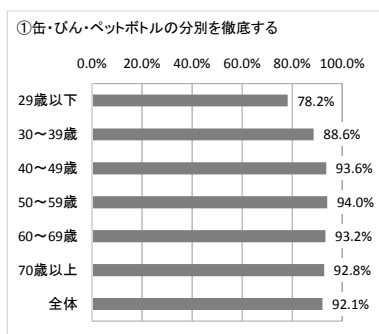
②クロス集計

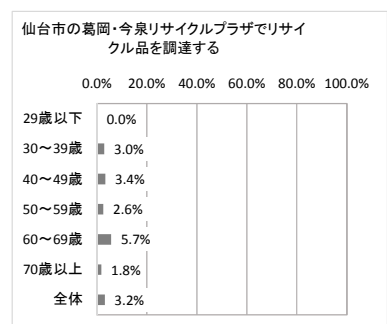
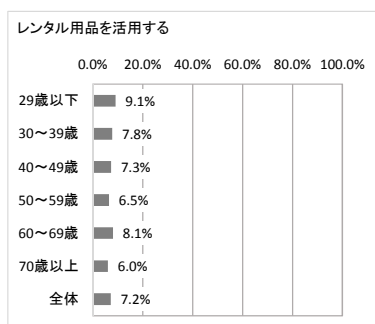
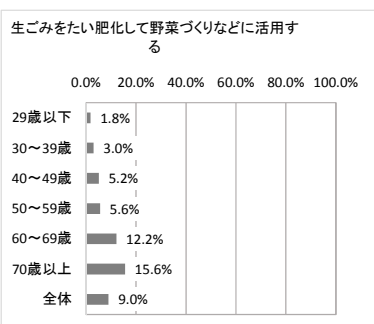
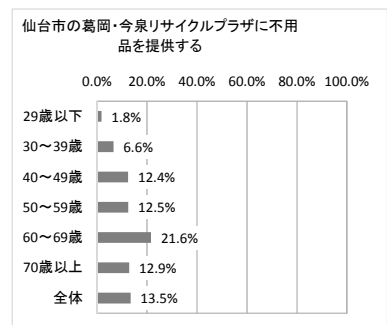
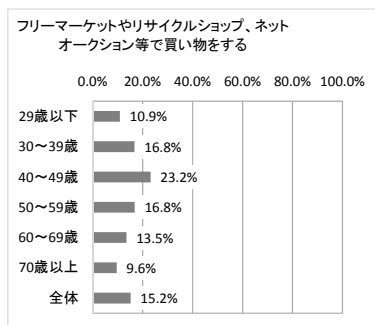
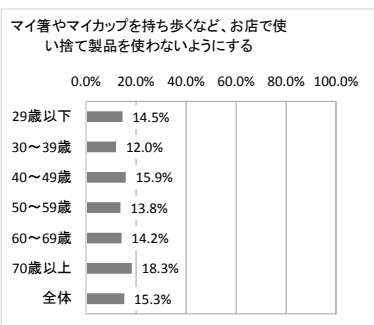
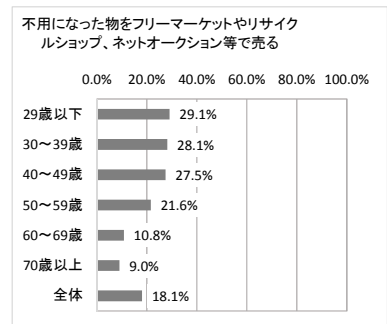
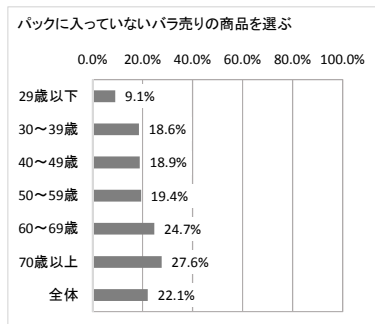
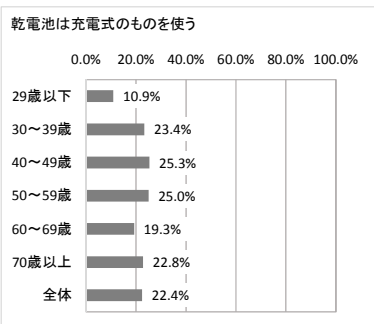
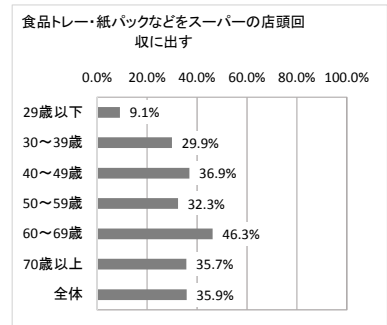
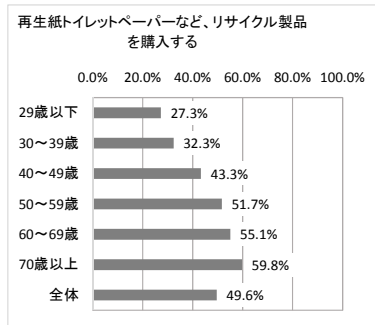
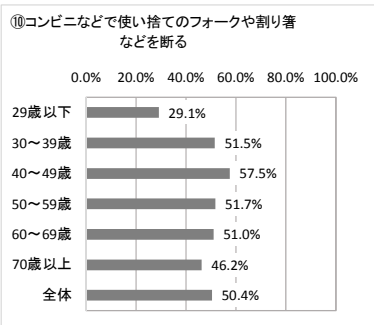
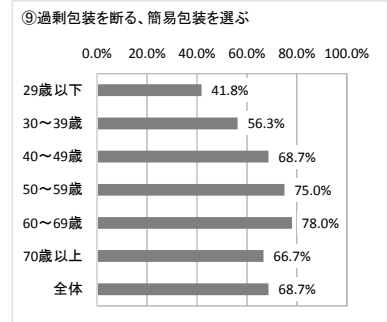
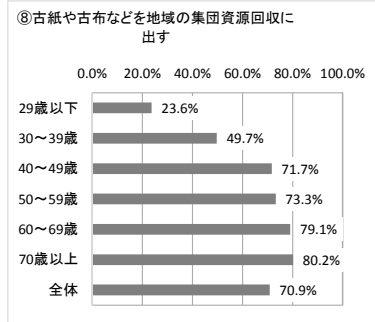
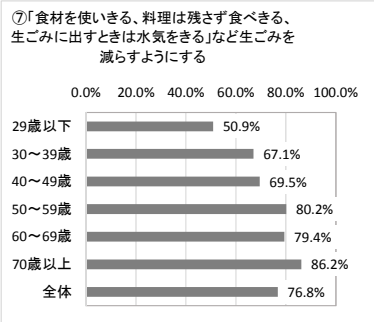
●年齢

年齢別に見ると、「29歳以下」では、全体平均の高い「プラスチック製容器包装の分別を徹底する」「紙類の分別を徹底する」「古紙や古布などを地域の集団資源回収に出す」項目において、平均を大きく下回っている。

	① 缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	② プラスチック製容器包装の分別を徹底する	③ 家電製品や家具は、長く、大切に使う	④ マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	⑤ 紙類の分別を徹底する	⑥ 詰め替え商品を購入する	⑦ 「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減らすようにする	⑧ 古紙や古布などを地域の集団資源回収に出す	⑨ 過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	⑩ コンビニなどで使い捨てのフオークや割り箸などを断る	再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する
29歳以下	43	33	43	39	22	48	28	13	23	16	15
30～39歳	148	138	134	136	113	150	112	83	94	86	54
40～49歳	218	210	196	194	196	203	162	167	160	134	101
50～59歳	218	213	205	210	194	193	186	170	174	120	120
60～69歳	276	273	266	264	244	233	235	234	231	151	163
70歳以上	309	294	302	275	298	217	287	267	222	154	199
無回答	5	5	6	5	3	6	5	3	4	5	4
全体	1,217	1,166	1,152	1,123	1,070	1,050	1,015	937	908	666	656

	食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	乾電池は充電式のものを使う	バックに入っていないパラ売りの商品を選ぶ	不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	レンタル用品を活用する	仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	無回答	全体
29歳以下	5	6	5	16	8	6	1	1	5	0	0	55
30～39歳	50	39	31	47	20	28	11	5	13	5	2	167
40～49歳	86	59	44	64	37	54	29	12	17	8	2	233
50～59歳	75	58	45	50	32	39	29	13	15	6	1	232
60～69歳	137	57	73	32	42	40	64	36	24	17	6	296
70歳以上	119	76	92	30	61	32	43	52	20	6	3	333
無回答	2	1	2	0	2	2	1	0	1	0	0	6
全体	474	296	292	239	202	201	178	119	95	42	14	1,322





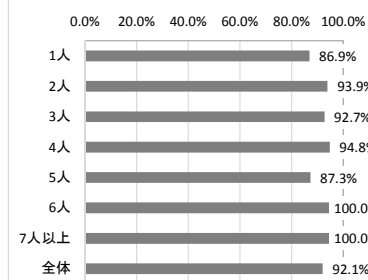
●世帯人数

世帯人数で見ると、1人世帯では「古紙や古布等を地域の集団資源回収に出す」「食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す」が複数人世帯よりも10%程度少なくなっている。「仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する」、「レンタル用品を活用する」ではすべての回答比率が低くなっている。

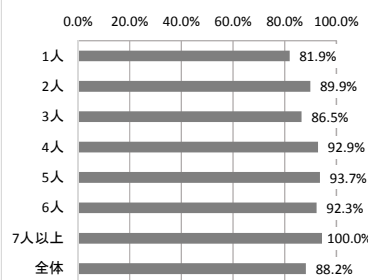
	① 缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	② プラスチック製容器包装の分別を徹底する	③ 家電製品や家具は、長く、大切に使う	④ マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	⑤ 紙類の分別を徹底する	⑥ 詰め替え商品を購入する	⑦ 「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減らすようにする	⑧ 古紙や古布などを地域の集団資源回収に出す	⑨ 過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	⑩ コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る	再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する
1人	259	244	257	229	212	228	224	154	195	159	151
2人	399	382	375	374	353	324	336	321	305	217	212
3人	255	238	232	234	226	229	209	203	188	132	130
4人	200	196	192	189	184	176	158	170	144	104	106
5人	55	59	52	53	56	53	45	51	43	33	29
6人	26	24	23	23	19	21	22	20	16	8	16
7人以上	14	14	12	12	12	9	12	11	10	6	6
無回答	9	9	9	9	8	10	9	7	7	7	6
全体	1,217	1,166	1,152	1,123	1,070	1,050	1,015	937	908	666	656

	食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	乾電池は充電式のものを使う	バックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	レンタル用品を活用する	仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	無回答	全体
1人	81	62	78	51	56	37	22	18	28	10	3	298
2人	157	87	106	59	62	52	69	47	19	10	5	425
3人	109	61	61	51	46	47	40	19	20	10	3	275
4人	81	61	29	46	19	39	26	18	17	4	2	211
5人	26	12	11	24	11	20	10	7	6	4	1	63
6人	10	9	1	4	4	2	8	6	2	0	0	26
7人以上	8	2	3	3	1	2	1	3	1	2	0	14
無回答	2	2	3	1	3	2	2	1	2	2	0	10
全体	474	296	292	239	202	201	178	119	95	42	14	1,322

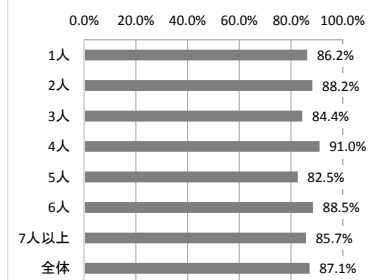
① 缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する



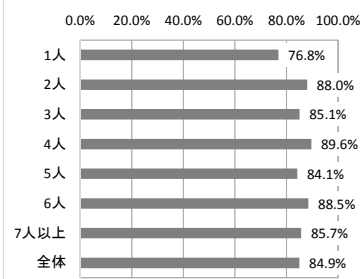
② プラスチック製容器包装の分別を徹底する



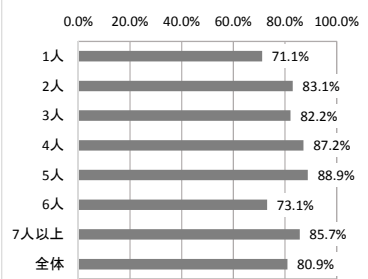
③ 家電製品や家具は、長く、大切に使う



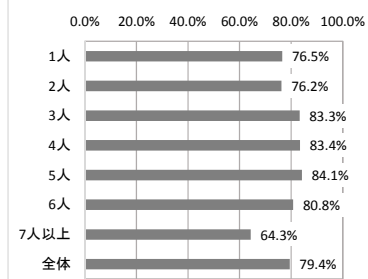
④ マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る

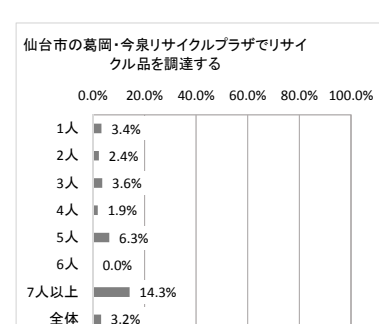
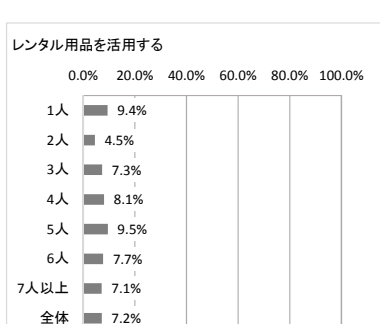
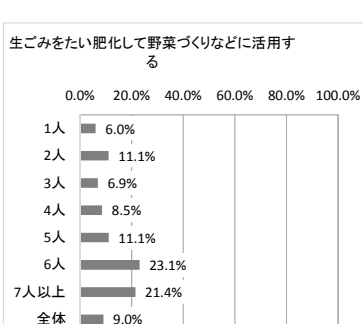
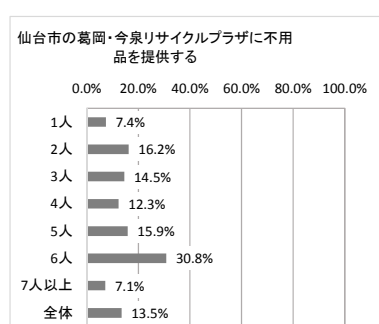
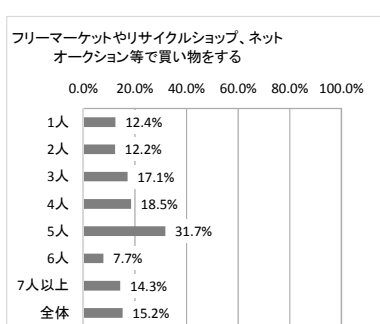
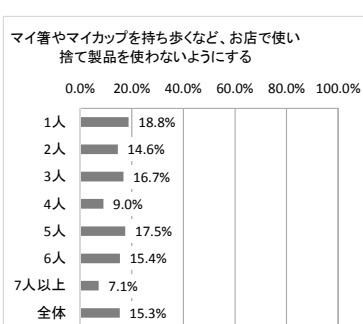
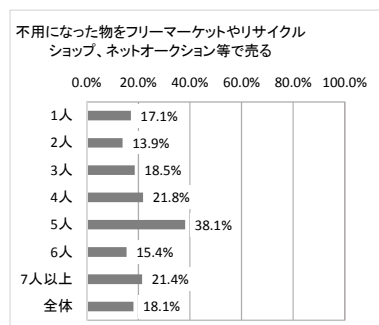
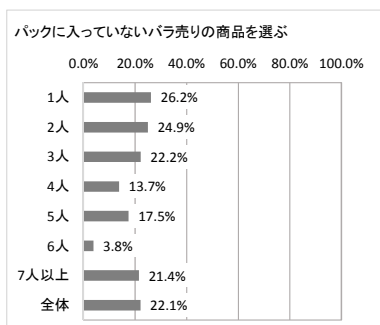
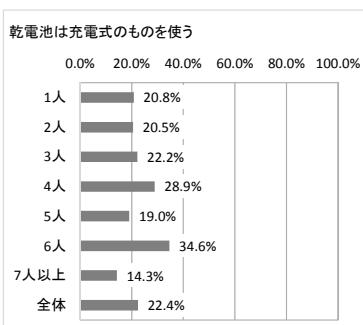
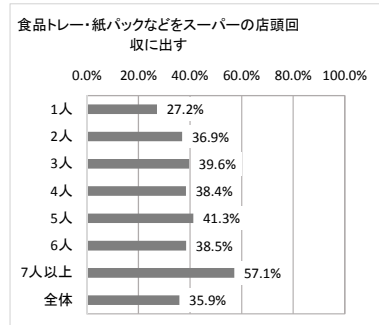
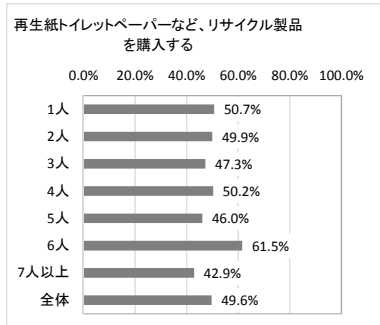
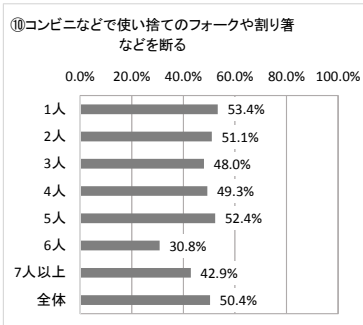
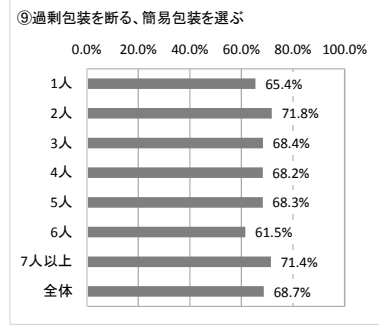
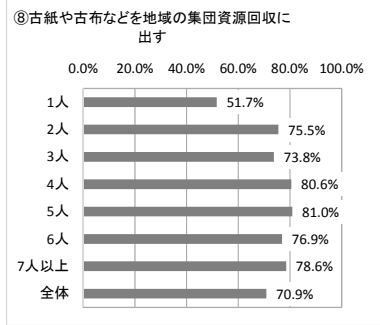
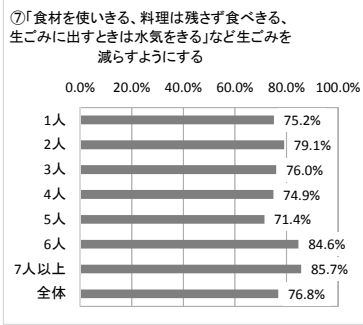


⑤ 紙類の分別を徹底する



⑥ 詰め替え商品を購入する





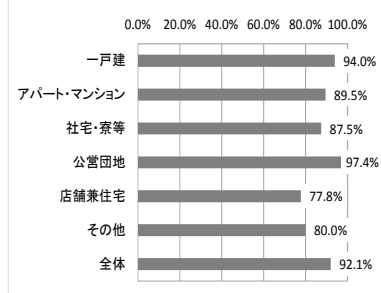
●居住形態

居住形態で見ると、アパート・マンションは一戸建と比較すると「紙類の分別を徹底する」や「古紙や古布など地域集団資源回収に出す」、「食品トレー・紙パックなどを店頭回収に出す」において10%以上も回答比率が低くなっている。

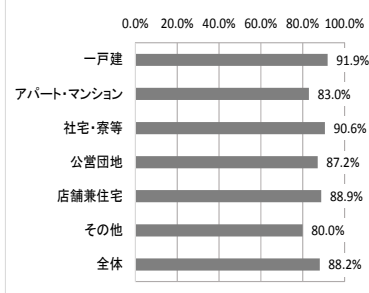
	① 缶・びん・ペットボルの分別を徹底する	② プラスチック製容器包装の分別を徹底する	③ 家電製品や家具は、長く、大切に使う	④ マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	⑤ 紙類の分別を徹底する	⑥ 詰め替え商品を購入する	⑦ 「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減らすようにする	⑧ 古紙や古布などを地域の集団資源回収に出す	⑨ 過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	⑩ コンビニなどで使い捨てのフオークや割り箸などを断る	再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する
一戸建	673	658	637	625	615	554	571	581	513	345	378
アパート・マンション	453	420	428	413	375	418	368	284	325	268	223
社宅・寮等	28	29	24	25	24	25	21	21	21	16	11
公営団地	38	34	37	36	35	29	34	32	29	20	26
店舗兼住宅	7	8	8	8	7	7	6	6	7	6	5
その他	8	8	8	8	6	8	7	6	7	5	7
無回答	10	9	10	8	8	9	8	7	6	6	6
全体	1,217	1,166	1,152	1,123	1,070	1,050	1,015	937	908	666	656

	食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	乾電池は充電式のものを使う	パックに入っていないパラ売りの商品を選ぶ	不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	レンタル用品を活用する	仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	無回答	全体
一戸建	288	162	161	115	117	107	124	106	55	27	8	716
アパート・マンション	152	109	102	107	71	77	42	8	32	12	5	506
社宅・寮等	8	6	5	10	1	7	1	2	4	0	0	32
公営団地	14	9	16	4	8	6	4	0	0	2	0	39
店舗兼住宅	4	4	1	1	2	2	3	0	1	1	0	9
その他	4	4	2	1	1	1	1	0	2	0	1	10
無回答	4	2	5	1	2	1	3	3	1	0	0	10
全体	474	296	292	239	202	201	178	119	95	42	14	1,322

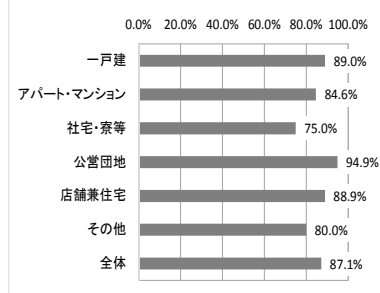
①缶・びん・ペットボルの分別を徹底する



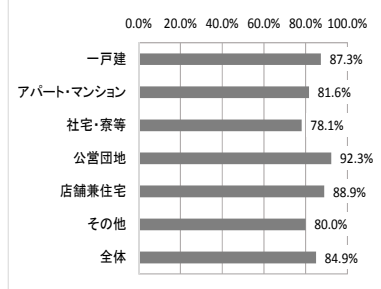
②プラスチック製容器包装の分別を徹底する



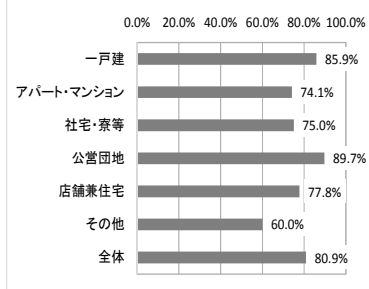
③家電製品や家具は、長く、大切に使う



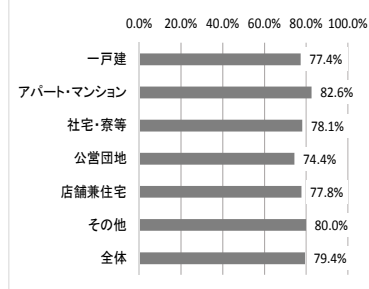
④マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る

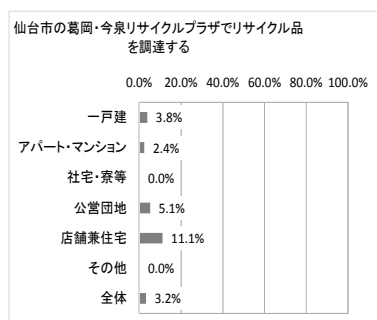
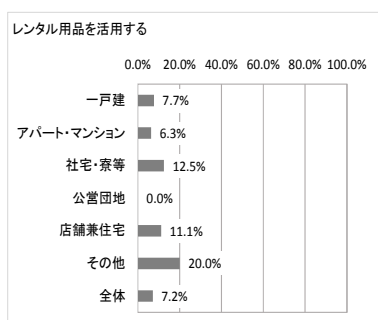
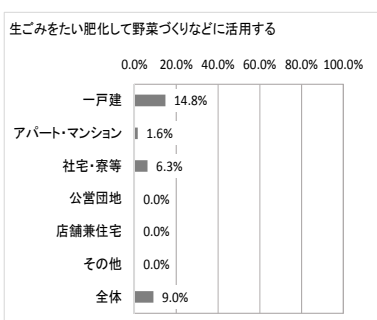
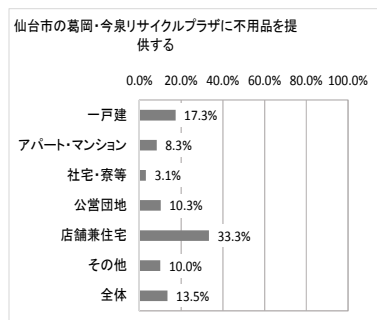
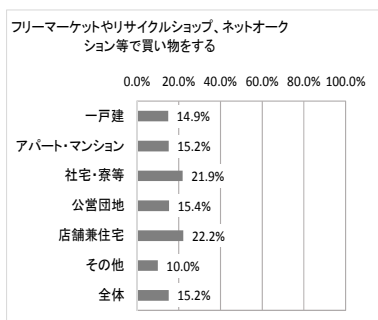
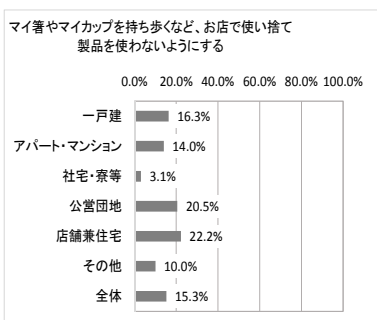
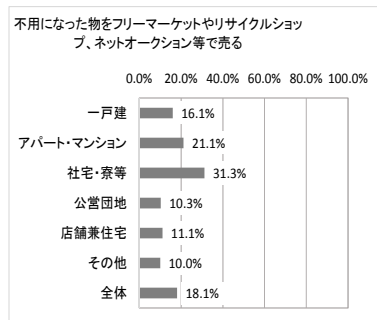
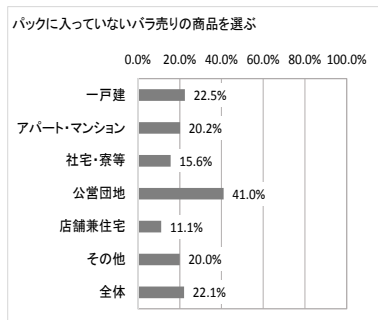
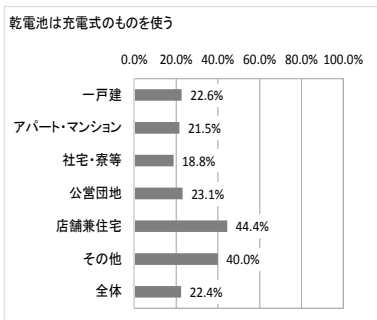
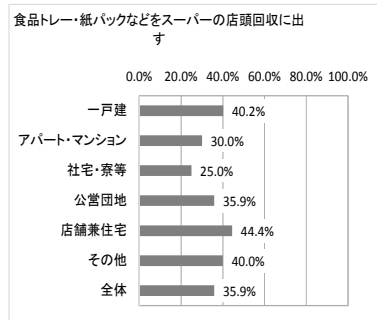
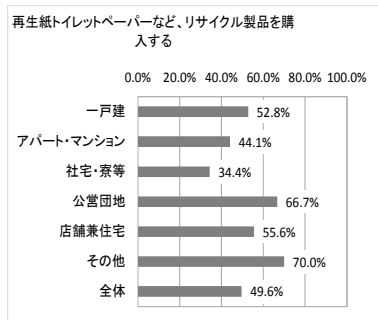
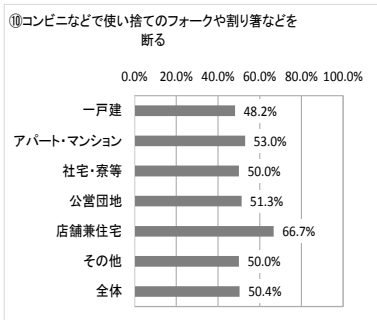
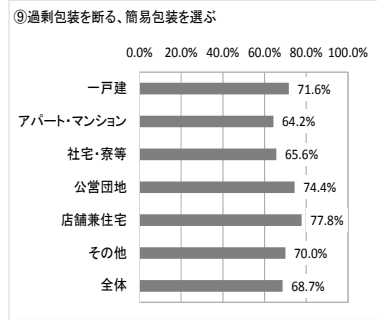
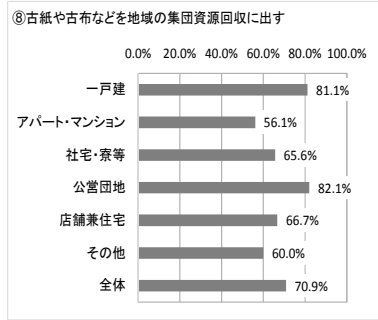
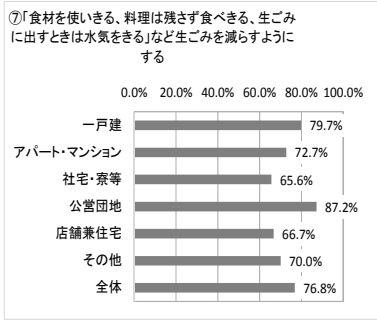


⑤紙類の分別を徹底する



⑥詰め替え商品を購入する



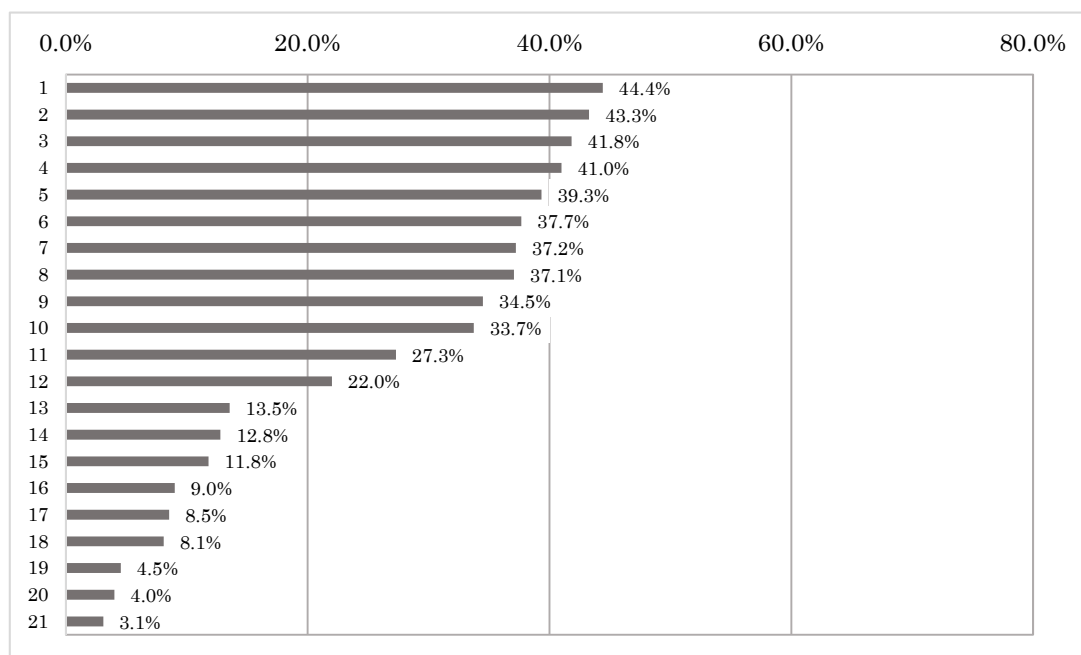


20) ごみを出さないよう今後新たに取り組もうと考えているもの 3(2)2

①単純集計(複数回答)

「マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする」が44.4%で最も多い。「ごみを出さないよう普段から行っている取り組み」で回答比率が低かった項目が、この設問では高い傾向にある。つまり、すでに取り組んでいるので回答比率が低いと言うことができる。

選択肢	件数	割合
1. マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	587	44.4%
2. 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	572	43.3%
3. 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	553	41.8%
4. 生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	542	41.0%
5. レンタル用品を活用する	520	39.3%
6. 乾電池は充電式のものを使う	498	37.7%
7. 不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	492	37.2%
8. バックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	490	37.1%
9. フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	456	34.5%
10. 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	446	33.7%
11. コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る	361	27.3%
12. 再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する	291	22.0%
13. 過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	179	13.5%
14. 古紙や古布などを地域の集団資源回収に出す	169	12.8%
15. 「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減らすようにする	156	11.8%
16. 詰め替え商品を購入する	119	9.0%
17. 紙類の分別を徹底する	113	8.5%
18. マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	107	8.1%
19. 家電製品や家具は、長く、大切に使う	60	4.5%
20. プラスチック製容器包装の分別を徹底する	53	4.0%
21. 缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	41	3.1%
無回答	304	23.0%
全体	1,322	100.0%



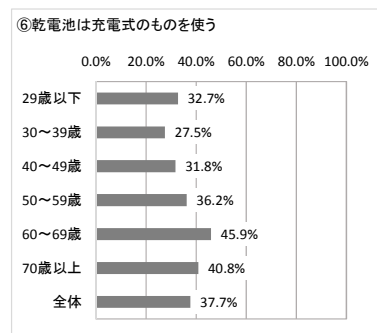
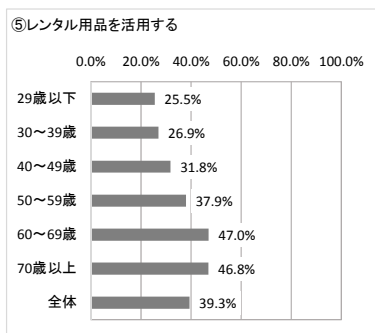
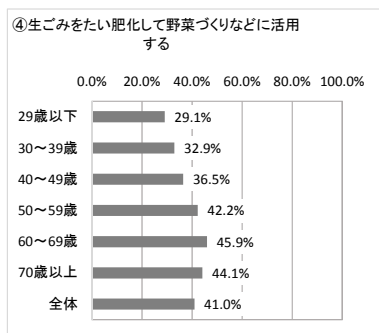
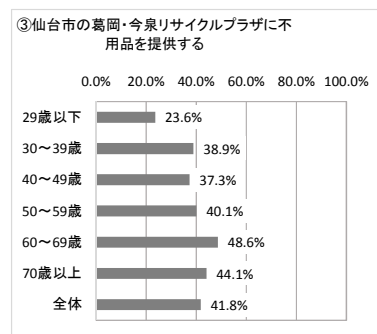
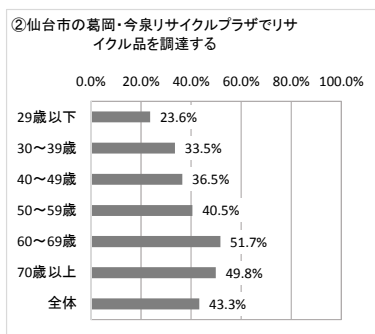
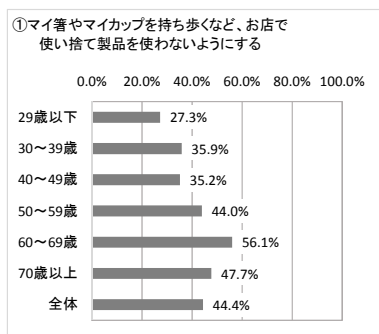
②クロス集計

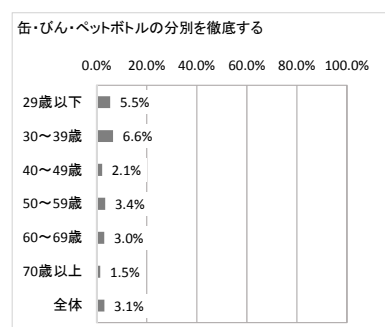
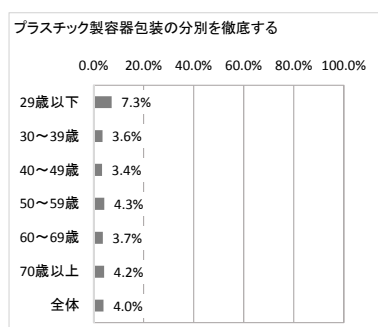
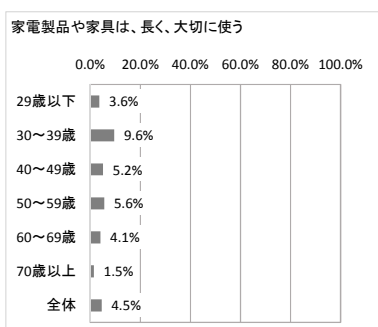
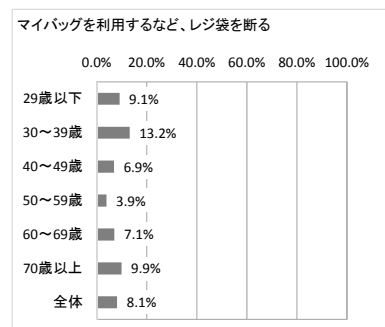
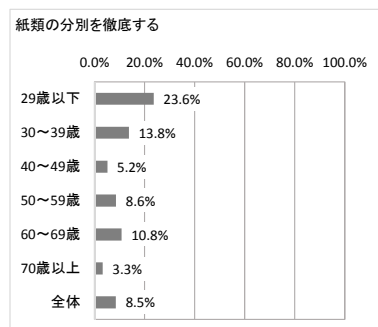
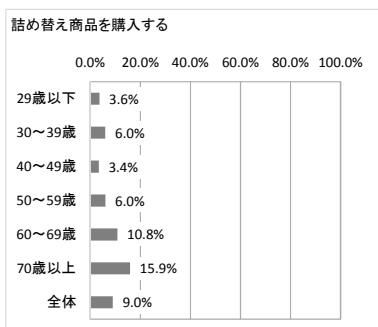
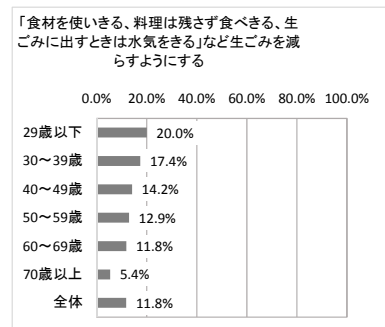
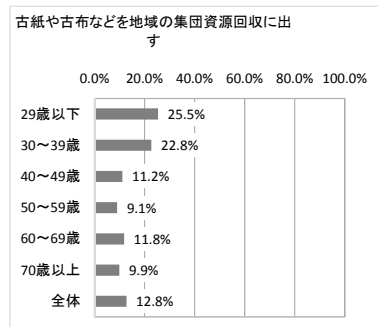
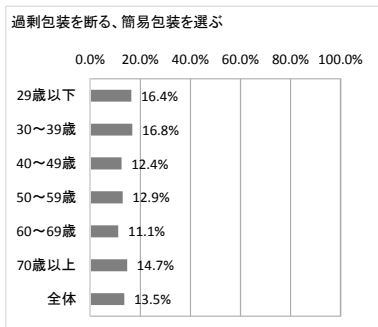
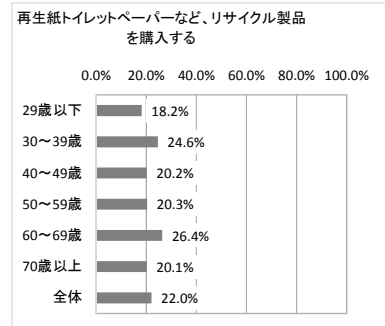
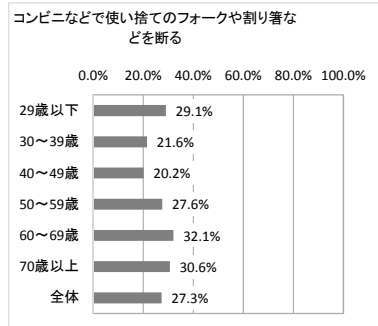
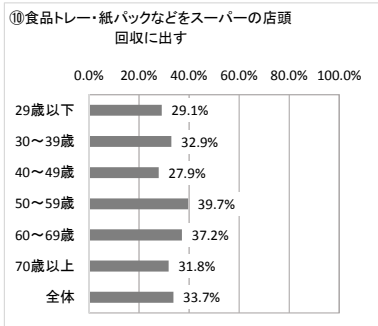
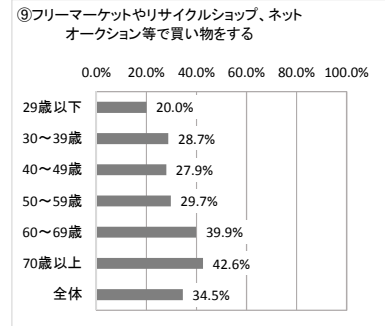
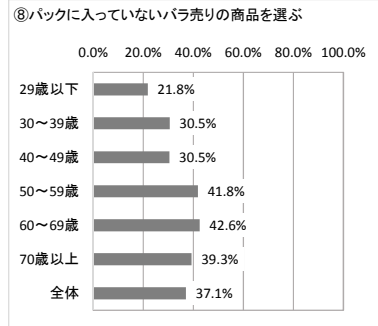
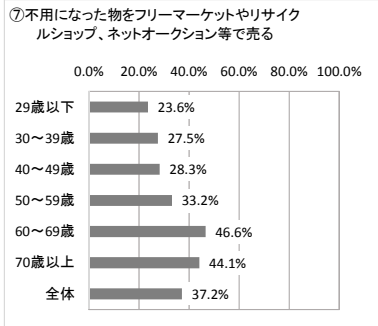
●年齢

年齢別で見ると、「マイ箸やマイカップを持ち歩く」や「レンタル用品を活用する」は、前設問では全年代で回答比率に大きな差は見られなかったものの、本設問では年齢が高まるにつれて回答比率が高まっている。（年代が高いほど取組み意欲が高い）

	① マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	② 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	③ 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	④ 生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	⑤ レンタル用品を活用する	⑥ 乾電池は充電式のものを使う	⑦ 不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	⑧ バックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	⑨ フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で安い物をする	⑩ 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る
29歳以下	15	13	13	16	14	18	13	12	11	16	
30～39歳	60	56	65	55	45	46	46	51	48	55	
40～49歳	82	85	87	85	74	74	66	71	65	65	
50～59歳	102	94	93	98	88	84	77	97	69	92	
60～69歳	166	153	144	136	139	136	138	126	118	110	
70歳以上	159	166	147	147	156	136	147	131	142	106	
無回答	3	5	4	5	4	4	5	2	3	2	
全体	587	572	553	542	520	498	492	490	456	446	

	再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する	過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	古紙や古布などを地域の集回資源回収に出す	「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減らすようにする	詰め替え商品を購入する	紙類の分別を徹底する	マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	家電製品や家具は、長く、大切に使う	プラスチック製容器包装の分別を徹底する	缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	無回答	全体
29歳以下	10	9	14	11	2	13	5	2	4	3	9	55
30～39歳	41	28	38	29	10	23	22	16	6	11	37	167
40～49歳	47	29	26	33	8	12	16	12	8	5	64	233
50～59歳	47	30	21	30	14	20	9	13	10	8	53	232
60～69歳	78	33	35	35	32	32	21	12	11	9	58	296
70歳以上	67	49	33	18	53	11	33	5	14	5	82	333
無回答	1	1	2	0	0	2	1	0	0	0	1	6
全体	291	179	169	156	119	113	107	60	53	41	304	1,322



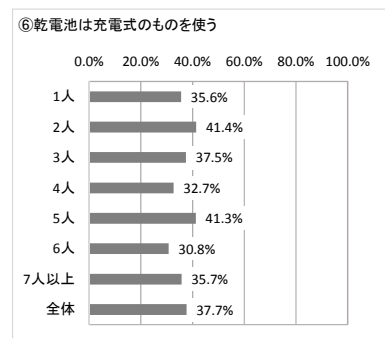
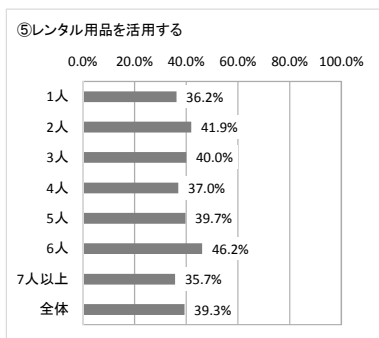
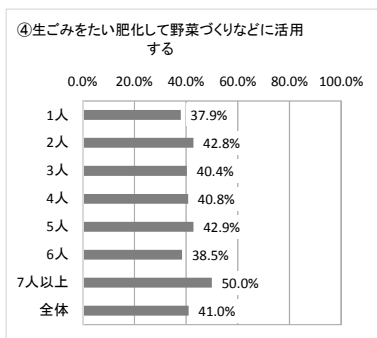
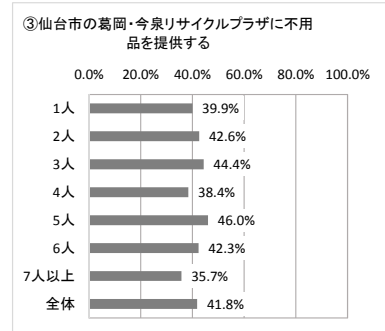
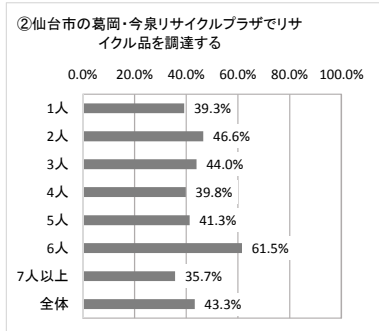
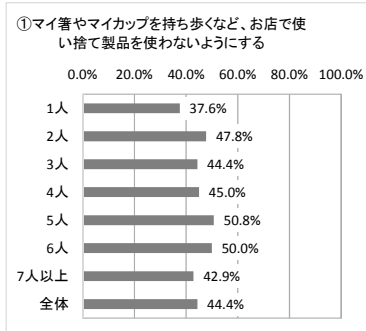


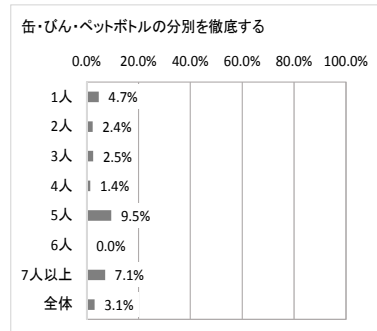
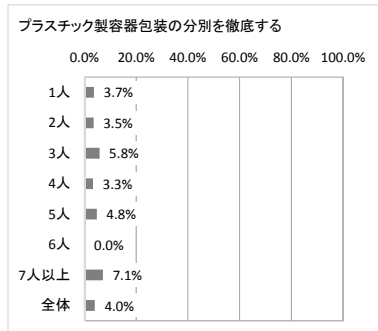
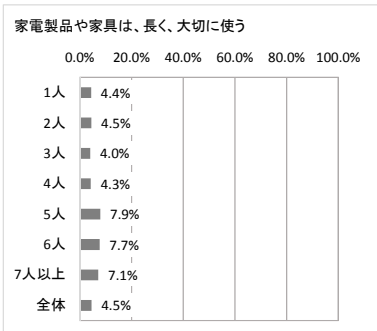
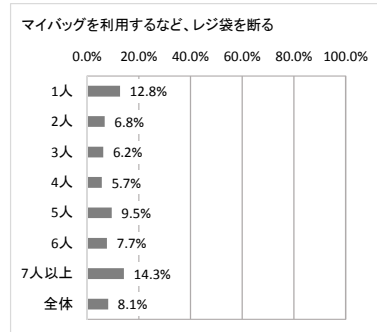
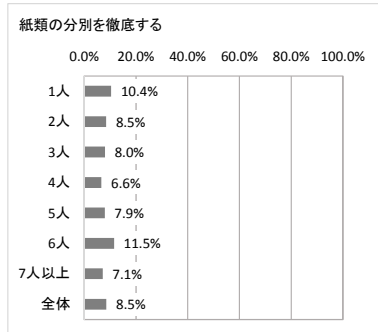
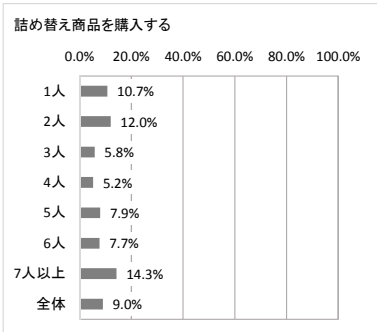
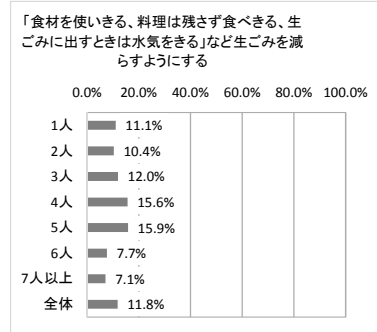
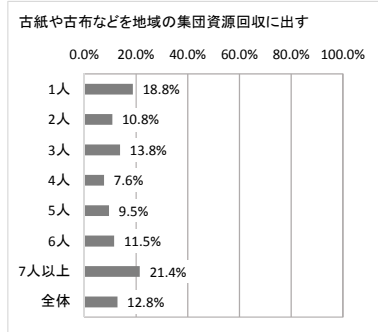
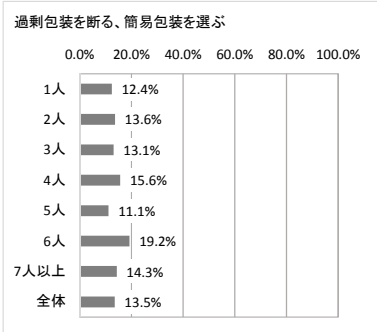
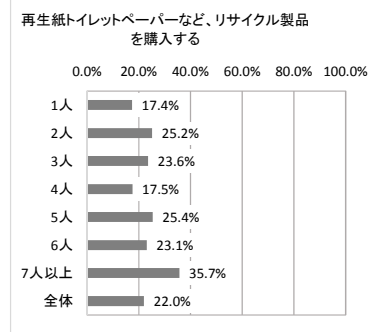
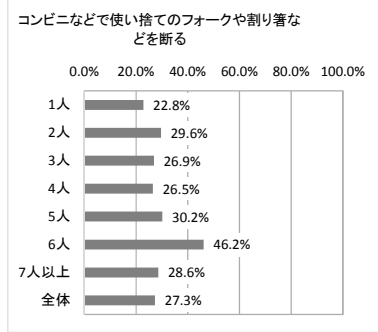
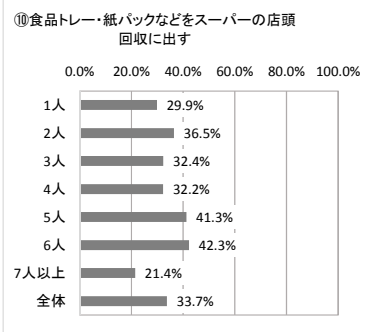
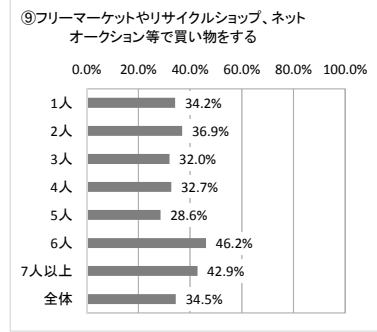
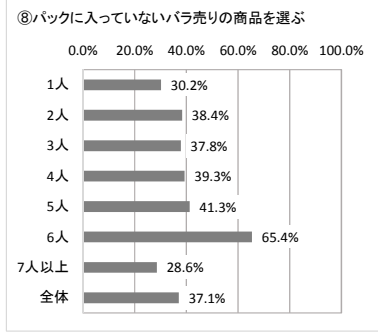
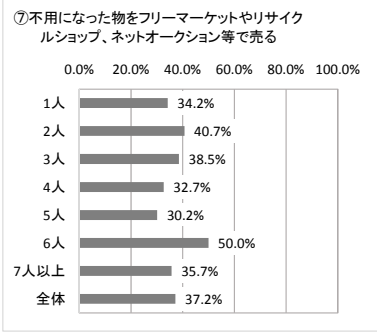
●世帯人数

世帯人数で見ると、前設問では「コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る」や「再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する」で1人世帯と2人世帯で大きな差はなかったが、本設問では1人世帯が2人世帯を下回っている。

	① マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	② 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	③ 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	④ 生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	⑤ レンタル用品を活用する	⑥ 乾電池は充電式のものを使う	⑦ 不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	⑧ バックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	⑨ フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で安い物を買う	⑩ 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る
1人	112	117	119	113	108	106	102	90	102	89	68
2人	203	198	181	182	178	176	173	163	157	155	126
3人	122	121	122	111	110	103	106	104	88	89	74
4人	95	84	81	86	78	69	69	83	69	68	56
5人	32	26	29	27	25	26	19	26	18	26	19
6人	13	16	11	10	12	8	13	17	12	11	12
7人以上	6	5	5	7	5	5	5	4	6	3	4
無回答	4	5	5	6	4	5	5	3	4	5	2
全体	587	572	553	542	520	498	492	490	456	446	361

	再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する	過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	古紙や古布などを地域の業団資源回収に出す	「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減らすようにする	詰め替え商品を購入する	紙類の分別を徹底する	マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	家電製品や家具は、長く、大切に使う	プラスチック製容器包装の分別を徹底する	缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	無回答	全体
1人	52	37	56	33	32	31	38	13	11	14	77	298
2人	107	58	46	44	51	36	29	19	15	10	92	425
3人	65	36	38	33	16	22	17	11	16	7	62	275
4人	37	33	16	33	11	14	12	9	7	3	47	211
5人	16	7	6	10	5	5	6	5	3	6	13	63
6人	6	5	3	2	2	3	2	2	0	0	4	26
7人以上	5	2	3	1	2	1	2	1	1	1	5	14
無回答	3	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4	10
全体	291	179	169	156	119	113	107	60	53	41	304	1,322



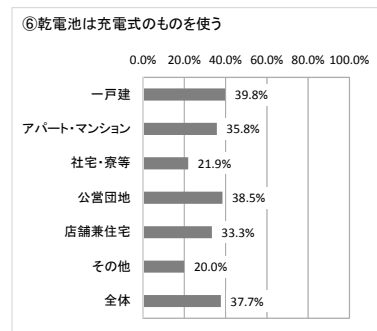
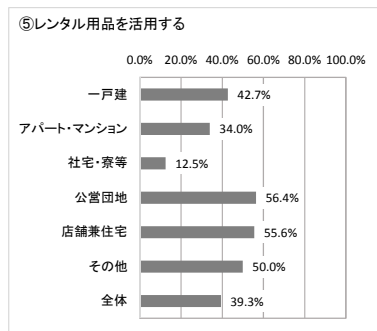
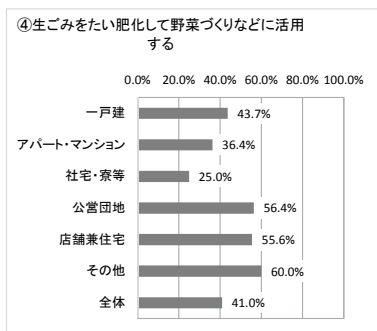
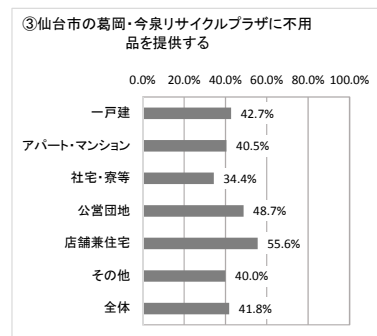
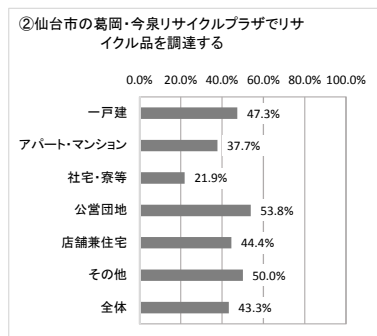
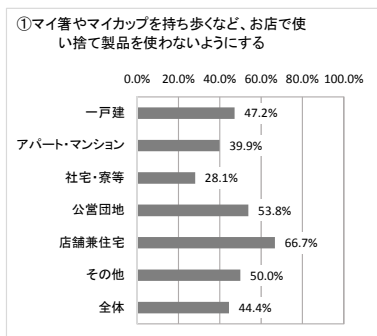


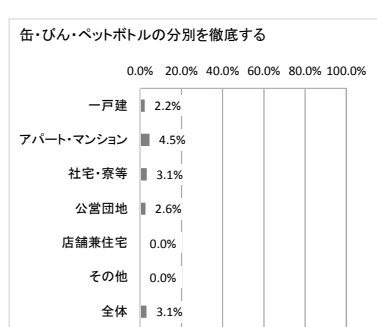
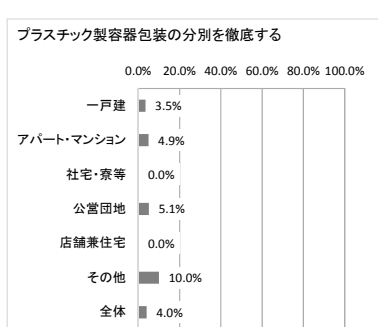
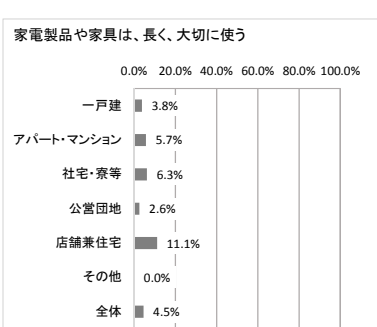
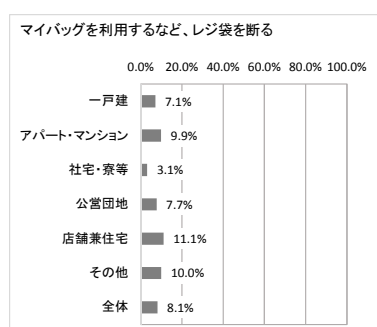
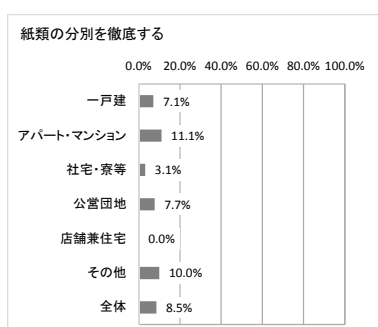
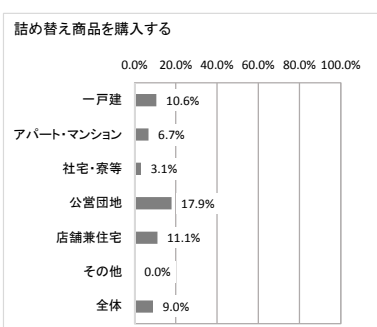
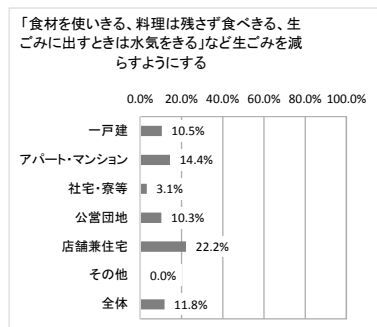
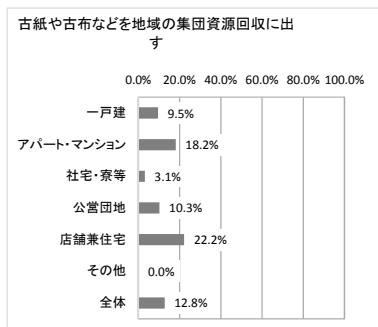
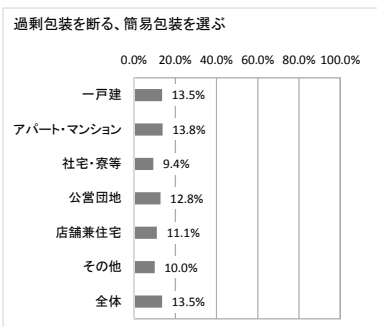
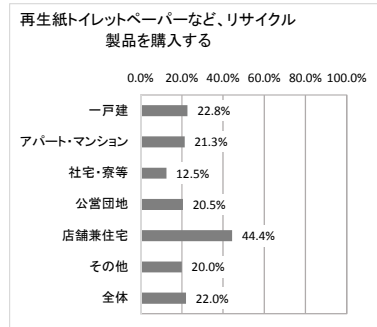
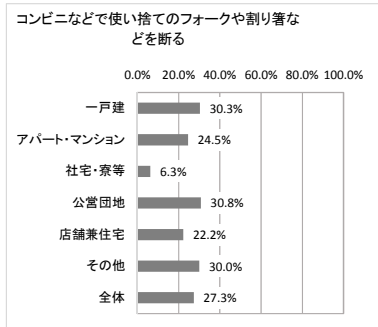
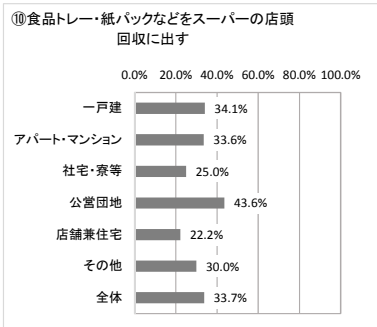
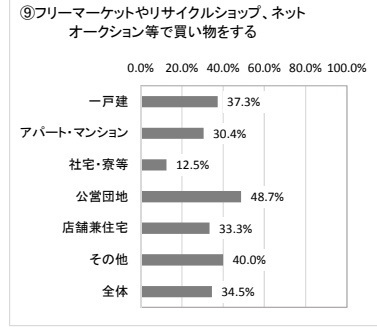
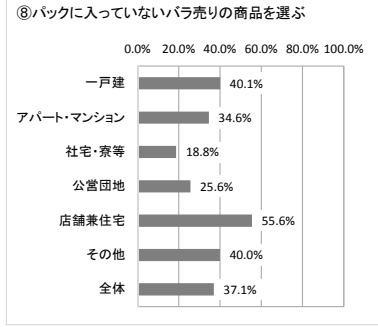
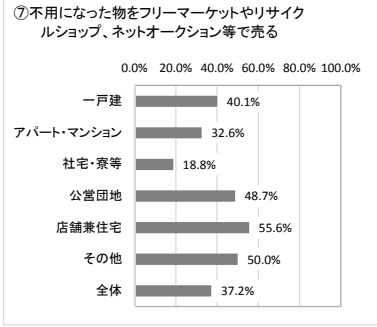
●居住形態

居住形態で見ると、「仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する」が、前設問では一戸建とアパート・マンションで差がみられなかったものの、本設問では一戸建の方が10%程度高くなっている。

	① マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	② 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	③ 仙台市の葛岡・今泉リサイクルプラザに不用品を提供する	④ 生ごみをたい肥化して野菜づくりなどに活用する	⑤ レンタル用品を活用する	⑥ 乾電池は充電式のものを使う	⑦ 不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	⑧ バックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	⑨ フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	⑩ 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る
一戸建	338	339	306	313	306	285	287	287	267	244	217
アパート・マンション	202	191	205	184	172	181	165	175	154	170	124
社宅・寮等	9	7	11	8	4	7	6	6	4	8	2
公営団地	21	21	19	22	22	15	19	10	19	17	12
店舗兼住宅	6	4	5	5	5	3	5	5	3	2	2
その他	5	5	4	6	5	2	5	4	4	3	3
無回答	6	5	3	4	6	5	5	3	5	2	1
全体	587	572	553	542	520	498	492	490	456	446	361

	再生紙トイレトペーパーなど、リサイクル製品を購入する	過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	古紙や古布などを地域の集団資源回収に出す	「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水をきく」など生ごみを減らすようにする	詰め替え商品を購入する	紙類の分別を徹底する	マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	家電製品や家具は、長く、大切に使う	プラスチック製容器包装の分別を徹底する	缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	無回答	全体
一戸建	163	97	68	75	76	51	51	27	25	16	161	716
アパート・マンション	108	70	92	73	34	56	50	29	25	23	118	506
社宅・寮等	4	3	1	1	1	1	1	2	0	1	9	32
公営団地	8	5	4	4	7	3	3	1	2	1	9	39
店舗兼住宅	4	1	2	2	1	0	1	1	0	0	2	9
その他	2	1	0	0	0	1	1	0	1	0	3	10
無回答	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	2	10
全体	291	179	169	156	119	113	107	60	53	41	304	1,322



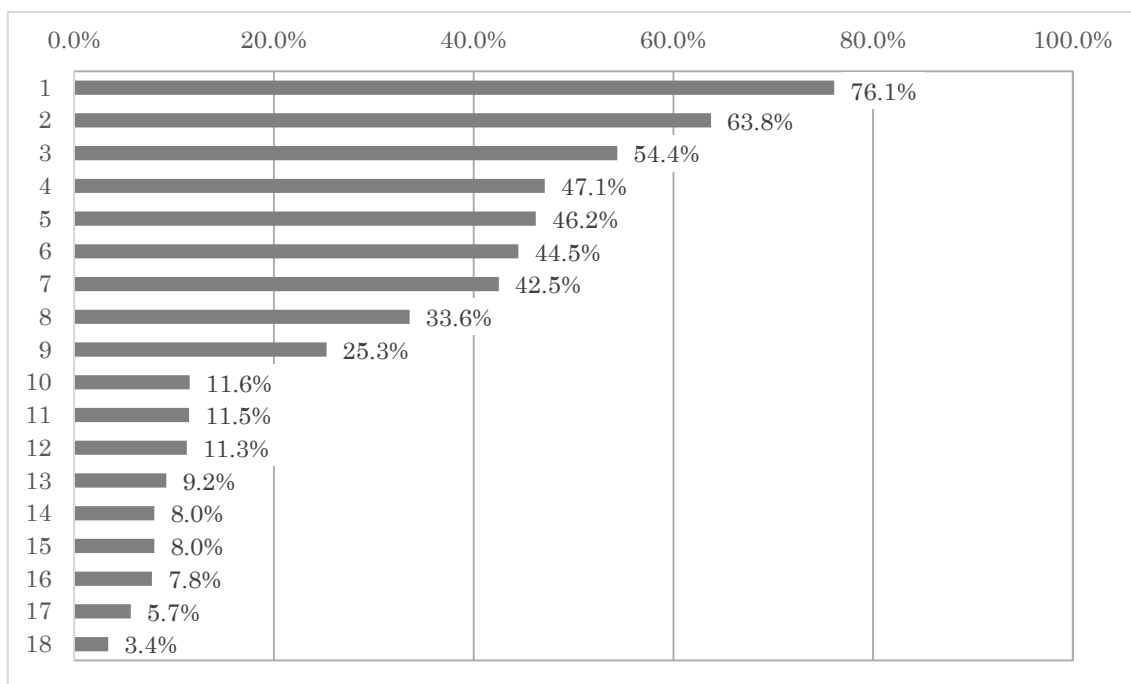


2 1) 市の施策で効果があったと感じる施策 3 (3)

①単純集計 (複数回答)

「缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集の実施」が 76.1%で最も多く、次いで「ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施」が 63.8%、「事業者・市民団体とのレジ袋削減協定に基づくレジ袋有料化」が 54.4%であった。

選択肢	件数	割合
1. 缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集の実施	1,006	76.1%
2. ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施	843	63.8%
3. 事業者・市民団体とのレジ袋削減協定に基づくレジ袋有料化	719	54.4%
4. 粗大ごみの戸別有料収集の実施	623	47.1%
5. 家庭ごみ等の有料化の実施	611	46.2%
6. 資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備	588	44.5%
7. 集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進	562	42.5%
8. ワケルくんを用いた100万人のごみ減量大作戦キャンペーン等の広報事業	444	33.6%
9. 仙台市リサイクルプラザの設置(葛岡、今泉)	334	25.3%
10. 環境施設を見る会(ワケルくんバス)の実施	153	11.6%
11. たい肥化容器・電気式生ごみ処理機の購入費補助事業の実施	152	11.5%
12. ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」の実施	149	11.3%
13. リサイクル可能な紙類の焼却工場への持ち込み規制の強化	122	9.2%
14. ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(www.gomi100.com)の開設	106	8.0%
15. 仙台市たい肥化センター設置によるリサイクルたい肥「社のめぐみ」提供	106	8.0%
16. 乾燥生ごみと野菜等の交換事業	103	7.8%
17. 環境配慮型店舗・事業所(ニコにこショップ・オフィス)認定制度の実施	75	5.7%
18. 食器洗浄車「ワケルモバイル」の貸し出し事業の実施	45	3.4%
その他	26	2.0%
無回答	88	6.7%
全体	1,322	100.0%



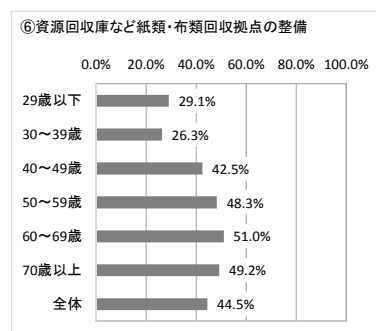
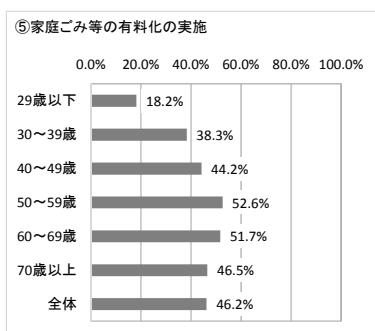
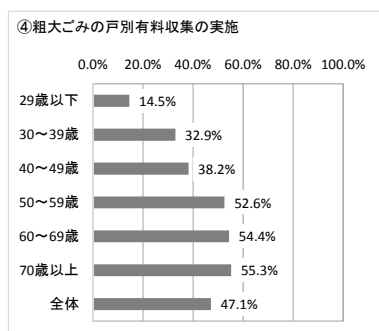
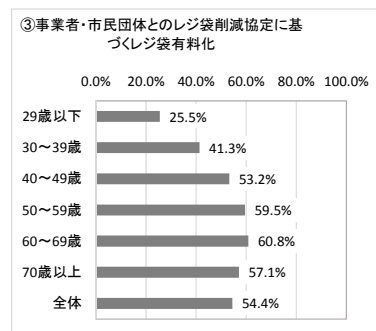
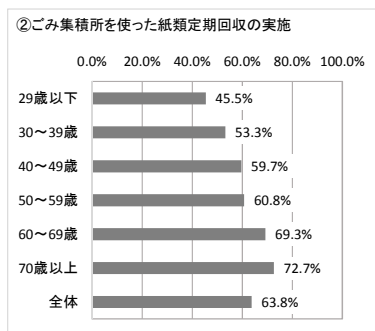
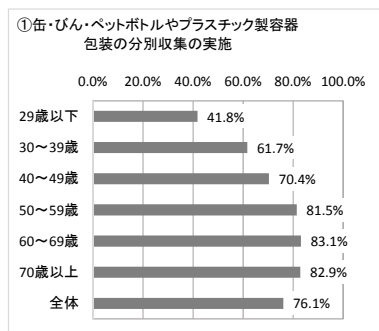
②クロス集計

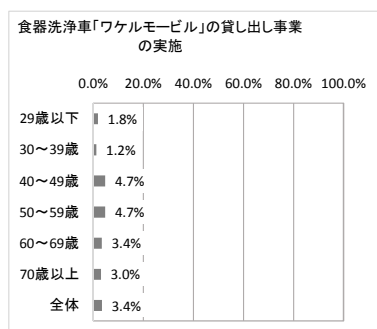
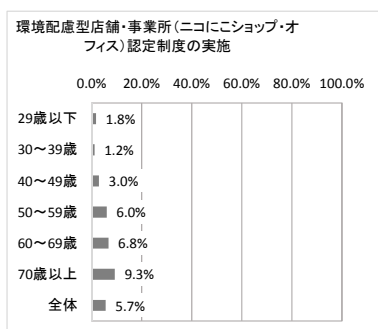
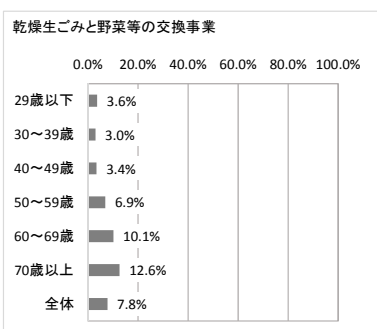
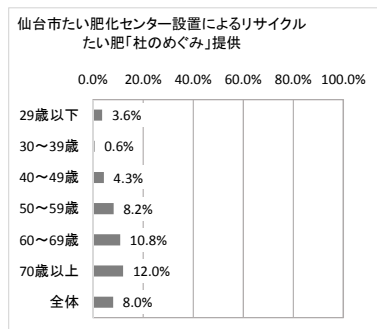
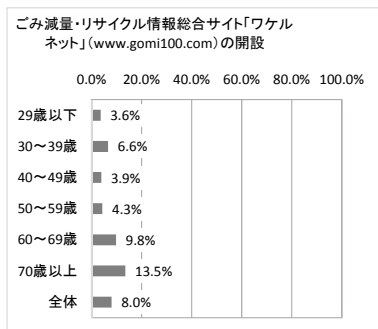
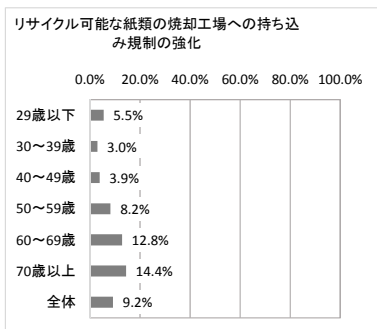
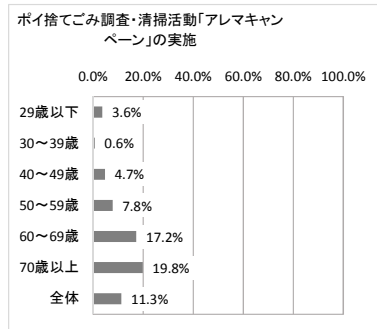
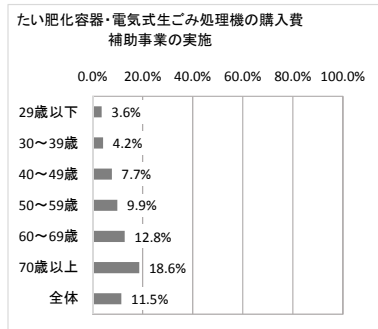
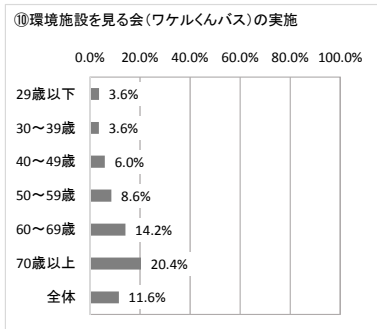
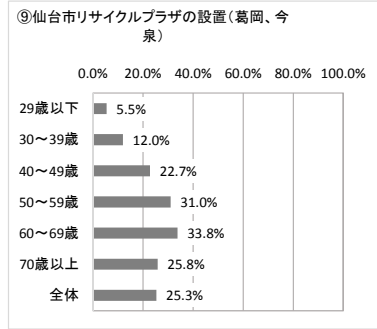
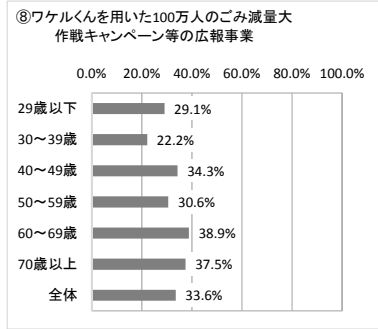
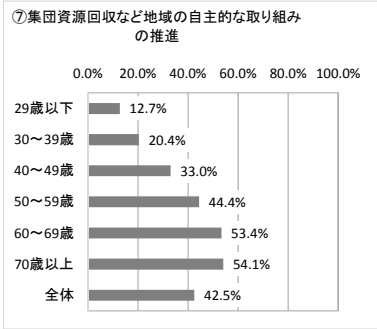
●年齢

29歳以下の回答は、全体的に効果があったと感じる割合は少ないものの、「ごみ減量大作戦キャンペーン等広報事業」と「資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備」「アラレマキャンペーン」の実施」では30～39歳を上回っている。

	① 缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集の実施	② ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施	③ 事業者・市民団体とのレジ袋削減協定に基づくレジ袋有料化	④ 粗大ごみの戸別有料収集の実施	⑤ 家庭ごみ等の有料化の実施	⑥ 資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備	⑦ 集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進	⑧ ワケルくんを用いた100万人のごみ減量大作戦キャンペーン等の広報事業	⑨ 仙台市リサイクルプラザの設置(葛岡、今泉)	⑩ 環境施設を見る会(ワケルくんバス)の実施
29歳以下	23	25	14	8	10	16	7	16	3	2
30～39歳	103	89	69	55	64	44	34	37	20	6
40～49歳	164	139	124	89	103	99	77	80	53	14
50～59歳	189	141	138	122	122	112	103	71	72	20
60～69歳	246	205	180	161	153	151	158	115	100	42
70歳以上	276	242	190	184	155	164	180	125	86	68
無回答	5	2	4	4	4	2	3	0	0	1
全体	1,006	843	719	623	611	588	562	444	334	153

	たい肥化容器・電気式生ごみ処理機の購入費補助事業の実施	ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」の実施	リサイクル可能な紙類の焼却工場への持ち込み規制の強化	ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(www.gomi100.com)の開設	仙台市たい肥化センター設置によるリサイクルたい肥「杜のめぐみ」提供	乾燥生ごみと野菜等の交換事業	環境配慮型店舗・事業所(ニコニコショップ・オフィス)認定制度の実施	食器洗浄車「ワケルモービル」の貸出し事業の実施	その他	無回答	全体
29歳以下	2	2	3	2	2	2	1	1	2	10	55
30～39歳	7	1	5	11	1	5	2	2	6	17	167
40～49歳	18	11	9	9	10	8	7	11	7	11	233
50～59歳	23	18	19	10	19	16	14	11	6	6	232
60～69歳	38	51	38	29	32	30	20	10	2	17	296
70歳以上	62	66	48	45	40	42	31	10	3	26	333
無回答	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	6
全体	152	149	122	106	106	103	75	45	26	88	1,322



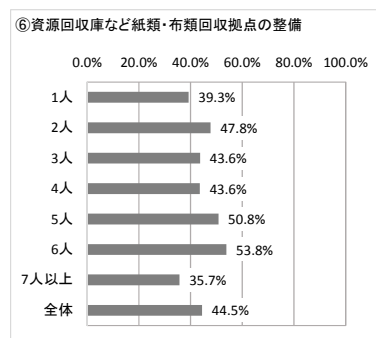
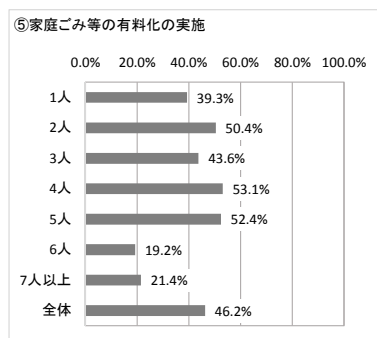
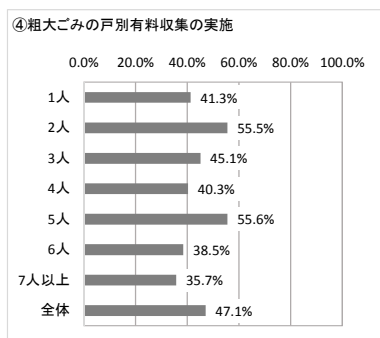
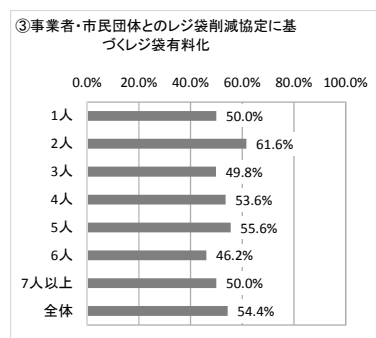
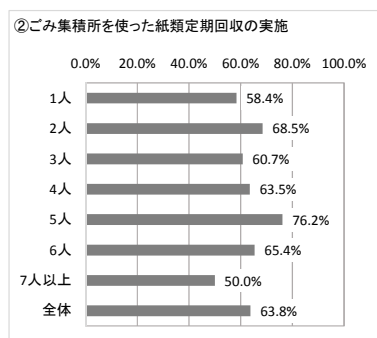
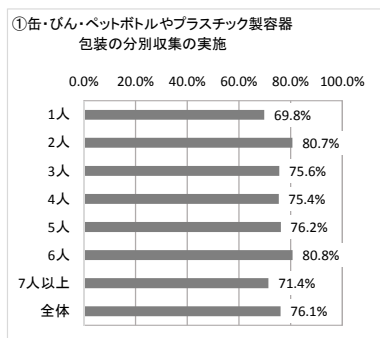


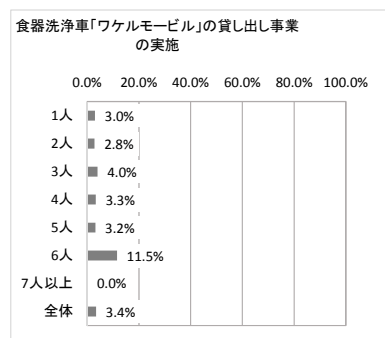
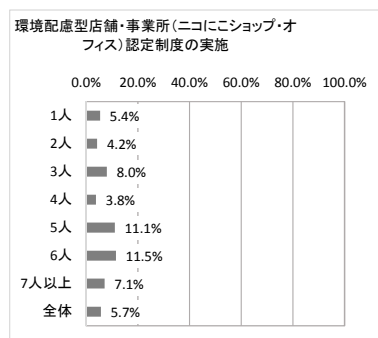
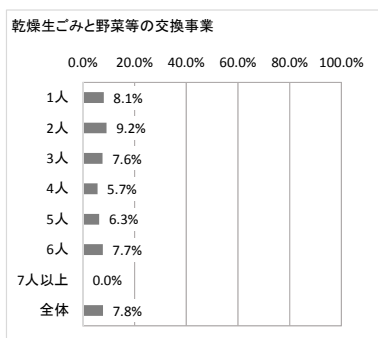
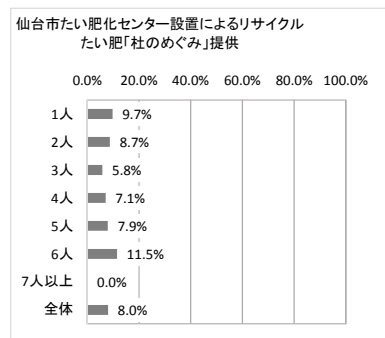
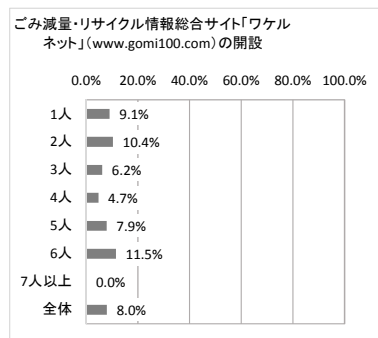
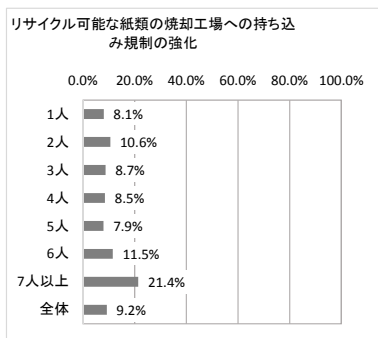
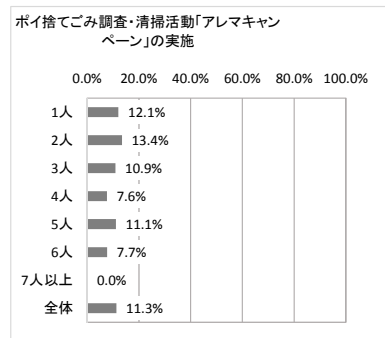
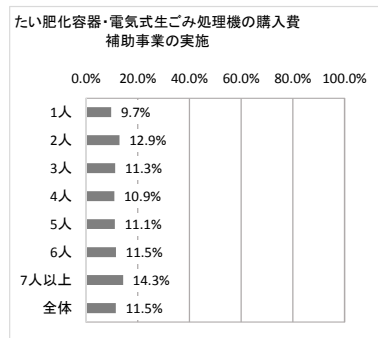
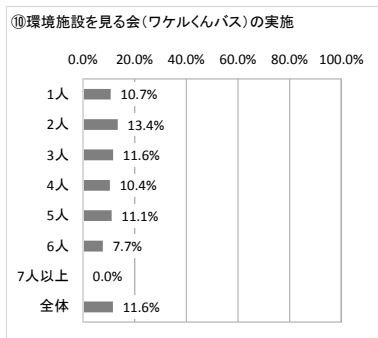
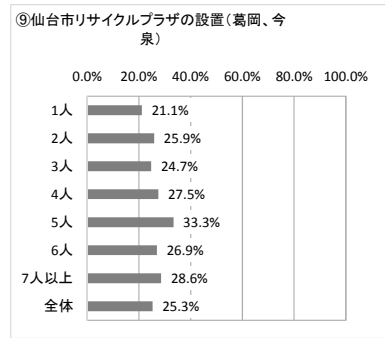
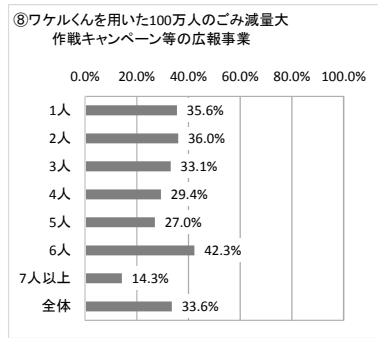
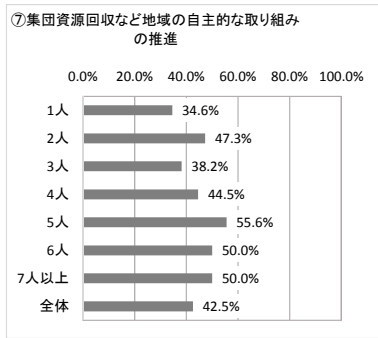
●世帯人数

世帯人数で見ると、1人世帯と3人世帯は、全体平均が40%以上の項目ではすべて平均を下回っている。一方で2人世帯は、全体平均が40%以上の項目ではすべて平均を上回る。なお2人世帯は、50歳以上が81.4%を占めている。

	① 缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集の実施	② ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施	③ 事業者・市民団体とのレジ袋削減協定に基づくレジ袋有料化	④ 粗大ごみの戸別有料収集の実施	⑤ 家庭ごみ等の有料化の実施	⑥ 資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備	⑦ 集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進	⑧ ワケルくんを用いた100万人のごみ減量大作戦キャンペーン等の広報事業	⑨ 仙台市リサイクルプラザの設置(葛岡、今泉)	⑩ 環境施設を見る会(ワケルくんバス)の実施
1人	208	174	149	123	117	117	103	106	63	32
2人	343	291	262	236	214	203	201	153	110	57
3人	208	167	137	124	120	120	105	91	68	32
4人	159	134	113	85	112	92	94	62	58	22
5人	48	48	35	35	33	32	35	17	21	7
6人	21	17	12	10	5	14	13	11	7	2
7人以上	10	7	7	5	3	5	7	2	4	0
無回答	9	5	4	5	7	5	4	2	3	1
全体	1,006	843	719	623	611	588	562	444	334	153

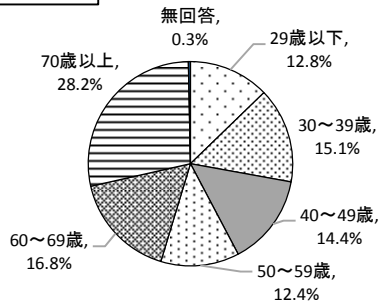
	たい肥化容器・電気式生ごみ処理機の購入費補助事業の実施	ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペン」の実施	リサイクル可能な紙類の焼却工場への持ち込み規制の強化	ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(www.gomi100.com)の開設	仙台市たい肥化センター設置によるリサイクルたい肥「杜のめぐみ」提供	乾燥生ごみと野菜等の交換事業	環境配慮型店舗・事業所(ニコニコショップ・オフィス)認定制度の実施	食器洗浄車「ワケルモービル」の貸し出し事業の実施	その他	無回答	全体
1人	29	36	24	27	29	24	16	9	8	27	298
2人	55	57	45	44	37	39	18	12	5	21	425
3人	31	30	24	17	16	21	22	11	9	22	275
4人	23	16	18	10	15	12	8	7	4	11	211
5人	7	7	5	5	5	4	7	2	0	1	63
6人	3	2	3	3	3	2	3	3	0	3	26
7人以上	2	0	3	0	0	0	1	0	0	2	14
無回答	2	1	0	0	1	1	0	1	0	1	10
全体	152	149	122	106	106	103	75	45	26	88	1,322



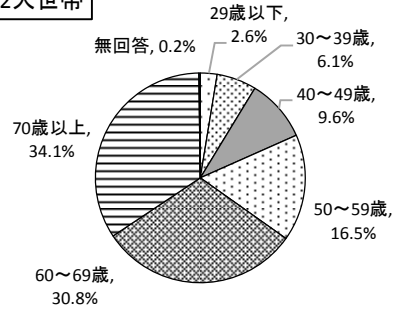


【参考】アンケート回答者の各世帯人数における年齢構成

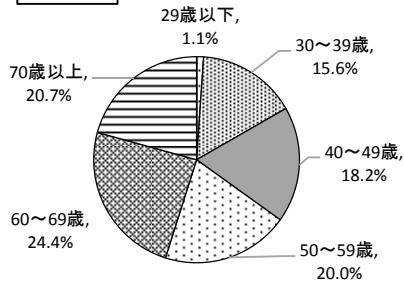
1人世帯



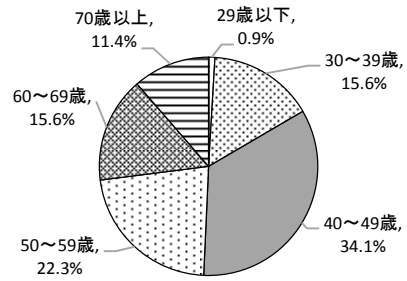
2人世帯



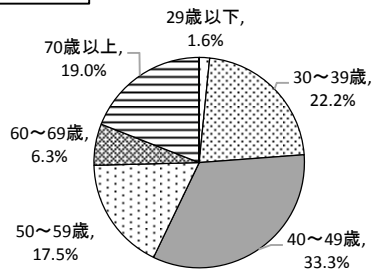
3人世帯



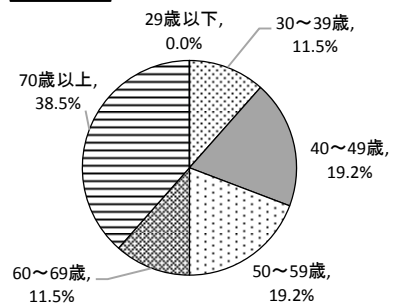
4人世帯



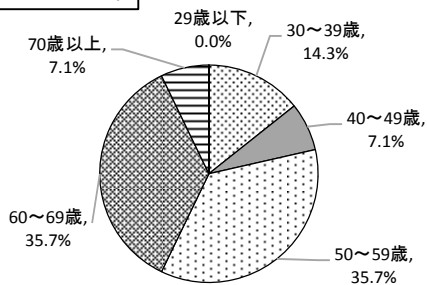
5人世帯



6人世帯



7人以上の世帯

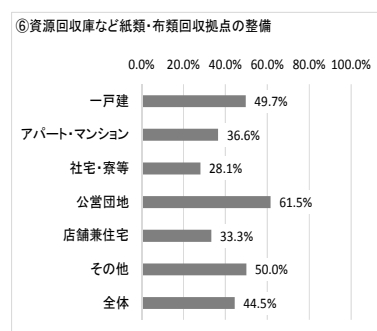
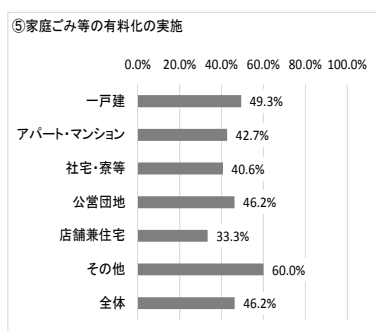
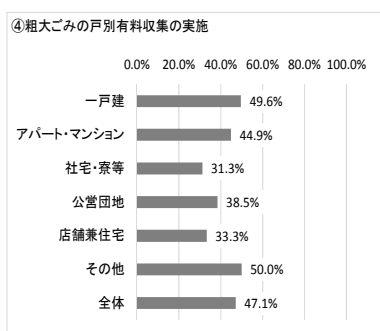
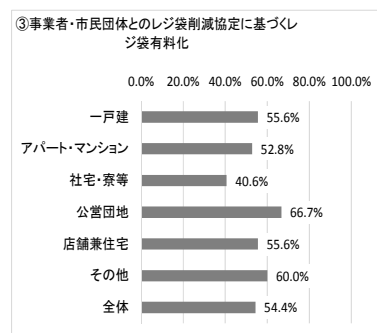
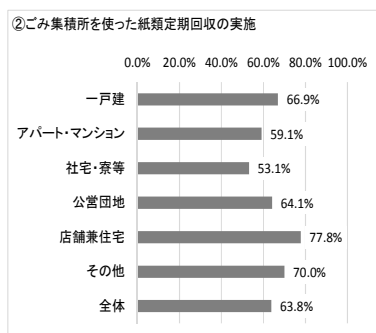
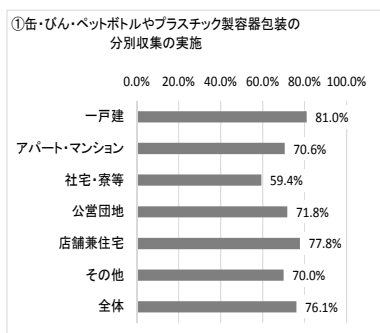


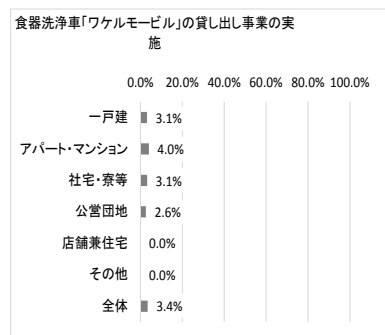
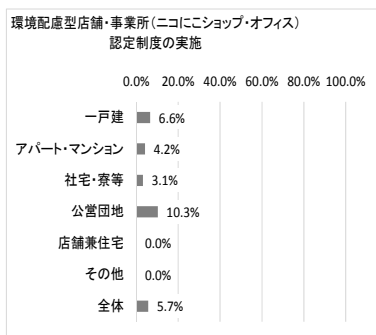
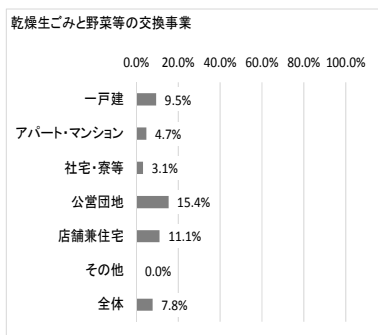
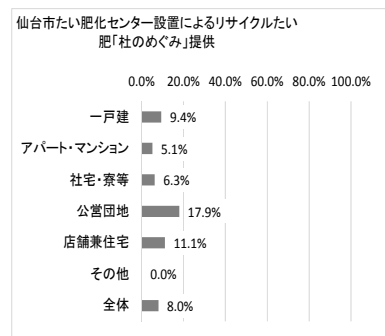
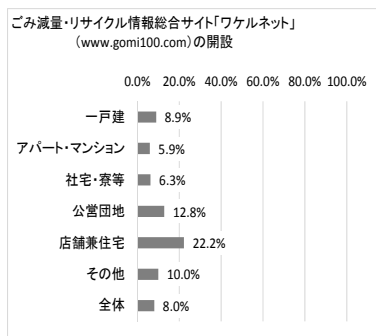
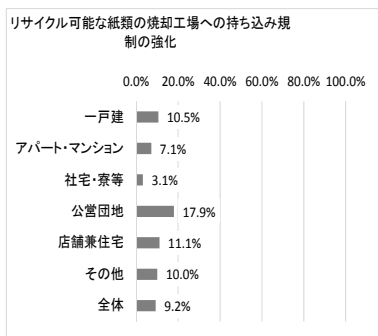
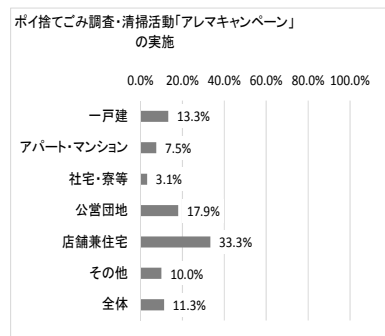
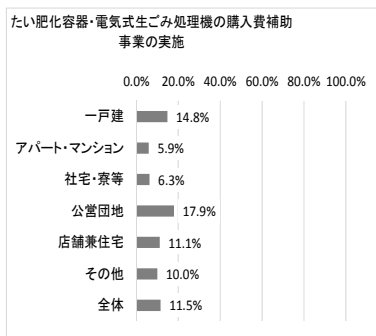
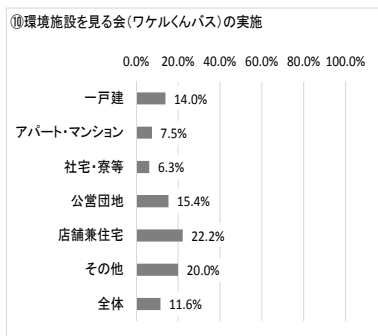
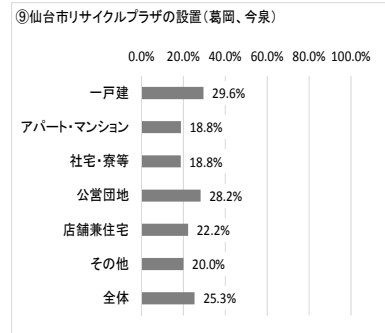
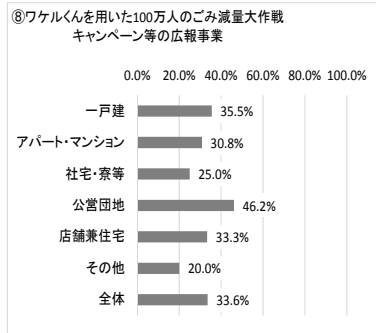
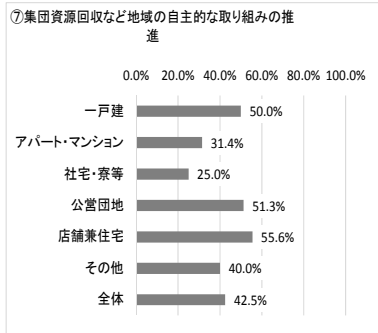
●居住形態

居住形態で見ると、「缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集」や「資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備」、「集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進」の項目で、アパート・マンションは一戸建よりも10%以上回答比率が低い。

	① 缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集の実施	② ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施	③ 事業者・市民団体とのレジ袋削減協定に基づくレジ袋有料化	④ 粗大ごみの戸別有料収集の実施	⑤ 家庭ごみ等の有料化の実施	⑥ 資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備	⑦ 集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進	⑧ ワケルくんを用いた100万人のごみ減量大作戦キャンペーン等の広報事業	⑨ 仙台市リサイクルプラザの設置(葛岡、今泉)	⑩ 環境施設を見る会(ワケルくんバス)の実施
一戸建	580	479	398	355	353	356	358	254	212	100
アパート・マンション	357	299	267	227	216	185	159	156	95	38
社宅・寮等	19	17	13	10	13	9	8	8	6	2
公営団地	28	25	26	15	18	24	20	18	11	6
店舗兼住宅	7	7	5	3	3	3	5	3	2	2
その他	7	7	6	5	6	5	4	2	2	2
無回答	8	9	4	8	2	6	8	3	6	3
全体	1,006	843	719	623	611	588	562	444	334	153

	たい肥化容器・電気式生ごみ処理機の購入費補助事業の実施	ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」の実施	リサイクル可能な紙類の焼却工場への持ち込み規制の強化	ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(www.gomi100.com)の開設	仙台市たい肥化センター設置によるリサイクルたい肥「社のめぐみ」提供	乾燥生ごみと野菜等の交換事業	環境配慮型店舗・事業所(ニコニコショップ・オフィス)認定制度の実施	食器洗浄機「ワケルモビル」の貸出し事業の実施	その他	無回答	全体
一戸建	106	95	75	64	67	68	47	22	12	35	716
アパート・マンション	30	38	36	30	26	24	21	20	11	43	506
社宅・寮等	2	1	1	2	2	1	1	1	3	4	32
公営団地	7	7	7	5	7	6	4	1	0	4	39
店舗兼住宅	1	3	1	2	1	1	0	0	0	0	9
その他	1	1	1	1	0	0	0	0	0	2	10
無回答	5	4	1	2	3	3	2	1	0	0	10
全体	152	149	122	106	106	103	75	45	26	88	1,322





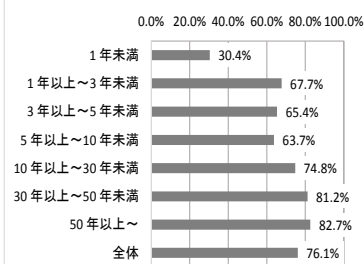
●居住年数

居住年数で見ると、「1年未満」と「3年以上～5年未満」と「5年以上～10年未満」では、「粗大ごみの個別有料収集の実施」や「集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進」、「家庭ごみ等の有料化の実施」の項目で全体平均に比べると回答比率が低くなっている。「ワケルくんを用いた広報事業」では居住年数が長くなるにつれて回答比率も高くなる。

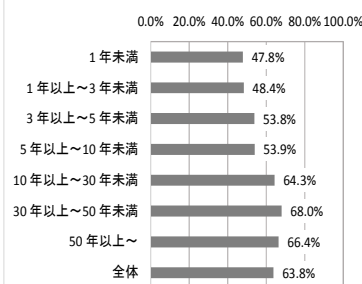
	① 缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集の実施	② ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施	③ 事業者・市民団体とのレジ袋削減協定に基づくレジ袋有料化	④ 粗大ごみの戸別有料収集の実施	⑤ 家庭ごみ等の有料化の実施	⑥ 資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備	⑦ 集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進	⑧ ワケルくんを用いた100万人のごみ減量大作戦キャンペーン等の広報事業	⑨ 仙台市リサイクルプラザの設置(葛岡、今泉)	⑩ 環境施設を見る会(ワケルくんバス)の実施
1年未満	7	11	7	7	3	5	3	4	3	1
1年以上～3年未満	42	30	38	27	21	14	18	9	9	3
3年以上～5年未満	34	28	23	17	13	20	10	9	5	4
5年以上～10年未満	65	55	40	27	33	34	24	28	6	2
10年以上～30年未満	291	250	214	183	201	181	166	133	101	43
30年以上～50年未満	337	282	236	211	205	200	198	157	133	51
50年以上～	224	180	159	145	131	132	138	103	74	48
無回答	6	7	2	6	4	2	5	1	3	1
全体	1,006	843	719	623	611	588	562	444	334	153

	たい肥化容器・電気式生ごみ処理機の購入費補助事業の実施	ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペン」の実施	リサイクル可能な紙類の焼却工場への持ち込み規制の強化	ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(www.gomi100.com)の開設	仙台市たい肥化センター設置によるリサイクルたい肥「社のめぐみ」提供	乾燥生ごみと野菜等の交換事業	環境配慮型店舗・事業所(ニコニコショップ・オフィス)認定制度の実施	食器洗浄車「ワケルモービル」の貸し出し事業の実施	その他	無回答	全体
1年未満	1	0	1	1	1	0	0	0	2	3	23
1年以上～3年未満	4	1	5	5	4	3	1	1	2	6	62
3年以上～5年未満	3	2	3	3	3	1	1	1	2	6	52
5年以上～10年未満	3	4	3	3	5	2	2	2	1	13	102
10年以上～30年未満	38	40	39	25	25	32	25	17	6	19	389
30年以上～50年未満	60	53	40	40	40	40	27	17	7	21	415
50年以上～	42	49	31	29	28	24	19	7	6	19	271
無回答	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	8
全体	152	149	122	106	106	103	75	45	26	88	1,322

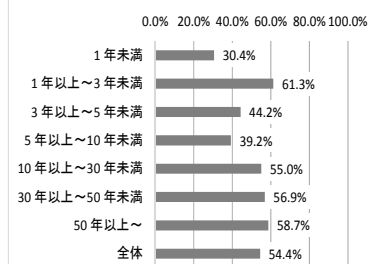
①缶・びん・ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別収集の実施



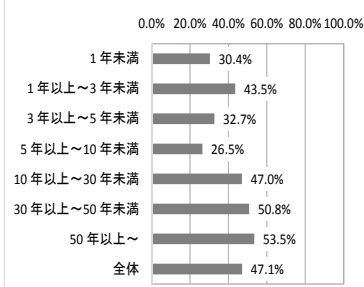
②ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施



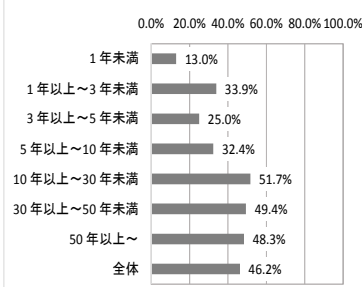
③事業者・市民団体とのレジ袋削減協定に基づくレジ袋有料化



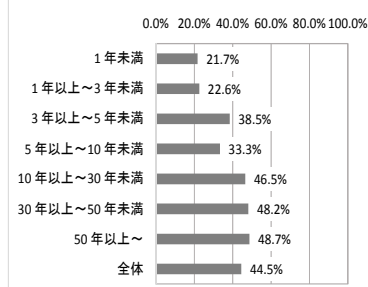
④粗大ごみの戸別有料収集の実施



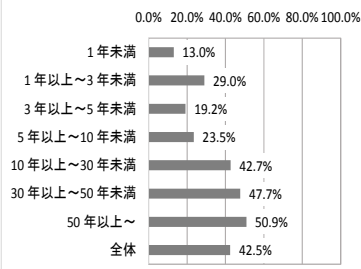
⑤家庭ごみ等の有料化の実施



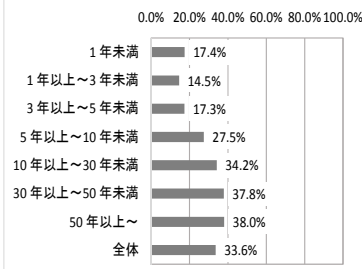
⑥資源回収庫など紙類・布類回収拠点の整備



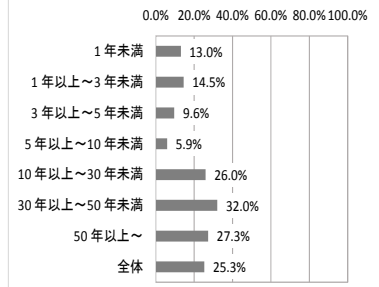
⑦集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進



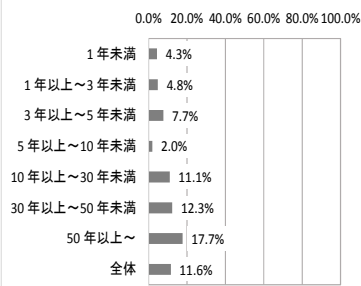
⑧ワケルくんを用いた100万人のごみ減量大作戦キャンペーン等の広報事業



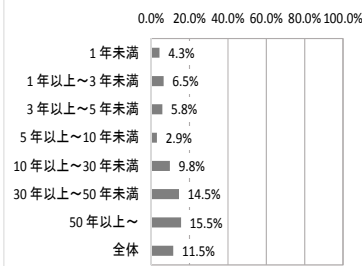
⑨仙台市リサイクルプラザの設置(葛岡、今泉)



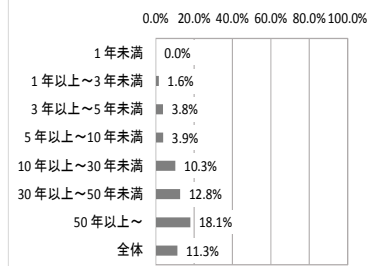
⑩環境施設を見る会(ワケルくんバス)の実施



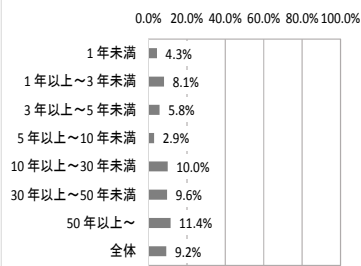
たい肥化容器・電気式生ごみ処理機の購入費補助事業の実施



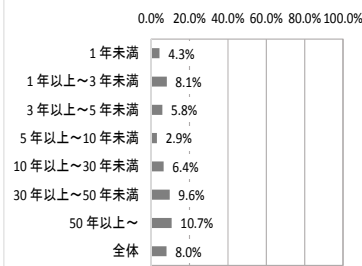
ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」の実施



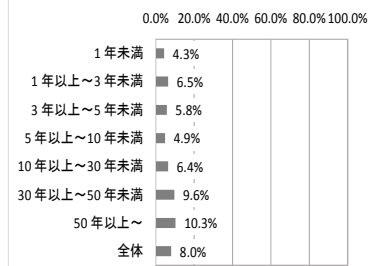
リサイクル可能な紙類の焼却工場への持ち込み規制の強化



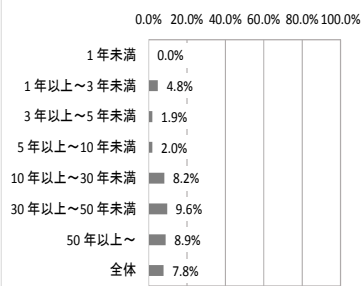
ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(www.gomi100.com)の開設



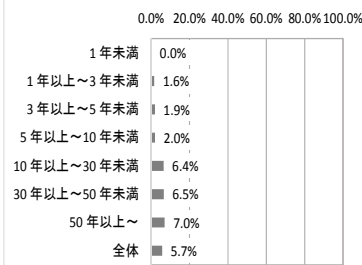
仙台市たい肥化センター設置によるリサイクルたい肥「社のめぐみ」提供



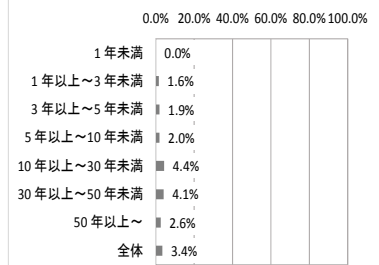
乾燥生ごみと野菜等の交換事業



環境配慮型店舗・事業所(ニコにこショップ・オフィス)認定制度の実施



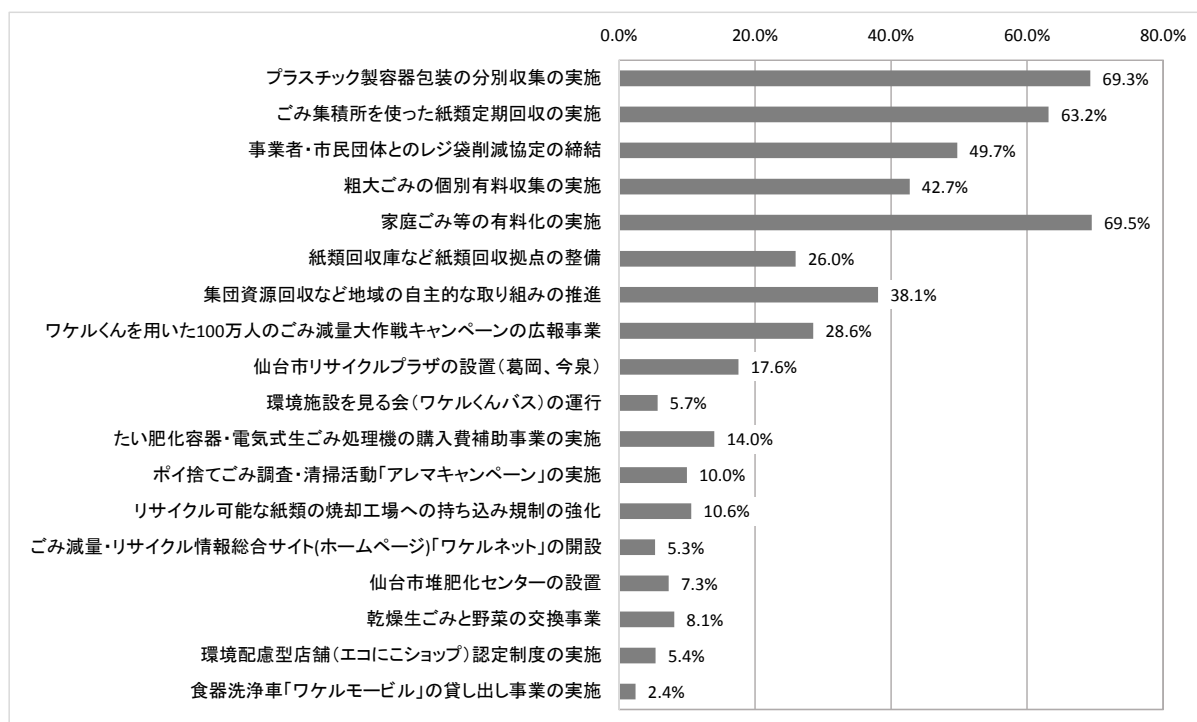
食器洗浄車「ワケルモバイル」の貸し出し事業の実施



③平成 21 年度調査結果との比較

前回調査と比較して、「家庭ごみ等の有料化の実施」の回答比率が大きく下がった。また、本設問の居住年数のクロス集計を前回クロス集計と比較すると、10 年未満の居住年数の回答比率が特に大きく下がったといえる。

選択肢	件数	調査
プラスチック製容器包装の分別収集の実施	939	69.3%
ごみ集積所を使った紙類定期回収の実施	856	63.2%
事業者・市民団体とのレジ袋削減協定の締結	674	49.7%
粗大ごみの個別有料収集の実施	579	42.7%
家庭ごみ等の有料化の実施	942	69.5%
紙類回収庫など紙類回収拠点の整備	352	26.0%
集団資源回収など地域の自主的な取り組みの推進	516	38.1%
ワケルくんを用いた100万人のごみ減量大作戦キャンペーンの広報事業	387	28.6%
仙台市リサイクルプラザの設置(葛岡、今泉)	238	17.6%
環境施設を見る会(ワケルくんバス)の運行	77	5.7%
たい肥化容器・電気式生ごみ処理機の購入費補助事業の実施	190	14.0%
ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」の実施	135	10.0%
リサイクル可能な紙類の焼却工場への持ち込み規制の強化	144	10.6%
ごみ減量・リサイクル情報総合サイト(ホームページ)「ワケルネット」の開設	72	5.3%
仙台市堆肥化センターの設置	99	7.3%
乾燥生ごみと野菜の交換事業	110	8.1%
環境配慮型店舗(エコにこショップ)認定制度の実施	73	5.4%
食器洗浄車「ワケルモービル」の貸し出し事業の実施	33	2.4%
その他	8	0.6%
無回答	74	5.5%
全体	1,355	100.0%

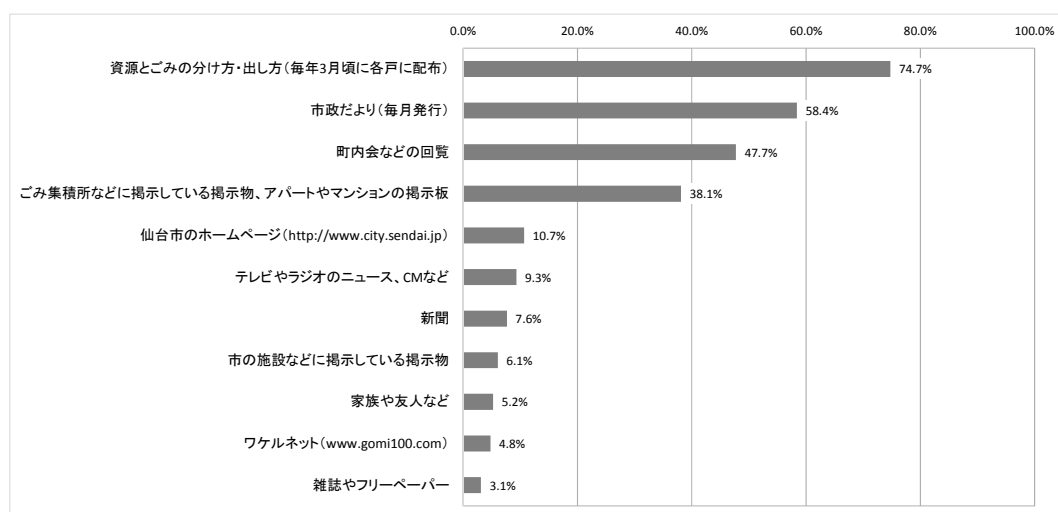


2 2) ごみに関する情報の収集方法 3 (4)

①単純推計(複数回答)

「資源とごみの分け方・出し方」が 74.7%で最も多く、次いで「市政だより」が 58.4%、「町内会などの回覧」が 47.7%となる。

選択肢	件数	割合
資源とごみの分け方・出し方(毎年3月頃に各戸に配布)	988	74.7%
市政だより(毎月発行)	772	58.4%
町内会などの回覧	631	47.7%
ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板	504	38.1%
仙台市のホームページ(http://www.city.sendai.jp)	141	10.7%
テレビやラジオのニュース、CMなど	123	9.3%
新聞	101	7.6%
市の施設などに掲示している掲示物	80	6.1%
家族や友人など	69	5.2%
ワケルネット(www.gomi100.com)	63	4.8%
雑誌やフリーペーパー	41	3.1%
その他	9	0.7%
無回答	36	2.7%
全体	1,322	100.0%



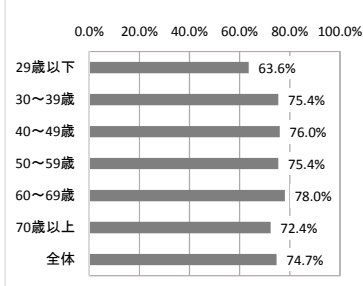
②クロス集計

●年齢

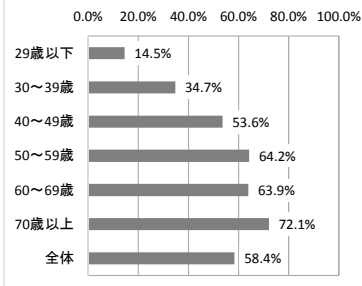
年齢で見ると、「市政だより」と「町内会などの回覧」の項目では、年齢が高まるにつれて回答比率も高まる傾向がある。絶対数は少ないが、「仙台市のホームページ」は29歳以下が最も多く、若い年代ほど回答比率が高くなっている。これは、スマートフォンなどの普及によると考えられる。

	① 資源とごみの 分け方・出し 方(毎年3月 頃に各戸に配 布)	② 市政だより (毎月発行)	③ 町内会など の回覧	④ ごみ集積所な どに掲示して いる掲示物、 アパートやマ ンションの掲 示板	⑤ 仙台市のホーム ページ (http://www.city.sendai.jp)	テレビやラジ オのニュー ス、CMなど	新聞	市の施設など に掲示してい る掲示物	家族や友人な ど	ワケルネット (www.gomi100.com)	雑誌やフリー ペーパー	その他	無回答	全体
29歳以下	35	8	4	21	16	5	0	5	8	2	5	1	1	55
30～39歳	126	58	38	73	33	14	7	8	11	16	11	1	3	167
40～49歳	177	125	69	84	34	19	17	4	8	12	5	1	8	233
50～59歳	175	149	104	84	27	18	12	9	6	9	7	2	5	232
60～69歳	231	189	178	112	13	28	32	22	10	9	4	2	8	296
70歳以上	241	240	233	127	18	38	33	31	26	15	9	2	11	333
無回答	3	3	5	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6
全体	988	772	631	504	141	123	101	80	69	63	41	9	36	1,322

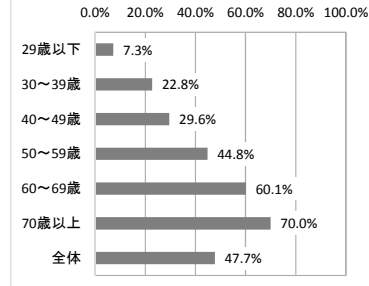
①資源とごみの分け方・出し方(毎年3月頃に各戸に配布)



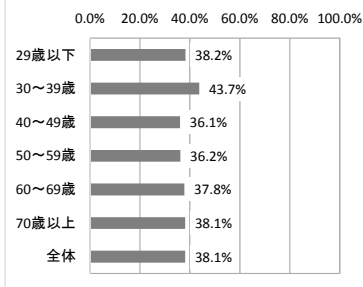
②市政だより(毎月発行)



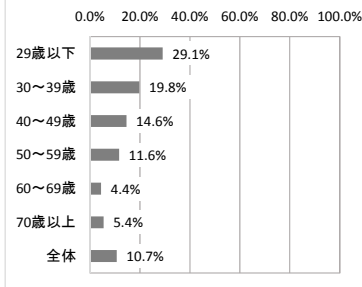
③町内会などの回覧



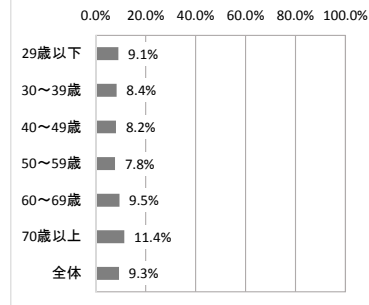
④ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板



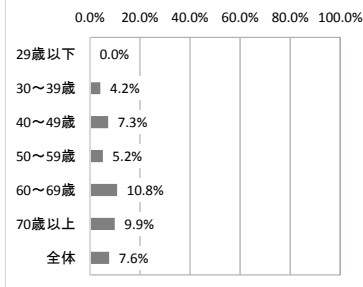
⑤仙台市のホームページ(<http://www.city.sendai.jp>)



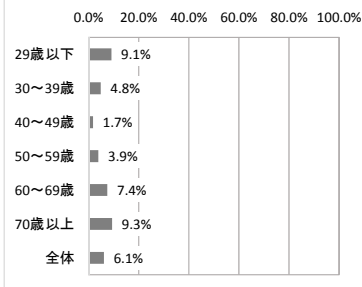
テレビやラジオのニュース、CMなど



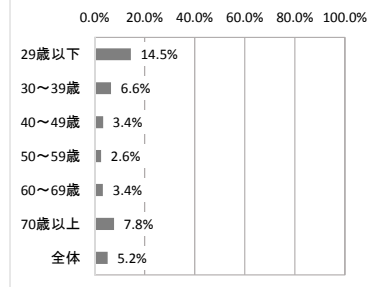
新聞

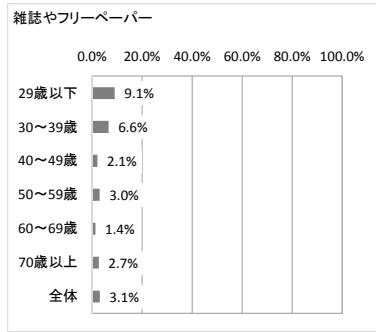
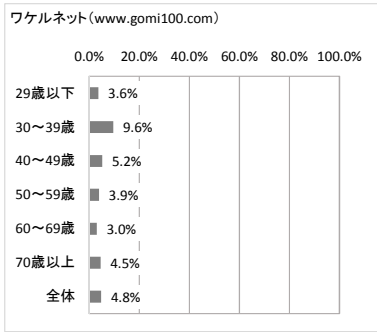


市の施設などに掲示している掲示物



家族や友人など

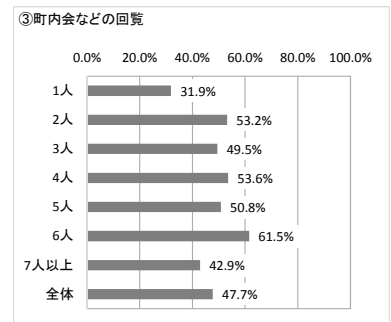
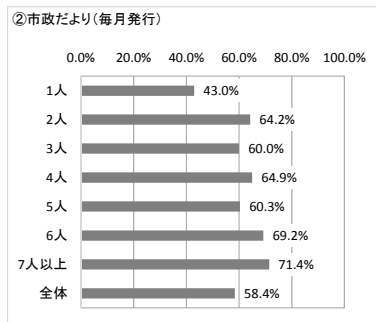
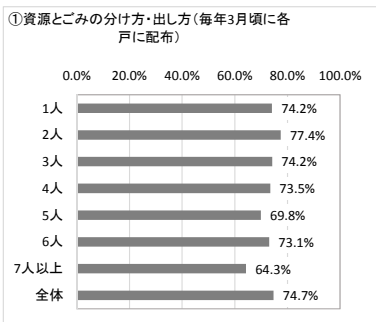


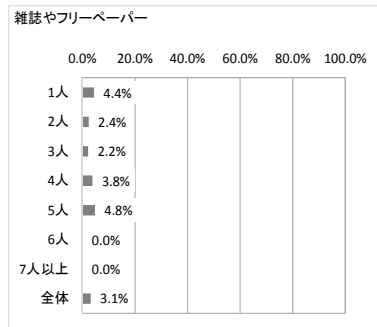
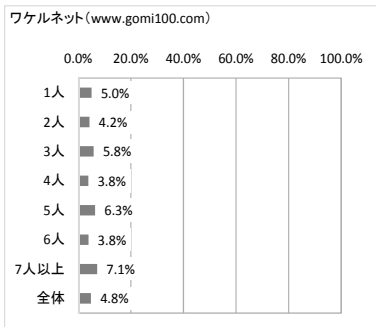
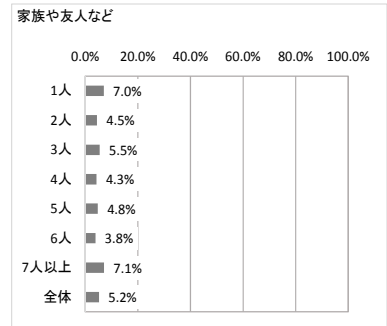
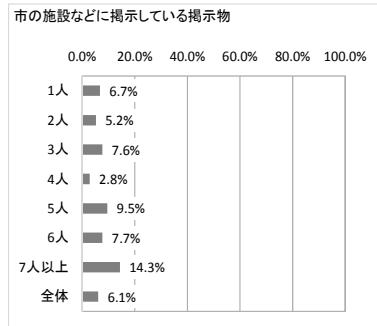
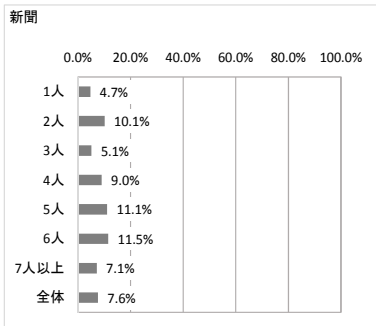
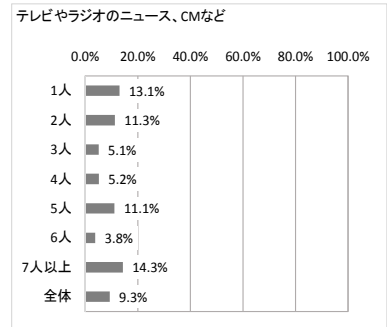
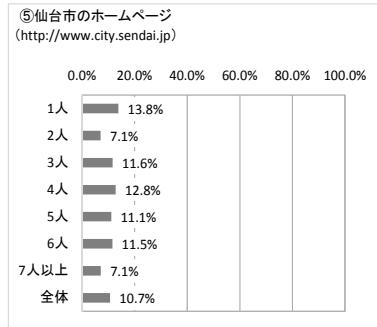
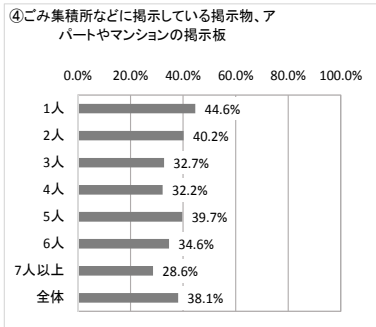


●世帯人数

世帯人数で見ると、「資源とごみの分け方・出し方」と「ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板」の項目は、世帯人数が増えるにつれて回答比率が低くなる傾向がある。一方で「市政だより」と「町内会などの回覧」の項目は、1人世帯では回答比率が低く、世帯人数が増えるにつれて回答比率は高くなる。

	① 資源とごみの分け方・出し方(毎年3月頃に各戸に配布)	② 市政だより(毎月発行)	③ 町内会などの回覧	④ ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板	⑤ 仙台市のホームページ(http://www.city.sendai.jp)	テレビやラジオのニュース、CMなど	新聞	市の施設などに掲示している掲示物	家族や友人など	ワケルネット(www.gomi100.com)	雑誌やフリーペーパー	その他	無回答	全体
1人	221	128	95	133	41	39	14	20	21	15	13	7	11	298
2人	329	273	226	171	30	48	43	22	19	18	10	1	7	425
3人	204	165	136	90	32	14	14	21	15	16	6	1	8	275
4人	155	137	113	68	27	11	19	6	9	8	8	0	5	211
5人	44	38	32	25	7	7	7	6	3	4	3	0	4	63
6人	19	18	16	9	3	1	3	2	1	1	0	0	1	26
7人以上	9	10	6	4	1	2	1	2	1	1	0	0	0	14
無回答	7	3	7	4	0	1	0	1	0	0	1	0	0	10
全体	988	772	631	504	141	123	101	80	69	63	41	9	36	1,322

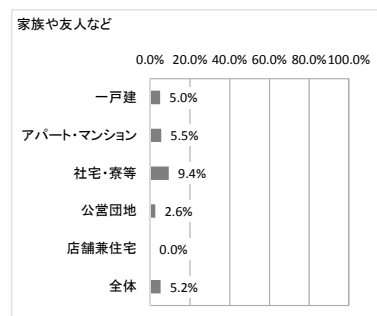
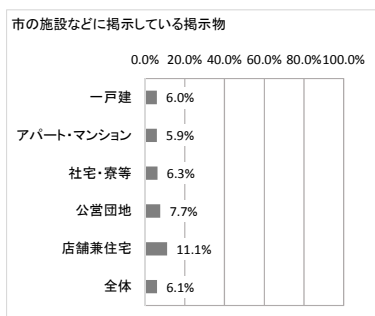
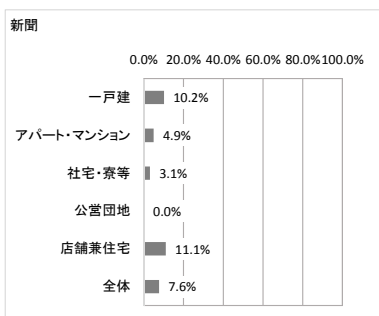
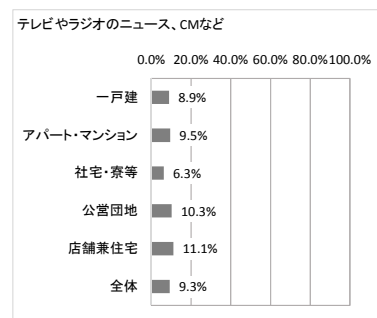
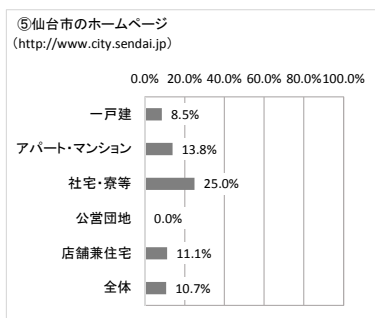
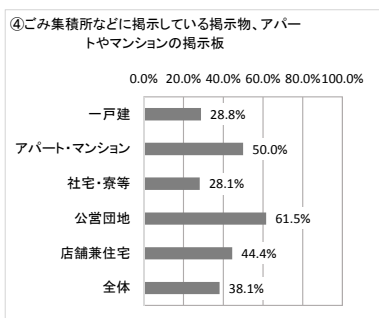
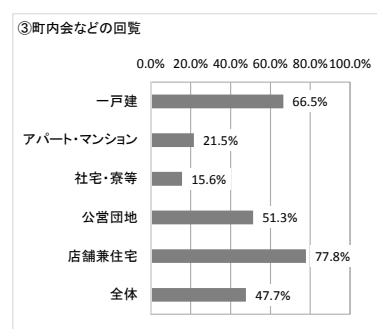
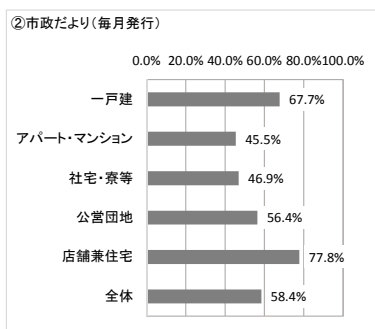
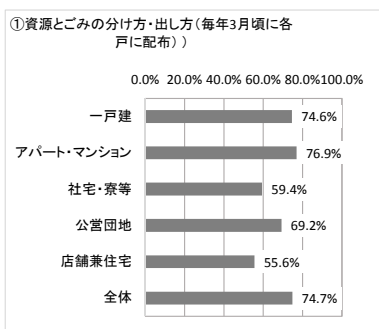


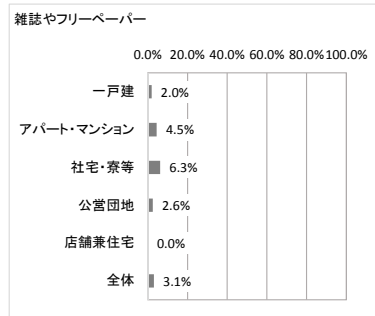
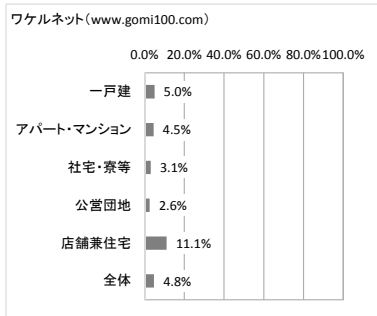


●居住形態

居住形態で見ると、一戸建は「市政だより」「町内などの回覧」の項目において回答比率が高くなっている。アパート・マンション、公営団地では、「ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板」の回答比率が高くなる。

	① 資源とごみの 分け方・出し 方(毎年3月 頃に各戸に配 布)	② 市政だより (毎月発行)	③ 町内会などの 回覧	④ ごみ集積所な どに掲示して いる掲示物、 アパートやマ ンションの掲 示板	⑤ 仙台市のホー ムページ (http://www. city.sendai.jp)	テレビやラジ オのニュー ス、CMなど	新聞	市の施設など に掲示してい る掲示物	家族や友人な ど	ワケルネット (www.gomi100.com)	雑誌やフリー ペーパー	その他	無回答	全体
一戸建	534	485	476	206	61	64	73	43	36	36	14	1	19	716
アパート・マンション	389	230	109	253	70	48	25	30	28	23	4	4	11	506
社宅・寮等	19	15	5	9	8	2	1	2	3	1	2	1	4	32
公営団地	27	22	20	24	0	4	0	3	1	1	1	1	0	39
店舗兼住宅	5	7	7	4	1	1	1	1	0	1	0	1	0	9
その他	6	7	5	3	1	3	1	0	0	1	1	1	1	10
無回答	8	6	9	5	0	1	0	1	1	0	0	0	1	10
全体	988	772	631	504	141	123	101	80	69	63	41	9	36	1,322

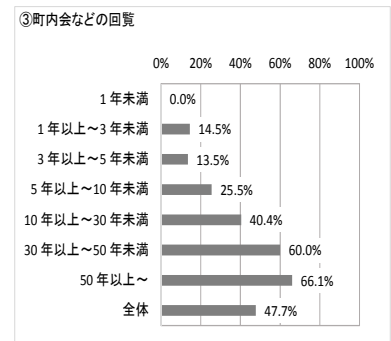
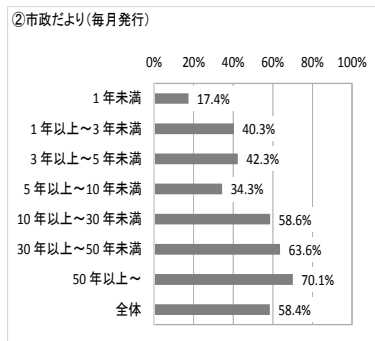
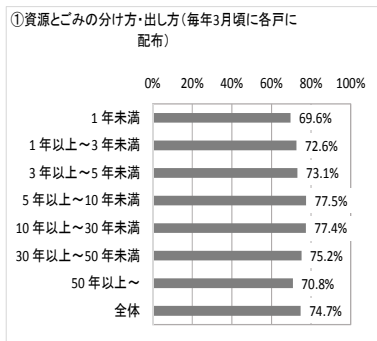


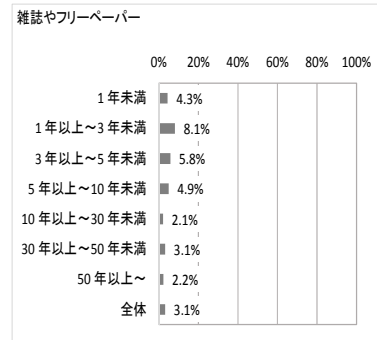
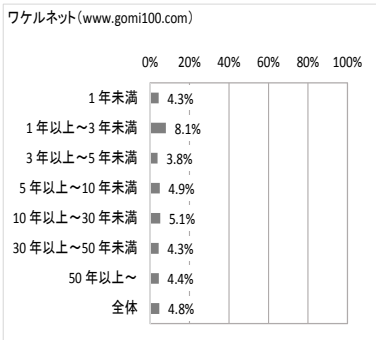
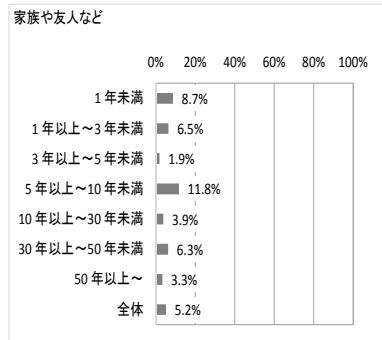
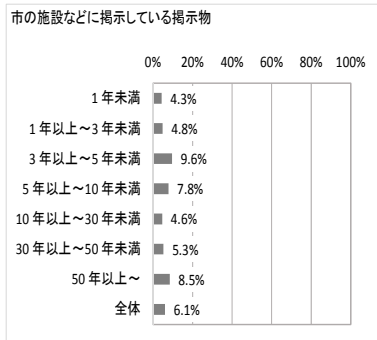
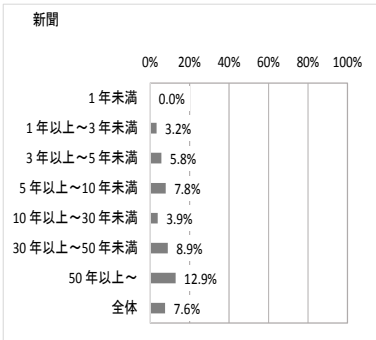
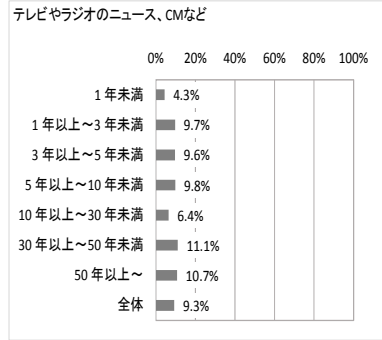
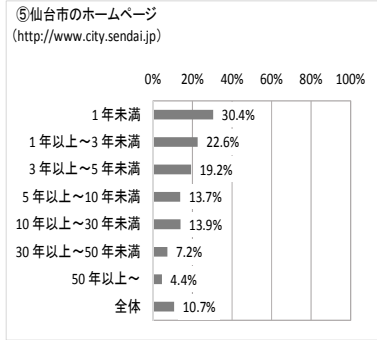
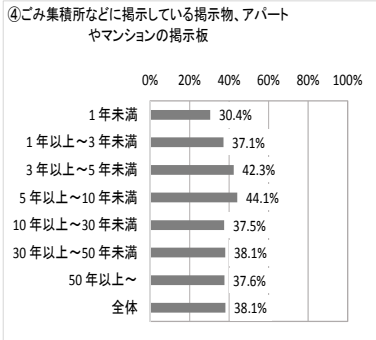


●居住年数

「市政だより」や「町内などの回覧」、「新聞」の項目では、居住年数が長くなるにつれて回答比率も高くなる傾向がある。他方、「仙台市のホームページ」は居住年数が短いほど回答比率は高い。

	資源とごみの分け方・出し方(毎年3月頃に各戸に配布)	市政だより(毎月発行)	町内会などの回覧	ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示物	仙台市のホームページ(http://www.city.sendai.jp)	テレビやラジオのニュース、CMなど	新聞	市の施設などに掲示している掲示物	家族や友人など	ワケルネット(www.gomi100.com)	雑誌やフリーペーパー	その他	無回答	全体
1年未満	16	4	0	7	7	1	0	1	2	1	1	0	2	23
1年以上～3年未満	45	25	9	23	14	6	2	3	4	5	5	1	1	62
3年以上～5年未満	38	22	7	22	10	5	3	5	1	2	3	1	2	52
5年以上～10年未満	79	35	26	45	14	10	8	8	12	5	5	2	1	102
10年以上～30年未満	301	228	157	146	54	25	15	18	15	20	8	2	8	389
30年以上～50年未満	312	264	249	158	30	46	37	22	26	18	13	3	13	415
50年以上～	192	190	179	102	12	29	35	23	9	12	6	0	7	271
無回答	5	4	4	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	8
全体	988	772	631	504	141	123	101	80	69	63	41	9	36	1,322

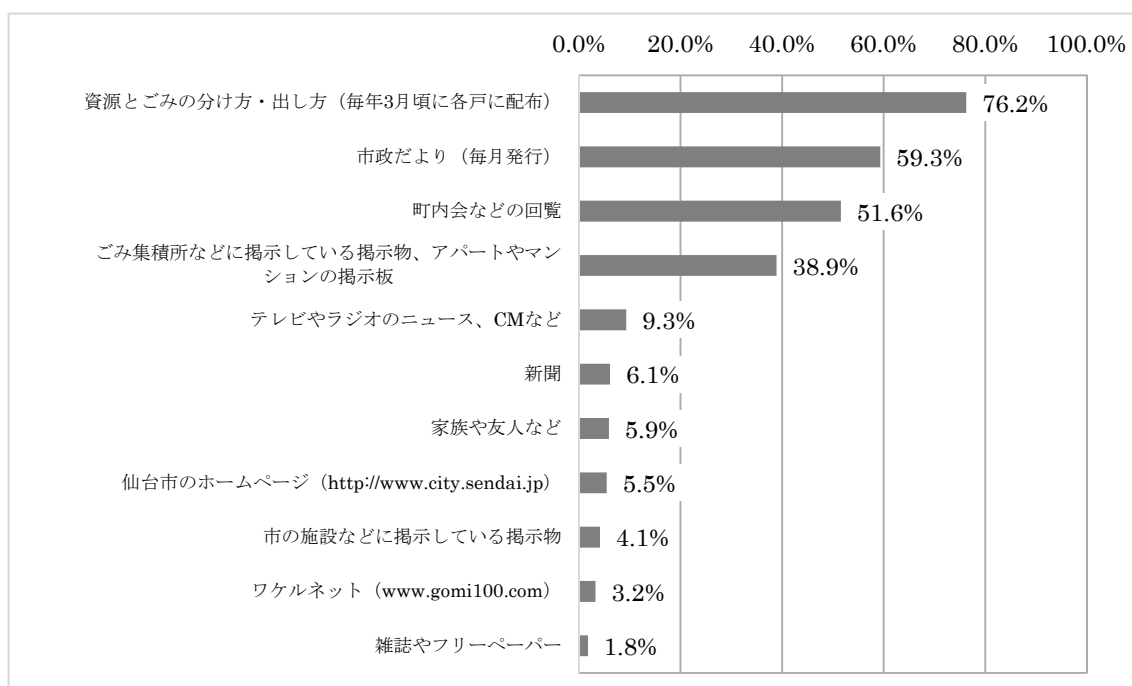




③平成 21 年度調査結果との比較

前回調査では、「仙台市のホームページ」の回答比率が 5.5%だったのに対し、本調査では 10.7%と大きく増えている。本調査のクロス集計でも、29 歳以下では全体平均の高い「市政だより」よりも「仙台市のホームページ」の方が回答比率が高かった。この要因として、スマートフォンやタブレットの普及により、インターネットにアクセスしやすい環境が整ったことが考えられる。

選択肢	件数	割合
資源とごみの分け方・出し方(毎年3月頃に各戸に配布)	1,033	76.2%
市政だより(毎月発行)	804	59.3%
町内会などの回覧	699	51.6%
ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板	527	38.9%
テレビやラジオのニュース、CMなど	126	9.3%
新聞	83	6.1%
家族や友人など	80	5.9%
仙台市のホームページ(http://www.city.sendai.jp)	74	5.5%
市の施設などに掲示している掲示物	56	4.1%
ワケルネット(www.gomi100.com)	44	3.2%
雑誌やフリーペーパー	24	1.8%
その他	11	0.8%
無回答	22	1.6%
全体	1,355	100.0%

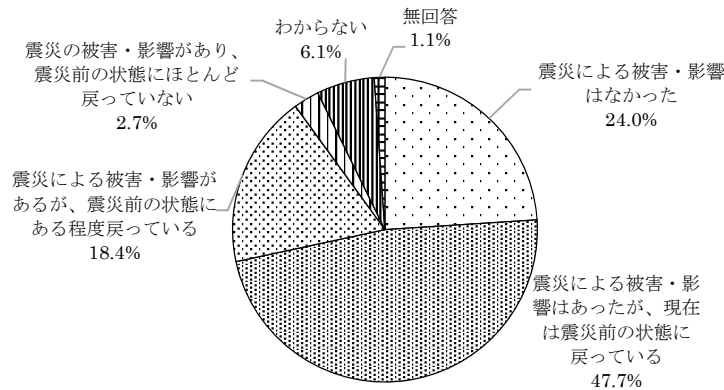


23) 震災以降の地域住宅の復興・回復状況 4 (1)

①単純集計 (単一回答)

「震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている」が 47.7%で最も多く、次いで「震災による被害・影響はなかった」が 24.0%、「震災による被害・影響はあったが、震災前の状態にある程度戻っている」が 18.4%となる。

選択肢	件数	割合
震災による被害・影響はなかった	317	24.0%
震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	630	47.7%
震災による被害・影響はあるが、震災前の状態にある程度戻っている	243	18.4%
震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	36	2.7%
わからない	81	6.1%
無回答	15	1.1%
全体	1,322	100.0%



【参考】「23) 震災以降の地域住宅の復興・回復状況」にて「わからない」と回答した 81 件の回答者の居住区は、青葉区が 43.2%で最も高い。居住年数で見ると、「1年以上～3年未満」が 37%で最も高い。「30) 震災前後におけるごみ分別に関する行動の変化」における回答内容は、「行動に変化はない」が 70.4%で最も高い。

選択肢	件数	割合
青葉区	35	43.2%
宮城野区	4	4.9%
若林区	13	16.0%
太白区	14	17.3%
泉区	15	18.5%
無回答	0	0.0%
全体	81	100.0%

選択肢	件数	割合
1年未満	13	16.0%
1年以上～3年未満	30	37.0%
3年以上～5年未満	13	16.0%
5年以上～10年未満	7	8.6%
10年以上～30年未満	5	6.2%
30年以上～50年未満	8	9.9%
50年以上～	4	4.9%
無回答	1	1.2%
全体	81	100.0%

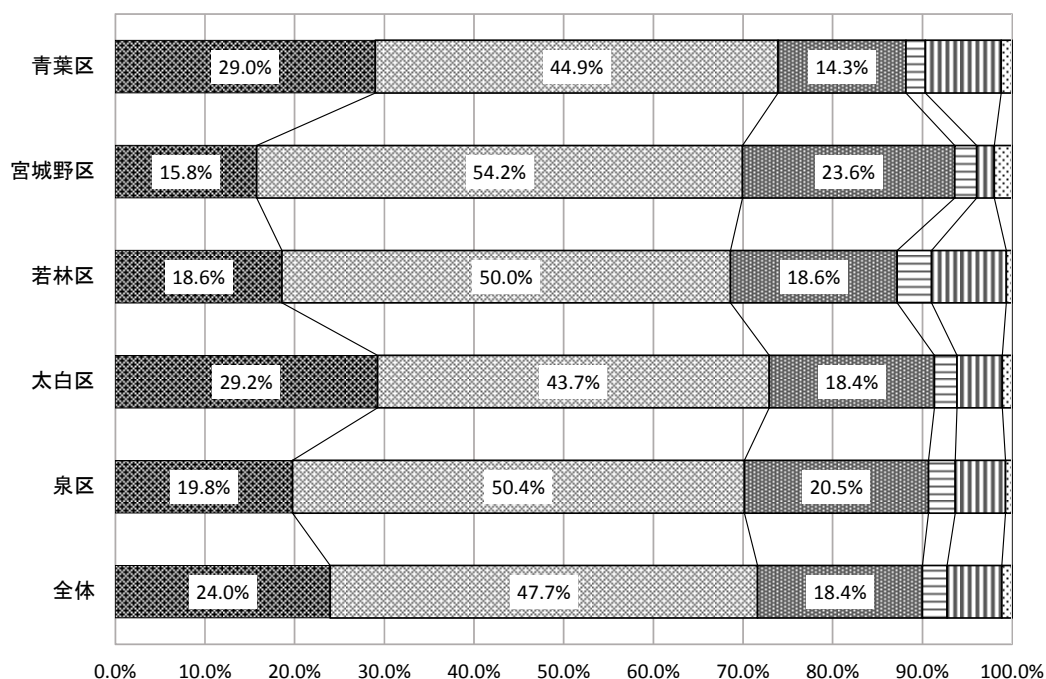
選択肢	件数	割合
震災前後で、ごみの分別に関する行動に変化はない	57	70.4%
震災前よりも、缶・びん・ペットボトルの分別を徹底するようになった	1	1.2%
震災前よりも、紙類の分別を徹底するようになった	1	1.2%
震災前よりも、プラスチック製容器包装の分別を徹底するようになった	0	0.0%
震災後、プラスチック製容器包装を分別しなくなった	7	8.6%
震災後、紙類を分別しなくなった	4	4.9%
震災後、缶・びん・ペットボトルを分別しなくなった	7	8.6%
無回答	14	17.3%
全体	81	100.0%

②クロス集計

●居住区

青葉区と太白区では「震災による被害・影響はなかった」の回答比率が高い。宮城野区では他区よりも「現在は震災前の状態に戻っている」、「震災前の状態にある程度戻っている」の回答比率がいずれも高くなっている。

	震災による被害・影響はなかった	震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている	震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	わからない	無回答	全体
青葉区	120	186	59	9	35	5	414
宮城野区	32	110	48	5	4	4	203
若林区	29	78	29	6	13	1	156
太白区	81	121	51	7	14	3	277
泉区	53	135	55	8	15	2	268
無回答	2	0	1	1	0	0	4
全体	317	630	243	36	81	15	1,322



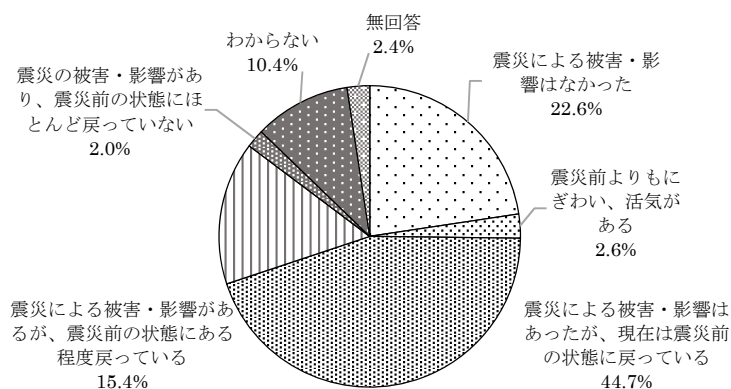
- 震災による被害・影響はなかった
- 震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている
- 震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている
- 震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない
- ▨ わからない
- ▨ 無回答

24) 震災以降の商店街のにぎわい、地域社会生活の復興・回復状況 4 (2)

①単純集計 (単一回答)

「震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている」が 44.7%と最も多く、次いで「震災による被害・影響はなかった」が 22.6%、「震災による被害・影響はあったが、震災前の状態にある程度戻っている」が 15.4%となる。

選択肢	件数	割合
震災による被害・影響はなかった	299	22.6%
震災前よりもにぎわい、活気がある	34	2.6%
震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	591	44.7%
震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている	203	15.4%
震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	26	2.0%
わからない	137	10.4%
無回答	32	2.4%
全体	1,322	100.0%

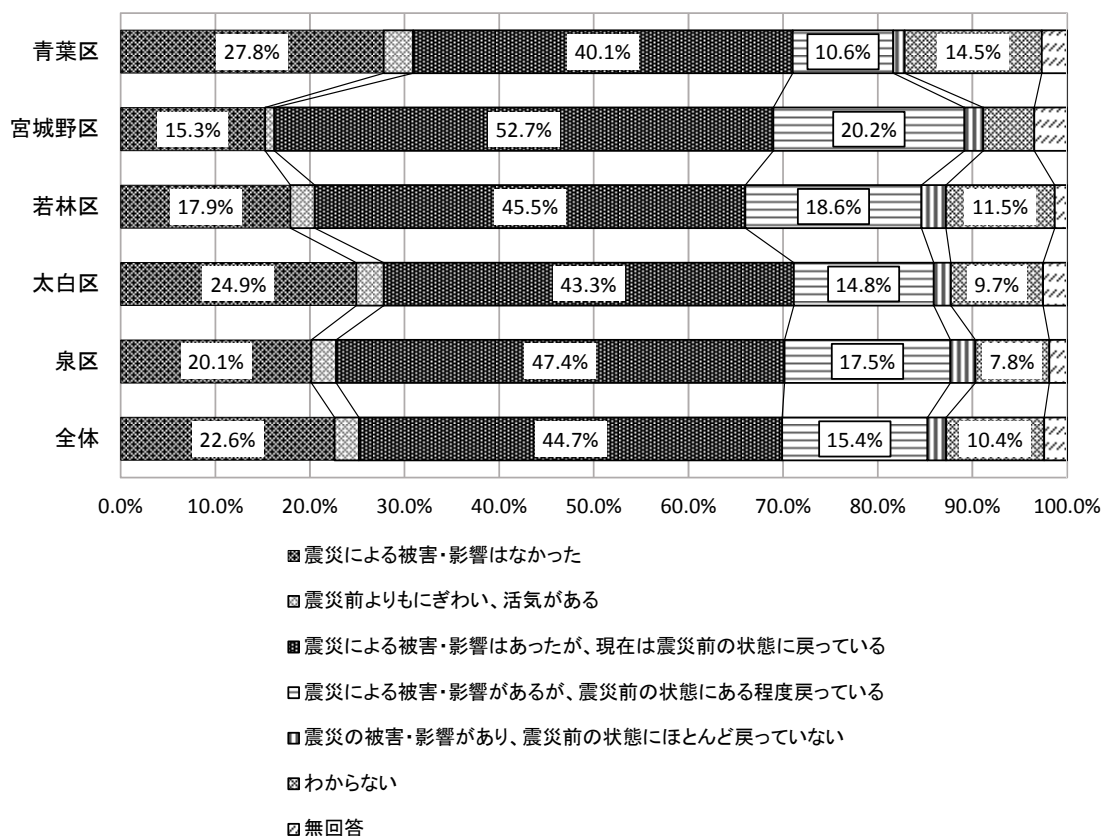


②クロス集計

●居住区

宮城野区では「震災前の状態に戻っている」、「震災前の状態にある程度戻っている」の回答比率が他区よりも高くなっている。

	震災による被害・影響はなかった	震災前よりもにぎわい、活気がある	震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている	震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	わからない	無回答	全体
青葉区	115	13	166	44	5	60	11	414
宮城野区	31	2	107	41	4	11	7	203
若林区	28	4	71	29	4	18	2	156
太白区	69	8	120	41	5	27	7	277
泉区	54	7	127	47	7	21	5	268
無回答	2	0	0	1	1	0	0	4
全体	299	34	591	203	26	137	32	1,322

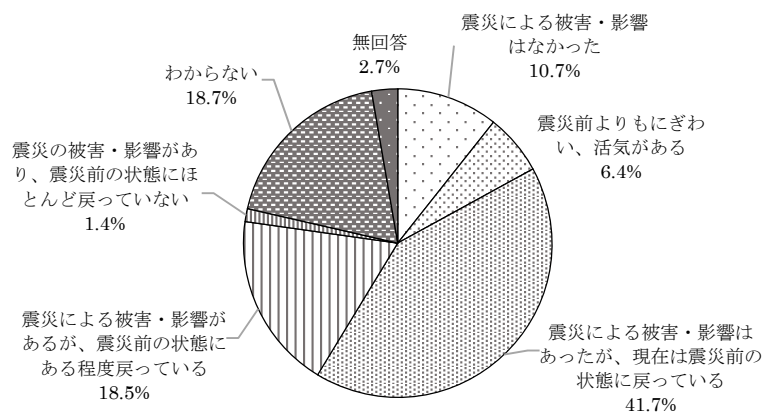


25) 仙台市中心部の繁華街等の活気 4(3)

①単純集計(単一回答)

「震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている」が41.7%と最も多く、「わからない」が18.7%、「震災による被害・影響はあるが、震災前の状態にある程度戻っている」が18.5%となる。

選択肢	件数	割合
震災による被害・影響はなかった	141	10.7%
震災前よりもにぎわい、活気がある	84	6.4%
震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	551	41.7%
震災による被害・影響はあるが、震災前の状態にある程度戻っている	245	18.5%
震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	18	1.4%
わからない	247	18.7%
無回答	36	2.7%
全体	1,322	100.0%

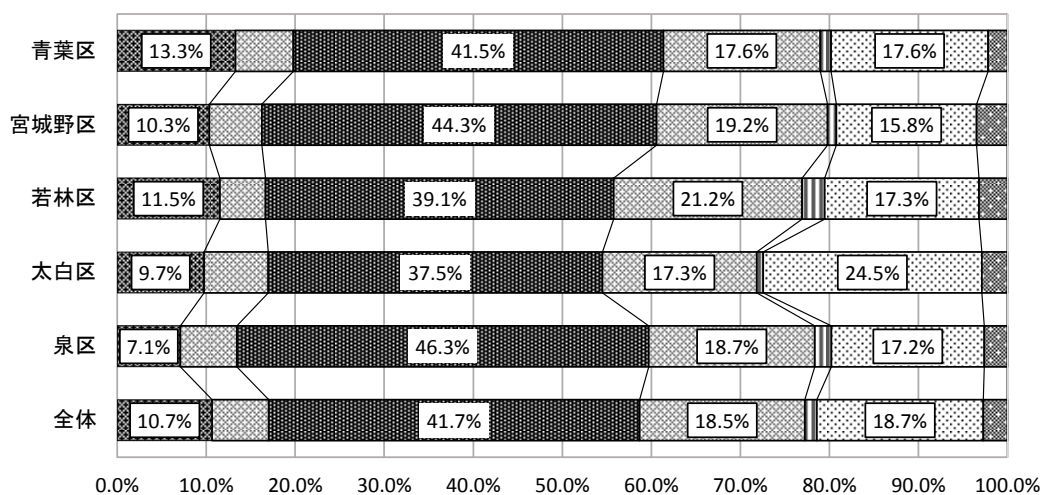


②クロス集計

●居住区

青葉区では「震災による被害・影響はなかった」が他区よりも若干高い。その他の項目の回答比率を比較しても大きな差はあまりない。

	震災による被害・影響はなかった	震災前よりもにぎわい、活気がある	震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている	震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	わからない	無回答	全体
青葉区	55	27	172	73	5	73	9	414
宮城野区	21	12	90	39	2	32	7	203
若林区	18	8	61	33	4	27	5	156
太白区	27	20	104	48	2	68	8	277
泉区	19	17	124	50	5	46	7	268
無回答	1	0	0	2	0	1	0	4
全体	141	84	551	245	18	247	36	1,322



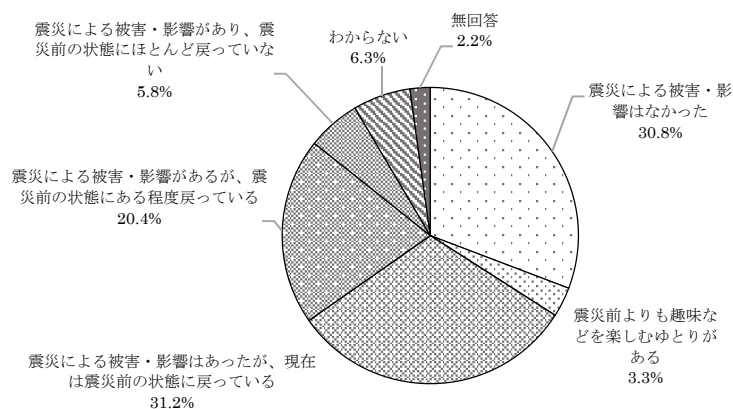
- 震災による被害・影響はなかった
- 震災前よりもにぎわい、活気がある
- 震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている
- 震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている
- 震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない
- わからない
- 無回答

26) 震災以降の趣味など楽しむゆとり 4(4)

①単純集計(単一回答)

「震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている」が31.2%で最も多く、次いで「震災による影響はなかった」が30.8%となる。

選択肢	件数	割合
震災による被害・影響はなかった	407	30.8%
震災前よりも趣味などを楽しむゆとりがある	43	3.3%
震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	413	31.2%
震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている	270	20.4%
震災による被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	77	5.8%
わからない	83	6.3%
無回答	29	2.2%
全体	1,322	100.0%

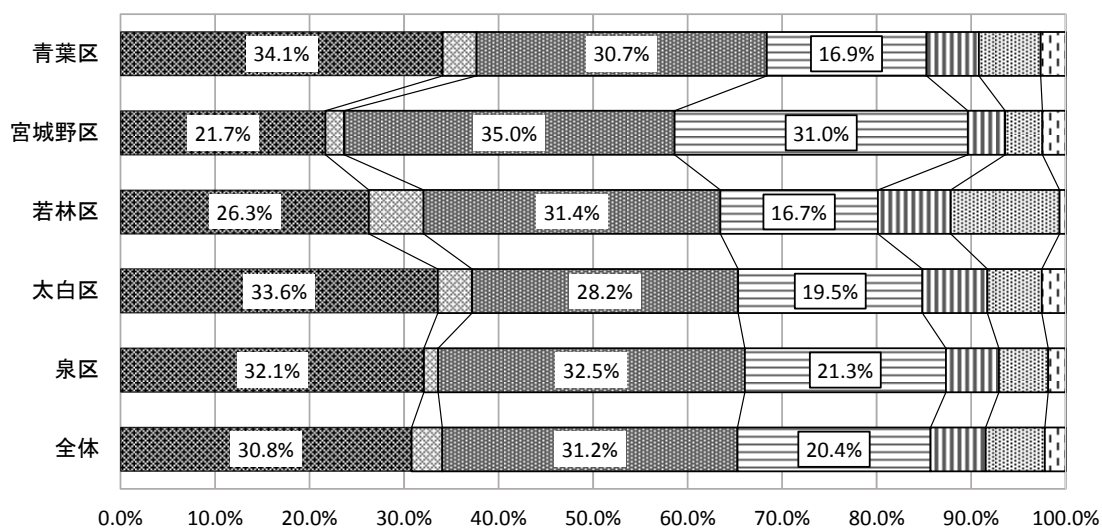


②クロス集計

●居住区

宮城野区は他区よりも「震災による被害・影響はなかった」の回答比率が最も低く、「震災前の状態に戻っている」と「震災前の状態にある程度戻っている」の回答比率が最も高い。

	震災による被害・影響はなかった	震災前よりも趣味などを楽しむゆとりがある	震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている	震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている	震災による被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない	わからない	無回答	全体
青葉区	141	15	127	70	23	27	11	414
宮城野区	44	4	71	63	8	8	5	203
若林区	41	9	49	26	12	18	1	156
太白区	93	10	78	54	19	16	7	277
泉区	86	4	87	57	15	14	5	268
無回答	2	1	1	0	0	0	0	4
全体	407	43	413	270	77	83	29	1,322



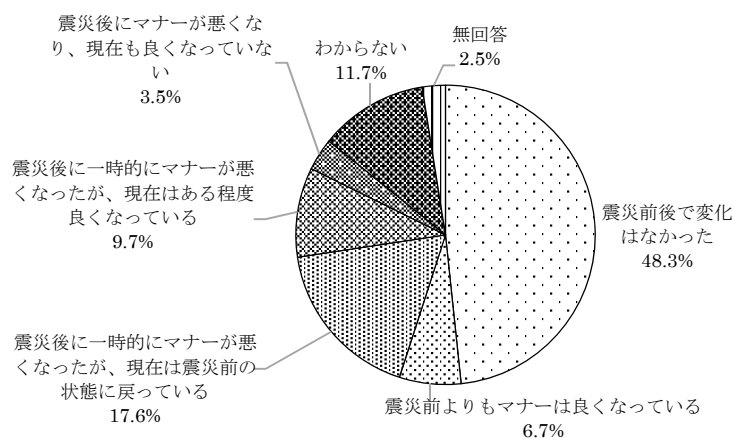
- 震災による被害・影響はなかった
- 震災前よりも趣味などを楽しむゆとりがある
- 震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている
- 震災による被害・影響があるが、震災前の状態にある程度戻っている
- 震災による被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない
- わからない
- 無回答

27) 震災以降のごみ排出マナー 4 (5)

①単純集計 (単一回答)

「震災前後で変化はなかった」が48.3%で最も多く、次いで「震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在は震災前の状態に戻っている」が17.6%となる。

選択肢	件数	割合
震災前後で変化はなかった	639	48.3%
震災前よりもマナーは良くなっている	88	6.7%
震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在は震災前の状態に戻っている	233	17.6%
震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在はある程度良くなっている	128	9.7%
震災後にマナーが悪くなり、現在も良くなっていない	46	3.5%
わからない	155	11.7%
無回答	33	2.5%
全体	1,322	100.0%



【参考】「27) 震災以降のごみ排出マナー」に関して、「わからない」と回答した155件の回答者の居住区は青葉区が40.6%で最も高い。居住年数で見ると、「1年以上～3年未満」が最も高く、次いで「30年以上～50年未満」が19.4%となる。「30) 震災前後におけるごみ分別に関する行動の変化」では、「行動に変化はない」が76.1%と最も高い。

選択肢	件数	割合
青葉区	63	40.6%
宮城野区	17	11.0%
若林区	19	12.3%
太白区	30	19.4%
泉区	26	16.8%
無回答	0	0.0%
全体	155	100.0%

選択肢	件数	割合
1年未満	19	12.3%
1年以上～3年未満	42	27.1%
3年以上～5年未満	18	11.6%
5年以上～10年未満	13	8.4%
10年以上～30年未満	23	14.8%
30年以上～50年未満	30	19.4%
50年以上～	9	5.8%
無回答	1	0.6%
全体	155	100.0%

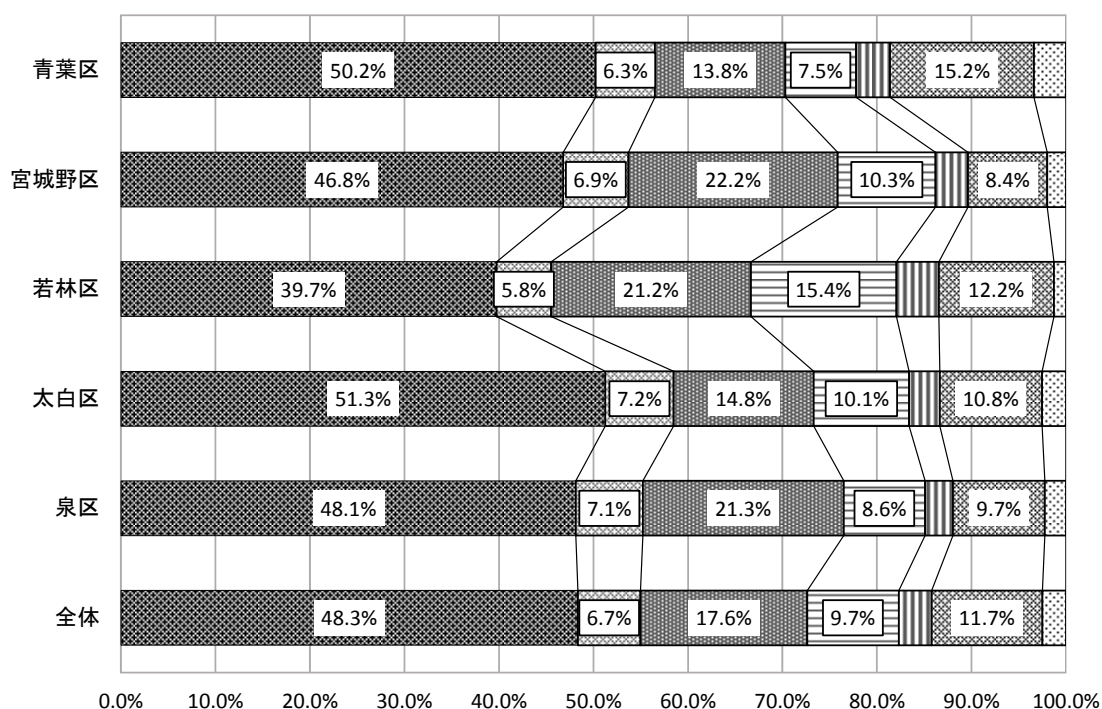
選択肢	件数	割合
震災前後で、ごみの分別に関する行動に変化はない	118	76.1%
震災後、紙類を分別しなくなった	0	0.0%
震災後、プラスチック製容器包装を分別しなくなった	2	1.3%
震災後、缶・びん・ペットボトルを分別しなくなった	0	0.0%
震災前よりも、紙類の分別を徹底するようになった	11	7.1%
震災前よりも、プラスチック製容器包装の分別を徹底するようになった	14	9.0%
震災前よりも、缶・びん・ペットボトルの分別を徹底するようになった	16	10.3%
無回答	17	11.0%
全体	155	100.0%

②クロス集計

●居住区

青葉区と太白区では「震災前後で変化はなかった」の回答比率が50%を超えている。
宮城野区と若林区では「震災前の状態に戻っている」、「現在はある程度良くなっている」の回答比率が他区よりも大きい。

	震災前後で変化はなかった	震災前よりもマナーは良くなっている	震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在は震災前の状態に戻っている	震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在はある程度良くなっている	震災後にマナーが悪くなり、現在も良くなっていない	わからない	無回答	全体
青葉区	208	26	57	31	15	63	14	414
宮城野区	95	14	45	21	7	17	4	203
若林区	62	9	33	24	7	19	2	156
太白区	142	20	41	28	9	30	7	277
泉区	129	19	57	23	8	26	6	268
無回答	3	0	0	1	0	0	0	4
全体	639	88	233	128	46	155	33	1,322



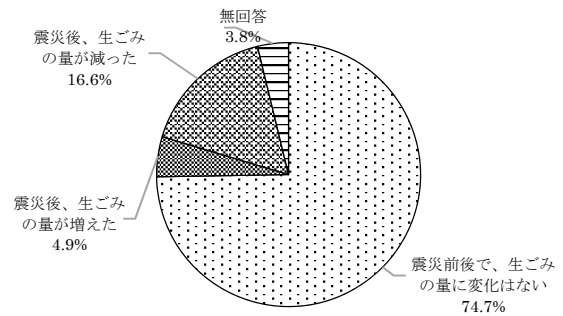
- 震災前後で変化はなかった
- 震災前よりもマナーは良くなっている
- 震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在は震災前の状態に戻っている
- 震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在はある程度良くなっている
- 震災後にマナーが悪くなり、現在も良くなっていない
- わからない
- 無回答

28) 震災以降の生ごみ量 4(6)①

①単純集計(単一回答)

「震災前後で、生ごみの量に変はない」が74.7%と過半数を占めている。

選択肢	件数	割合
震災前後で、生ごみの量に変はない	988	74.7%
震災後、生ごみの量が増えた	65	4.9%
震災後、生ごみの量が減った	219	16.6%
無回答	50	3.8%
合計	1,322	100.0%

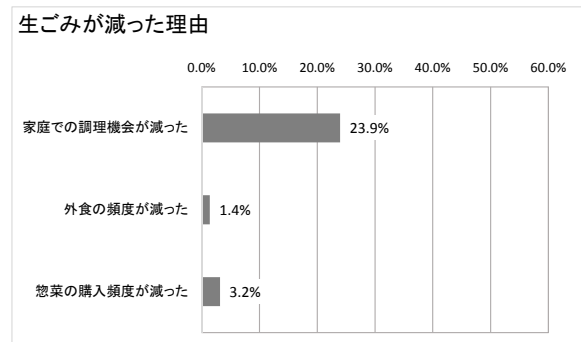
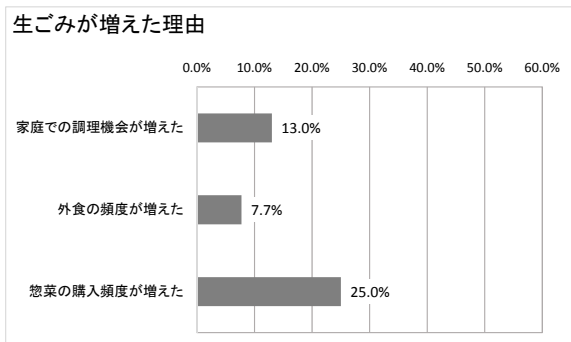


29) 生ごみ増減の理由 4(6)②

①単純集計(複数回答)

生ごみ増加の理由として「惣菜の購入頻度が増えた」が25.0%、「家庭での調理機会が増えた」が13%となっている。生ごみ減少の理由としては、「家庭での調理機会が減った」が23.9%となっている。

選択肢	件数	割合
家庭での調理機会が増えた	37	13.0%
家庭での調理機会が減った	68	23.9%
外食の頻度が増えた	22	7.7%
外食の頻度が減った	4	1.4%
惣菜の購入頻度が増えた	71	25.0%
惣菜の購入頻度が減った	9	3.2%
その他の理由による	68	23.9%
無回答	34	12.0%
全体	284	100.0%

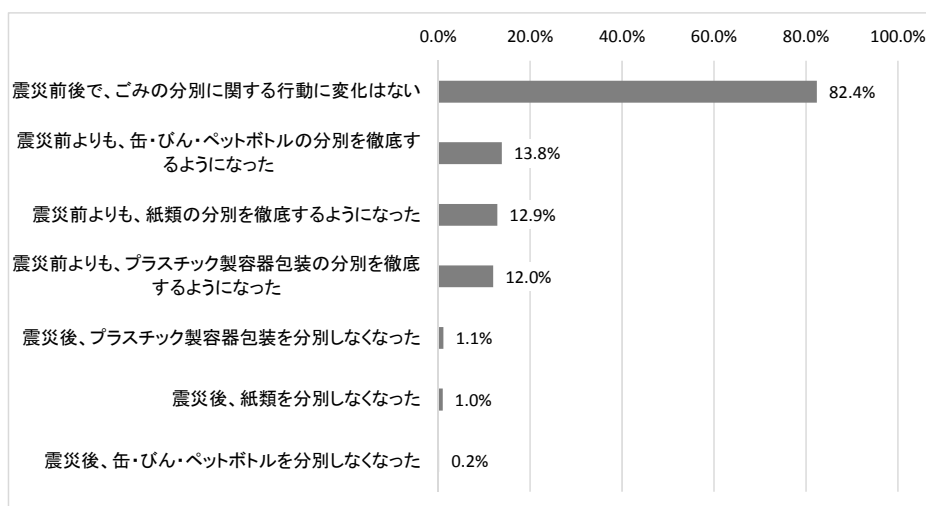


30) 震災以降のごみ分別行動における変化 4 (7)

①単純集計 (複数回答)

「震災前後で、ごみの分別に関する行動に変化はない」が 82.4%で過半数を占めている。

選択肢	件数	割合
震災前後で、ごみの分別に関する行動に変化はない	1,089	82.4%
震災前よりも、缶・びん・ペットボトルの分別を徹底するようになった	183	13.8%
震災前よりも、紙類の分別を徹底するようになった	170	12.9%
震災前よりも、プラスチック製容器包装の分別を徹底するようになった	158	12.0%
震災後、プラスチック製容器包装を分別しなくなった	15	1.1%
震災後、紙類を分別しなくなった	13	1.0%
震災後、缶・びん・ペットボトルを分別しなくなった	3	0.2%
無回答	34	2.6%
全体	1,322	100.0%

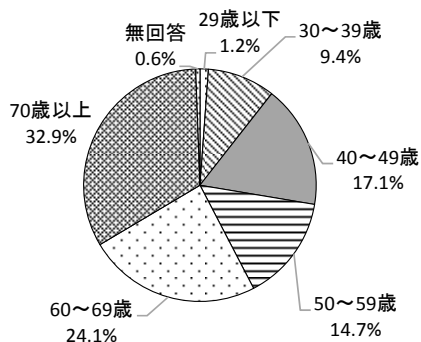


②クロス集計

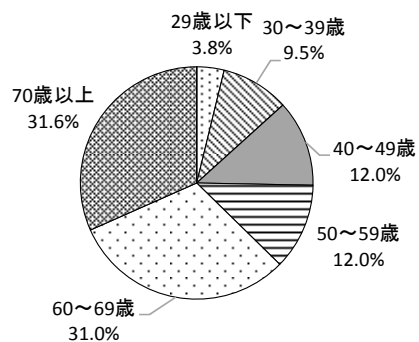
●震災以降分別するようになったと回答した人の年齢構成

年齢で見ると、各項目の「分別を徹底するようになった」と答えた人の70%以上が50代以上である。

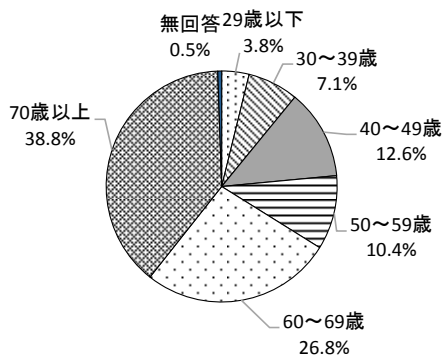
震災前よりも、紙類の分別を徹底するようになった



震災前よりも、プラスチック製容器包装の分別を徹底するようになった



震災前よりも、缶・びん・ペットボトルの分別を徹底するようになった

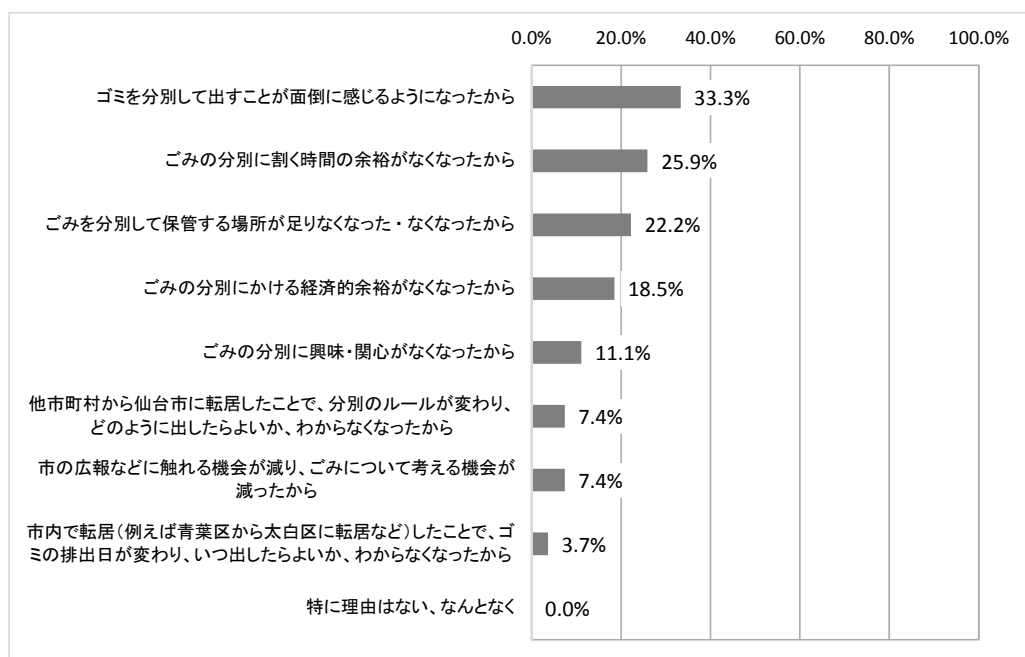


3 1) 震災以降に分別をしなくなった理由 4 (8) ※30) で「分別していない」と回答した対象のみ

①単純集計 (複数回答)

「ごみの分別に興味・関心がなくなったから」が 33.3%と最も高く、次いで「ごみの分別に割く時間の余裕がなくなったから」が 25.9%、「ゴミを分別して保管する場所が足りなくなった・なくなったから」が 22.2%となる。

選択肢	件数	割合
ゴミを分別して出すことが面倒に感じるようになったから	9	33.3%
ごみの分別に割く時間の余裕がなくなったから	7	25.9%
ゴミを分別して保管する場所が足りなくなった・なくなったから	6	22.2%
ごみの分別にかかる経済的余裕がなくなったから	5	18.5%
ごみの分別に興味・関心がなくなったから	3	11.1%
他市町村から仙台市に転居したことで、分別のルールが変わり、どのように出したらよいか、わからなくなったから	2	7.4%
市の広報などに触れる機会が減り、ごみについて考える機会が減ったから	2	7.4%
市内で転居(例えば青葉区から太白区に転居など)したことで、ゴミの排出日が変わり、いつ出したらよいか、わからなくなったから	1	3.7%
特に理由はない、なんとなく	0	0.0%
その他の理由	1	3.7%
無回答	9	33.3%
全体	27	100.0%



32) 震災後のごみ減量・3R推進に関する自由記述まとめ 4(9)

ご意見などについては149件が寄せられ、その主なものは以下の通りである。

1. 市に対する意見

- 転入されてきた方は、ごみの出し方がわからずルールから外れた分別をする。引越し後、1回目のごみ出しから正しい分別ができるよう指導されると良いと思う。
- アパート等の集合住宅居住者は入れ替えが早く、マナーやルールの徹底が大変困難です。また、外国人の居住も増加しごみの分別に苦勞します。外国人向けの英語などでの案内が必要と考えます。
- 震災後大量の粗大ごみ等の不法ごみの排出があったが、現在は少なくなったと感じています。しかし時々洗濯機、電子レンジ、テレビ等が排出され、町内会が有料で処理しています。無料で処理できるようお願いしたい。
- ゴミ出しのルールは良くなっている。カラスの食い散らかしの対策が必要。
- 古服や古本はもっと出しやすい工夫をした方がいいのではないか。燃えるごみの袋によく入れて捨てられているのを見かけます。不要な物をフリーマーケットや海外に手軽に寄付できる場が沢山あればごみ減量・3R推進になる。
- 「3R」という言葉を市民は知っているのか疑問。自治体の減量キャッチフレーズ用語であれば市民が馴染みやすい言葉を選ぶべき。
- (3Rを) やりたいとは思いますがなかなか時間や心の余裕がゴミの分別まで及ばない。もっとCMを使ってどんなふうに役立っているかなどわかりやすく伝えてほしい。
- 3R推進について、PR不足を感じる。町内会や子供会を通じてPRするのが一番効果的でコストも抑えられるように思う。
- 子どもを含め、学生達にごみの分別やその行方を教育していく必要がある。特に市外から引越ししてきた大学生を中心に学校単位での指導をお願いしたい。
- 震災の影響は多少あると思うがやはり各個人の考え方や取り組みが重要だと思う。今後も市民に対する啓発活動が必要である。

2. 事業者に対する意見

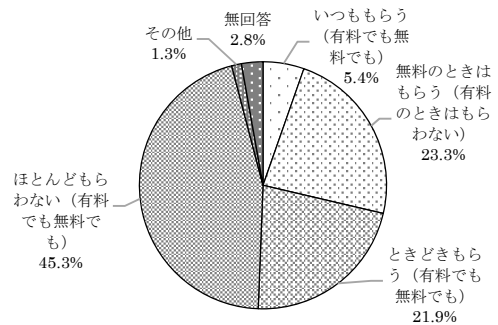
- 個人の意識も大切ですが、店頭に出される商品が詰め替え品の増加など、店の活用がもっと大事だと思う。情報を目にする機会と意識は、店側から受け取る方が多い気がします。
- 缶に包装等は消費者側と生産者側、販売側との努力が求められる。繰り返し使うこともカップ等必要としない方法、使い方を考えることが必要である。再資源化も使う側のみではなくそれを可能とする製品、道具を用途別に工夫しなければ。

33) レジ袋について 5 (1)

①単純集計 (単一回答)

「ほとんどもらわない」が 45.3%と最も多く、次いで「無料のときはもらう」が 23.3%となる。

選択肢	件数	割合
いつももらう(有料でも無料でも)	71	5.4%
無料のときはもらう(有料のときはもらわない)	308	23.3%
ときどきもらう(有料でも無料でも)	290	21.9%
ほとんどもらわない(有料でも無料でも)	599	45.3%
その他	17	1.3%
無回答	37	2.8%
合計	1,322	100.0%

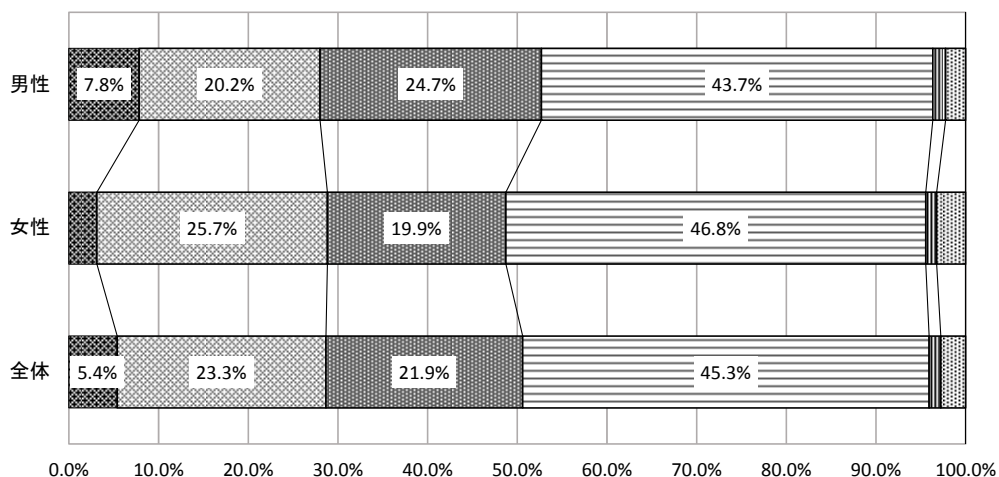


②クロス集計

●性別

男性の方が「いつももらう」、「ときどきもらう」の回答比率が高くなる。

	いつももらう (有料でも 無料でも)	無料のとき はもらう(有 料のときは もらわない)	ときどきら う(有料でも 無料でも)	ほとんどら われない(有 料でも無料 でも)	その他	無回答	全体
男性	45	116	142	251	8	13	575
女性	23	190	147	346	9	24	739
無回答	3	2	1	2	0	0	8
全体	71	308	290	599	17	37	1,322

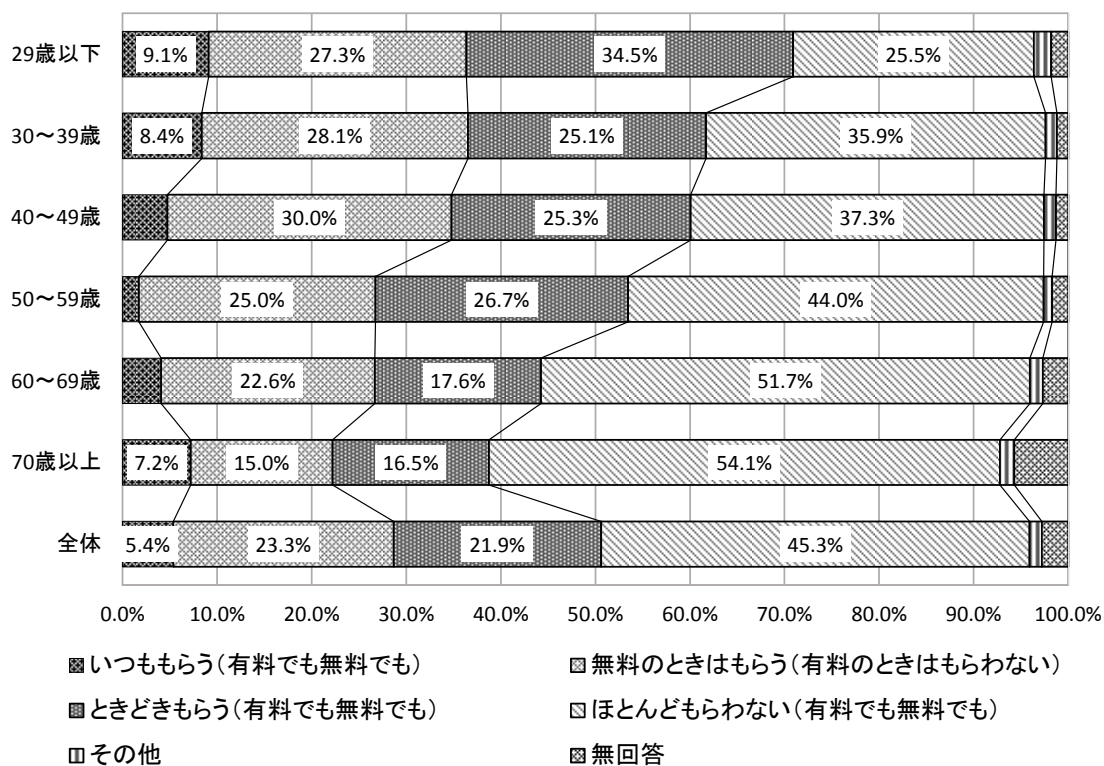


- いつももらう(有料でも無料でも)
- 無料のときはもらう(有料のときはもらわない)
- ときどきもらう(有料でも無料でも)
- ほとんどもらわない(有料でも無料でも)
- その他
- 無回答

●年齢

年齢が上がるにつれて「ときどきもらう」の回答比率が低くなる傾向がある。一方で、「ほとんどもらわない」の項目では、年齢が上がるにつれて回答比率も高くなる傾向を示している。

	いつももらう (有料でも 無料でも)	無料のとき はもらう(有 料のときは もらわない)	ときどきもら う(有料でも 無料でも)	ほとんどもら わない(有 料でも無料 でも)	その他	無回答	全体
29歳以下	5	15	19	14	1	1	55
30～39歳	14	47	42	60	2	2	167
40～49歳	11	70	59	87	3	3	233
50～59歳	4	58	62	102	2	4	232
60～69歳	12	67	52	153	4	8	296
70歳以上	24	50	55	180	5	19	333
無回答	1	1	1	3	0	0	6
全体	71	308	290	599	17	37	1,322

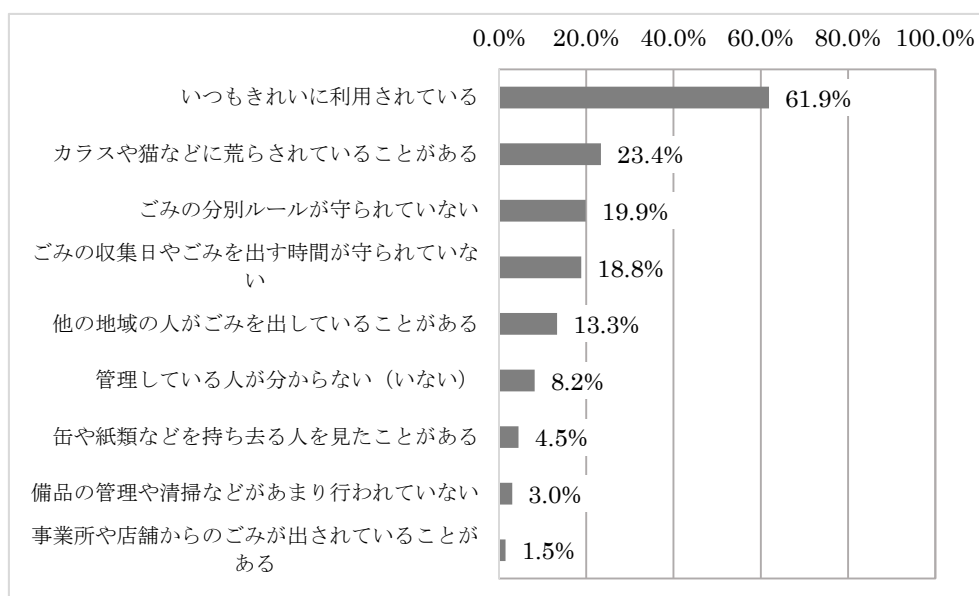


34) ごみ集積所について感じたこと 5 (2)

①単純集計 (複数回答)

「いつもきれいに利用されている」が 61.9%で過半数を占めている。次いで「カラスや猫などに荒らされていることがある」が 23.4%、「ごみの分別ルールが守られていない」が 19.9%となる。

選択肢	件数	割合
いつもきれいに利用されている	818	61.9%
カラスや猫などに荒らされていることがある	309	23.4%
ごみの分別ルールが守られていない	263	19.9%
ごみの収集日やごみを出す時間が守られていない	249	18.8%
他の地域の人がごみを出していることがある	176	13.3%
管理している人が分からない(いない)	108	8.2%
缶や紙類などを持ち去る人を見たことがある	59	4.5%
備品の管理や清掃などがあまり行われていない	40	3.0%
事業所や店舗からのごみが出されていることがある	20	1.5%
その他	55	4.2%
無回答	56	4.2%
全体	1,322	100.0%

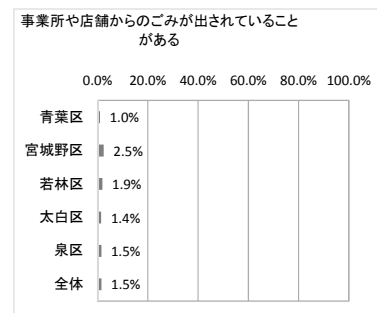
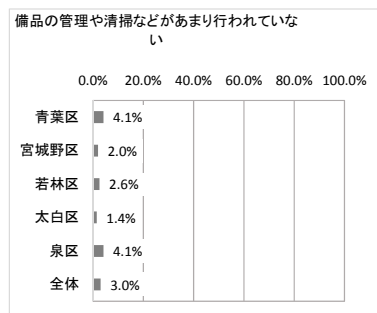
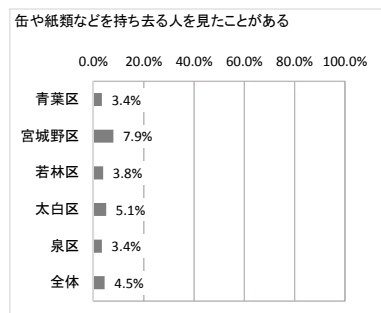
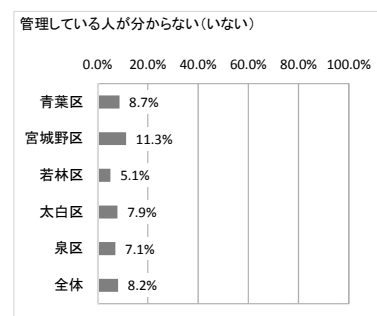
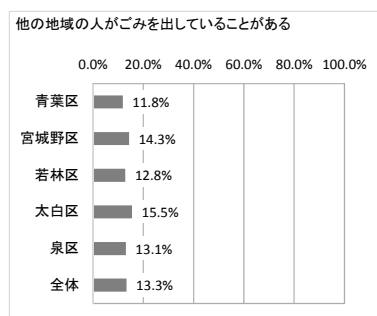
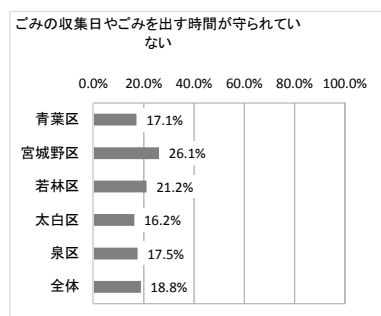
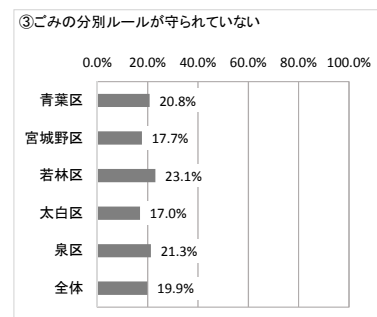
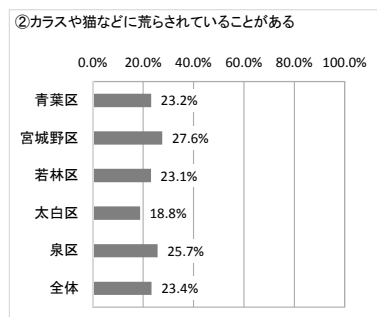
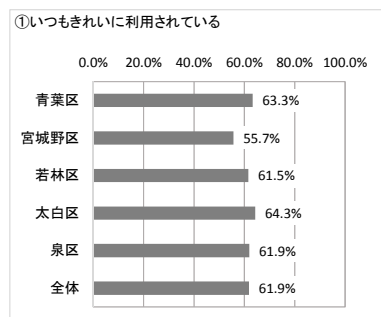


②クロス集計

●居住区

居住区で見ると、宮城野区は「いつもきれいに利用されている」の項目において各区の中で回答比率が最も低く、「ごみの収集日やごみを出す時間が守られていない」「管理している人がわからない(いない)」「カラスや猫などに荒らされている」項目では最も高い。

	① いつもきれいに 利用されて いる	② カラスや猫な どに荒らされ ていることが ある	③ ごみの分別 ルールが守ら れていない	ごみの収集日 やごみを出す 時間が守られ ていない	他の地域の 人がごみを出 していること がある	管理している 人が分からな い(いない)	缶や紙類など を持ち去る人 を見たことが ある	備品の管理 や清掃などが あまり行われ ていない	事業所や店 舗からのごみ が出されてい ることがある	その他	無回答	全体
青葉区	262	96	86	71	49	36	14	17	4	18	17	414
宮城野区	113	56	36	53	29	23	16	4	5	6	11	203
若林区	96	36	36	33	20	8	6	4	3	8	5	156
太白区	178	52	47	45	43	22	14	4	4	7	17	277
泉区	166	69	57	47	35	19	9	11	4	16	6	268
無回答	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
全体	818	309	263	249	176	108	59	40	20	55	56	1,322

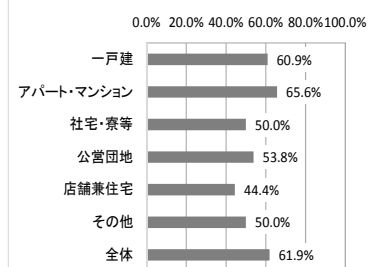


●居住形態

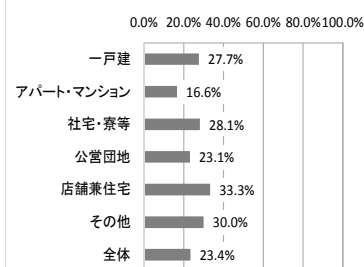
居住形態で見ると、一戸建に比べてアパート・マンションでは「カラスや猫などに荒らされていることがある」、「他の地域の人のごみを出していることがある」の項目の回答比率が低い。要因として、ごみ集積所が建物内部に設置されているケースや集積所を管理する大家の存在などが考えられる。

	① いつもきれいに利用されている	② カラスや猫などに荒らされていることがある	③ ごみの分別ルールが守られていない	ごみの収集日やごみを出す時間が守られていない	他の地域の人のごみを出していることがある	管理している人が分からない(いない)	缶や紙類などを持ち去る人を見たことがある	備品の管理や清掃などがあまり行われていない	事業所や店舗からのごみが出されていることがある	その他	無回答	全体
一戸建	436	198	146	126	130	44	31	20	13	33	35	716
アパート・マンション	332	84	86	95	29	54	18	17	6	17	16	506
社宅・寮等	16	9	11	9	4	5	2	0	0	2	0	32
公営団地	21	9	12	13	5	2	5	1	0	2	1	39
店舗兼住宅	4	3	3	2	2	2	1	1	1	0	1	9
その他	5	3	2	2	2	0	2	0	0	0	1	10
無回答	4	3	3	2	4	1	0	1	0	1	2	10
全体	818	309	263	249	176	108	59	40	20	55	56	1,322

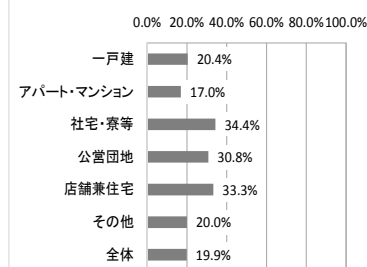
①いつもきれいに利用されている



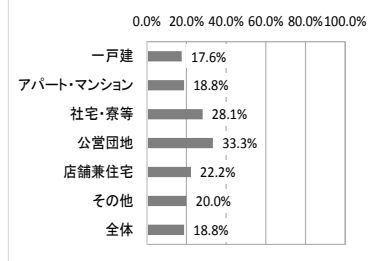
②カラスや猫などに荒らされていることがある



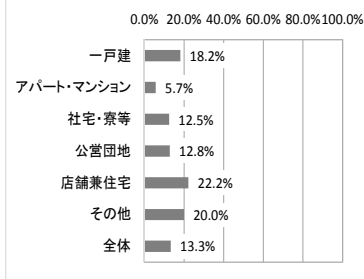
③ごみの分別ルールが守られていない



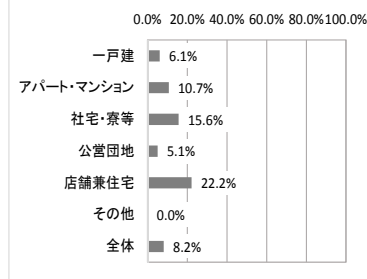
ごみの収集日やごみを出す時間が守られていない



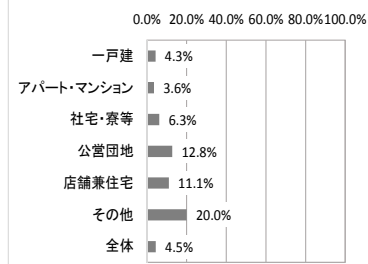
他の地域の人のごみを出していることがある



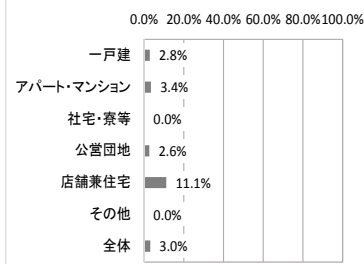
管理している人が分からない(いない)



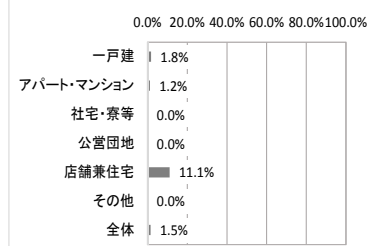
缶や紙類などを持ち去る人を見たことがある



備品の管理や清掃などがあまり行われていない



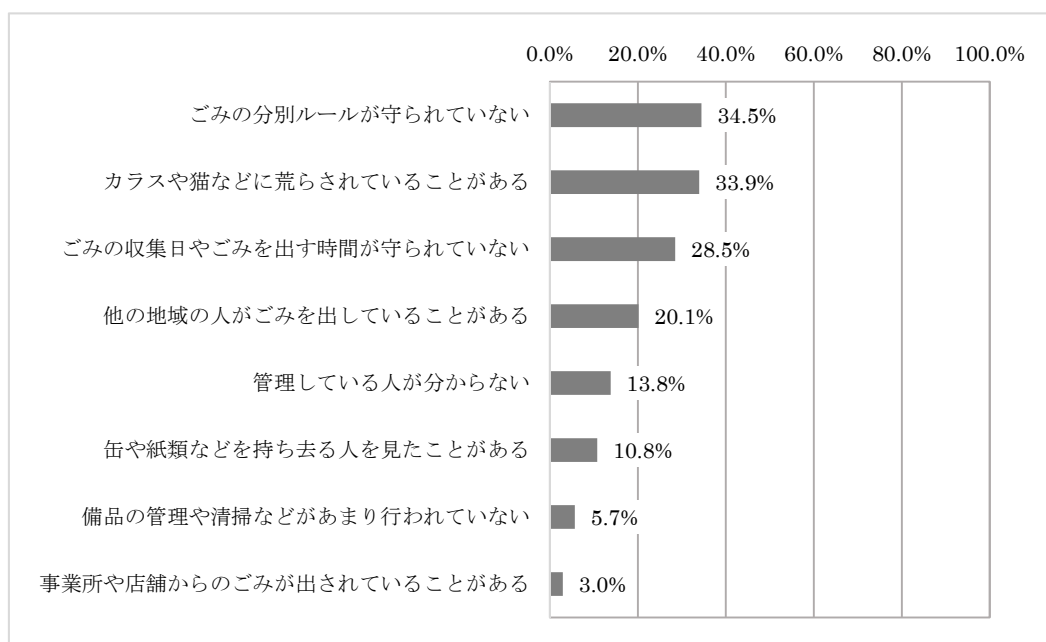
事業所や店舗からのごみが出されていることがある



③平成 21 年度調査結果との比較

前回調査では「ごみの分別ルールが守られていない」が最も高く 34.5%、次いで「カラスや猫などに荒らされていることがある」が 33.9%であった。今回調査では「カラスや猫などに荒らされていることがある」が 23.4%でネガティブな選択肢では最も高く、次いで「ごみの分別ルールが守られていない」が 19.9%であった。

選択肢	件数	割合
カラスや猫などに荒らされていることがある	460	33.9%
ごみの分別ルールが守られていない	467	34.5%
ごみの収集日やごみを出す時間が守られていない	386	28.5%
他の地域の人のごみを出していることがある	273	20.1%
管理している人が分からない	187	13.8%
缶や紙類などを持ち去る人を見たことがある	146	10.8%
備品の管理や清掃などがあまり行われていない	77	5.7%
事業所や店舗からのごみが出されていることがある	40	3.0%
その他	75	5.5%
無回答	349	25.8%
全体	1,355	100.0%

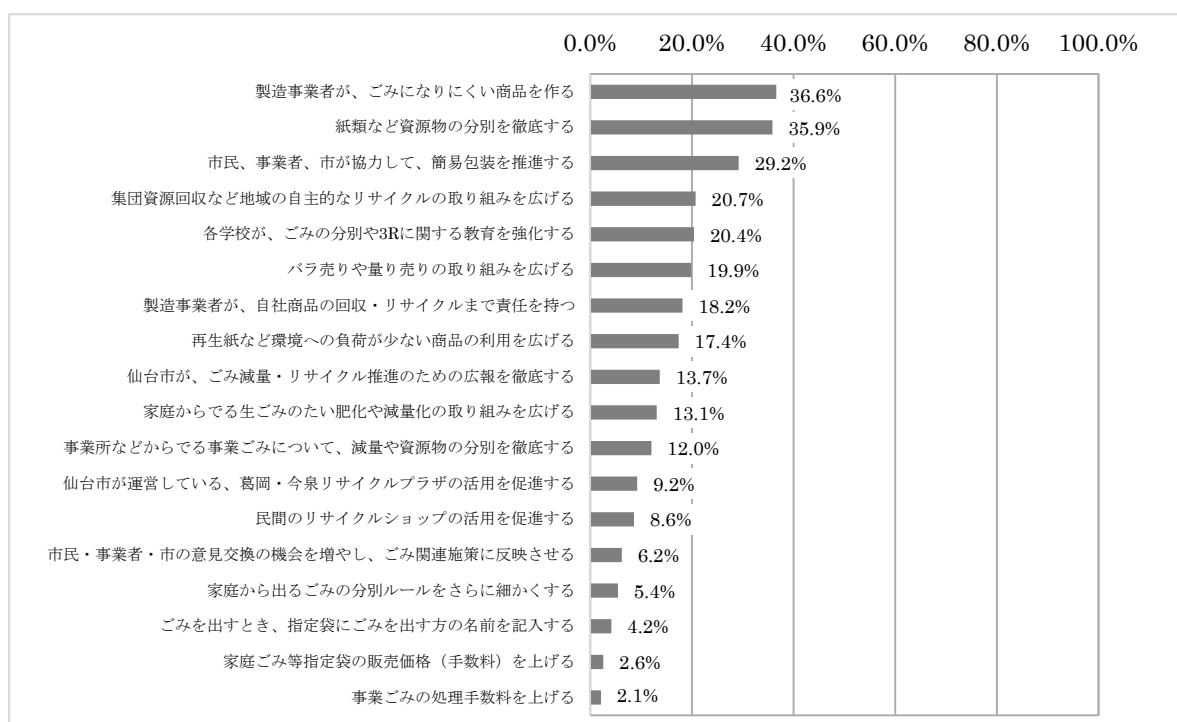


35) ごみ減量に向けて有効な方法

①単純集計（複数回答）

「製造事業者が、ごみになりにくい商品を作る」が36.6%で最も高く、次いで「紙類など資源物の分別を徹底する」が35.9%となる。

選択肢	件数	割合
製造事業者が、ごみになりにくい商品を作る	484	36.6%
紙類など資源物の分別を徹底する	474	35.9%
市民、事業者、市が協力して、簡易包装を推進する	386	29.2%
集団資源回収など地域の自主的なリサイクルの取り組みを広げる	274	20.7%
各学校が、ごみの分別や3Rに関する教育を強化する	270	20.4%
バラ売りや量り売りの取り組みを広げる	263	19.9%
製造事業者が、自社商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	240	18.2%
再生紙など環境への負荷が少ない商品の利用を広げる	230	17.4%
仙台市が、ごみ減量・リサイクル推進のための広報を徹底する	181	13.7%
家庭から出る生ごみのたい肥化や減量化の取り組みを広げる	173	13.1%
事業所などから出る事業ごみについて、減量や資源物の分別を徹底する	159	12.0%
仙台市が運営している、葛岡・今泉リサイクルプラザの活用を促進する	122	9.2%
民間のリサイクルショップの活用を促進する	114	8.6%
市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、ごみ関連施策に反映させる	82	6.2%
家庭から出るごみの分別ルールをさらに細かくする	72	5.4%
ごみを出すとき、指定袋にごみを出す方の名前を記入する	55	4.2%
家庭ごみ等指定袋の販売価格（手数料）を上げる	34	2.6%
事業ごみの処理手数料を上げる	28	2.1%
その他	71	5.4%
無回答	81	6.1%
全体	1,322	100.0%



36) 自由記入まとめ 5(4)

ご要望・ご意見などについては 238 件が寄せられ、その主なものは以下の通りである。

1. 市に対する意見

①ごみ出し、分別ルール、マナー等について

- 仙台市のごみ分別ルールはゴミ捨てに手間がかかる作業で改善を求めます。
- 仙台市の繁華街付近の早朝時のゴミ出しマナーが非常に悪く感じる。悪臭がひどく、カラスなどがゴミを荒らしていて大変汚く見えます。ゴミ出しの時間を守らせて厳しく対応して欲しい。
- ポイ捨て(車の窓から投げタバコ・街でタバコを足で消す・飲んだ容器をその辺に置く等)マナーの悪さが気になる。
- 外国人がゴミ袋を買わずにレジ袋で出している。分かるように他言語で案内すべき。
- ごみの分別ルールを細かくすれば、もっとごみを減らすことが可能かもしれませんが、いまの分別ルールを徹底していくことも重要だと思います。市民が継続して取り組める分別ルールを、今後も進めていただきたい。
- プラごみの分別がわかりにくく混同している人も多い。周知徹底してほしい。
- 生ごみ減少のために、たい肥化容器、生ゴミ処理機等を普及させてほしい。
- 職場では、ゴミの分別はせずにプラも燃えるゴミも一緒に捨ててよいと言われている。家庭と企業が同一の基準にならないとゴミは減らないと思う。
- 紙類の分別について、個人情報に記載されているものは燃えるごみに出しているが、そういった個人情報が悪用されないという示しがあれば資源にまわせるものが増えると思う。

②教育、意識啓発について

- ごみ処理において廃棄物利用等で利益を生むものあり、例えばわずかでも公表してほしい。ごみの行き先や処理の仕方などいろいろわかってくると、もっと努力しようという気になる。(資源になるものが何に還元されているのか見えない)
- ごみ処理の施策は幼少の頃からの教育がもっとも大事であり、資源の量に限りがあることの知識を与え、ごみと資源との関連を具体的に表現し教育することが望ましいと思います。
- ワケル君やアレマキャンペーンはとても良い。子供対象の環境教育も十分だと思う。

③広報について

- ゴミの分別をする時は「資源とごみの分け方」を参考にしていますが、「ワケ方事典」に掲載されていないことがよくあり、どう捨てたら良いのか迷うことがあるのでもっと項目を増やしてほしいと思います。

- ワケルくんのキャンペーンやチラシ等にお金をかけないでほしい。年一回の出し方のパンフレットとホームページで十分である。市はお金の使い方をもう少し見直してほしい。
- チラシやパンフレットを過剰に配布しないでほしい。
- 仙台市へ転入した方へのゴミの分別方法（特に独身者）へのPRを重点的に行う必要があると考えています。
- 毎年3月頃配布される資源とごみの分け方、出し方はとても役に立っている。
- 駅の地下通路等に分別取り組みの（ワケルくんの）掲示が多数あるため、市がごみ減量・3Rに対する取り組みに重きを置いていることが感じられる。

④ごみ袋について

- 仙台市のゴミ指定袋の販売価格が高いと感じます。同じ価格で20枚にしてほしいです。とても負担に感じます。
- ごみ袋の強度が弱い。もう少し厚手の素材に改良してほしい。
- ごみ袋に名前を記入することで分別に対する意識は高くなると思う。

⑤ごみ収集、集積所について

- 粗大ごみの回収やごみに関する問合せなどが電話でしかできないようですが、例えば聴覚障害者などは電話で申し込んだり問合せすることが難しいと思うので、FAXやインターネットなどでもできるようになればいいのではないかと思います。
- ごみの集積場に動物等に散らかされないような対策をお願いしたい。
- プラごみを週2回など、ごみ回収の回数を増やしてほしい。
- 粗大ごみの収集に関し、もっと簡素化してほしい。
- 粗大ごみの回収を年数回でも構わないので無料にしてほしい。
- 高齢化に合わせて、粗大ごみ等を玄関まで引き取りにきていただければ、大変便利になると思います。
- 町内会と協力してごみ集積所の管理をした方がよい。

2. 委託・許可業者に対する意見

- 収集業者の運転マナーが悪すぎて運転や走行の迷惑を頻繁に受けている。

3. 事業者に対する意見

- 事業者には、よりごみの少ない製品を作してほしい。
- 過剰包装をやめてほしい。ごみ量が増え資源の無駄につながるので、簡素化してほしい。

(3) 調査票

ごみ処理計画のあらましと、現在の状況

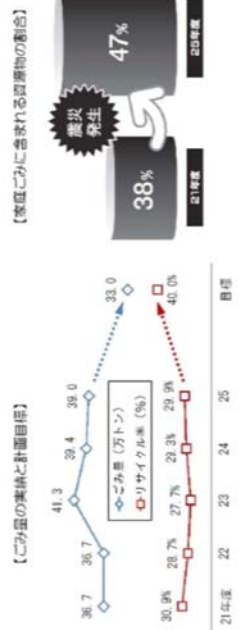
◆山田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）とは？
本市の一般廃棄物処理施策の基本的な方向性などを定めた計画で、現在の計画は平成22年度末に策定したものです。計画期間は平成23年度から平成32年度の10年間となっており、平成27年度に中期評価を行う予定としています。

◆基本計画の目標
現在の計画では、「資源循環都市づくり」「低炭素都市づくり」「市民・事業者・市の連携や一体的な推進」を施策の基本的な方向性として定めるとともに、以下の目標を設定しました。

- (1) ごみ燃量（資源と生活ごみ・事業ごみの量の合計）
平成32年度に平成21年度比で10%以上削減し、330,000トン以下とする。
- (2) リサイクル率（リサイクルする資源の割合）
平成32年度に40%以上とする。
- (3) 燃やごみの量（リサイクルされないごみの量）
平成32年度に平成21年度比で16%以上削減し、267,000トン以下とする。

(4) 運送効力ガス排出量
ごみ処理に係る温室効果ガス排出量を中長期的に削減する。

◆いば、仙台市のごみはどんな状況？
平成25年度に仙台市の一般家庭から出たごみのうち、燃やごみである「家庭ごみ」の組成を調べたところ、47%は資源物でした。およそ半分が資源物ということになります。
本アンケートは、市民の皆様への意識調査・分別行動の現状を把握し、資源物投入の要因や今後のごみ排出傾向を推計・分析するために実施しています。



ごみに関する市民意識調査へのご協力をお願い

～ 仙台市民の皆さまへ山田市役所からのアンケート調査です ～

平素は、本市の環境行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて本市では、来年度、ごみの減量・資源化・適正処理に関する計画である、「山田市一般廃棄物処理基本計画」の中間評価を実施いたします。

これに伴い、市民の皆さまのごみの処理行動や、ごみに対するお考えを把握し、さらなるごみ減量・3R推進を図ってまいりたいと考えております。
ご多忙のこととは存じますが、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、本調査は、山田市が「株式会社エックス都市研究所」に委託して実施しております。そのため、調査票の返信用料の発着も同社様となっておりますので、あらかじめご承知ください。

平成26年10月
山田市環境部長 大友 望

■アンケートについて

1. 本アンケートは、市民の皆様の中から、無作為に抽出した3,000世帯にお送りしています。
2. 無記名（氏名を記入しない）でお答えいただけますので、ご本人のお答えが、わかりませんようにいたします。（統計的に処理いたします。…「～と答えた方は00%」など）
3. 本アンケートへお答えいただいた内容は、上記の目的以外に使用することはありません。

■アンケート票への記入、返信・送付の方法

1. 同封のアンケート票へ記入し、同封の封筒で返信する。（切手は不要です）
2. インターネットでお返す。<<https://www.esri.jp/e1000xial>>
3. スマートフォンから返信する。<QRコードから専用サイトへ>



■返信・送付の期日

平成26年10月24日（金）までに上記のいずれかの返信・送付方法でお送りください。

■アンケート票への記入上の注意

1. 世帯の中で、番付のごみ分別や排出を主に持っている方が代表してお答えください。
2. お返は、H日以上の葉巻の粗さやボールペンなどで、あてはまる項目の“○”を黒く塗りつぶしてください。なお、自由記号欄へのご記入の際は、1文字1マスとなるようお答えください。
3. 種別すべての質問にお答えください。

【お問い合わせ先】

◆調査の目的、個人情報取り扱いなどについて
山田市環境ごみ減量推進課 担当：平取、相澤
電話 022-214-8230

◆調査内容、記入方法などについて
株式会社エックス都市研究所企業運営室 担当：田中、朝野
電話 022-395-9174

"O" のほりつぷしや、文字の記入は HB 以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用してください。

調査計時の調査番号として利用します。

2. ごみの出し方などについて

頁 02

(1) 家庭ごみ（緑色の袋）を出すとき、どの大きさの袋を使いますか。一番多く使用する袋を選び、一つだけ塗りつぶして"●"ください。

大 (45ℓ)	中 (30ℓ)	小 (20ℓ)	特小 (10ℓ)	その他
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(その他の"●"をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。(1文字1マス))				

(2) 家庭ごみ（緑色の袋）は、どのくらい出しますか。一つだけ塗りつぶして"●"ください。

1週間に3袋以上	1週間に2袋以上	1週間に1袋以上	2～3週間に1袋
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1か月に1袋			
その他			
(その他の"●"をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。(1文字1マス))			

(3) プラスチック製容器包装（赤色の袋）を出すとき、どの大きさの袋を使いますか。一番多く使用する袋を選び、一つだけ塗りつぶして"●"ください。

大 (45ℓ)	中 (30ℓ)	小 (15ℓ)	分別していない	その他
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(その他の"●"をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。(1文字1マス))				

※「分別していない」に"●"をつけた場合は、設問(6)についても、ご回答願います。

(4) プラスチック製容器包装（赤色の袋）は、どのくらい出しますか。該当するもの一つだけ塗りつぶして"●"ください。

1週間に3袋以上	1週間に2袋以上	1週間に1袋以上	2～3週間に1袋
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1か月に1袋			
その他			
(その他の"●"をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。(1文字1マス))			

～ 市民アンケート調査 記入用紙 ～

"O" のほりつぷしや、文字の記入は HB 以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用してください。

調査計時の調査番号として利用します。

1. あなたやあなたのご家族などについて

頁 01

以下の各項目について、該当するもの一つだけ塗りつぶして"●"ください。

居住区	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	東区
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

性別	男性	女性
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

世帯人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※「世帯人数」については、あなたおよび友人等同居人も含みます。

職業	給与所得者(フルタイム)	給与所得者(パート・アルバイト)	主婦(夫)	内職
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	自営業・自由業	農林水産業	学生	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	その他	(その他の"●"をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。(1文字1マス))		
<input type="radio"/>				

居住形態	一戸建	アパート・マンション	住宅・家等
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	公営団地	店舗兼住宅	その他
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(その他の"●"をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。(1文字1マス))			

仙台市内での通算居住年数	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5年以上～10年未満	10年以上～30年未満	30年以上～50年未満
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	50年以上～		
<input type="radio"/>			

“○”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 04

(7) 缶・びん・ペットボトルなどを出すときの状況についてお聞きします。
 普段の行動について、該当するものを塗りつぶして“●”ください。

	いつも している	あまり していない	ほとんど していない	ルールを 知らなかった
びんやペットボトルを出すときに「フタ」をはずしている	○	○	○	○
ペットボトルを出すときに「ラベル」をはずしている	○	○	○	○
ペットボトルを出すときにつぶして出している	○	○	○	○

(8) 仙台市では、平成26年9月から、「小型家電製品(30cm×15cm×30cm以下)」を対象にした専用の回収ボックスを区役所など市内21か所に設置し、回収・リサイクルを実施しています。これについて、該当するもの一つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/> 設置場所を知っており、利用している									
<input type="radio"/> 設置していることは知っているが、利用していない									
<input type="radio"/> 設置を知らなかった									
<input type="radio"/> よくわからない									
<input type="radio"/> その他									
(その他に“●”をつけた場合は、下部に詳細をご記入ください。(1文字1マス))									

“○”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 03

(5) (設問(3)で「分別していない」と答えた方のみ、お答えください)
 分別していない理由は何か。該当するものをすべて塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/> プラスチック製容器包装の分別があることを知らなかった	
<input type="radio"/> 分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒	
<input type="radio"/> 分別・リサイクルの必要性がわからない	
<input type="radio"/> 出し方、分け方、収集曜日等がわからない	
<input type="radio"/> 汚れを落とすときに使う水がもったいない	
<input type="radio"/> 捨てたいときに捨てられない	
<input type="radio"/> 居住している集合住宅・寮等で分別を行っていない	
<input type="radio"/> その他	

(6) 1ヶ月あたりの、家庭ごみとプラスチック製容器包装指定袋の合計使用量はどのくらいですか。該当するもの一つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/> ~ 100円未満	
<input type="radio"/> 100円以上 ~ 200円未満	
<input type="radio"/> 200円以上 ~ 300円未満	
<input type="radio"/> 300円以上 ~ 400円未満	
<input type="radio"/> 400円以上 ~ 500円未満	
<input type="radio"/> 500円以上 ~	
<input type="radio"/> その他	
(その他に“●”をつけた場合は、下部に詳細をご記入ください。(1文字1マス))	

【ごみ指定袋 | 袋あたりの値段】

家庭ごみ		プラスチック製 容器包装	
大(450)	40円	大(450)	25円
中(300)	27円	中(300)	16円
小(200)	18円	小(150)	8円
特小(100)	9円		

“O”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁	06
---	----

(2) 次の項目のうち、「普段から行っている」又は「今後新たに取組みもうと考えている」に該当するものがあるば、すべて塗りつぶして“●”ください。

取組み	普段から行っている	新たに取組みもうと考えている
紙類の分別を徹底する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プラスチック製容器包装の分別を徹底する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
缶・びん・ペットボトルの分別を徹底する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
古紙や古布などを地域の集団買戻回収に出す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再生紙トイレットペーパーなど、リサイクル製品を購入する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
詰め替え製品を購入する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仙台市の期間・今度リサイクルプラザに不用品を提供する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仙台市の期間・今度リサイクルプラザでリサイクル品を調達する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
不用になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家電製品や家具は、長く、大切に使う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
「食材を使いきる、料理は残さず食べきる、生ごみに出すときは水気をきる」など生ごみを減らすようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乾電池は充電式のものを使う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レンタル用品を活用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生ごみをたい肥化して野菜づくりになどに活用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

“O”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁	05
---	----

3. ごみ減量・3Rの取組み等について

(1) 「3R」という言葉を知っていますか。該当するもの一つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="checkbox"/>	よく知っており内容も理解している。
<input type="checkbox"/>	何となく理解している
<input type="checkbox"/>	聞いたことがある
<input type="checkbox"/>	知らない

「3R」とは、ごみ減量・リサイクルのポイントとなる、3つの言葉のことです。

- ① Reduce 【リデュース】：できるだけごみを出さない
 - 簡易包装に努める、ムダなものは買わない など
- ② Reuse 【リユース】：繰り返し使う
 - 詰め替え製品を選び容器は繰り返し使う、マイカップやマイ箸を使うなど
- ③ Recycle 【リサイクル】：資源に再生する
 - 資源物をきちんと分別する など

これら3つの言葉の語文字をとって、「3R」と言います。また、3Rには優先順位があります。リサイクルよりも、リデュース・リユースを優先し、より環境への負荷を減らしていくことが、資源循環型社会の構築には大切です。

“○”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃色の鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 10

(4) 震災以降、あなたご自身の、趣味などを楽しむゆとりについて変化はありましたか。
該当するもの一つだけ塗りつぶして「●」ください。

<input type="radio"/>	震災による変化・影響はなかった
<input type="radio"/>	震災前よりも趣味などを楽しむゆとりがある
<input type="radio"/>	震災による変化・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている
<input type="radio"/>	震災による変化・影響はあるが、震災前の状態にある程度戻っている
<input type="radio"/>	震災による変化・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない
<input type="radio"/>	わからない

(5) 震災以降、周囲のごみ集積所等の状況をみて、ごみ排出時のマナーに変化はありましたか。
該当するもの一つだけ塗りつぶして「●」ください。

<input type="radio"/>	震災前後で変化はなかった
<input type="radio"/>	震災前よりもマナーは良くなっている
<input type="radio"/>	震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在は震災前の状態に戻っている
<input type="radio"/>	震災後に一時的にマナーが悪くなったが、現在はある程度良くなっている
<input type="radio"/>	震災後にマナーが悪くなり、現在も良くなっていない
<input type="radio"/>	わからない

(6) 震災以降、世帯として、生ごみをごみとして出す量に変化はありましたか。
該当するものすべて塗りつぶして「●」ください。

<input type="radio"/>	震災前後で、生ごみの量に変化はない
<input type="radio"/>	震災後、生ごみの量が増えた
<input type="radio"/>	震災後、生ごみの量が減った
(生ごみの量が増えた又は減った理由)	
<input type="radio"/>	家庭での調理残量が増えた・減った
<input type="radio"/>	外食の頻度が増えた・減った
<input type="radio"/>	惣菜の購入頻度が増えた・減った
<input type="radio"/>	その他の理由による

“○”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃色の鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 09

4. 東日本震災による、ごみ分別行動等への影響について

(1) 震災以降、お住まいの地域の住宅の復興・回復状況についてどのように感じていますか。
該当するもの一つだけ塗りつぶして「●」ください。

<input type="radio"/>	震災による被害・影響はなかった
<input type="radio"/>	震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている
<input type="radio"/>	震災による被害・影響はあるが、震災前の状態にある程度戻っている
<input type="radio"/>	震災の被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない
<input type="radio"/>	わからない

(2) 震災以降、近所の商店街のにぎわい等、地域社会生活の復興・回復状況についてどのように感じていますか。該当するもの一つだけ塗りつぶして「●」ください。

<input type="radio"/>	震災による被害・影響はなかった
<input type="radio"/>	震災前よりもにぎわい、活気がある
<input type="radio"/>	震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている
<input type="radio"/>	震災による被害・影響はあるが、震災前の状態にある程度戻っている
<input type="radio"/>	震災による被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない
<input type="radio"/>	わからない

(3) 震災以降、仙台市中心部の繁華街等の活気についてどのように感じていますか。
該当するもの一つだけ塗りつぶして「●」ください。

<input type="radio"/>	震災による被害・影響はなかった
<input type="radio"/>	震災前よりもにぎわい、活気がある
<input type="radio"/>	震災による被害・影響はあったが、現在は震災前の状態に戻っている
<input type="radio"/>	震災による被害・影響はあるが、震災前の状態にある程度戻っている
<input type="radio"/>	震災による被害・影響があり、震災前の状態にほとんど戻っていない
<input type="radio"/>	わからない

“O”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の鉛筆の鉛筆、黒ボールペンを使用してください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 1 2

(9) 震災後の、ごみ減量・3R推進に関し、ご意見等がございましたら、

自由に記述してください。(1文字—マス)

“O”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の鉛筆の鉛筆、黒ボールペンを使用してください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 1 1

(7) 震災以降、あなたご自身の、ごみの分別に関する行動に変化がありましたか。

該当するものすべてを塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/>	震災前後で、ごみの分別に関する行動に変化はない
<input type="radio"/>	震災後、紙類を分別しなくなった
<input type="radio"/>	震災後、プラスチック製容器包装を分別しなくなった
<input type="radio"/>	震災後、缶・びん・ペットボトルを分別しなくなった
<input type="radio"/>	震災前よりも、紙類の分別を徹底するようになった
<input type="radio"/>	震災前よりも、プラスチック製容器包装の分別を徹底するようになった
<input type="radio"/>	震災前よりも、缶・びん・ペットボトルの分別を徹底するようになった

※変化があったと回答された方は、引き続き、設問(8)にもご回答願います。

※変化がないと回答された方は、設問(9)にお進みください。

(8) 設問(7)で「紙類を分別しなくなった」等、行動に変化があった方にお聞きします。行動に変化があった理由について、該当するものすべてを塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/>	ごみの分別に慣く時間の余裕がなくなったから
<input type="radio"/>	ごみの分別にかける経済的な余裕がなくなったから
<input type="radio"/>	ごみの分別に興味・関心がなくなったから
<input type="radio"/>	ごみを分別し出すことが面倒に感じるようになったから
<input type="radio"/>	市内で転居(例えば青葉区から太白区に転居など)したことで、ごみの集出日が変わり、いつ出したらよいか、わからなくなったから
<input type="radio"/>	他市町村から仙台市に転居したことで、分別のルールが変わり、どのように出したらよいか、わからなくなったから
<input type="radio"/>	市の広報などに触れる機会が減り、ごみについて考える機会が減ったから
<input type="radio"/>	ごみを分別して保管する場所が足りなくなった・なくなったから
<input type="radio"/>	特に理由は無い、なんとなく
<input type="radio"/>	その他の理由

2.ごみに関する事業者アンケート

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

仙台市では、平成 27 年度に仙台市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行うこととしており、震災以降のごみの排出状況や、事業者の率直な意見・要望などを反映させていくため、アンケートによる調査を実施する。

本調査の目的は、ごみ・資源物の排出状況やごみの減量・リサイクル、市の諸施策の認知度等、現状での課題及び今後の意向等の意識を把握し、仙台市のごみ処理事業を適正に行うための基礎資料を得るとともに、実態を把握・整理し、計画の精度を高めることにある。

2) 調査の方法

- ①調査対象 : 無作為に抽出した仙台市内の 3,200 事業所
大規模・多量排出事業所の 300 事業所の計 3,500 事業所
- ②発送日 : 平成 26 年 10 月 10 日 (金)
- ③締切日 : 平成 26 年 10 月 24 日 (金)
- ④調査方法 : 郵送による発送、回収

3) 調査内容

下記の項目についての質問を実施する。

- ①事業所の属性について
- ②ごみの排出について
- ③ごみ減量・リサイクルの取り組み等について
- ④震災の影響について
- ⑤本市のごみ処理体制について

4) 回収状況

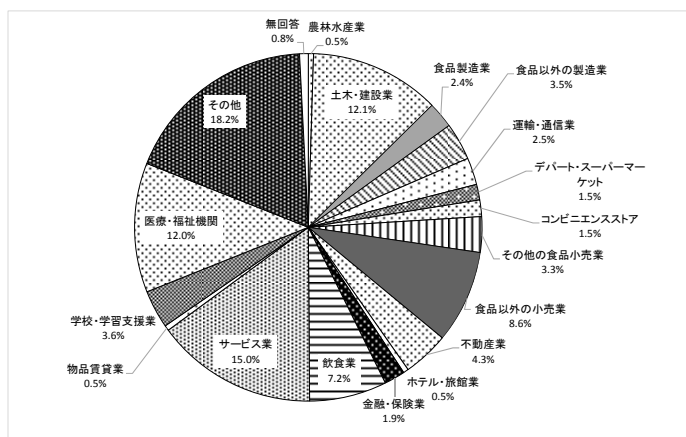
- ①発送数 : 3,500 件
- ②回収数 : 1,237 件
- ③回収率 : 35%

(2) 集計結果

1) 業種 1 (1) ①

「その他」が18.2%で最も多く、次いで「サービス業」の15.0%、「土木・建設業」12.1%、「医療福祉機関」の12.0%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
農林水産業	6	0.5%
土木・建設業	150	12.1%
食品製造業	30	2.4%
食品以外の製造業	43	3.5%
運輸・通信業	31	2.5%
デパート・スーパーマーケット	18	1.5%
コンビニエンスストア	19	1.5%
その他の食品小売業	41	3.3%
食品以外の小売業	107	8.6%
不動産業	53	4.3%
ホテル・旅館業	6	0.5%
金融・保険業	24	1.9%
飲食業	89	7.2%
サービス業	186	15.0%
物品賃貸業	6	0.5%
学校・学習支援業	44	3.6%
医療福祉機関	149	12.0%
その他	225	18.2%
無回答	10	0.8%
全体	1,237	100.0%



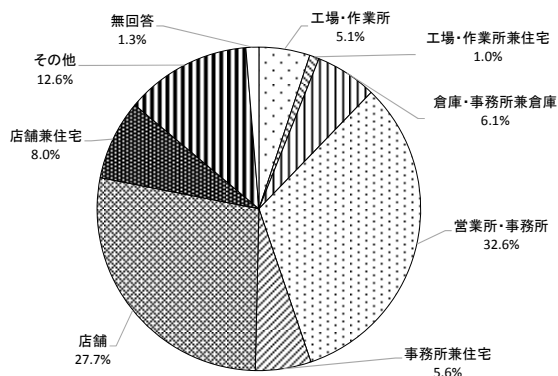
以下は「その他」の内訳となる。

分類	件数
卸売り業	33
行政機関	21
宗教法人	20
製造・販売	14
個人事務所	14
組合等	13
整備・メンテナンス業	9
園芸・造園業	7
複合サービス業	7
文化施設	7
建物管理・マンション管理業	6
製造・小売・飲食複合	5
財団・社団	3
その他	57
無回答	9
合計	225

2) 事業所の形態 1 (1) ②

「営業所・事務所」が32.6%で最も多く、次いで「店舗」の27.7%、「その他」12.6%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
工場・作業所	63	5.1%
工場・作業所兼住宅	12	1.0%
倉庫・事務所兼倉庫	76	6.1%
営業所・事務所	403	32.6%
事務所兼住宅	69	5.6%
店舗	343	27.7%
店舗兼住宅	99	8.0%
その他	156	12.6%
無回答	16	1.3%
全体	1,237	100.0%



以下は「その他」の内訳となる。

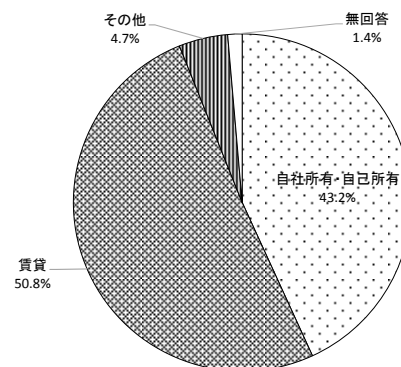
分類	件数
宗教施設	20
教育施設	18
診療所	12
病院	9
事務所・工場	9
医療・福祉施設	7
幼児・保育施設	7
公共施設	5
児童福祉施設	5
事務所・工場・倉庫	4
介護施設	3
複合施設内	3
文化施設	3
屋外スポーツ施設	2
宿泊施設	2
事務所・店舗・住宅	2
その他	40
無回答	5

156

3) 建物の所有状況 1 (1) ③

選択肢	件数	割合 (%)
自社所有・自己所有	534	43.2%
賃貸	628	50.8%
その他	58	4.7%
無回答	17	1.4%
全体	1,237	100.0%

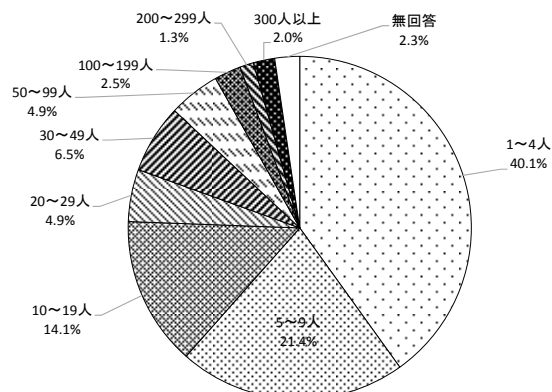
「賃貸」が50.8%と半数を占め、次いで「自社所有・自己所有」の43.2%となる。



4) 従業員数 1 (1) ④

「1～4人」が40.1%で最も多く、次いで「5～9人」の21.4%、「10～19人」の14.1%となる。

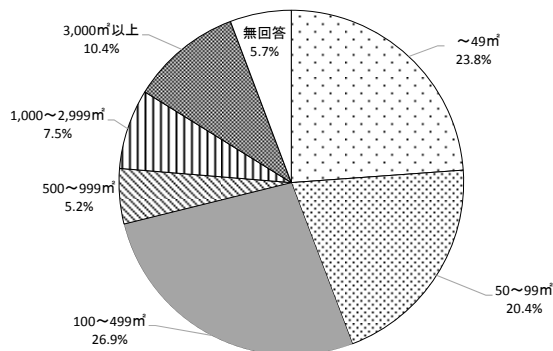
選択肢	件数	割合 (%)
1～4人	496	40.1%
5～9人	265	21.4%
10～19人	174	14.1%
20～29人	61	4.9%
30～49人	80	6.5%
50～99人	60	4.9%
100～199人	31	2.5%
200～299人	16	1.3%
300人以上	25	2.0%
無回答	29	2.3%
全体	1,237	100.0%



5) 延べ床面積 1 (1) ⑤

「100～499 m²」が26.9%で最も多く、次いで「～49 m²」の23.8%、「50～99 m²」の20.4%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
～49m ²	295	23.8%
50～99m ²	252	20.4%
100～499m ²	333	26.9%
500～999m ²	64	5.2%
1,000～2,999m ²	93	7.5%
3,000m ² 以上	129	10.4%
無回答	71	5.7%
全体	1,237	100.0%

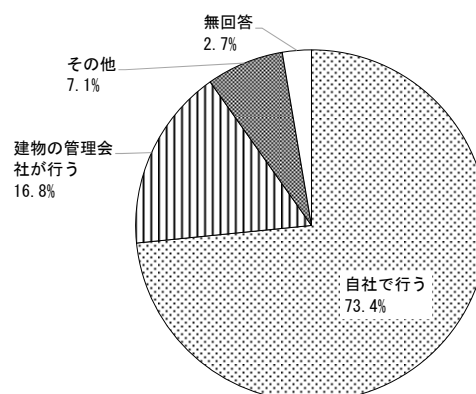


6) ごみの排出主体 2 (1)

①単純集計 (単一回答)

「自社で行う」が73.4%で最も多く、次いで「建物の管理会社が行う」の16.8%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
自社で行う	908	73.4%
建物の管理会社が行う	208	16.8%
その他	88	7.1%
無回答	33	2.7%
全体	1,237	100.0%

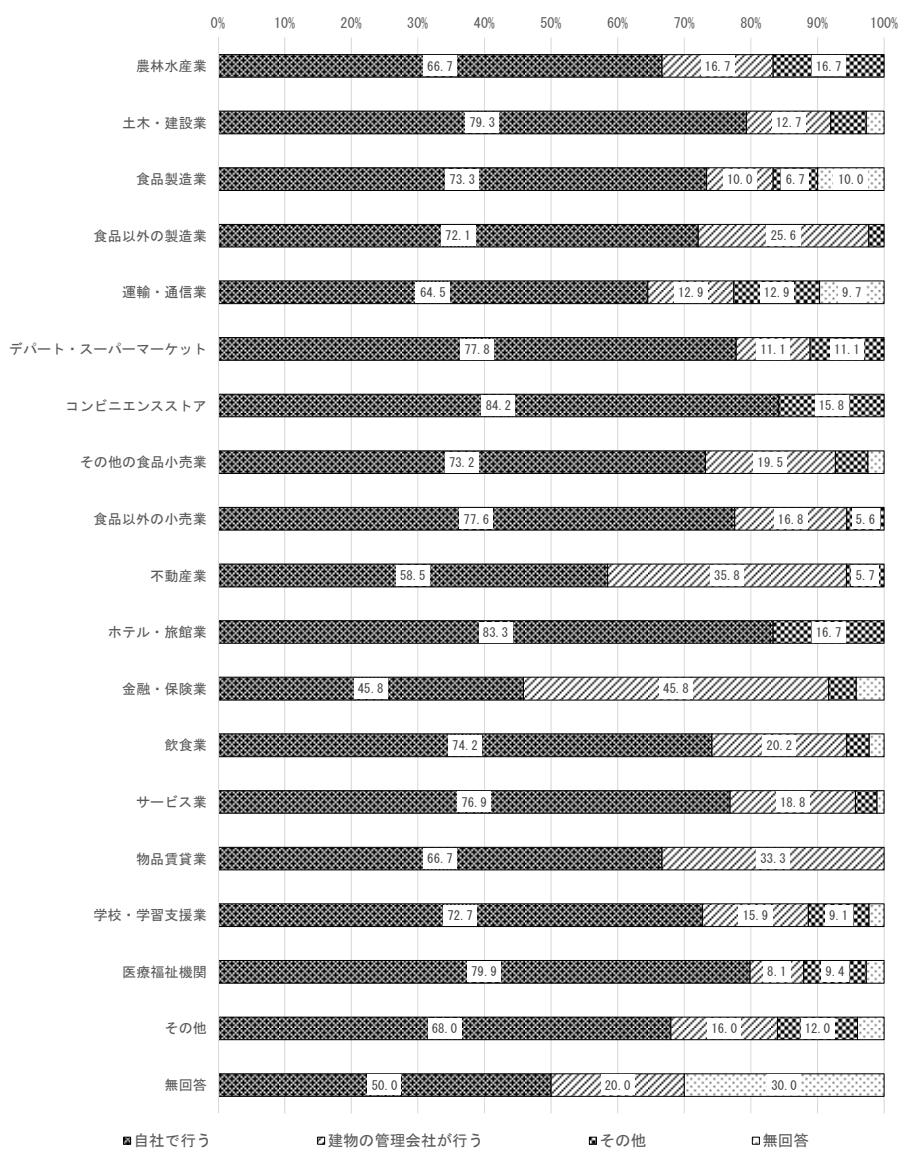


②クロス集計

●業種

ごみの排出を自社で行う事業者を業種別に見ると「その他」、「サービス業」の順で多く、次いで「土木・建設業」及び「医療福祉機関」が同数となり、「食品以外の小売業」、「飲食業」となる。建物の管理会社が行う排出を行う事業者では上記同様に「その他」、「サービス業」の順で多いが、次いで「土木・建設業」及び「不動産業」、「食品以外の小売業」及び「飲食業」となる。

選択肢	自社で行 う	建物の管理 会社が行う	その他	無回答	全体
農林水産業	4	1	1	0	6
土木・建設業	119	19	8	4	150
食品製造業	22	3	2	3	30
食品以外の製造業	31	11	1	0	43
運輸・通信業	20	4	4	3	31
デパート・スーパーマーケット	14	2	2	0	18
コンビニエンスストア	16	0	3	0	19
その他の食品小売業	30	8	2	1	41
食品以外の小売業	83	18	6	0	107
不動産業	31	19	3	0	53
ホテル・旅館業	5	0	1	0	6
金融・保険業	11	11	1	1	24
飲食業	66	18	3	2	89
サービス業	143	35	6	2	186
物品賃貸業	4	2	0	0	6
学校・学習支援業	32	7	4	1	44
医療福祉機関	119	12	14	4	149
その他	153	36	27	9	225
無回答	5	2	0	3	10
	908	208	88	33	1,237

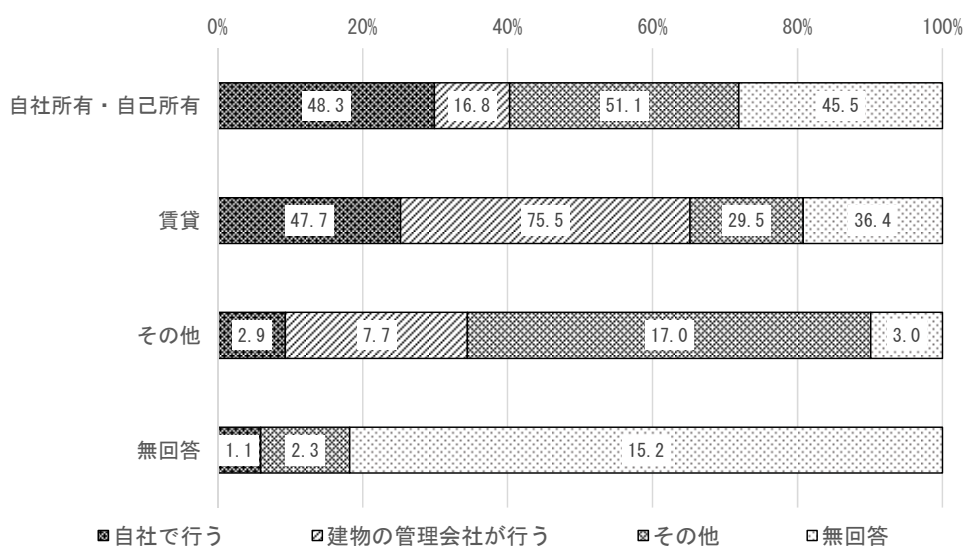


●建物の所有状況

ごみの排出を自社で行う事業者を建物の所有別に見ると「自社所有・自己所有」、「賃貸」の順が多いが、ほぼ同数となっている。

建物の管理会社が排出を行う事業者では「賃貸」が多く、次いで「建物の管理会社が行う」となる。

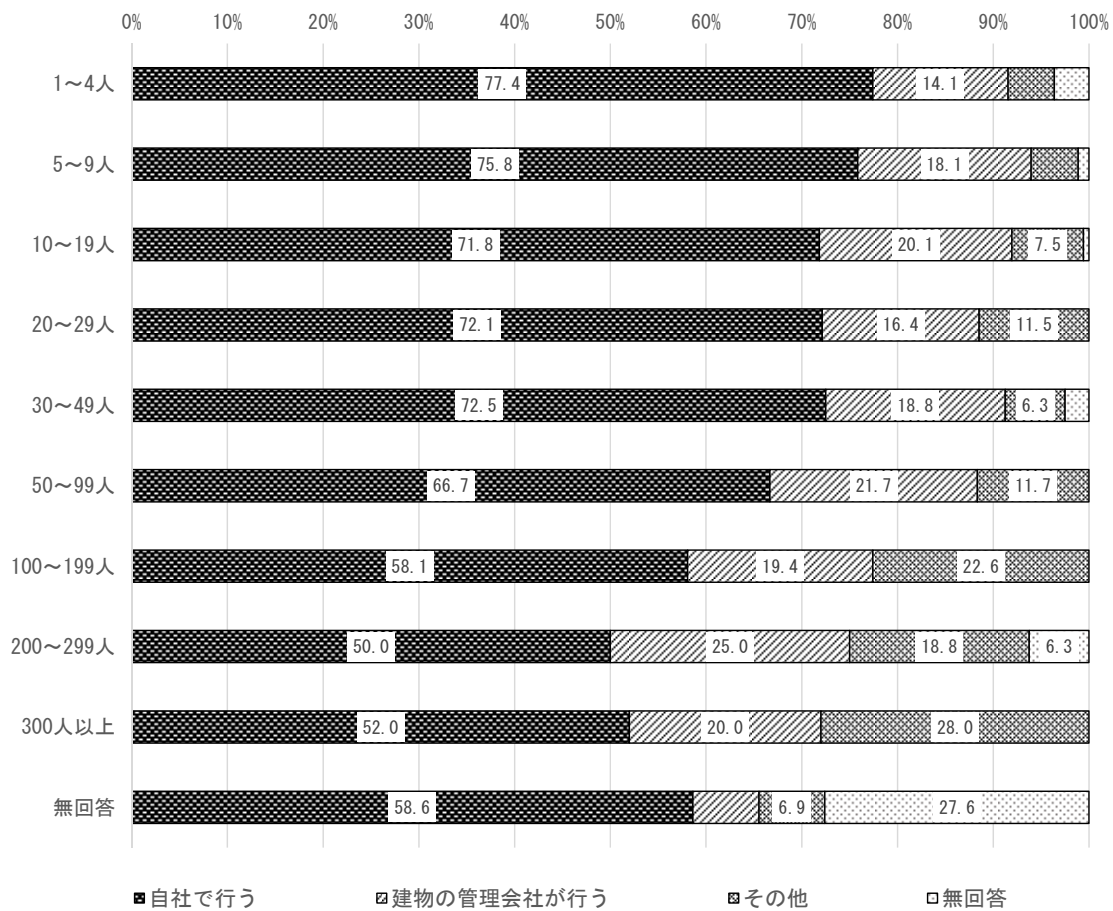
選択肢	自社で行う	建物の管理 会社が行う	その他	無回答	全体
自社所有・自己所有	439	35	45	15	534
賃貸	433	157	26	12	628
その他	26	16	15	1	58
無回答	10	0	2	5	17
全体	908	208	88	33	1,237



●従業員数

ごみの排出を自社で行う事業者を従業員数別に見ると「1～4人」が最も多く、以下は従業員数が多いほど少なくなっている。建物の管理会社が排出を行う事業者では「1～4人」が最も多く、傾向として上記と同様となっている。

選択肢	自社で行う	建物の管理 会社が行う	その他	無回答	全体
1～4人	384	70	24	18	496
5～9人	201	48	13	3	265
10～19人	125	35	13	1	174
20～29人	44	10	7	0	61
30～49人	58	15	5	2	80
50～99人	40	13	7	0	60
100～199人	18	6	7	0	31
200～299人	8	4	3	1	16
300人以上	13	5	7	0	25
無回答	17	2	2	8	29
全体	908	208	88	33	1,237

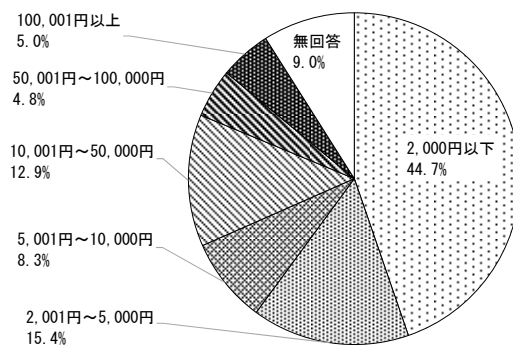


7) 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

①単純集計 (単一回答)

「2,000円以下」が44.7%を締め、次いで「2,001円～5,000円」の15.4%、「10,001円～50,000円」の12.9%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
2,000円以下	553	44.7%
2,001円～5,000円	190	15.4%
5,001円～10,000円	103	8.3%
10,001円～50,000円	159	12.9%
50,001円～100,000円	59	4.8%
100,001円以上	62	5.0%
無回答	111	9.0%
全体	1,237	100.0%



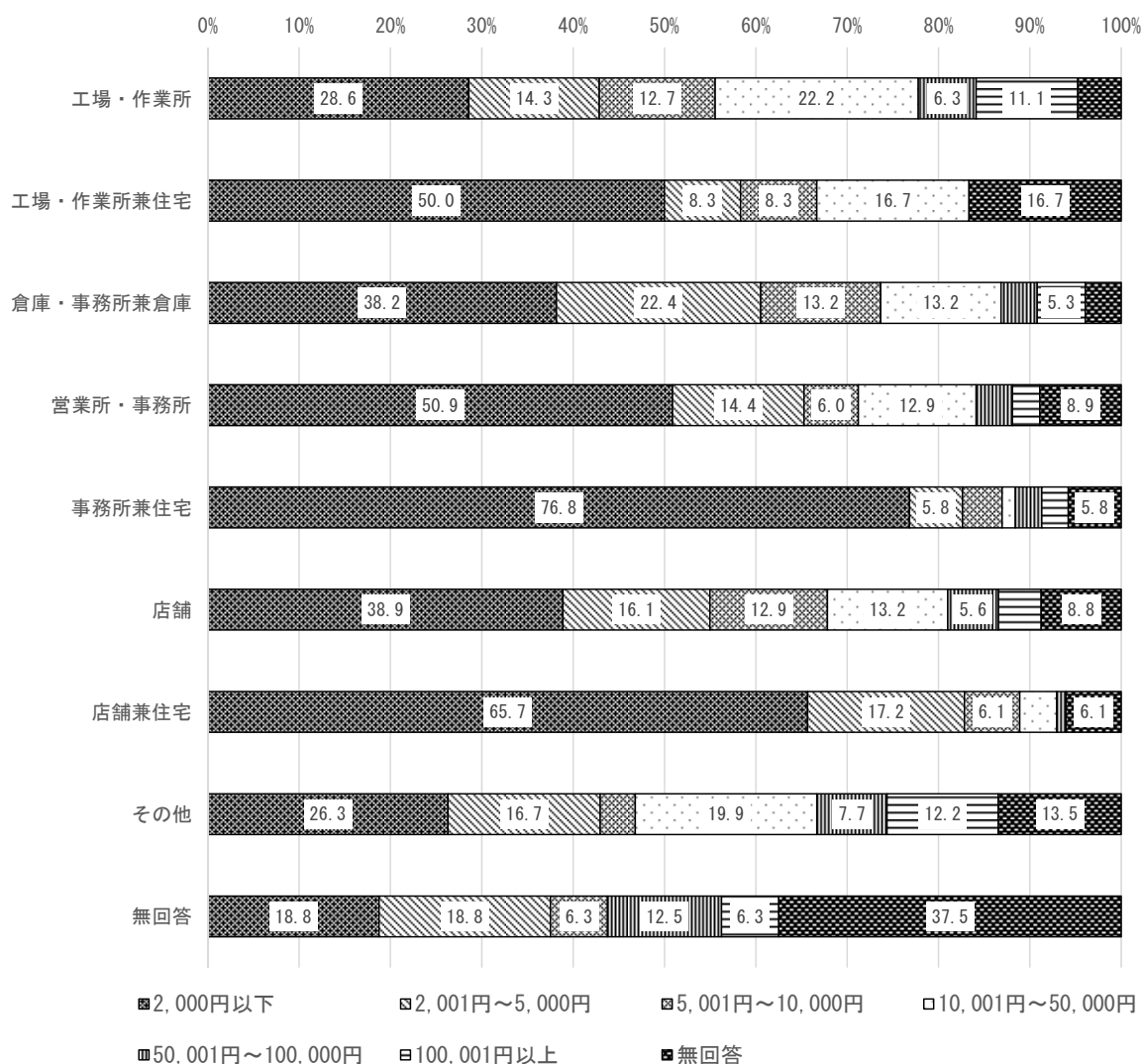
②クロス集計

●事業所の形態

ごみ・資源物処理費用を事業所の形態別に見ると「2,000円以下」の「営業所・事務

所」最も多く、次いで「店舗」となる。金額が多い場合でも同様に「営業所・事務所」最も多く、次いで「店舗」となっている。

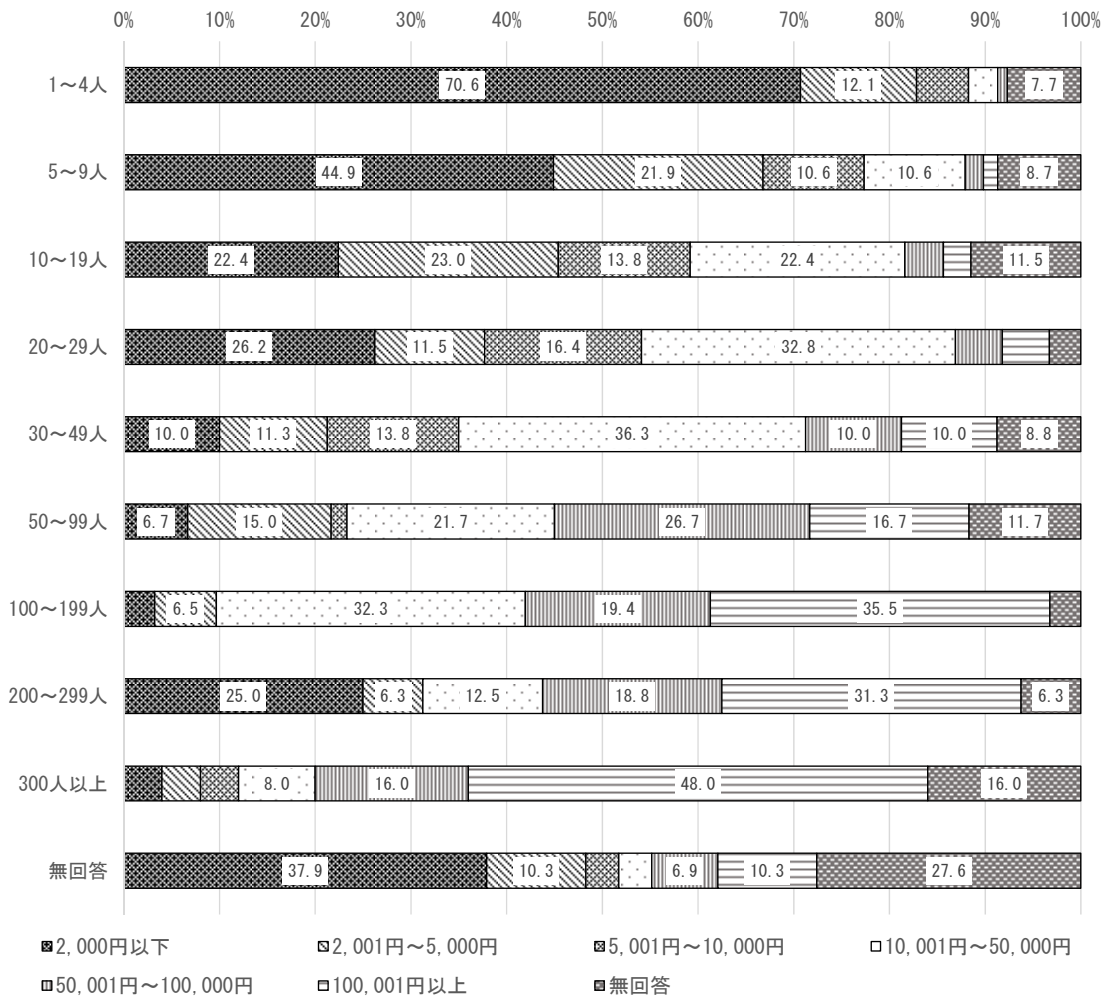
選択肢	2,000円以下	2,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円～50,000円	50,001円～100,000円	100,001円以上	無回答	全体
工場・作業所	18	9	8	14	4	7	3	63
工場・作業所兼住宅	6	1	1	2	0	0	2	12
倉庫・事務所兼倉庫	29	17	10	10	3	4	3	76
営業所・事務所	205	58	24	52	16	12	36	403
事務所兼住宅	53	4	3	1	2	2	4	69
店舗	133	55	44	45	19	17	30	343
店舗兼住宅	65	17	6	4	1	0	6	99
その他	41	26	6	31	12	19	21	156
無回答	3	3	1	0	2	1	6	16
全体	553	190	103	159	59	62	111	1,237



●従業員数

ごみ・資源物処理費用を従業員数別に見ると「2,000円以下」の「1~4人」が最も多く、次いで「5~9人」となる。金額と従業員の増分が相関していることが見て取れる。

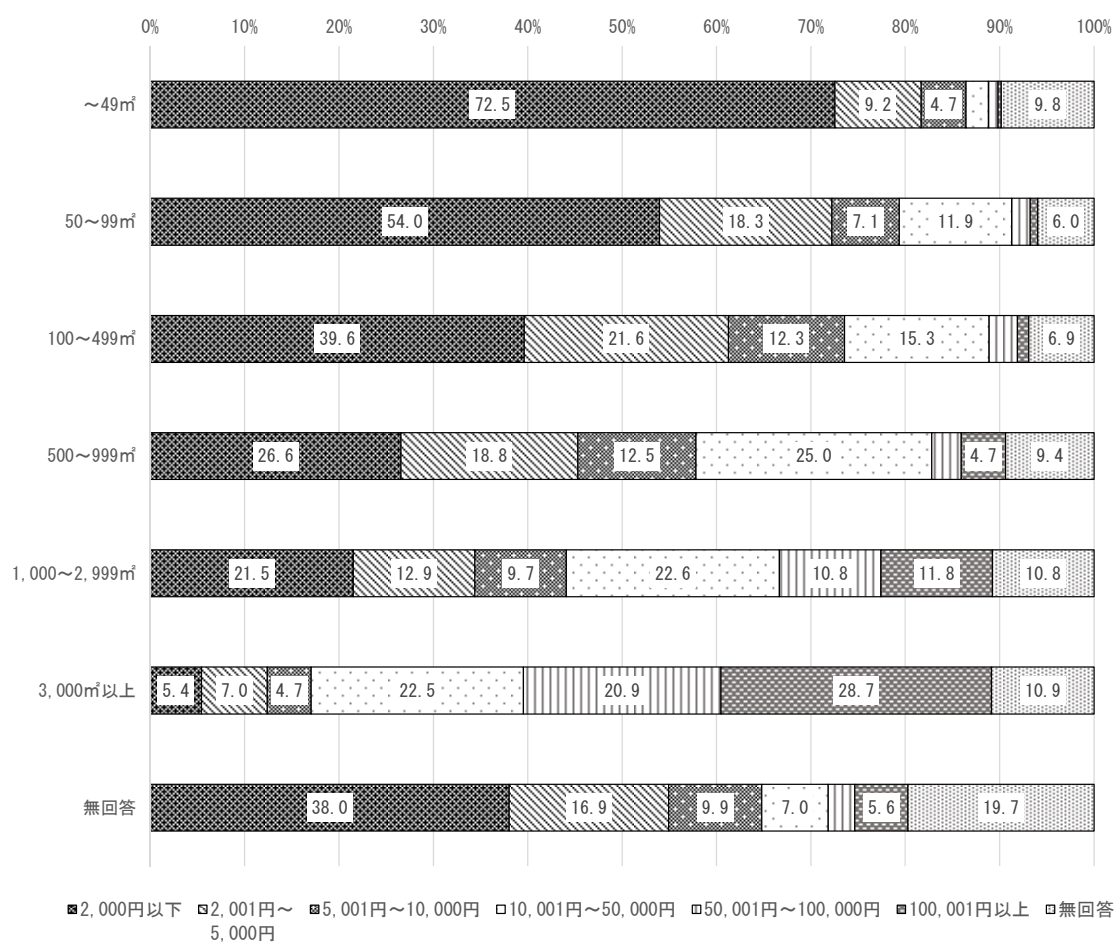
選択肢	2,000円以下	2,001円~5,000円	5,001円~10,000円	10,001円~50,000円	50,001円~100,000円	100,001円以上	無回答	全体
1~4人	350	60	27	15	5	1	38	496
5~9人	119	58	28	28	5	4	23	265
10~19人	39	40	24	39	7	5	20	174
20~29人	16	7	10	20	3	3	2	61
30~49人	8	9	11	29	8	8	7	80
50~99人	4	9	1	13	16	10	7	60
100~199人	1	2	0	10	6	11	1	31
200~299人	4	1	0	2	3	5	1	16
300人以上	1	1	1	2	4	12	4	25
無回答	11	3	1	1	2	3	8	29
全体	553	190	103	159	59	62	111	1,237



●延べ床面積

ごみ・資源物処理費用を延べ床面積別に見ると「2,000円以下」の「～49㎡」が最も多く、次いで「50～99㎡」、となる。従業員数と同様に金額と従業員の増分が関連していることが見て取れる。

選択肢	2,000円以下	2,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円～50,000円	50,001円～100,000円	100,001円以上	無回答	全体
～49㎡	214	27	14	7	3	1	29	295
50～99㎡	136	46	18	30	5	2	15	252
100～499㎡	132	72	41	51	10	4	23	333
500～999㎡	17	12	8	16	2	3	6	64
1,000～2,999㎡	20	12	9	21	10	11	10	93
3,000㎡以上	7	9	6	29	27	37	14	129
無回答	27	12	7	5	2	4	14	71
全体	553	190	103	159	59	62	111	1,237

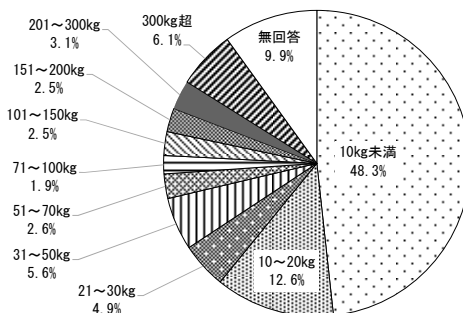


8) 1週間あたりの可燃ごみの排出量 2(3)

①単純集計(単一回答)

「10kg未満」が48.3%を占めており、次いで「10~20kg」の12.6%、「300kg超」の6.1%、「31~50kg」の5.6%、「21~39kg」の4.9%となる。

選択肢	件数	割合(%)
10kg未満	597	48.3%
10~20kg	156	12.6%
21~30kg	60	4.9%
31~50kg	69	5.6%
51~70kg	32	2.6%
71~100kg	24	1.9%
101~150kg	31	2.5%
151~200kg	31	2.5%
201~300kg	38	3.1%
300kg超	76	6.1%
無回答	123	9.9%
全体	1,237	100.0%

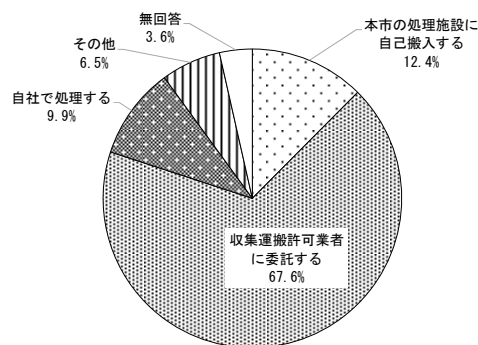


9) 可燃ごみの処理(排出)方法 2(4)

①単純集計(単一回答)

「収集運搬許可業者に委託する」が67.6%を占めており、次いで「本市の処理施設に自己搬入する」の12.4%、「自社で処理する」の9.9%となる。

選択肢	件数	割合(%)
本市の処理施設に自己搬入する	154	12.4%
収集運搬許可業者に委託する	836	67.6%
自社で処理する	123	9.9%
その他	80	6.5%
無回答	44	3.6%
全体	1,237	100.0%

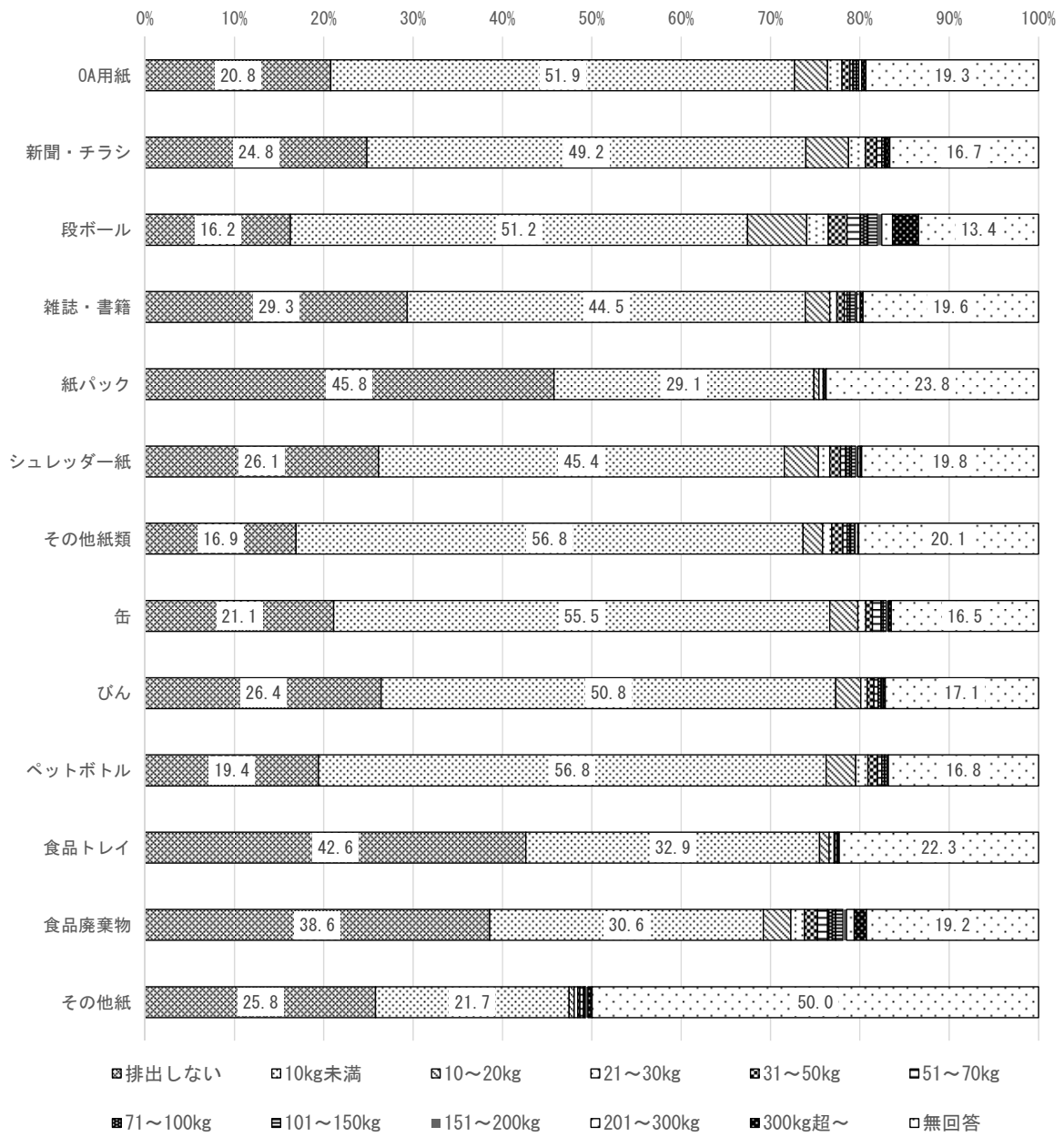


10) 1週間あたりの資源物の排出実態及び排出量 2(5)①

①単純集計(単一回答)

資源物の排出量は、「排出しない」あるいは「10kg未満」の占める割合が多い。

選択肢	排出しない	10kg未満	10~20kg	21~30kg	31~50kg	51~70kg	71~100kg	101~150kg	151~200kg	201~300kg	300kg超	無回答	全体
OA用紙	257	642	46	20	11	4	5	3	0	4	6	239	1,237
新聞・チラシ	307	608	59	23	16	7	4	1	0	1	5	206	1,237
段ボール	201	633	82	30	26	18	11	13	6	15	36	166	1,237
雑誌・書籍	363	551	34	10	10	4	4	7	2	5	4	243	1,237
紙バック	566	360	7	6	0	0	2	0	1	1	0	294	1,237
シュレッダー紙	323	562	47	16	15	7	8	6	3	3	2	245	1,237
その他紙類	209	702	27	13	15	6	5	5	1	4	1	249	1,237
缶	261	687	39	11	9	12	3	4	3	1	3	204	1,237
びん	327	629	35	9	9	6	4	1	0	2	3	212	1,237
ペットボトル	240	703	41	17	13	6	4	3	1	0	1	208	1,237
食品トレイ	527	407	13	7	1	3	1	0	0	1	1	276	1,237
食品廃棄物	477	379	38	19	18	14	11	10	5	11	17	238	1,237
その他紙	319	268	7	5	3	5	2	1	3	0	6	618	1,237

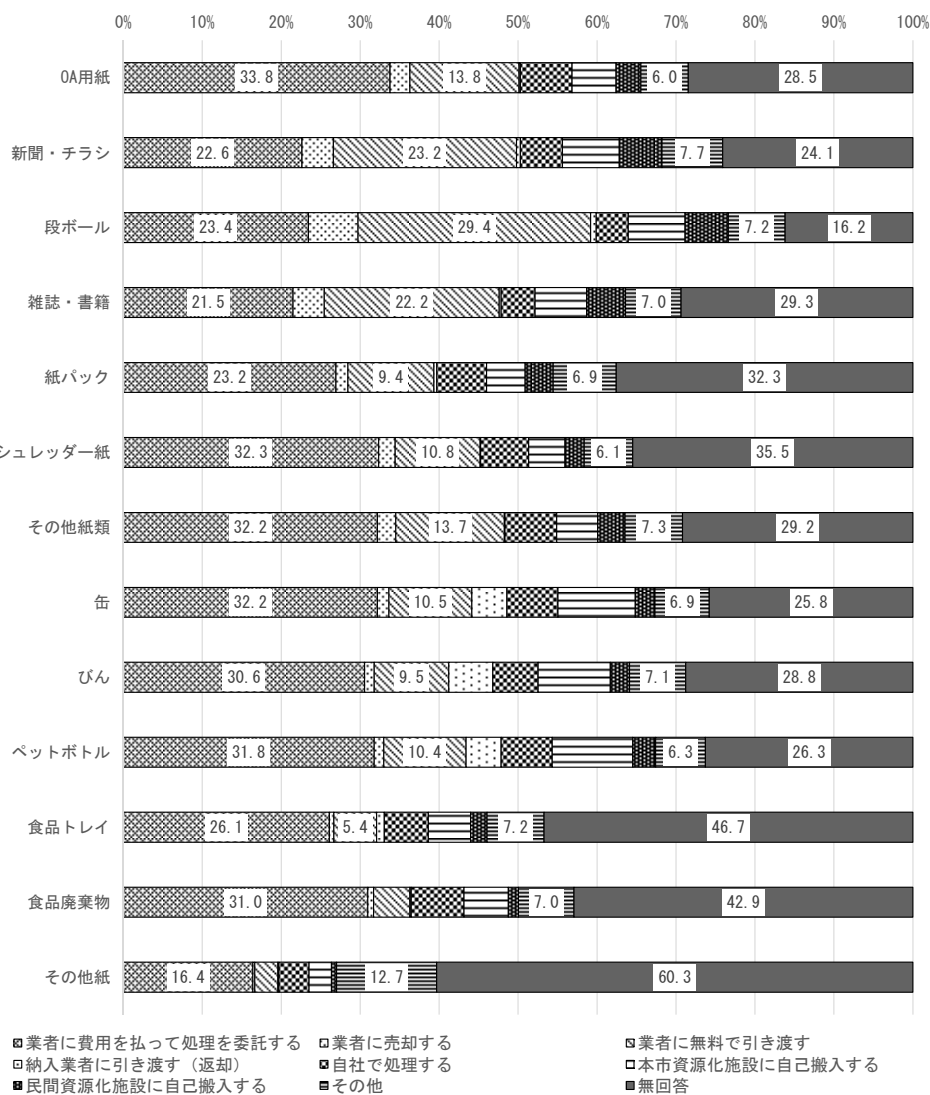


1 1) 資源物の処理（排出）方法 2 (5) ②

①単純集計（単一回答）

「業者に費用を払って処理を委託する」の割合が高いのは、「OA用紙」、「シュレツダー用紙」、「その他紙類」及び「缶」となっており、「業者に無料で引き渡す」は「段ボール」、「新聞・チラシ」、「雑誌・書籍」となる。

選択肢	業者に費用を払って処理を委託する	業者に売却する	業者に無料で引き渡す	納入業者に引き渡す（返却）	自社で処理する	本市資源化施設に自己搬入する	民間資源化施設に自己搬入する	その他	無回答	全体
OA用紙	418	31	171	2	81	69	39	74	352	1,237
新聞・チラシ	280	49	287	6	66	89	67	95	298	1,237
段ボール	290	78	364	9	50	89	68	89	200	1,237
雑誌・書籍	266	49	274	3	53	81	61	87	363	1,237
紙パック	287	16	116	4	67	52	38	85	400	1,237
シュレツダー紙	400	26	133	1	75	57	30	76	439	1,237
その他紙類	398	29	170	1	81	64	43	90	361	1,237
缶	398	18	130	55	80	121	31	85	319	1,237
びん	378	15	117	69	71	113	30	88	356	1,237
ペットボトル	393	15	129	55	80	126	36	78	325	1,237
食品トレイ	323	7	67	12	69	66	26	89	578	1,237
食品廃棄物	383	9	57	2	83	69	16	87	531	1,237
その他紙	203	3	36	2	47	35	8	157	746	1,237

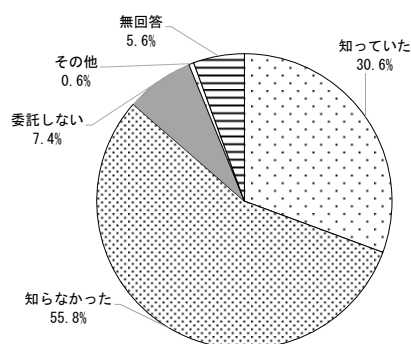


12) 収集費用に搬入手数料が含まれていることの認知度 2(6)

①単純集計(単一回答)

「知らなかった」が55.8%を占めており、次いで「知っていた」の30.6%、「委託しない」の7.4%、となる。前回調査(平成21年度)は「知っていた」28.9%、「知らなかった」50.6%となり率として顕著な変化は見られない。

選択肢	件数	割合(%)
知っていた	379	30.6
知らなかった	690	55.8
委託しない	92	7.4
その他	7	0.6
無回答	69	5.6
全体	1,237	100.0

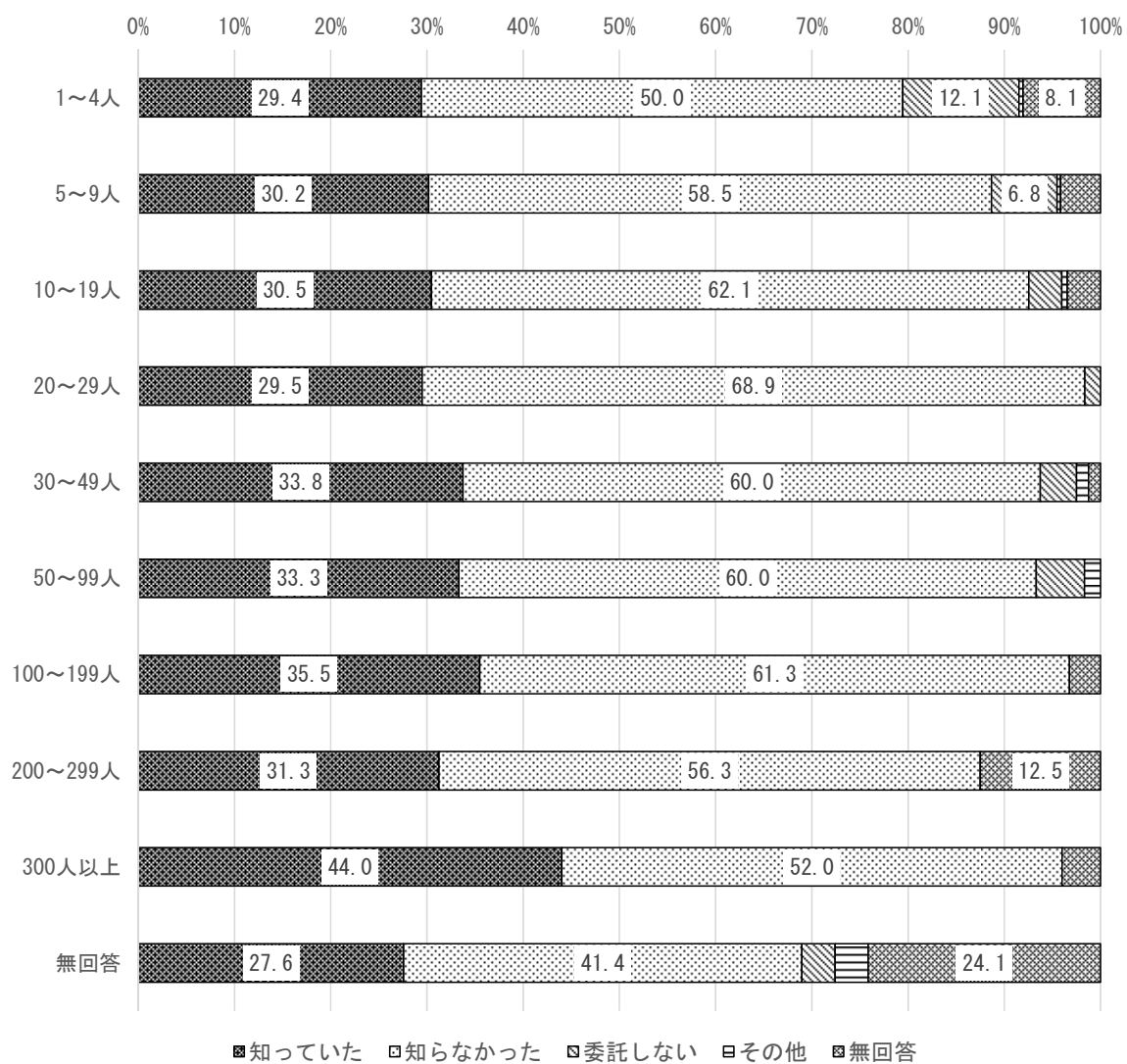


②クロス集計

●従業員数

認知度を従業員別に見ると、「知っていた」とする事業者では「300人以上」の事業者が平均値を上回っている。「知らなかった」とする事業者は全体の半数以上となっている。「委託しない」とする事業者は「100~199人」以上の事業者には見られなかった。

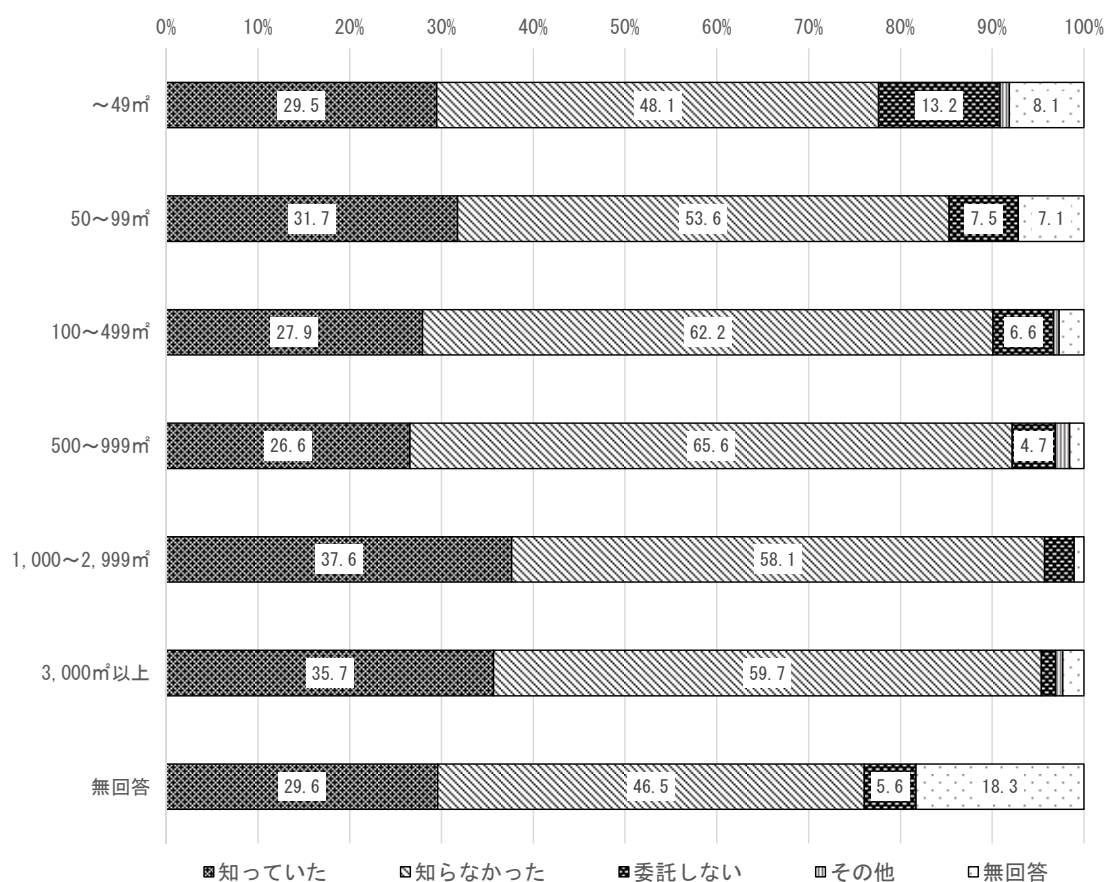
選択肢	知っていた	知らなかった	委託しない	その他	無回答	全体
1~4人	146	248	60	2	40	496
5~9人	80	155	18	1	11	265
10~19人	53	108	6	1	6	174
20~29人	18	42	1	0	0	61
30~49人	27	48	3	1	1	80
50~99人	20	36	3	1	0	60
100~199人	11	19	0	0	1	31
200~299人	5	9	0	0	2	16
300人以上	11	13	0	0	1	25
無回答	8	12	1	1	7	29
全体	379	690	92	7	69	1,237



●延べ床面積

認知度を延べ床面積別に見ると、「知っていた」とする事業者では「1,000～2,999 m²」が最も多く、「知らなかった」とする事業者は「500～999 m²」が最も多く、「委託しない」については「～49 m²」が最も多くなる。

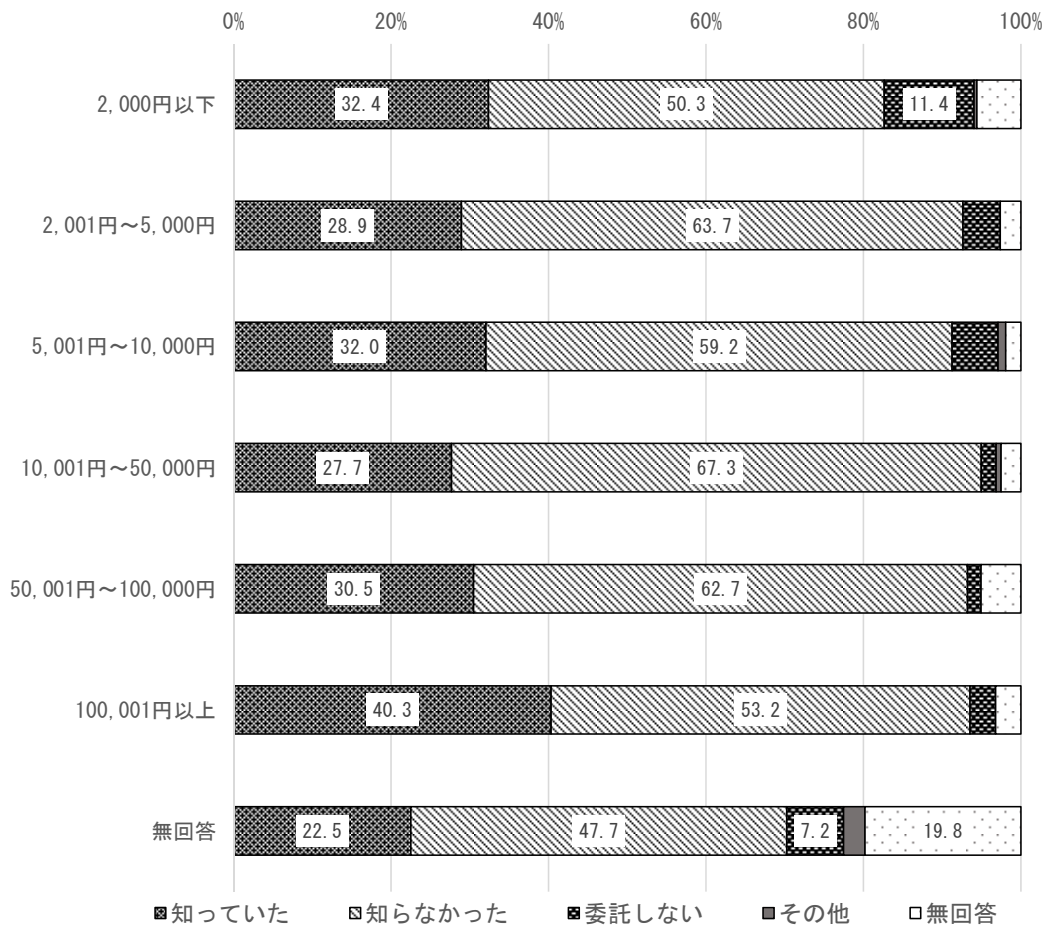
選択肢	知っていた	知らなかった	委託しない	その他	無回答	全体
～49m ²	87	142	39	3	24	295
50～99m ²	80	135	19	0	18	252
100～499m ²	93	207	22	2	9	333
500～999m ²	17	42	3	1	1	64
1,000～2,999m ²	35	54	3	0	1	93
3,000m ² 以上	46	77	2	1	3	129
無回答	21	33	4	0	13	71
全体	379	690	92	7	69	1,237



●1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

認知度を1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「知っていた」としての認知度の割合は「100,001円以上」が多くなっている。

選択肢	知っていた	知らなかった	委託しない	その他	無回答	全体
2,000円以下	179	278	63	2	31	553
2,001円～5,000円	55	121	9	0	5	190
5,001円～10,000円	33	61	6	1	2	103
10,001円～50,000円	44	107	3	1	4	159
50,001円～100,000円	18	37	1	0	3	59
100,001円以上	25	33	2	0	2	62
無回答	25	53	8	3	22	111
全体	379	690	92	7	69	1,237

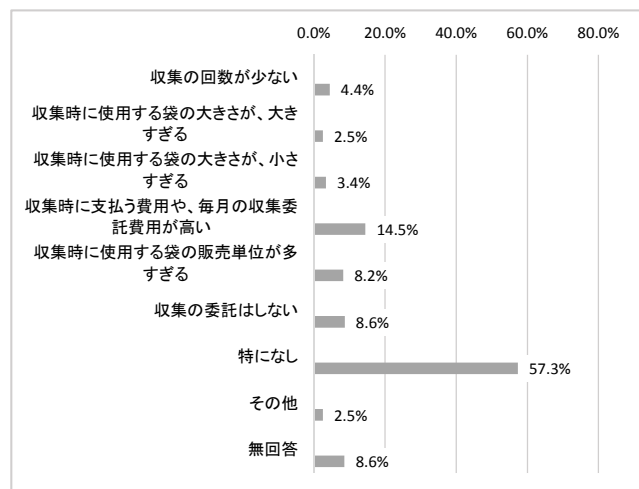


13) 収集に関して普段感じていること 2 (7)

①単純集計 (複数回答)

「特になし」が 57.3%を占めており、次いで「収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費が高い」の 14.5%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
収集の回数が少ない	55	4.4
収集時に使用する袋の大きさが、大きすぎる	31	2.5
収集時に使用する袋の大きさが、小さすぎる	42	3.4
収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費用が高い	179	14.5
収集時に使用する袋の販売単位が多すぎる	102	8.2
収集の委託はしない	107	8.6
特になし	709	57.3
その他	31	2.5
無回答	106	8.6
全体	1237	100.0

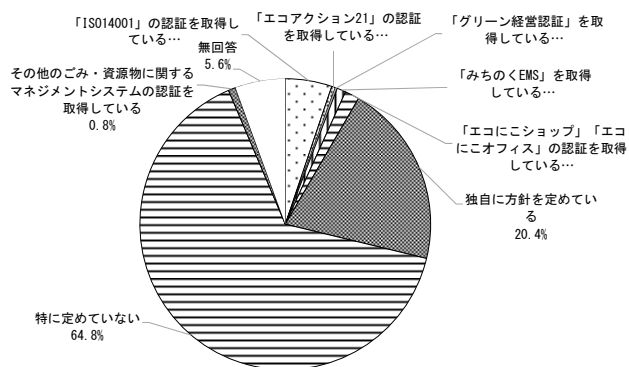


14) ごみ減量・リサイクルの方針の状況 3 (1)

①単純集計 (単一回答)

「特に定めていない」が64.8%を占めており、次いで「独自に方針を定めている」の20.4%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
「ISO14001」の認証を取得している	64	5.2%
「エコアクション21」の認証を取得している	5	0.4%
「グリーン経営認証」を取得している	3	0.2%
「みちのくEMS」を取得している	12	1.0%
「エコにこショップ」「エコにこオフィス」の認証を取得している	20	1.6%
独自に方針を定めている	252	20.4%
特に定めていない	802	64.8%
その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	10	0.8%
無回答	69	5.6%
全体	1,237	100.0%

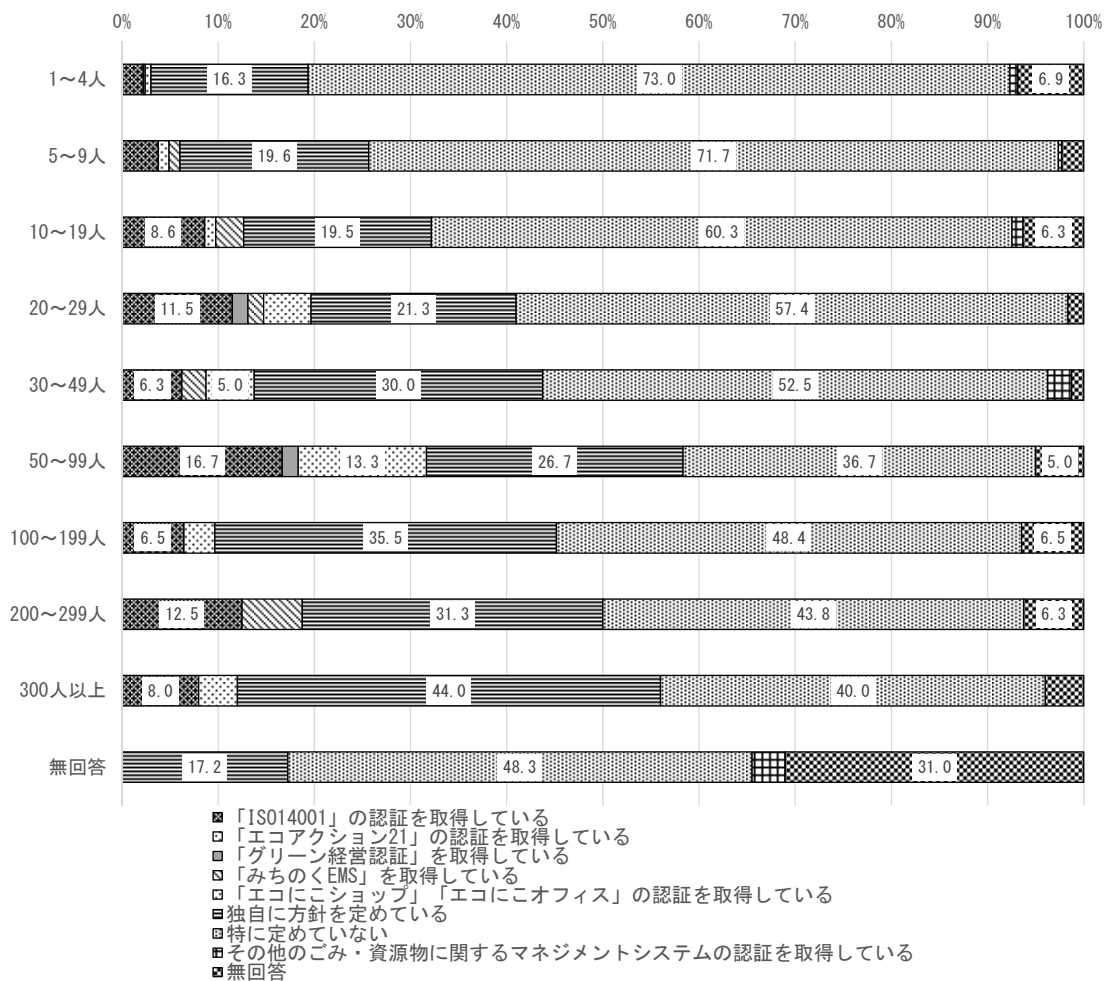


②クロス集計

●従業員数

方針の状況を従業員数別に見ると、「ISO14001」の認証を取得している」とする「50～99人」の割合が多く、全ての認証等取得の割合からは「10～19人」が最も高く、次いで「1～4人」及び「50～99人」となる。「独自に方針を定めている」とする事業者は「300人以上」が最も多い。「定めていない」とする割合では「1～4人」が最も多く、次いで「5～9人」となる。

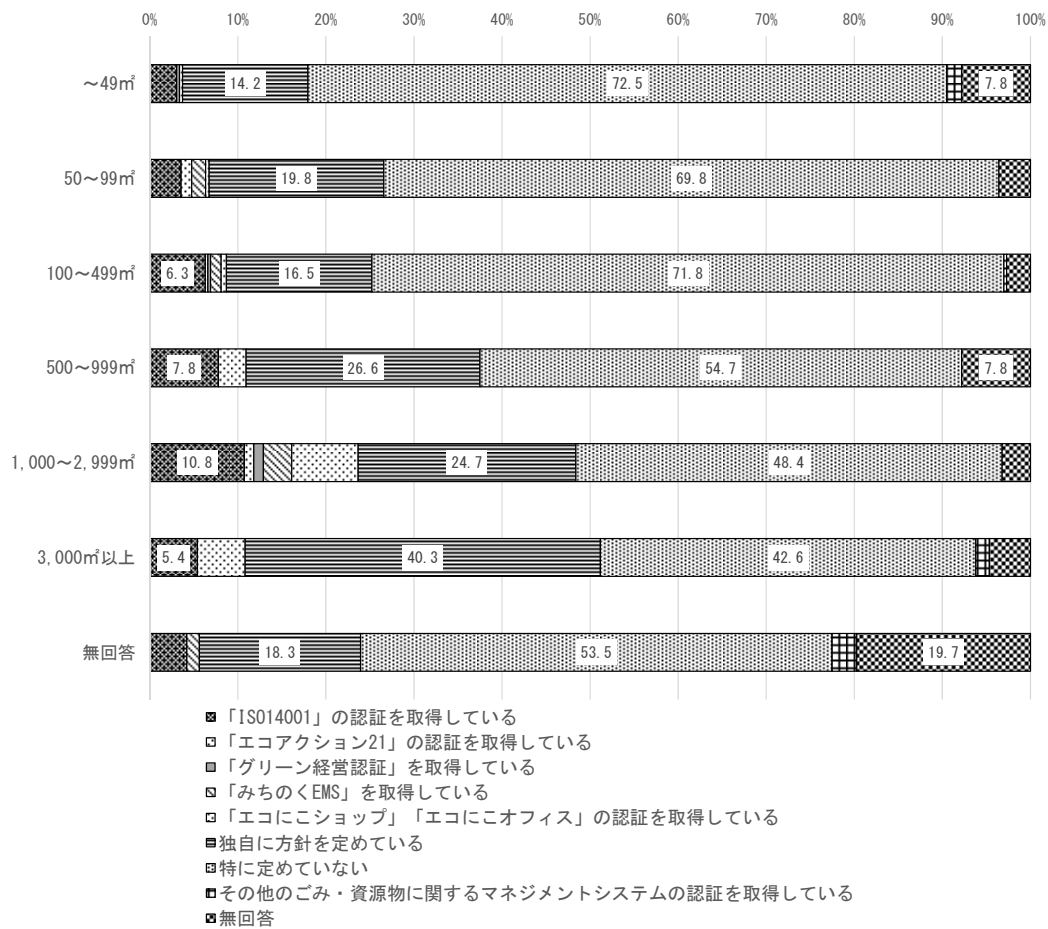
選択肢	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	「グリーン経営認証」を取得している	「みちのくEMS」を取得している	「エコにこショップ」「エコにこオフィス」の認証を取得している	独自に方針を定めている	特に定めていない	その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答	全体
1～4人	11	0	1	0	3	81	362	4	34	496
5～9人	10	3	0	3	0	52	190	1	6	265
10～19人	15	2	0	5	0	34	105	2	11	174
20～29人	7	0	1	1	3	13	35	0	1	61
30～49人	5	0	0	2	4	24	42	2	1	80
50～99人	10	0	1	0	8	16	22	0	3	60
100～199人	2	0	0	0	1	11	15	0	2	31
200～299人	2	0	0	1	0	5	7	0	1	16
300人以上	2	0	0	0	1	11	10	0	1	25
無回答	0	0	0	0	0	5	14	1	9	29
全体	64	5	3	12	20	252	802	10	69	1,237



●延べ床面積

方針の状況を延べ床面積別に見ると、「「ISO14001」の認証を取得している」とする「1,000～2,999 m²」の割合が多く、全ての認証等取得の割合からも多い。「独自に方針を定めている」とする事業者は「3,000 m²以上」が最も多い。「定めていない」とする割合では「～49 m²」が最も多く、次いで「100～499 m²」となる。

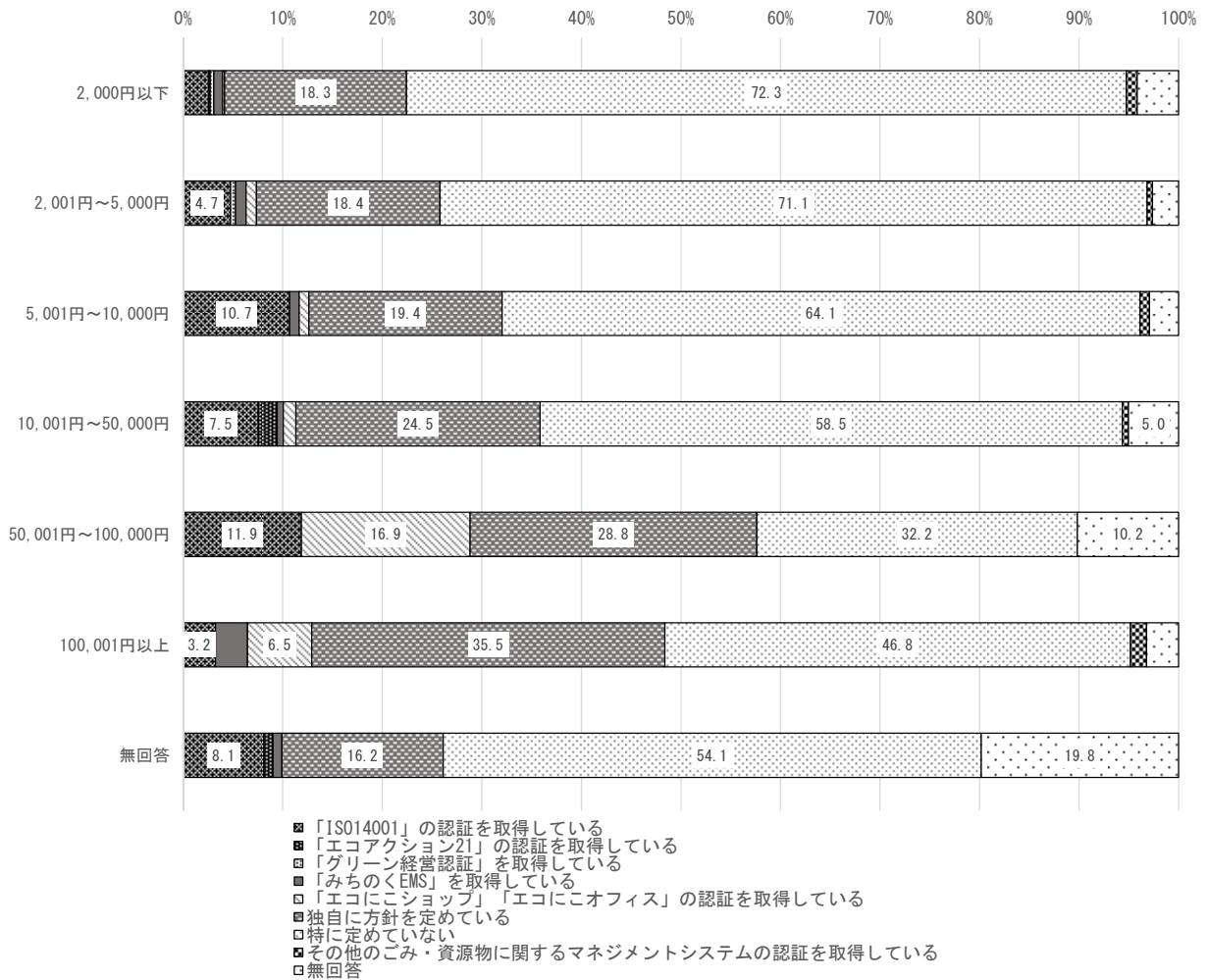
選択肢	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	「グリーン経営認証」を取得している	「みちのくEMS」を取得している	「エコにショップ」「エコにオフィス」の認証を取得している	独自に方針を定めている	特に定めていない	その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答	全体
～49m ²	9	0	1	0	1	42	214	5	23	295
50～99m ²	9	3	0	4	1	50	176	0	9	252
100～499m ²	21	1	1	4	2	55	239	1	9	333
500～999m ²	5	0	0	0	2	17	35	0	5	64
1,000～2,999m ²	10	1	1	3	7	23	45	0	3	93
3,000m ² 以上	7	0	0	0	7	52	55	2	6	129
無回答	3	0	0	1	0	13	38	2	14	71
全体	64	5	3	12	20	252	802	10	69	1,237



● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

方針の状況を処理費用別に見ると、「ISO14001」の認証を取得している」とする「2,000円以下」の割合が多く、全ての認証等取得の割合では「50,001円～100,000円」の割合が多い。「独自に方針を定めている」とする事業者は「100,001円以上」の割合が最も多い。「定めていない」とする割合では「2,000円以下」の割合が多く、次いで「2,001円～5,000円」となる。

選択肢	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	「グリーン経営認証」を取得している	「みちのくEMS」を取得している	「エコにこショップ」「エコにこオフィス」の認証を取得している	独自に方針を定めている	特に定めていない	その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答	全体
2,000円以下	14	1	2	5	1	101	400	6	23	553
2,001円～5,000円	9	0	1	2	2	35	135	1	5	190
5,001円～10,000円	11	0	0	1	1	20	66	1	3	103
10,001円～50,000円	12	3	0	1	2	39	93	1	8	159
50,001円～100,000円	7	0	0	0	10	17	19	0	6	59
100,001円以上	2	0	0	2	4	22	29	1	2	62
無回答	9	1	0	1	0	18	60	0	22	111
全体	64	5	3	12	20	252	802	10	69	1,237

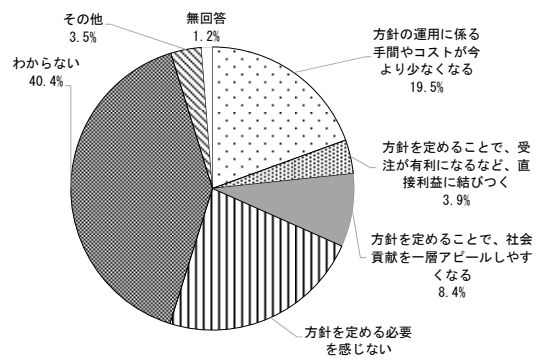


15) ごみ減量・リサイクルの方針作成の条件 3(2) ※14)で“特に定めていない”と回答した対象のみ

①単純集計(単一回答)

「わからない」が40.4%と多く、次いで「方針を定める必要性を感じない」の23.2%、「方針の運用にかかる手間やコストが今より少なくなる」の19.5%となる。

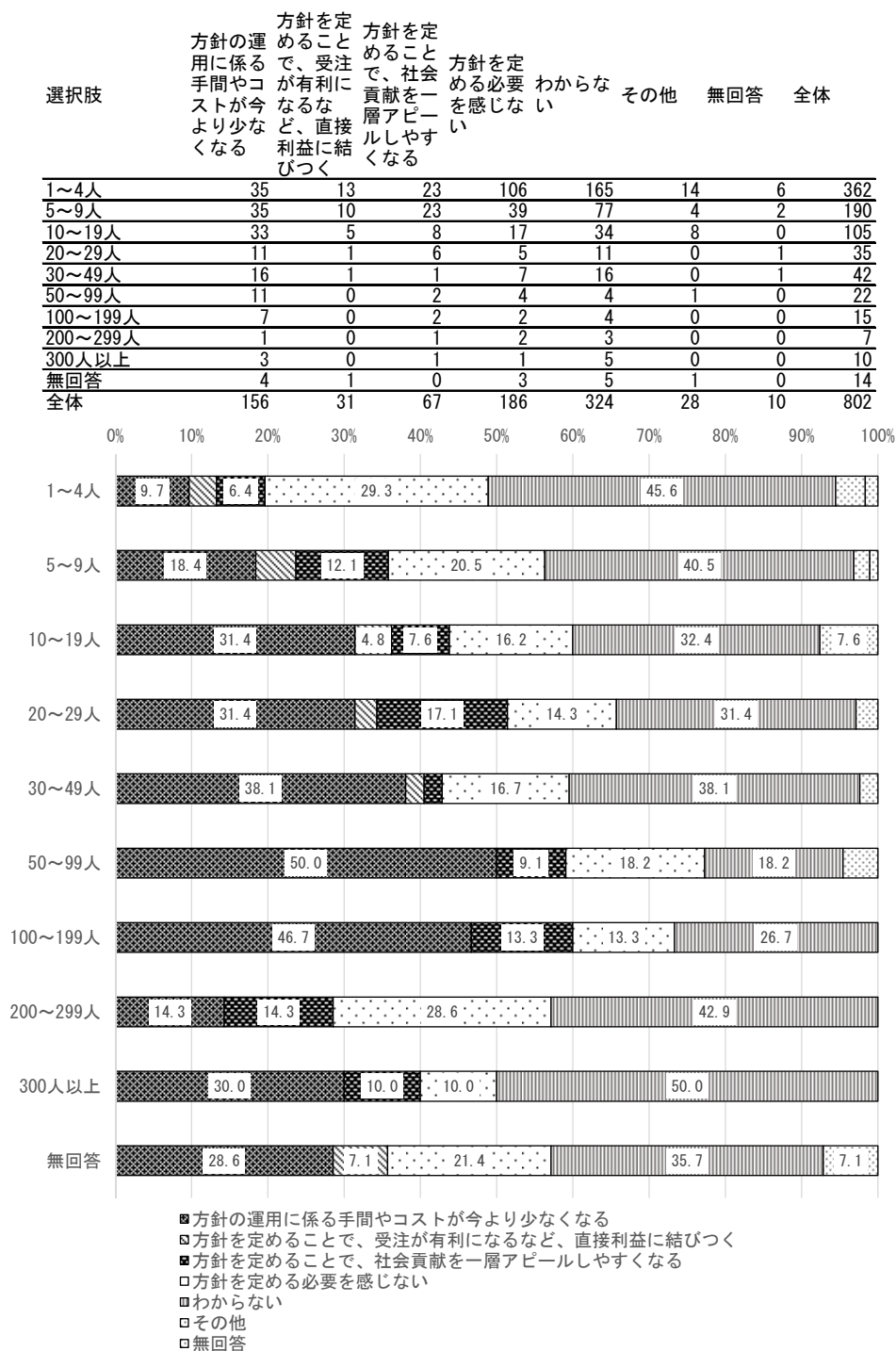
選択肢	件数	割合(%)
方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	156	19.5%
方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	31	3.9%
方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	67	8.4%
方針を定める必要を感じない	186	23.2%
わからない	324	40.4%
その他	28	3.5%
無回答	10	1.2%
全体	802	100.0%



②クロス集計

●従業員数

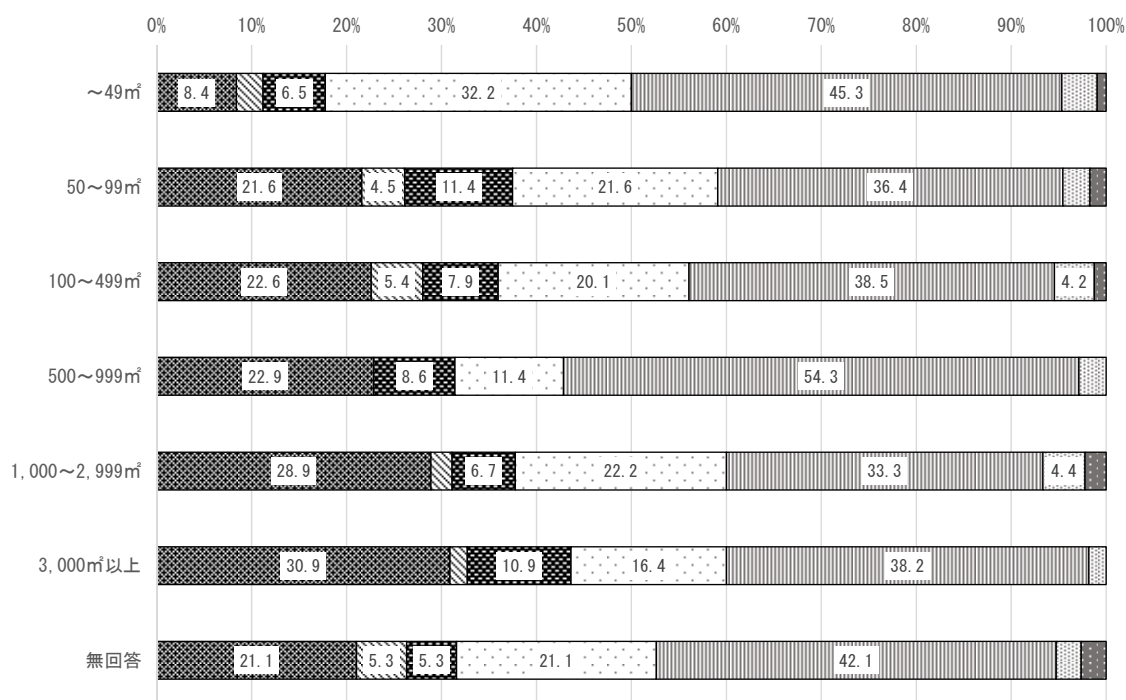
従業員数別に見ると、「方針を定める必要性を感じない」、「わからない」とする割合が「200人～299人」から高くなっている。「方針の運用にかかるコストが今より少なくなる」については「200人～299人」から極端に割合が減り全体にも「1～4人」と同等となっている。



●延べ床面積

延べ床面積別に見ると、「方針の運用にかかるコストが今より少なくなる」がとする割合が「1,000～2,999 m²」から高くなっている。

選択肢	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答	全体
～49m ²	18	6	14	69	97	8	2	214
50～99m ²	38	8	20	38	64	5	3	176
100～499m ²	54	13	19	48	92	10	3	239
500～999m ²	8	0	3	4	19	1	0	35
1,000～2,999m ²	13	1	3	10	15	2	1	45
3,000m ² 以上	17	1	6	9	21	1	0	55
無回答	8	2	2	8	16	1	1	38
全体	156	31	67	186	324	28	10	802

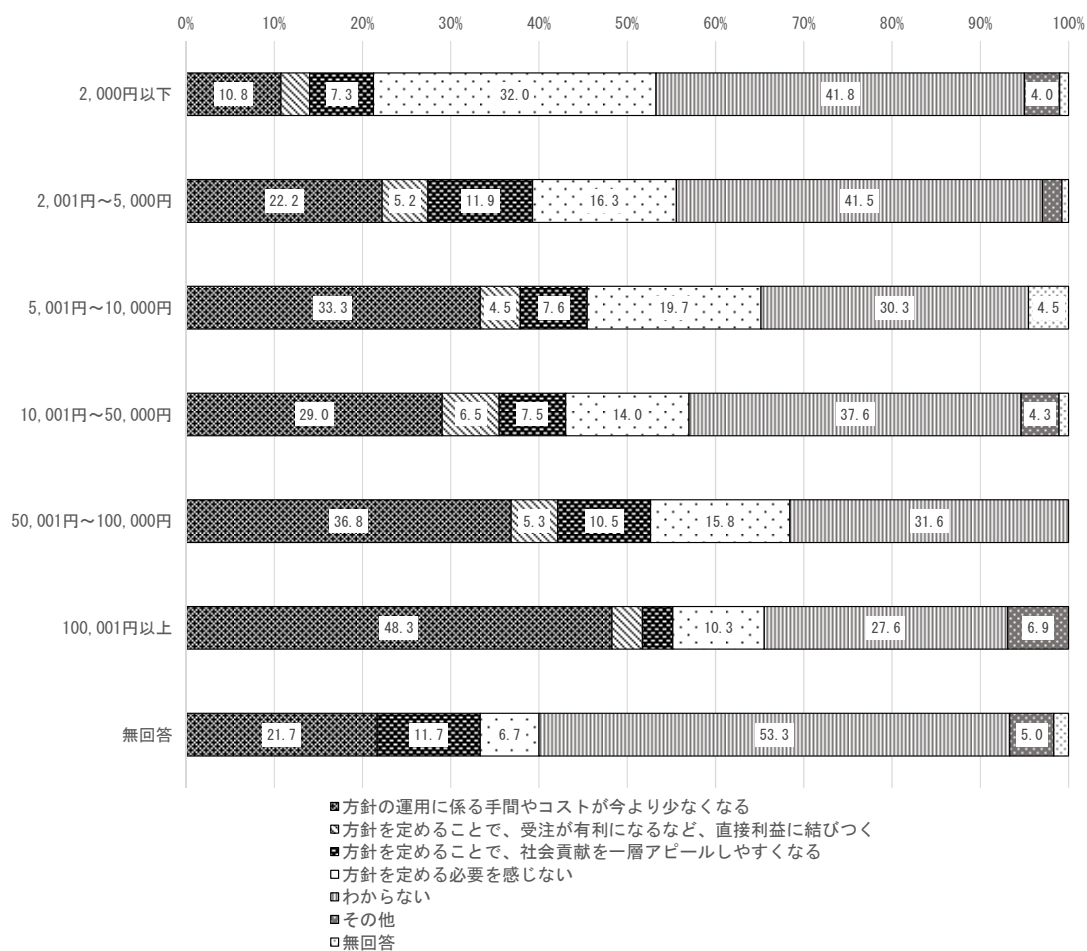


- 方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる
- 方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく
- 方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる
- 方針を定める必要を感じない
- わからない
- その他
- 無回答

● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、費用が多くなると「方針の運用にかかるコストが今より少なくなる」がとする割合が多くなっている。

選択肢	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答	全体
2,000円以下	43	13	29	128	167	16	4	400
2,001円～5,000円	30	7	16	22	56	3	1	135
5,001円～10,000円	22	3	5	13	20	0	3	66
10,001円～50,000円	27	6	7	13	35	4	1	93
50,001円～100,000円	7	1	2	3	6	0	0	19
100,001円以上	14	1	1	3	8	2	0	29
無回答	13	0	7	4	32	3	1	60
全体	156	31	67	186	324	28	10	802

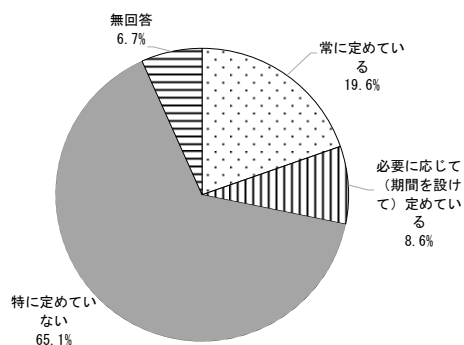


16) ごみ減量化の責任者の有無 3 (3)

①単純集計 (単一回答)

「特に定めていない」が65.1%を占め、次いで「常に定めている」19.6%、「必要に応じて(期間を設けて)定めている」8.6%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
常に定めている	243	19.6%
必要に応じて(期間を設けて)定めている	106	8.6%
特に定めていない	805	65.1%
無回答	83	6.7%
全体	1,237	100.0%

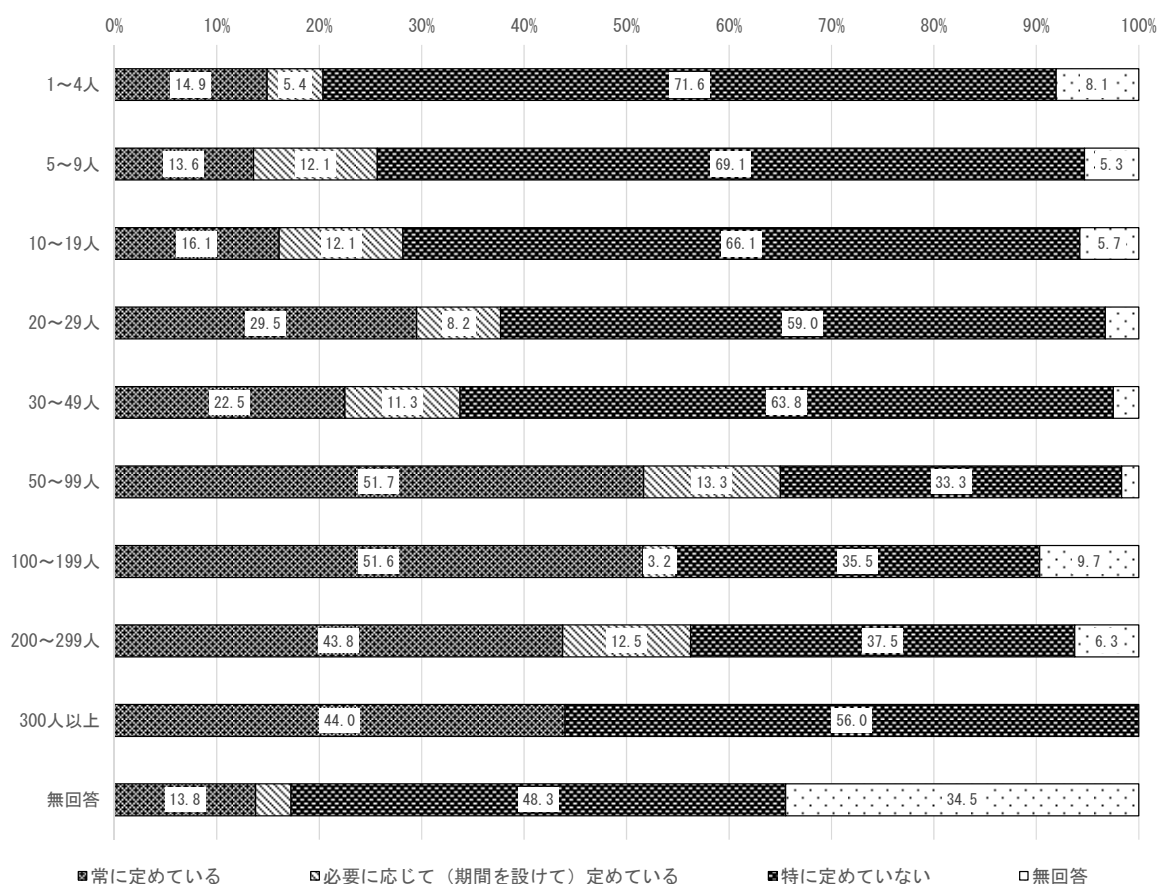


②クロス集計

●従業員数

従業員数別に見ると、「常に定めている」とする割合は「50～99人」、「100～199人」が最も多い。「特に定めていない」とする割合は「1～4人」、「5～9人」が最も多い。

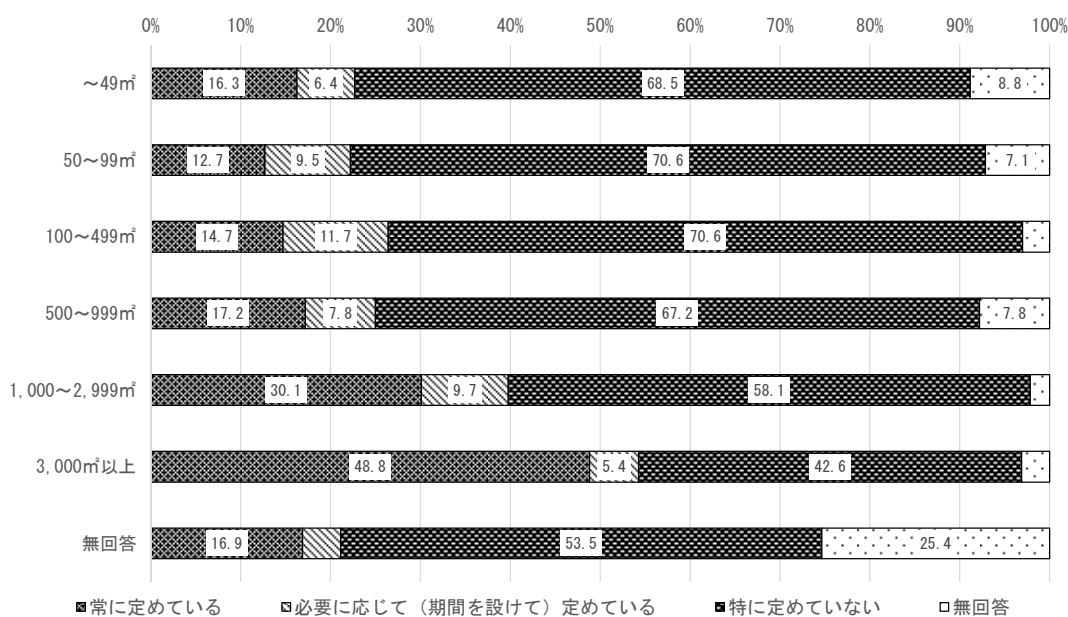
選択肢	常に定めている	必要に応じて(期間を設けて)定めている	特に定めていない	無回答	全体
1～4人	74	27	355	40	496
5～9人	36	32	183	14	265
10～19人	28	21	115	10	174
20～29人	18	5	36	2	61
30～49人	18	9	51	2	80
50～99人	31	8	20	1	60
100～199人	16	1	11	3	31
200～299人	7	2	6	1	16
300人以上	11	0	14	0	25
無回答	4	1	14	10	29
全体	243	106	805	83	1237



●延べ床面積

延べ床面積別に見ると、「常に定めている」とする割合は「3,000 m²以上」が最も多く、「特に定めていない」とする割合は「50~99 m²」及び「100~499 m²」が同割合で多い。

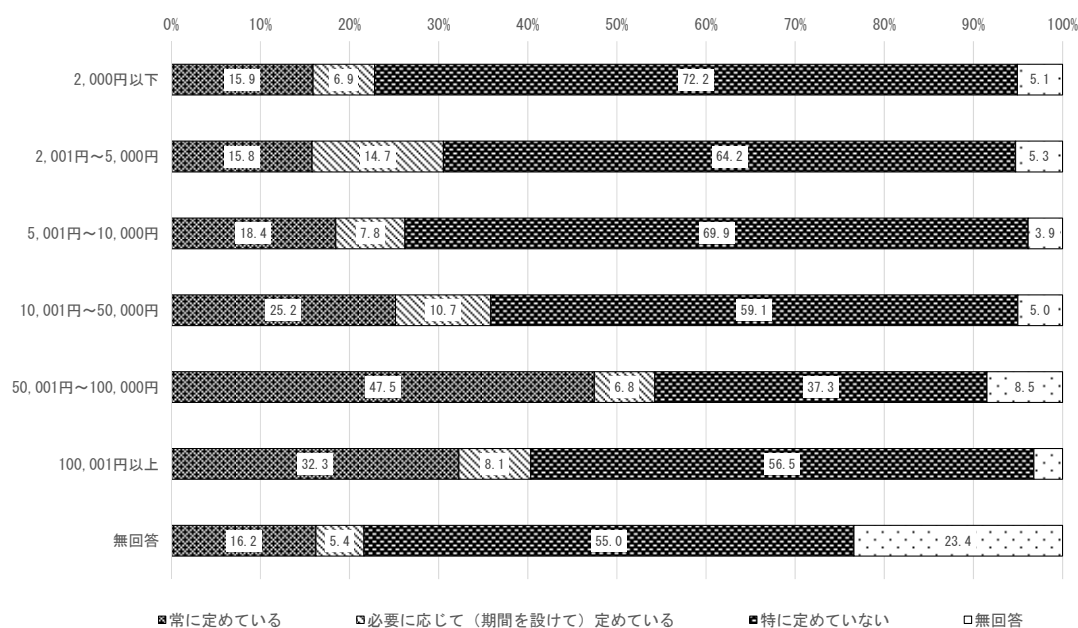
選択肢	常に定めている	必要に応じて(期間を設けて)定めている	特に定めていない	無回答	全体
~49m ²	48	19	202	26	295
50~99m ²	32	24	178	18	252
100~499m ²	49	39	235	10	333
500~999m ²	11	5	43	5	64
1,000~2,999m ²	28	9	54	2	93
3,000m ² 以上	63	7	55	4	129
無回答	12	3	38	18	71
全体	243	106	805	83	1237



● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、費用の多さに相乗して「常に定めている」とする傾向が多くなっているが、「100,001円以上」とする事業者の割合が低くなり「特に定めていない」とする割合が多くなっている。

選択肢	常に定めている	必要に応じて(期間を設けて)定めている	特に定めていない	無回答	全体
2,000円以下	88	38	399	28	553
2,001円~5,000円	30	28	122	10	190
5,001円~10,000円	19	8	72	4	103
10,001円~50,000円	40	17	94	8	159
50,001円~100,000円	28	4	22	5	59
100,001円以上	20	5	35	2	62
無回答	18	6	61	26	111
全体	243	106	805	83	1237

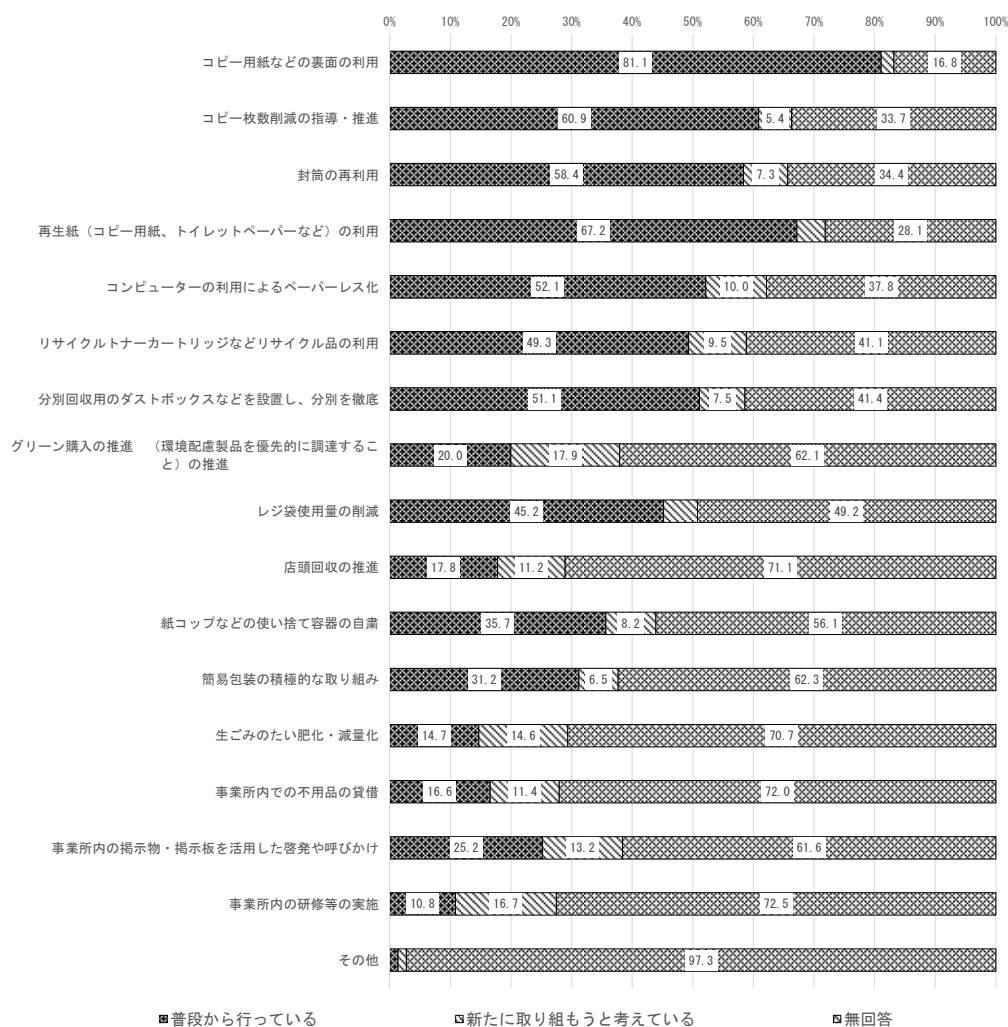


17) ごみ減量・リサイクルの取組み状況 3(4)

①単純集計(複数回答)

普段からの取組みについては、「コピー用紙などの裏面の利用」が81.1%と多く、全体にコピー用紙に関わる事項については50%以上の事業者が取り組んでいる。新たに取組もうと考える内容として「グリーン購入」が17.9%と多くなっている。

選択肢	普段から行っている	新たに取組もうと考えている	無回答	全体
コピー用紙などの裏面の利用	1003	26	208	1237
コピー枚数削減の指導・推進	753	67	417	1237
封筒の再利用	722	90	425	1237
再生紙の利用	831	58	348	1237
コンピューターの利用によるペーパーレス化	645	124	468	1237
リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	610	118	509	1237
分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	632	93	512	1237
グリーン購入の推進	247	222	768	1237
レジ袋使用量の削減	559	69	609	1237
店頭回収の推進	220	138	879	1237
紙コップなどの使い捨て容器の自粛	441	102	694	1237
簡易包装の積極的な取り組み	386	80	771	1237
生ごみのたい肥化・減量化	182	181	874	1237
事業所内での不用品の貸借	205	141	891	1237
事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	312	163	762	1237
事業所内の研修等の実施	134	206	897	1237
その他	17	17	1203	1237



②クロス集計

●業種

普段からの取組みを業種別に見ると、全体に比例の関係にある。新たな取組みについては、業種の特성에依りて異なっている。

《普段から行っている》

選択肢	コピー用紙などの裏面の利用	コピー枚数削減の指導・推進	封筒の再利用	再生紙(コピー用紙、トイレットペーパーなど)の利用	コンピューターの利用によるペーパレス化	リサイクルカート・リッジなどリサイクル品の利用	分別回収用ダストボックスを設置し、分別を徹底	グリーン購入(環境配慮製品を優先的に調達すること)の推進	レジ袋使用量の削減	店頭回収の推進	紙コップなどの使い捨て容器の自粛	簡易包装の取り組み	包装の種類の削減	生ごみの肥量化	事業所内での不用品の活用	事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	事業所内の研修等の実施	その他	全体	
農林水産業	4	3	2	1	1	1	1	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	19
土木・建設業	133	96	87	102	87	86	90	39	75	32	63	55	30	28	47	21	2	2	1,073	
食品製造業	23	18	20	23	16	16	18	5	10	5	11	12	10	5	9	4	0	0	205	
食品以外の製造業	34	26	20	24	27	21	20	14	19	8	18	13	7	9	18	14	1	1	293	
運輸・通信業	25	21	20	25	19	20	21	7	12	5	14	6	5	5	12	4	0	0	221	
デパート・スーパーマーケット	17	16	17	16	13	11	14	4	17	15	4	16	10	2	9	2	0	0	183	
コンビニエンスストア	16	14	11	14	10	9	11	3	16	2	4	7	1	3	6	2	0	0	129	
その他の食品小売業	26	18	20	23	14	16	10	6	20	13	13	15	3	5	8	4	0	0	214	
食品以外の小売業	93	62	66	78	56	48	43	19	51	16	32	37	15	8	12	7	0	0	643	
不動産業	44	32	26	37	28	25	29	8	23	10	18	16	8	11	21	9	2	34	347	
ホテル・旅館業	5	4	3	4	4	4	4	1	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	34	
金融・保険業	23	21	18	20	22	19	16	8	5	0	9	4	1	4	11	2	0	0	183	
飲食業	49	23	28	39	19	12	15	5	42	9	23	20	16	8	6	4	4	3	322	
サービス業	140	103	101	123	85	84	99	21	96	40	79	70	19	29	27	10	4	1	1,130	
物品賃貸業	5	5	5	5	5	5	5	1	2	1	3	2	1	2	2	1	1	0	51	
学校・学習支援業	41	36	34	38	29	27	33	18	23	6	18	12	3	14	22	8	0	0	362	
医療福祉機関	133	104	98	105	86	85	91	24	64	25	50	46	19	29	36	14	0	0	1,009	
その他	186	149	142	151	120	117	110	61	82	33	80	55	32	43	62	26	3	1	1,452	
無回答	6	2	4	3	4	4	2	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	29	
全体	1,003	753	722	831	645	610	632	247	559	220	441	386	182	205	312	134	17	7,899		

《新たに取組もうと考えている》

選択肢	コピー用紙などの裏面の利用	コピー枚数削減の指導・推進	封筒の再利用	再生紙(コピー用紙、トイレットペーパーなど)の利用	コンピューターの利用によるペーパレス化	リサイクルカート・リッジなどリサイクル品の利用	分別回収用ダストボックスを設置し、分別を徹底	グリーン購入(環境配慮製品を優先的に調達すること)の推進	レジ袋使用量の削減	店頭回収の推進	紙コップなどの使い捨て容器の自粛	簡易包装の取り組み	包装の種類の削減	生ごみの肥量化	事業所内での不用品の活用	事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	事業所内の研修等の実施	その他	全体	
農林水産業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
土木・建設業	1	13	16	14	18	15	16	35	12	26	19	14	30	28	24	37	3	3	321	
食品製造業	1	2	1	0	5	4	2	8	4	4	2	7	5	3	5	7	0	0	60	
食品以外の製造業	1	2	6	1	2	3	2	5	0	6	4	1	5	3	3	4	0	0	48	
運輸・通信業	1	2	3	1	3	2	3	7	1	3	2	3	4	3	5	7	0	0	50	
デパート・スーパーマーケット	0	0	0	0	1	0	1	4	1	3	2	1	5	4	4	4	0	0	30	
コンビニエンスストア	0	0	2	1	2	1	1	2	1	2	3	1	4	1	2	1	0	0	24	
その他の食品小売業	1	0	1	1	3	1	6	7	3	2	1	0	6	4	3	6	0	0	45	
食品以外の小売業	2	6	10	4	9	13	10	15	9	11	9	8	13	19	20	19	1	1	178	
不動産業	3	6	6	3	11	7	6	10	3	7	4	5	6	5	6	6	0	0	94	
ホテル・旅館業	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
金融・保険業	0	0	0	0	0	1	3	4	1	2	1	0	0	0	2	2	0	0	16	
飲食業	0	3	5	3	5	7	7	7	2	6	3	4	12	7	7	7	1	0	86	
サービス業	8	12	19	11	24	21	14	42	9	27	20	10	34	25	31	35	5	347		
物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
学校・学習支援業	0	4	3	2	5	4	1	11	2	7	7	6	6	4	6	14	0	0	82	
医療福祉機関	3	6	10	7	14	21	6	32	11	19	14	12	35	22	27	37	5	281		
その他	5	10	8	10	22	17	14	31	10	12	11	7	15	13	17	20	2	2	224	
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
全体	26	67	90	58	124	118	93	222	69	138	102	80	181	141	163	206	17	1,895		

●従業員数

普段からの取組みを業種別に見ると、全体に比例の関係にある。新たな取組みについては、「コピー枚数削減の指導・推進」及び「再生紙の利用」従業員数の多さに対応して多くなる傾向にある。

《普段から行っている》

選択肢	コピー用紙などの裏面の利用	コピー枚数の削減の指導・推進	封筒の再利用	再生紙(コピー用紙、トイレットペーパーなど)の利用	コンピューター利用によるペーパレス化	リサイクルカートリッジなどリサイクル品の利用	分別回収ボックスなどを設置し、分別を徹底	グリーン購入(環境配慮製品を優先的に調達すること)の推進	レジ袋使用量の削減	店頭回収の推進	紙コップなどの使い捨て容器の自粛	簡易包装の積極的な取り組み	生ごみの肥化・減量化	事業所内での不用品の貸借	事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	事業所内の研修等の実施	その他	全体
1~4人	362	249	234	298	201	186	179	66	268	103	177	177	84	74	58	39	10	2,765
5~9人	220	161	153	178	142	138	130	48	109	33	98	76	28	37	65	32	1	1,649
10~19人	159	120	117	126	106	96	110	36	81	31	65	56	20	37	53	18	2	1,233
20~29人	55	43	39	44	37	36	45	21	21	11	20	17	6	13	22	13	2	445
30~49人	71	62	66	62	57	53	57	22	29	15	35	21	9	15	37	12	1	624
50~99人	56	48	50	50	47	37	46	19	23	16	18	19	14	10	34	5	0	492
100~199人	27	25	27	26	22	24	23	15	6	3	12	4	6	5	19	8	0	252
200~299人	15	11	9	12	8	11	12	4	5	1	3	5	4	3	8	3	0	114
300人以上	22	22	19	23	21	21	21	14	6	4	5	3	4	7	13	3	1	209
無回答	16	12	8	12	4	8	9	2	11	3	8	8	7	4	3	1	0	116
全体	1,003	753	722	831	645	610	632	247	559	220	441	386	182	205	312	134	17	7,899

《新たに取り組もうと考えている》

選択肢	コピー用紙などの裏面の利用	コピー枚数の削減の指導・推進	封筒の再利用	再生紙(コピー用紙、トイレットペーパーなど)の利用	コンピューター利用によるペーパレス化	リサイクルカートリッジなどリサイクル品の利用	分別回収ボックスなどを設置し、分別を徹底	グリーン購入(環境配慮製品を優先的に調達すること)の推進	レジ袋使用量の削減	店頭回収の推進	紙コップなどの使い捨て容器の自粛	簡易包装の積極的な取り組み	生ごみの肥化・減量化	事業所内での不用品の貸借	事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	事業所内の研修等の実施	その他	全体
1~4人	14	22	41	22	47	47	41	72	21	47	36	22	63	55	65	66	11	692
5~9人	4	16	21	16	29	26	23	50	19	34	22	16	35	29	29	43	1	413
10~19人	2	15	13	10	20	23	11	41	14	29	16	20	35	26	27	38	3	343
20~29人	1	4	7	4	7	7	2	14	3	7	7	4	13	7	14	15	1	117
30~49人	1	3	3	3	8	4	4	15	4	6	8	7	17	8	9	15	0	115
50~99人	2	3	1	1	2	5	7	13	2	5	2	2	8	5	9	12	0	79
100~199人	2	2	0	1	3	2	2	5	2	3	4	4	3	3	6	0	0	45
200~299人	0	2	2	1	5	1	1	5	1	3	3	2	2	3	5	0	0	39
300人以上	0	0	1	0	0	0	0	3	1	1	2	1	2	2	1	3	0	17
無回答	0	0	1	0	3	3	2	4	2	3	2	2	3	3	3	1	0	35
全体	26	67	90	58	124	118	93	222	69	138	102	80	181	141	163	206	17	1,895

● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

普段からの取組み、及び新たな取組みについて全体に比例の関係にある。

《普段から行っている》

選択肢	コピー用紙などの裏面の利用	コピー枚数の削減の指導・推進	封筒の再利用	再生紙(コピー用紙、トイレットペーパーなど)の利用	コンピューター利用によるペーパレス化	リサイクルカートリッジなどリサイクル品の利用	分別回収ボックスなどを設置し、分別を徹底	グリーン購入(環境配慮製品を優先的に調達すること)の推進	レジ袋使用量の削減	店頭回収の推進	紙コップなどの使い捨て容器の自粛	簡易包装の積極的な取り組み	生ごみの肥化・減量化	事業所内での不用品の貸借	事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	事業所内の研修等の実施	その他	全体
2,000円以下	441	320	304	363	266	252	259	93	284	114	221	195	92	94	96	47	8	3,449
2,001円~5,000円	167	121	120	130	105	94	100	37	95	31	72	61	23	38	55	24	2	1,275
5,001円~10,000円	81	63	59	74	51	52	47	22	37	18	27	27	13	18	27	15	0	631
10,001円~50,000円	135	107	104	106	95	90	97	41	65	20	55	49	20	28	55	21	5	1,093
50,001円~100,000円	44	38	36	45	38	33	37	12	22	15	15	17	12	8	27	7	0	406
100,001円以上	56	48	45	47	40	46	43	18	16	9	15	14	14	8	28	10	0	457
無回答	79	56	54	66	50	43	49	24	40	13	36	23	8	11	24	10	2	588
全体	1,003	753	722	831	645	610	632	247	559	220	441	386	182	205	312	134	17	7,899

《新たに取り組もうと考えている》

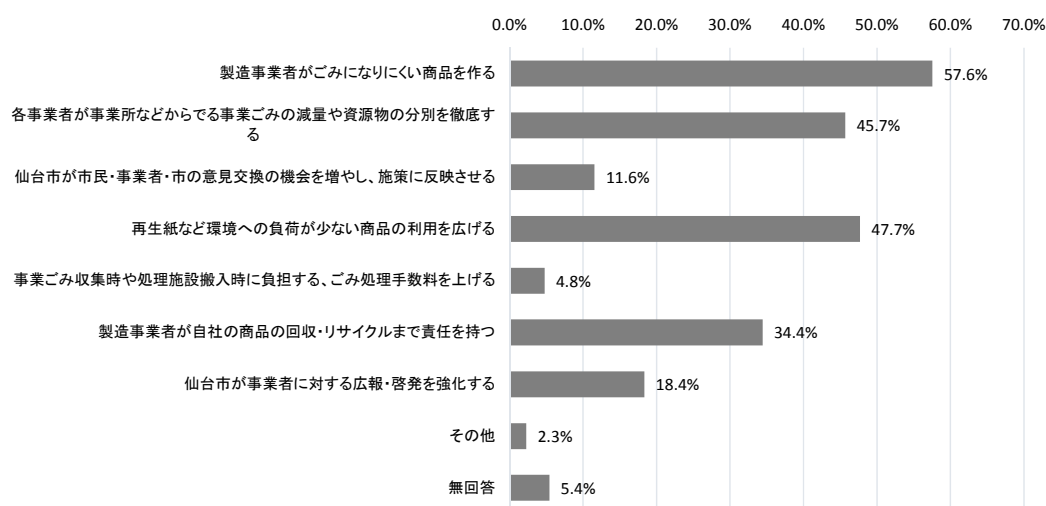
選択肢	コピー用紙などの裏面の利用	コピー枚数の削減の指導・推進	封筒の再利用	再生紙(コピー用紙、トイレットペーパーなど)の利用	コンピューター利用によるペーパレス化	リサイクルカートリッジなどリサイクル品の利用	分別回収ボックスなどを設置し、分別を徹底	グリーン購入(環境配慮製品を優先的に調達すること)の推進	レジ袋使用量の削減	店頭回収の推進	紙コップなどの使い捨て容器の自粛	簡易包装の積極的な取り組み	生ごみの肥化・減量化	事業所内での不用品の貸借	事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	事業所内の研修等の実施	その他	全体
2,000円以下	15	31	51	34	62	59	48	106	32	62	44	31	77	64	81	91	12	900
2,001円~5,000円	0	11	10	9	14	19	14	33	13	23	17	17	33	24	27	35	1	300
5,001円~10,000円	2	5	4	3	11	8	6	19	8	11	8	6	13	10	8	13	0	135
10,001円~50,000円	5	12	13	9	19	17	9	32	7	21	17	14	29	22	21	33	0	280
50,001円~100,000円	2	2	4	2	5	5	5	10	3	4	4	2	7	6	8	10	2	81
100,001円以上	1	3	3	0	7	4	4	12	2	5	5	4	5	6	5	10	1	77
無回答	1	3	5	1	6	6	7	10	4	12	7	6	17	9	13	14	1	122
全体	26	67	90	58	124	118	93	222	69	138	102	80	181	141	163	206	17	1,895

18) ごみ減量・リサイクルの取組み状況 3 (5)

①単純集計 (複数回答)

「製造事業者がごみになりにくい商品を作る」が 57.6%を占め、次いで「再生紙など環境への負荷が少ない商品の利用を広げる」47.7%、「各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する」45.7%、「製造事業者が自社の商品の回収、リサイクルまで責任をもつ」34.4%となり以降割合は半数程度となる「仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する」18.4%となり、事業者による独自のごみ減量・リサイクルの取組みについての回答となる。

選択肢	件数	割合 (%)
製造事業者がごみになりにくい商品を作る	712	57.6%
各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する	565	45.7%
仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる	143	11.6%
再生紙など環境への負荷が少ない商品の利用を広げる	590	47.7%
事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる	59	4.8%
製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	426	34.4%
仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する	227	18.4%
その他	28	2.3%
無回答	67	5.4%
全体	1237	100.0%

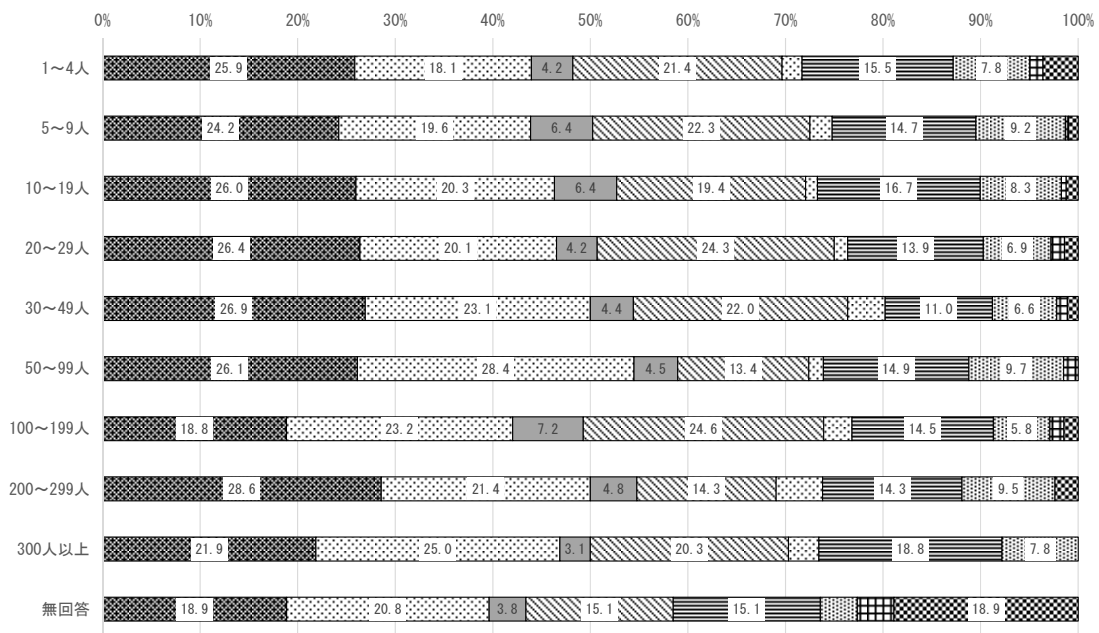


②クロス集計

●従業員数

従業員数別に見ると、全体に比例の関係にある。「100～199人」の事業者については、「製造事業者がごみになりにくい商品を作る」が他の割合より少なく「再生紙など環境への負担が少ない商品の利用を広げる」の割合が多い。「300人以上」の事業者については、「仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する」及び「各事業者が事業所などから事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する」の割合が多い状態となる。

選択肢	製造事業者がごみになりにくい商品を作る	各事業者が事業所などからでる事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する	仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる	再生紙など環境への負荷が少ない商品の利用を広げる	事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる	製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する	その他	無回答	全体
1~4人	287	201	47	238	23	172	87	15	40	1110
5~9人	148	120	39	136	14	90	56	2	6	611
10~19人	106	83	26	79	5	68	34	2	5	408
20~29人	38	29	6	35	2	20	10	2	2	144
30~49人	49	42	8	40	7	20	12	2	2	182
50~99人	35	38	6	18	2	20	13	2	0	134
100~199人	13	16	5	17	2	10	4	1	1	69
200~299人	12	9	2	6	2	6	4	0	1	42
300人以上	14	16	2	13	2	12	5	0	0	64
無回答	10	11	2	8	0	8	2	2	10	53
全体	712	565	143	590	59	426	227	28	67	2,817

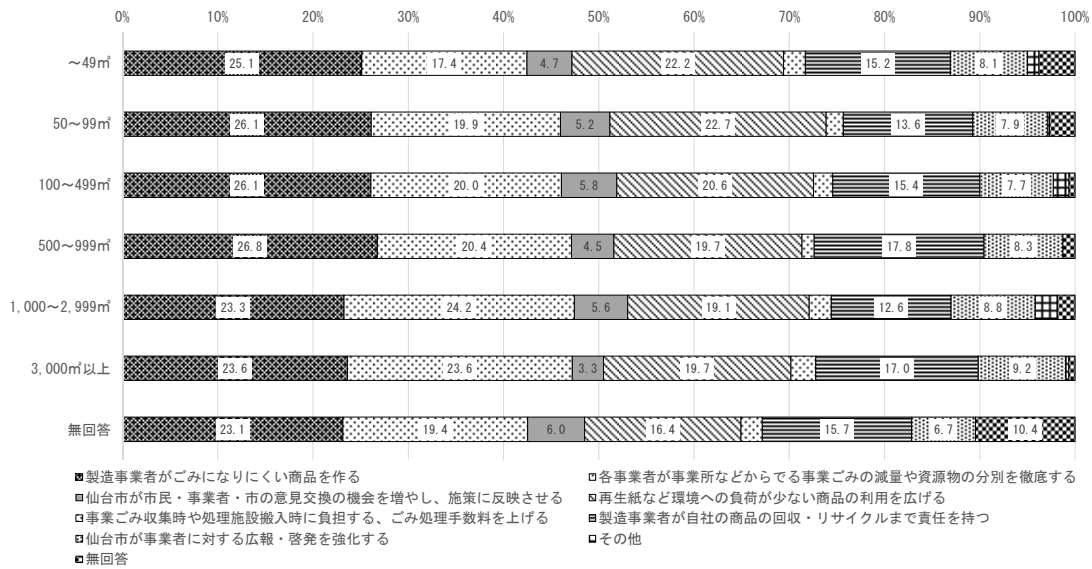


- 製造事業者がごみになりにくい商品を作る
- 各事業者が事業所などからでる事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する
- 仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる
- 再生紙など環境への負荷が少ない商品の利用を広げる
- 事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる
- 製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ
- 仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する
- その他
- 無回答

●延べ床面積

延べ床面積別に見ると、全体に比例の関係にある。

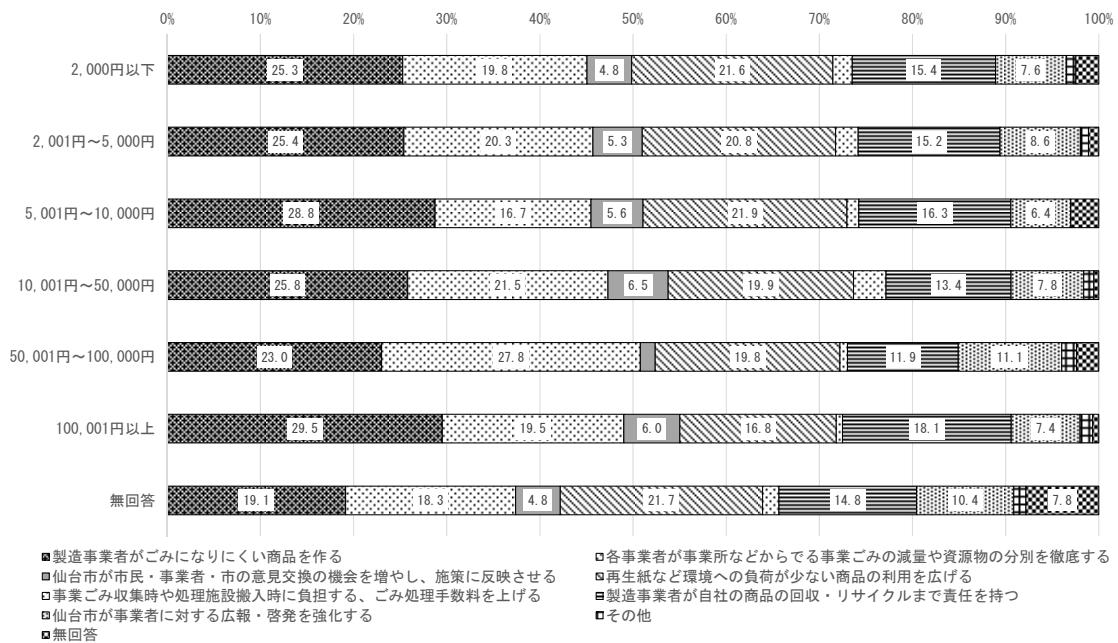
選択肢	製造事業者がごみになりにくい商品を作る	各事業者が事業所などからでる事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する	仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる	再生紙など環境への負荷が少ない商品の利用を広げる	事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる	製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する	その他	無回答	全体
~49㎡	165	114	31	146	15	100	53	8	25	657
50~99㎡	146	111	29	127	10	76	44	1	15	559
100~499㎡	206	158	46	163	16	122	61	13	5	790
500~999㎡	42	32	7	31	2	28	13	0	2	157
1,000~2,999㎡	50	52	12	41	5	27	19	5	4	215
3,000㎡以上	72	72	10	60	8	52	28	1	2	305
無回答	31	26	8	22	3	21	9	0	14	134
全体	712	565	143	590	59	426	227	28	67	2,817



● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「50,001～100,000円」の「製造事業者がごみになりにくい商品を作る」が他より少なく、各事業者が事業所などから事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する」が多い状態となる。

選択肢	製造事業者がごみになりにくい商品を作る	各事業者が事業所などからでる事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する	仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる	再生紙など環境への負荷が少ない商品の利用を広げる	事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる	製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する	その他	無回答	全体
2,000円以下	317	248	60	271	26	193	95	13	31	1254	
2,001円～5,000円	115	92	24	94	11	69	39	4	5	453	
5,001円～10,000円	67	39	13	51	3	38	15	0	7	233	
10,001円～50,000円	96	80	24	74	13	50	29	4	2	372	
50,001円～100,000円	29	35	2	25	1	15	14	2	3	126	
100,001円以上	44	29	9	25	1	27	11	2	1	149	
無回答	44	42	11	50	4	34	24	3	18	230	
全体	712	565	143	590	59	426	227	28	67	2,817	

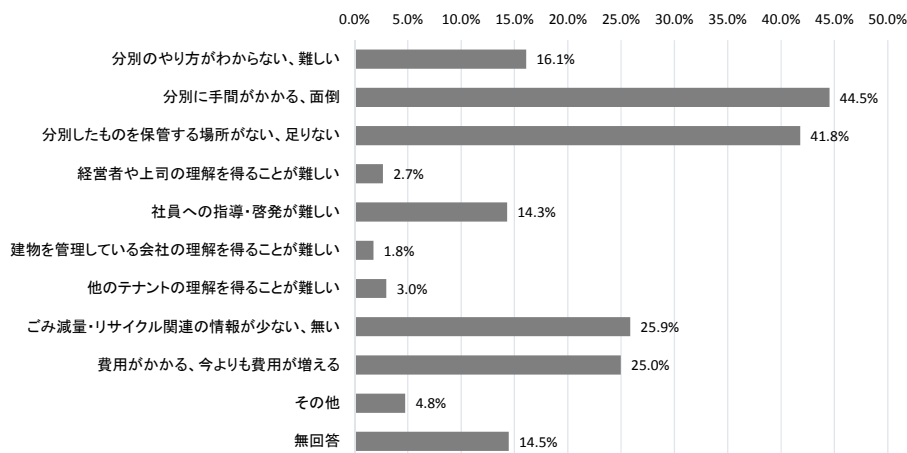


19) ごみ減量・リサイクルに有効な方法 3 (6)

①単純集計 (複数回答)

「分別に手間がかかる、面倒」が 44.5%を占め、次いで「分別したものを保管する場所がない、足りない」41.8%と多い、「ごみ減量・リサイクル関係の情報が少ない、無い」25.9%、「費用がかかる、今よりも費用が増える」25.0%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
分別のやり方がわからない、難しい	199	16.1%
分別に手間がかかる、面倒	551	44.5%
分別したものを保管する場所がない、足りない	517	41.8%
経営者や上司の理解を得ることが難しい	33	2.7%
社員への指導・啓発が難しい	177	14.3%
建物を管理している会社の理解を得ることが難しい	22	1.8%
他のテナントの理解を得ることが難しい	37	3.0%
ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない、無い	320	25.9%
費用がかかる、今よりも費用が増える	309	25.0%
その他	59	4.8%
無回答	179	14.5%
全体	1237	100.0%

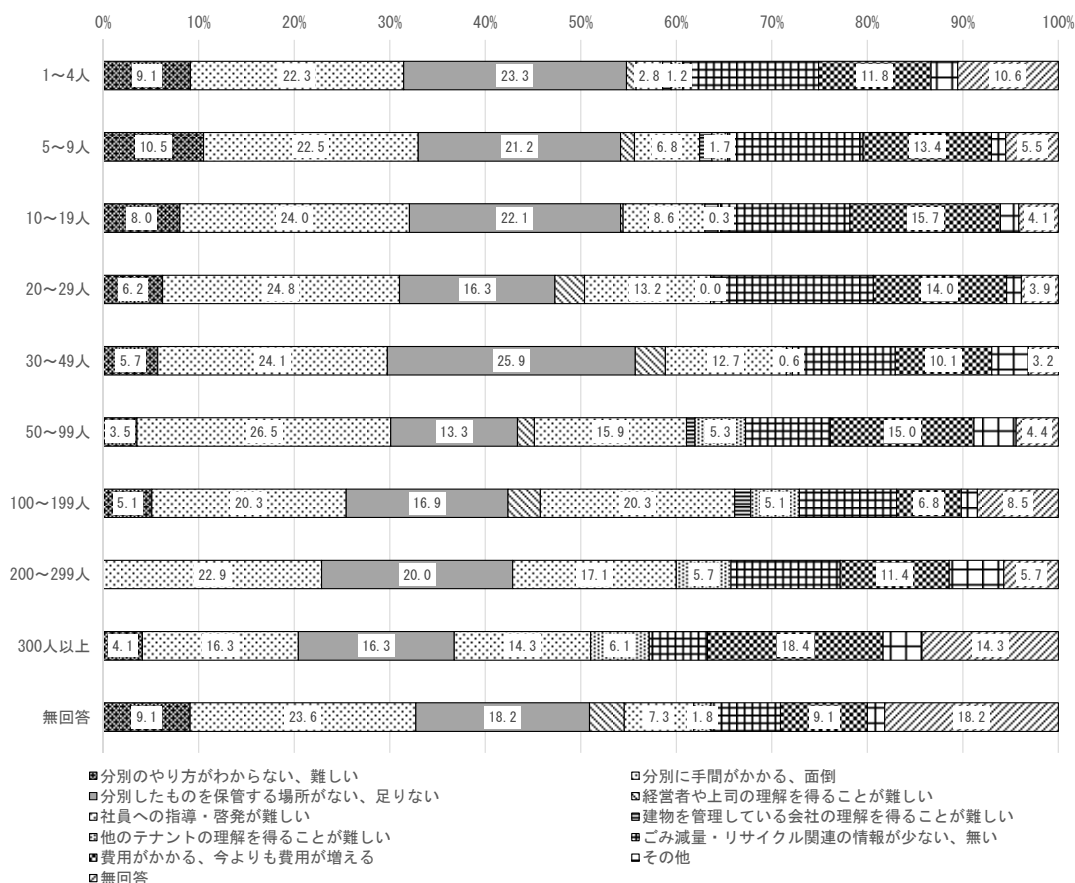


②クロス集計

●従業員数

従業員数別に見ると、「分別のやり方がわからない、難しい」について従業員数の増に対して減り、「社員への指導・啓発が難しい」が従業員数の増に対して多くなる状態となる。

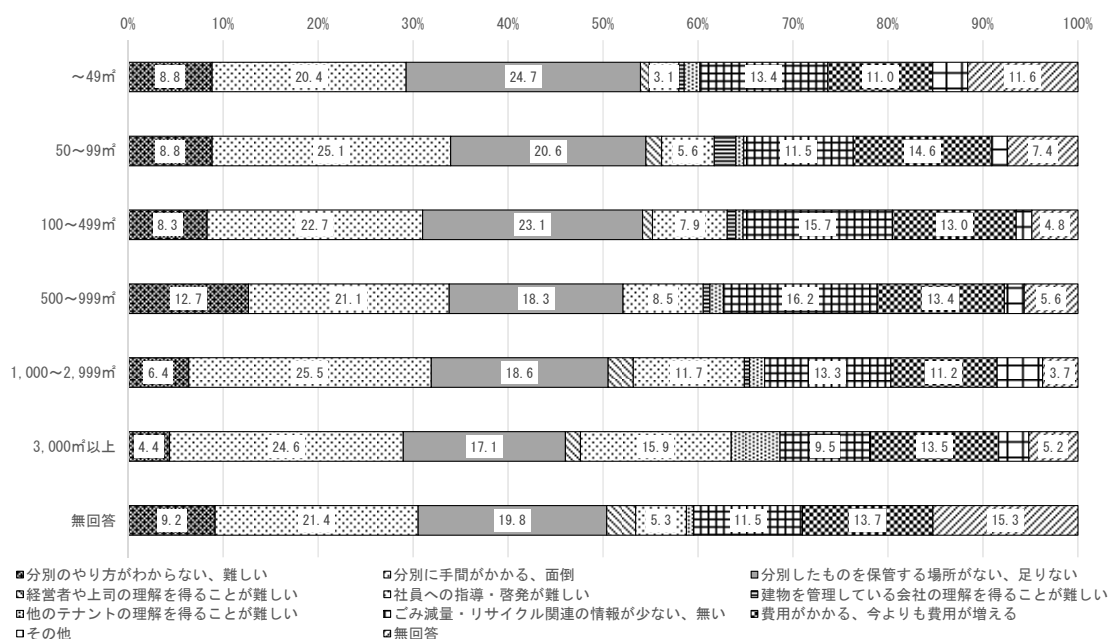
選択肢	分別のやり方がわからない、難しい	分別に手間がかかる、面倒	分別したものを保管する場所がない、足りない	経営者や上司の理解を得ることが難しい	社員への指導・啓発が難しい	建物を管理している会社の理解を得ることが難しい	他のテナントの理解を得ることが難しい	ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない、無い	費用がかかる、今よりも費用が増える	その他	無回答	全体
1~4人	82	201	210	9	25	8	11	128	106	25	95	900
5~9人	57	122	115	8	37	7	9	77	73	8	30	543
10~19人	29	87	80	1	31	5	1	49	57	7	15	362
20~29人	8	32	21	4	17	0	0	22	18	2	5	129
30~49人	9	38	41	5	20	0	1	17	16	6	5	158
50~99人	4	30	15	2	18	1	6	10	17	5	5	113
100~199人	3	12	10	2	12	1	3	6	4	1	5	59
200~299人	0	8	7	0	6	0	2	4	4	2	2	35
300人以上	2	8	8	0	7	0	3	3	9	2	7	49
無回答	5	13	10	2	4	0	1	4	5	1	10	55
全体	199	551	517	33	177	22	37	320	309	59	179	2,403



●延べ床面積

延べ床面積別に見ると、「分別のやり方がわからない、難しい」について「500～999㎡」の割合が多く、「分別に手間がかかる、面倒」とする「1,000～2,999㎡」の割合が最も高く、次いで「50～99㎡」となっている。「分別したものを保管する場所がない、足りない」については「～49㎡」の割合が高く、「社員への指導・啓発が難しい」とする割合が多いのは「3,000㎡以上」となっている。

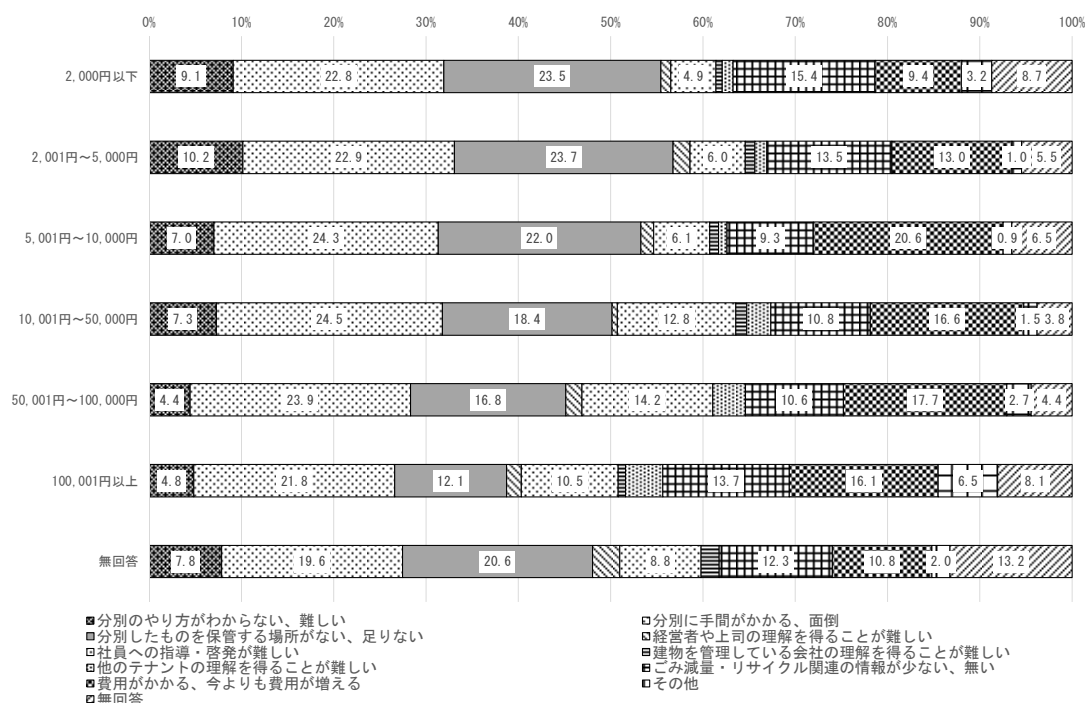
選択肢	分別のやり方がわからない、難しい	分別に手間がかかる、面倒	分別したものを保管する場所がない、足りない	経営者や上司の理解を得ることが難しい	社員への指導・啓発が難しい	建物を管理している会社の理解を得ることが難しい	他のテナントの理解を得ることが難しい	ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない、無い	費用がかかる、今よりも費用が増える	その他	無回答	全体
～49㎡	48	111	134	5	17	3	9	73	60	20	63	543
50～99㎡	43	122	100	8	27	11	4	56	71	8	36	486
100～499㎡	55	150	153	7	52	6	5	104	86	11	32	661
500～999㎡	18	30	26	0	12	1	2	23	19	3	8	142
1,000～2,999㎡	12	48	35	5	22	1	3	25	21	9	7	188
3,000㎡以上	11	62	43	4	40	0	13	24	34	8	13	252
無回答	12	28	26	4	7	0	1	15	18	0	20	131
全体	199	551	517	33	177	22	37	320	309	59	179	2,403



● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、費用が多くなると「分別のやり方がわからない、難しい」、「分別をしたものを保管する場所がない」という回答は減少し、「費用がかかる、今よりも費用が増える」が多くなる。

選択肢	分別のやり方がわからない、難しい	分別したものに保管する場所がない、面倒	分別したものを保管する場所がない、足りない	経営者や上司の理解を得ることが難しい	社員への指導・啓発が難しい	建物を管理している会社の理解を得ることが難しい	他のテナントの理解を得ることが難しい	ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない、無い	費用がかかる、今よりも費用が増える	その他	無回答	全体
2,000円以下	93	233	240	11	50	7	12	157	96	33	89	1021
2,001円～5,000円	39	88	91	7	23	4	5	52	50	4	21	384
5,001円～10,000円	15	52	47	3	13	2	2	20	44	2	14	214
10,001円～50,000円	25	84	63	2	44	4	9	37	57	5	13	343
50,001円～100,000円	5	27	19	2	16	0	4	12	20	3	5	113
100,001円以上	6	27	15	2	13	1	5	17	20	8	10	124
無回答	16	40	42	6	18	4	0	25	22	4	27	204
全体	199	551	517	33	177	22	37	320	309	59	179	2,403

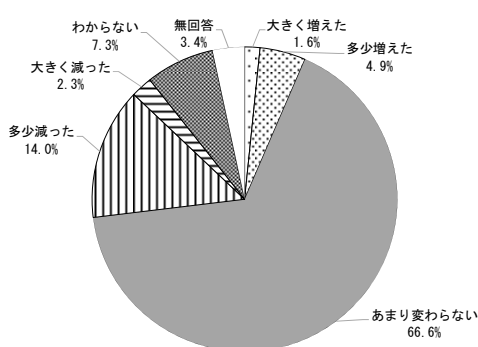


20) 東日本大震災以降の排出ごみ量の変化4 (1)

「あまり変わらない」が66.6%を占め、次いで「多少減った」14.0%となる。

①単純集計 (単一回答)

選択肢	件数	割合 (%)
大きく増えた	20	1.6%
多少増えた	60	4.9%
あまり変わらない	824	66.6%
多少減った	173	14.0%
大きく減った	28	2.3%
わからない	90	7.3%
無回答	42	3.4%
全体	1,237	100.0%

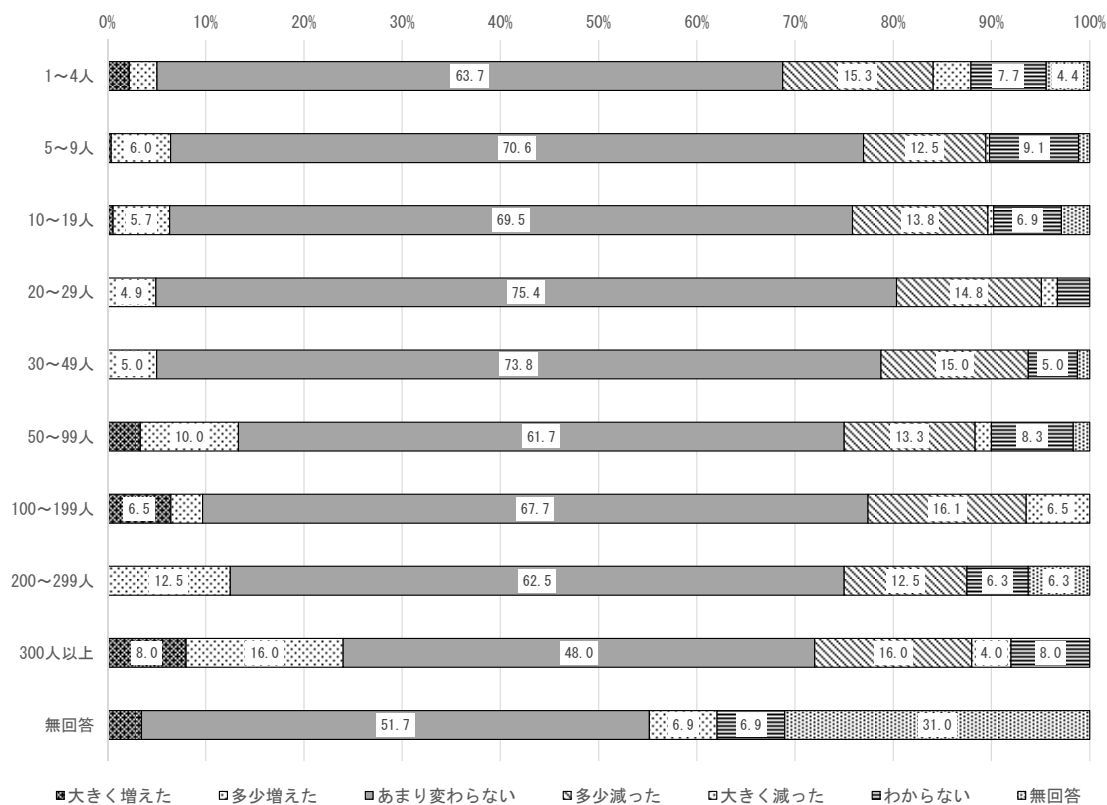


②クロス集計

●従業員数

従業員数別に見ると、「大きく増えた」及び「多少増えた」とする「300人以上」の割合が多く、「あまり変わらない」とする割合が高いのが「20~29人」、次いで「30~49人」となる。「多少減った」とする「100~199人」及び「300人以上」の割合がほぼ同数となり、「大きく減った」とする「100~199人」の割合が多い。

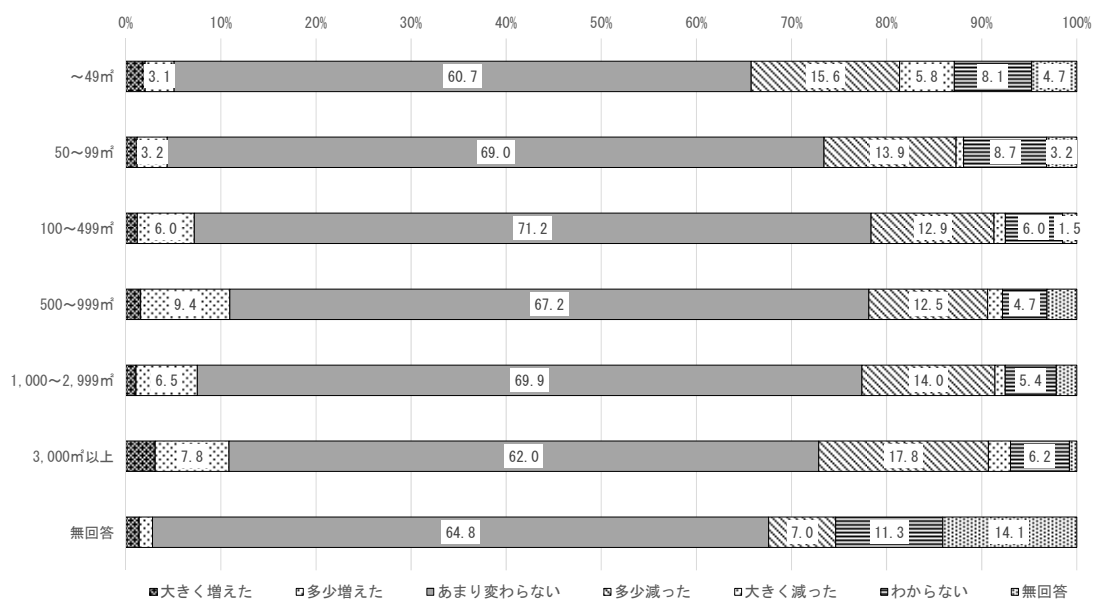
選択肢	大きく増えた	多少増えた	あまり変わらない	多少減った	大きく減った	わからない	無回答	全体
1~4人	11	14	316	76	19	38	22	496
5~9人	1	16	187	33	1	24	3	265
10~19人	1	10	121	24	1	12	5	174
20~29人	0	3	46	9	1	2	0	61
30~49人	0	4	59	12	0	4	1	80
50~99人	2	6	37	8	1	5	1	60
100~199人	2	1	21	5	2	0	0	31
200~299人	0	2	10	2	0	1	1	16
300人以上	2	4	12	4	1	2	0	25
無回答	1	0	15	0	2	2	9	29
全体	20	60	824	173	28	90	42	1,237



●延べ床面積

延べ床面積別に見ると、「大きく増えた」とする割合は「3,000 m²以上」が多く、「多少増えた」とする割合は「500~999 m²」が多く、次いで「3,000 m²以上」となる。「あまり変わらない」とする割合は全体的に半数以上を占めおり、最も多いのは「100~499 m²」となり、次いで「1,000~2,999 m²」、「50~99 m²」となる。「多少減った」については「3,000 m²以上」の割合が多く、「大きく減った」は「~49 m²」の割合が多い。

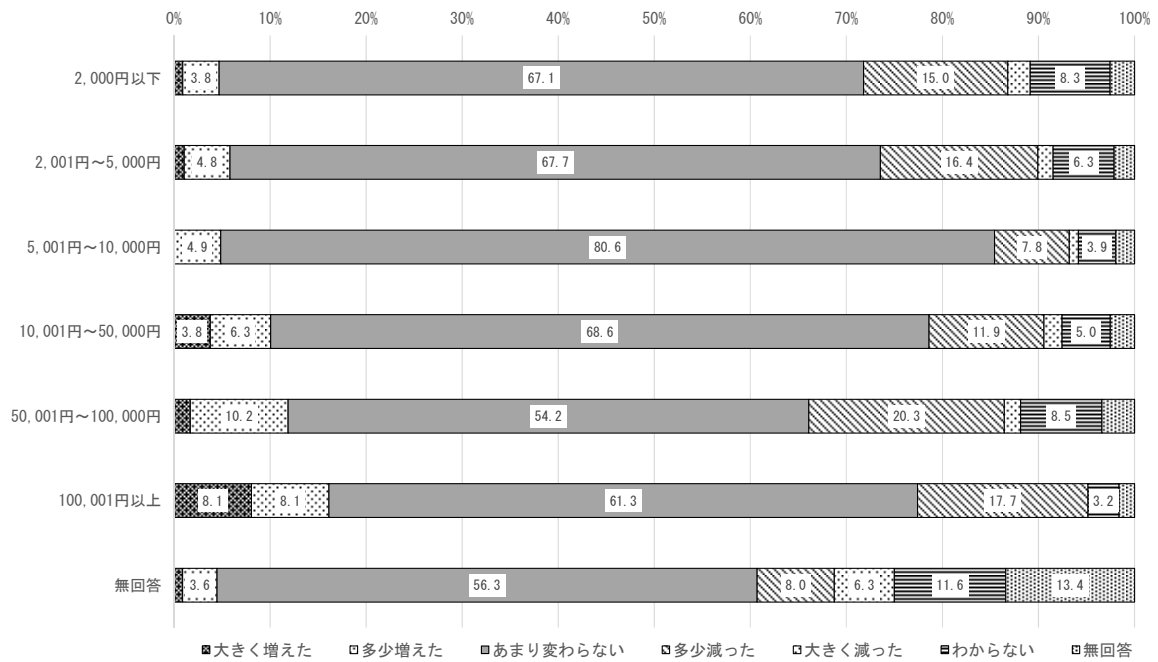
選択肢	大きく増えた	多少増えた	あまり変わらない	多少減った	大きく減った	わからない	無回答	全体
~49m ²	6	9	179	46	17	24	14	295
50~99m ²	3	8	174	35	2	22	8	252
100~499m ²	4	20	237	43	4	20	5	333
500~999m ²	1	6	43	8	1	3	2	64
1,000~2,999m ²	1	6	65	13	1	5	2	93
3,000m ² 以上	4	10	80	23	3	8	1	129
無回答	1	1	46	5	0	8	10	71
全体	20	60	824	173	28	90	42	1,237



● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「大きく増えた」は「10,001円～50,000円」に割合が最も高く、「5,001円～10,000円」についてはその傾向が見られなかった。「多少増えた」については「50,001円～100,000円」の割合が多い。「あまり変わらない」については「5,001円～10,000円」が最も多く、「多少減った」は「50,001円～100,000円」となる。「大きく減った」については全体的に若干の傾向が見られるが「100,001円以上」について傾向が見られなかった。

選択肢	大きく増えた	多少増えた	あまり変わらない	多少減った	大きく減った	わからない	無回答	全体
2,000円以下	5	21	371	83	13	46	14	553
2,001円～5,000円	2	9	128	31	3	12	4	189
5,001円～10,000円	0	5	83	8	1	4	2	103
10,001円～50,000円	6	10	109	19	3	8	4	159
50,001円～100,000円	1	6	32	12	1	5	2	59
100,001円以上	5	5	38	11	0	2	1	62
無回答	1	4	63	9	7	13	15	112
全体	20	60	824	173	28	90	42	1,237

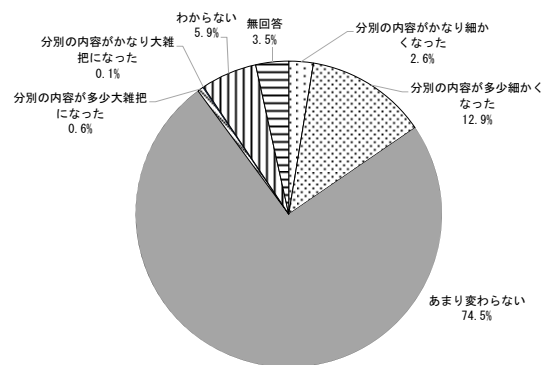


2 1) 東日本大震災意向のごみの分別方法の変化 4 (2)

①単純集計 (単一回答)

「あまり変わらない」が 74.5%を占め、次いで「分別の内容が多少細かくなった」12.9%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
分別の内容がかなり細かくなった	32	2.6%
分別の内容が多少細かくなった	159	12.9%
あまり変わらない	921	74.5%
分別の内容が多少大雑把になった	8	0.6%
分別の内容がかなり大雑把になった	1	0.1%
わからない	73	5.9%
無回答	43	3.5%
全体	1,237	100.0%

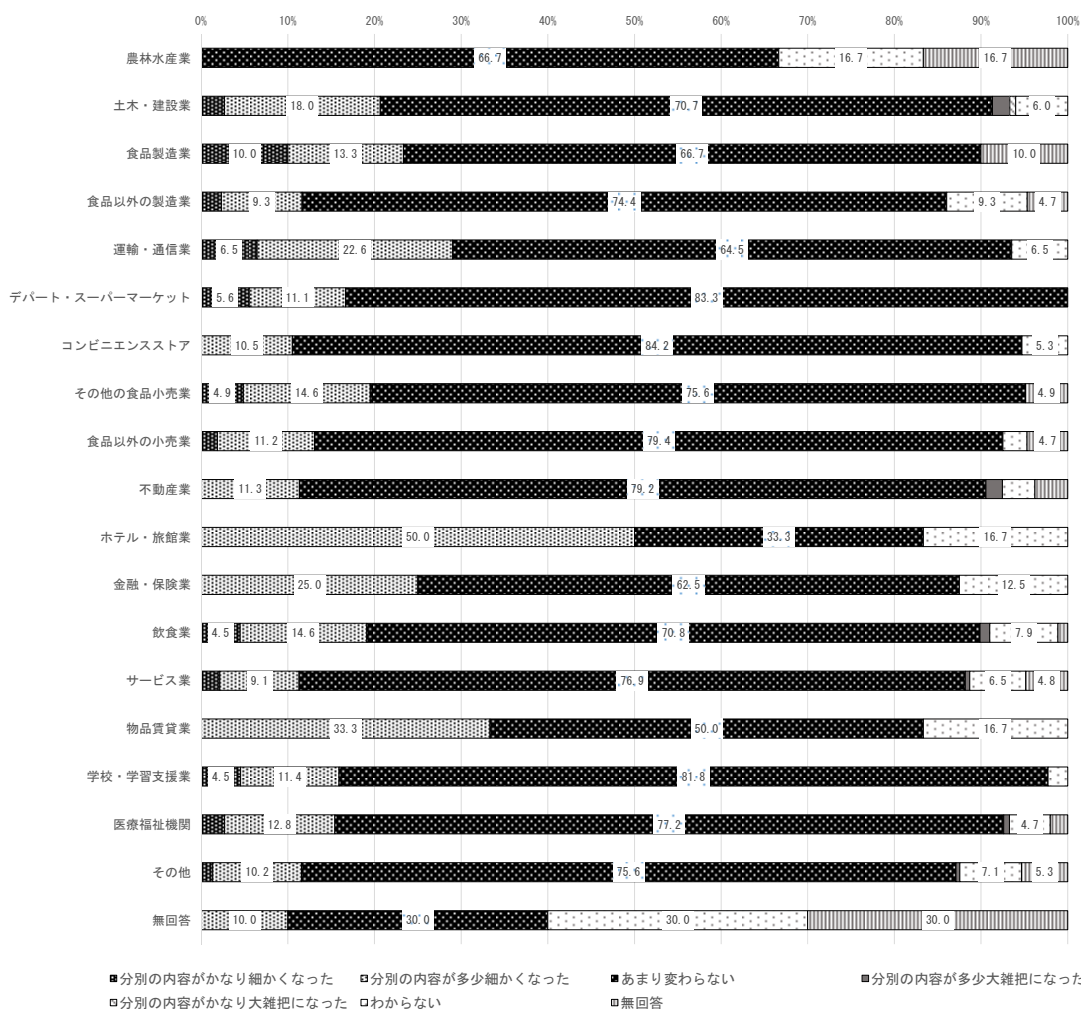


②クロス集計

●業種

業種別に見ると、「ホテル・旅館業」以外の業種で半数以上が「あまり変わらない」としている。「ホテル・旅館業」においては「分別の内容が多少細かくなった」とする事業者が半数以上を占めている。

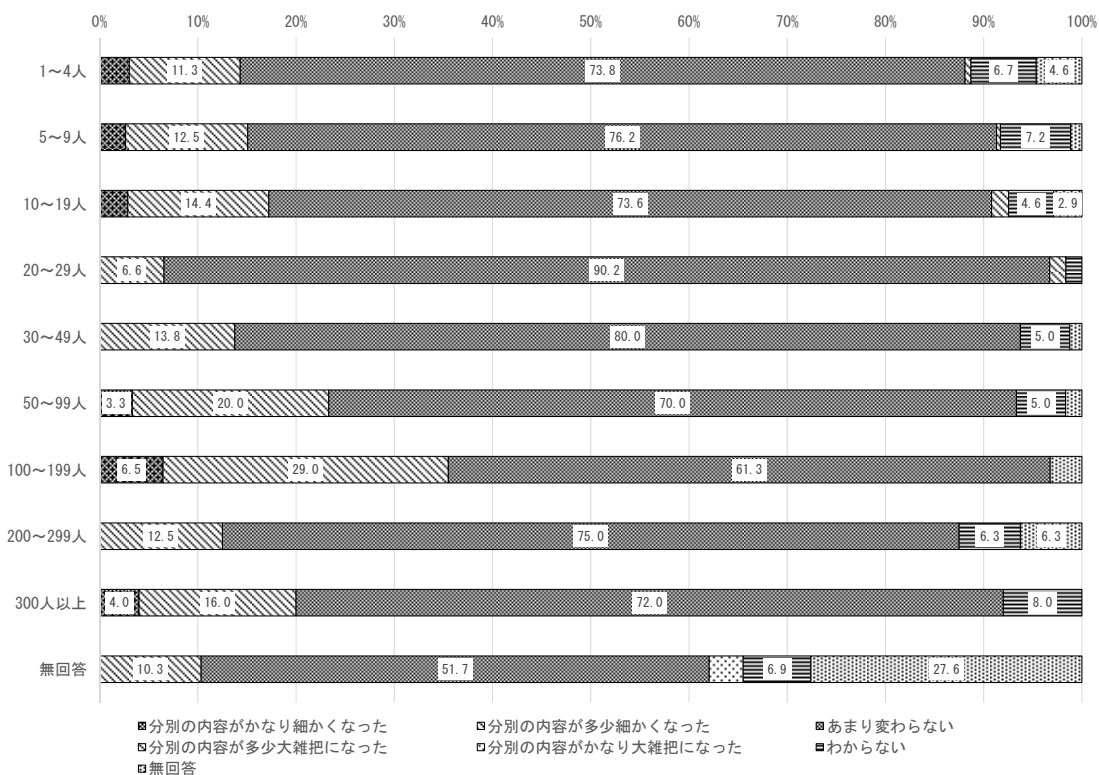
選択肢	分別の内 容がかなり 細かくな った	分別の内 容が多少 細かくな った	あまり変 わらない	分別の内 容が多少 大雑把に なった	分別の内 容がかなり 大雑把に なった	わからな い	無回答	全体
農林水産業	0	0	4	0	0	1	1	6
土木・建設業	4	27	106	3	1	9	0	150
食品製造業	3	4	20	0	0	0	3	30
食品以外の製造業	1	4	32	0	0	4	2	43
運輸・通信業	2	7	20	0	0	2	0	31
デパート・スーパーマーケット	1	2	15	0	0	0	0	18
コンビニエンスストア	0	2	16	0	0	1	0	19
その他の食品小売業	2	6	31	0	0	0	2	41
食品以外の小売業	2	12	85	0	0	3	5	107
不動産業	0	6	42	1	0	2	2	53
ホテル・旅館業	0	3	2	0	0	1	0	6
金融・保険業	0	6	15	0	0	3	0	24
飲食業	4	13	63	1	0	7	1	89
サービス業	4	17	143	1	0	12	9	186
物品賃貸業	0	2	3	0	0	1	0	6
学校・学習支援業	2	5	36	0	0	1	0	44
医療福祉機関	4	19	115	1	0	7	3	149
その他	3	23	170	1	0	16	12	225
無回答	0	1	3	0	0	3	3	10
全体	32	159	921	8	1	73	43	1,237



●従業員数

従業員数別に見ると、「100～199人」の事業者で「分別の内容がかなり細かくなった」、「分別の内容が多少細かくなった」が最も多く、次いで「50～99人」となる。

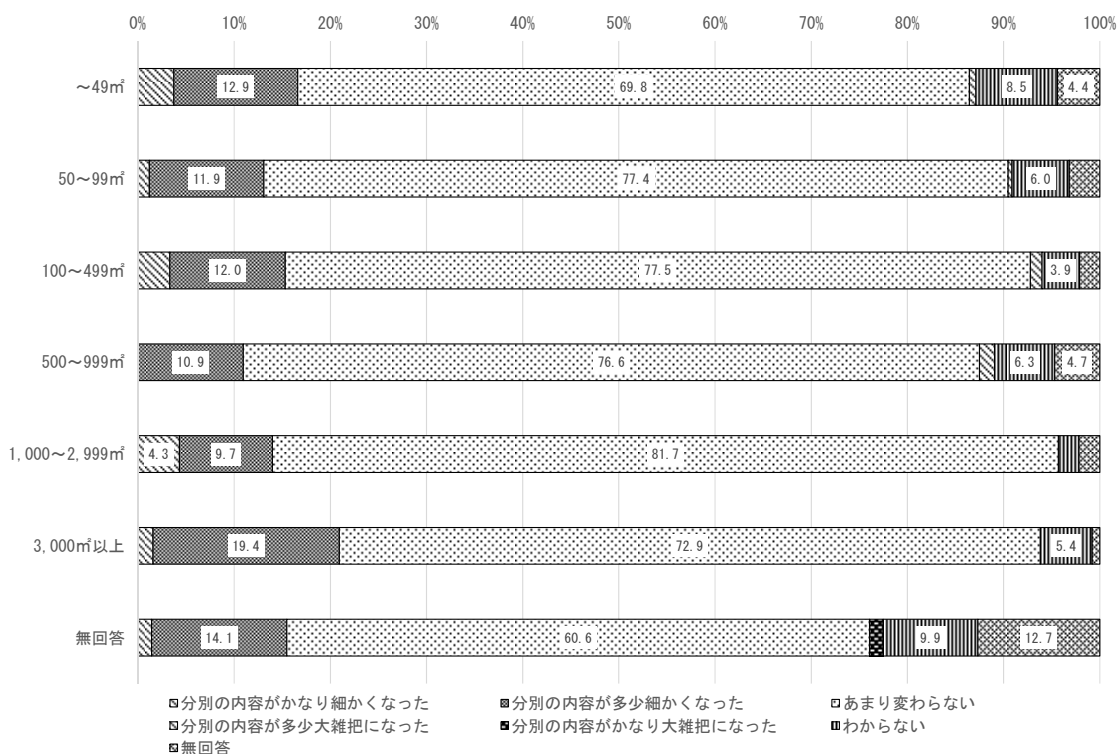
選択肢	分別の内 容がかなり 細かくなっ た	分別の内 容が多少 細かくなっ た	あまり変わ らない	分別の内 容が多少 大雑把に なった	分別の内 容がかなり 大雑把に なった	わからない	無回答	全体
1～4人	15	56	366	3	0	33	23	496
5～9人	7	33	202	1	0	19	3	265
10～19人	5	25	128	3	0	8	5	174
20～29人	0	4	55	1	0	1	0	61
30～49人	0	11	64	0	0	4	1	80
50～99人	2	12	42	0	0	3	1	60
100～199人	2	9	19	0	0	0	1	31
200～299人	0	2	12	0	0	1	1	16
300人以上	1	4	18	0	0	2	0	25
無回答	0	3	15	0	1	2	8	29
全体	32	159	921	8	1	73	43	1,237



●延べ床面積

延べ床面積別に見ると、「分別の内容が多少大雑把になった」、「分別の内容がかなり大雑把になった」とする事業者は殆ど無く、「あまり変わらない」とする事業者が多い。

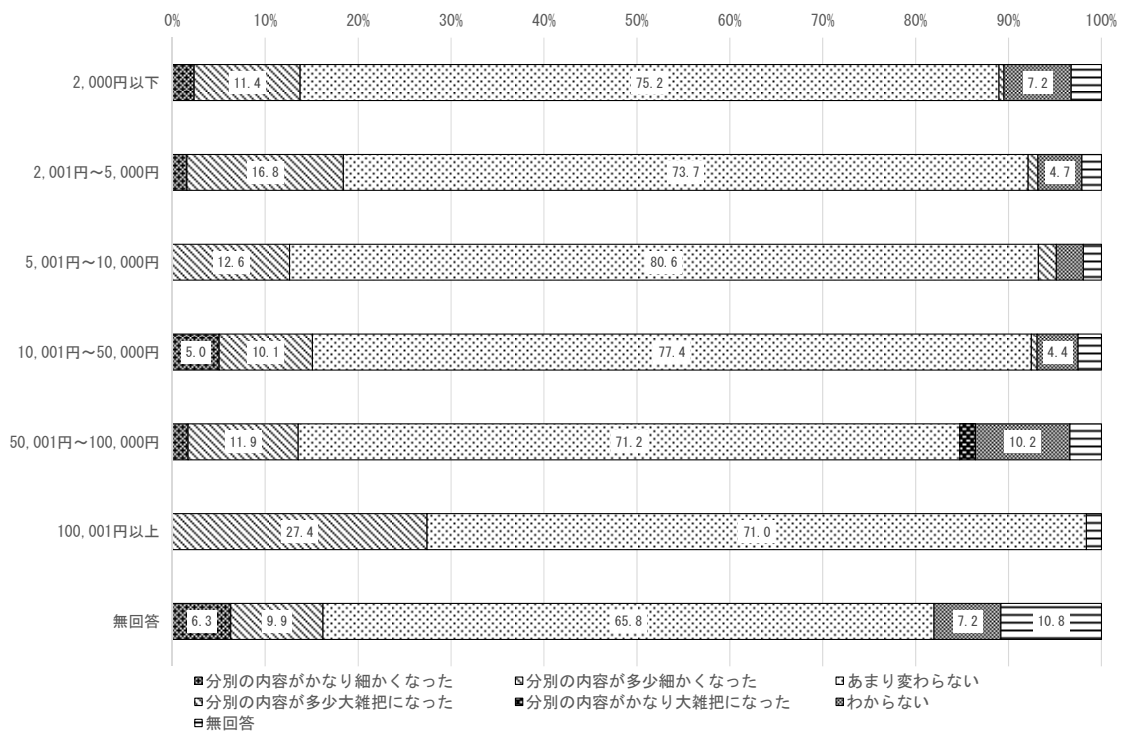
選択肢	分別の内容 がかなり細か くなった	分別の内 容が多少細か くなった	あまり変わ らない	分別の内 容が多少大雑 把になった	分別の内 容がかなり大雑 把になった	わからない	無回答	全体
～49㎡	11	38	206	2	0	25	13	295
50～99㎡	3	30	195	1	0	15	8	252
100～499㎡	11	40	258	4	0	13	7	333
500～999㎡	0	7	49	1	0	4	3	64
1,000～2,999㎡	4	9	76	0	0	2	2	93
3,000㎡以上	2	25	94	0	0	7	1	129
無回答	1	10	43	0	1	7	9	71
全体	32	159	921	8	1	73	43	1,237



● 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用 2 (2)

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「100,001円以上」となる事業者には、「分別の内容が多少細かくなった」とする割合が多い。次いで「2,001~5,000円」の割合が多く、「分別の内容が細かくなった」とする事業者も多い状態となる。

選択肢	分別の内容 がかなり細か くなった	分別の内容 が多少細か くなった	あまり変わ らない	分別の内容 が多少大雑 把になった	分別の内容 がかなり大雑 把になった	わからない	無回答	全体
2,000円以下	13	63	416	3	0	40	18	553
2,001円~5,000円	3	32	140	2	0	9	4	190
5,001円~10,000円	0	13	83	2	0	3	2	103
10,001円~50,000円	8	16	123	1	0	7	4	159
50,001円~100,000円	1	7	42	0	1	6	2	59
100,001円以上	0	17	44	0	0	0	1	62
無回答	7	11	73	0	0	8	12	111
全体	32	159	921	8	1	73	43	1,237

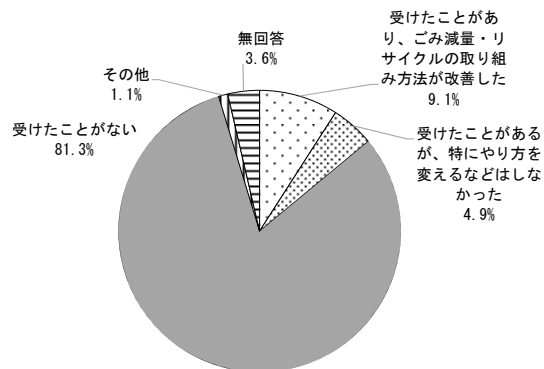


2.2) 排出指導の経験 5 (1)

①単純集計 (単一回答)

「受けたことが無い」が81.3%と最も多い。

選択肢	件数	割合 (%)
受けたことがあり、ごみ減量・リサイクルの取り組み方法が改善した	112	9.1%
受けたことがあるが、特にやり方を変えるなどはしなかった	61	4.9%
受けたことがない	1,006	81.3%
その他	13	1.1%
無回答	45	3.6%
全体	1,237	100.0%

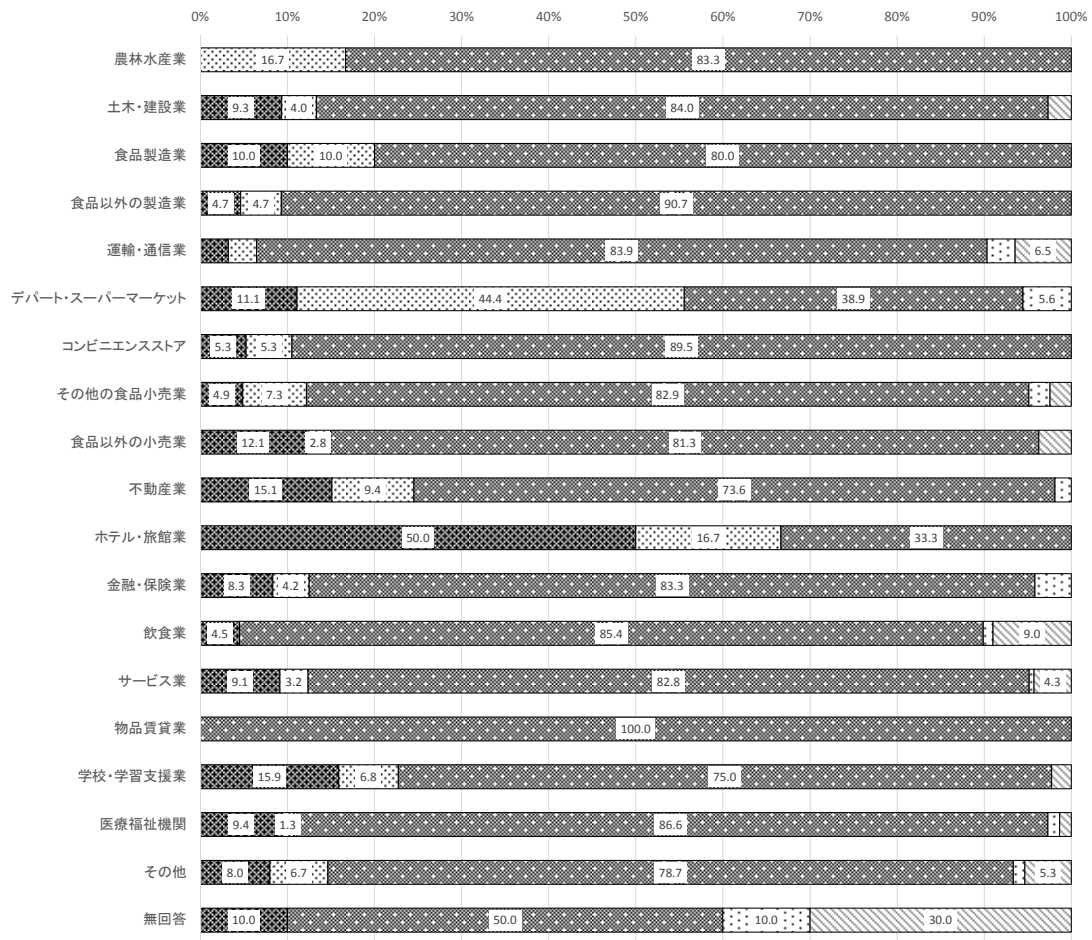


②クロス集計

●業種

業種別に見ると、「受けたことがあり、ごみ減量・リサイクルの取り組み方法が改善した」となる「ホテル・旅館業」が多く、「受けたことがあるが、特にやり方を変えるなどはしなかった」となる「デパート・スーパーマーケット」が多い状態となる。

選択肢	受けたことがあり、 ごみ減量・リサイクル の取り組み方法 が改善した	受けたことがある が、特にやり方を 変えるなどしな かった	受けたことがない	その他	無回答	全体
農林水産業	0	1	5	0	0	6
土木・建設業	14	6	126	0	4	150
食品製造業	3	3	24	0	0	30
食品以外の製造業	2	2	39	0	0	43
運輸・通信業	1	1	26	1	2	31
デパート・スーパーマーケット	2	8	7	1	0	18
コンビニエンスストア	1	1	17	0	0	19
その他の食品小売業	2	3	34	1	1	41
食品以外の小売業	13	3	87	0	4	107
不動産業	8	5	39	1	0	53
ホテル・旅館業	3	1	2	0	0	6
金融・保険業	2	1	20	1	0	24
飲食業	4	0	76	1	8	89
サービス業	17	6	154	1	8	186
物品賃貸業	0	0	6	0	0	6
学校・学習支援業	7	3	33	0	1	44
医療福祉機関	14	2	129	2	2	149
その他	18	15	177	3	12	225
無回答	1	0	5	1	3	10
全体	112	61	1,006	13	45	1,237

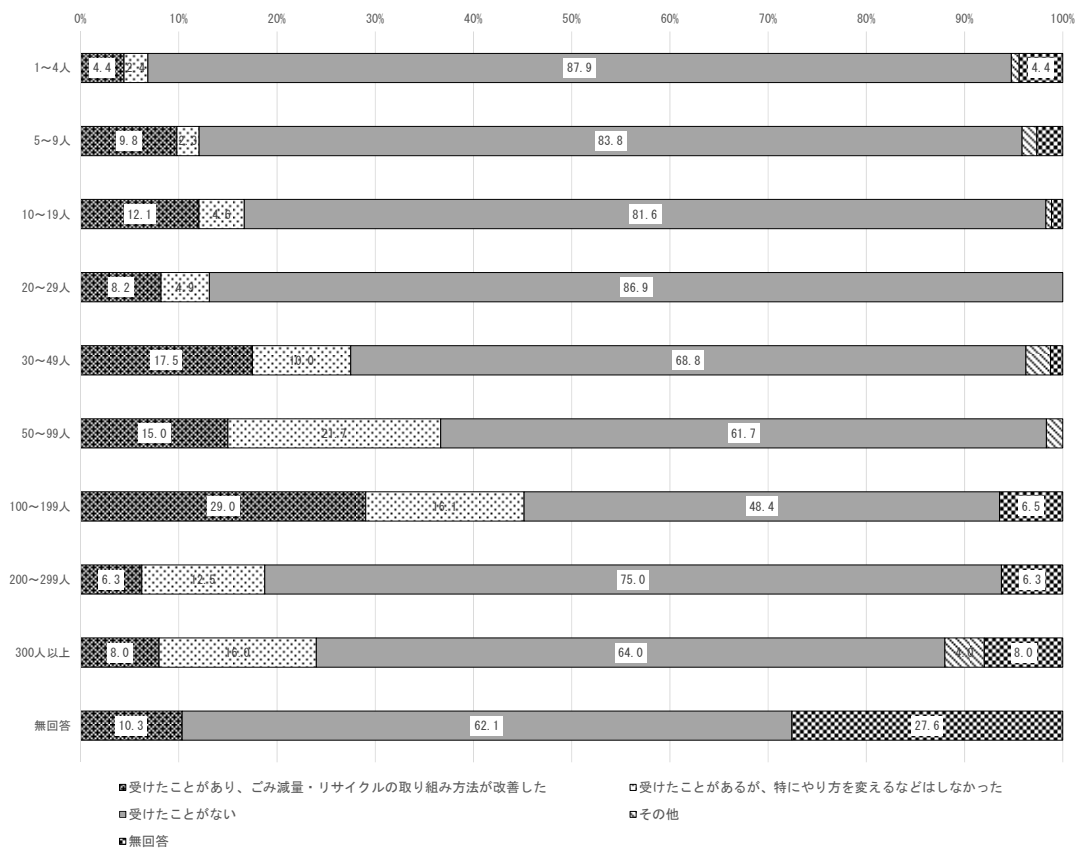


- 受けたことがあり、ごみ減量・リサイクルの取り組み方法が改善した
- 受けたことがあるが、特にやり方を変えるなどしなかった
- 受けたことがない
- その他
- 無回答

●従業員数

従業員数別に見ると、「受けたことがあり、ごみ減量・リサイクルの取り組み方法が改善した」について「100～199人」が最も多く、「受けたことがあるが、特にやり方を変えるなどはしなかった」について「50～99人」が最も多く、「受けたことがない」とする事業者については「1～4人」が最も多くなっている。

選択肢	受けたことがあり、ごみ減量・リサイクルの取り組み方法が改善した	受けたことがあるが、特にやり方を変えるなどはしなかった	受けたことがない	その他	無回答	全体
1～4人	22	12	436	4	22	496
5～9人	26	6	222	4	7	265
10～19人	21	8	142	1	2	174
20～29人	5	3	53	0	0	61
30～49人	14	8	55	2	1	80
50～99人	9	13	37	1	0	60
100～199人	9	5	15	0	2	31
200～299人	1	2	12	0	1	16
300人以上	2	4	16	1	2	25
無回答	3	0	18	0	8	29
全体	112	61	1,006	13	45	1,237

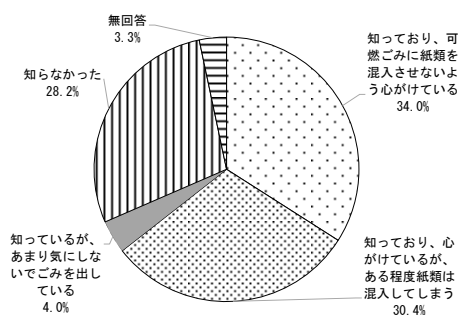


2 3) リサイクル可能な紙類の混入防止の指導 5 (2)

①単純集計 (単一回答)

「知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている」が 34.0%と多く、次いで「知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう」30.4%、「知らなかった」28.2%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている	421	34.0%
知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	376	30.4%
知っているが、あまり気にしないでごみを出している	50	4.0%
知らなかった	349	28.2%
無回答	41	3.3%
全体	1,237	100.0%

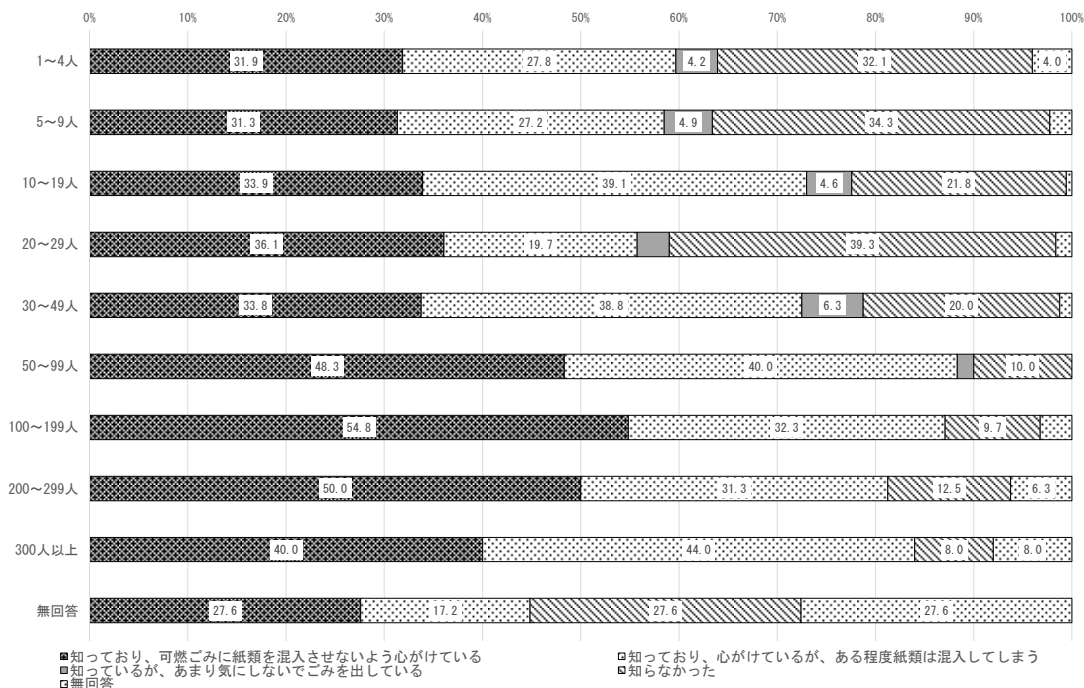


②クロス集計

●従業員数

従業員数別に見ると、「知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている」について「100～199人」が最も多く半数以上を占めている。「知っているが、あまり気にしないでごみを出している」について「1～4人」から「50～99人」の事業者で若干の傾向が見られるが、「100～199人」以上の事業者については傾向が見られなかった。

選択肢	知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている	知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	知っているが、あまり気にしないでごみを出している	知らなかった	無回答	全体
1～4人	158	138	21	159	20	496
5～9人	83	72	13	91	6	265
10～19人	59	68	8	38	1	174
20～29人	22	12	2	24	1	61
30～49人	27	31	5	16	1	80
50～99人	29	24	1	6	0	60
100～199人	17	10	0	3	1	31
200～299人	8	5	0	2	1	16
300人以上	10	11	0	2	2	25
無回答	8	5	0	8	8	29
全体	421	376	50	349	41	1,237

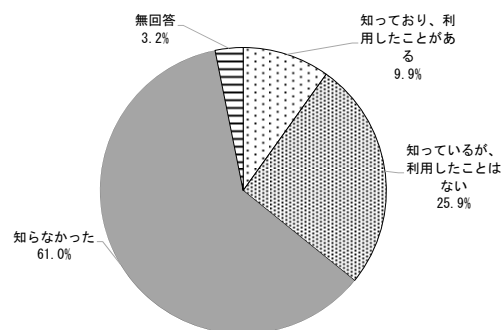


24) 事業系紙類回収庫の認知度 5 (3)

①単純集計 (単一回答)

「知らなかった」が 61.0%を占め、次いで「知っているが、利用したことはない」25.9%、「知っており、利用したことがある」9.9%となる。前回調査 (平成 21 年度) は「知らなかった」66.2%、次いで「知っているが、利用したことはない」19.5%となり、認知度について若干の伸びを見せている。

選択肢	件数	割合 (%)
知っており、利用したことがある	122	9.9%
知っているが、利用したことはない	321	25.9%
知らなかった	755	61.0%
無回答	39	3.2%
全体	1,237	100.0%

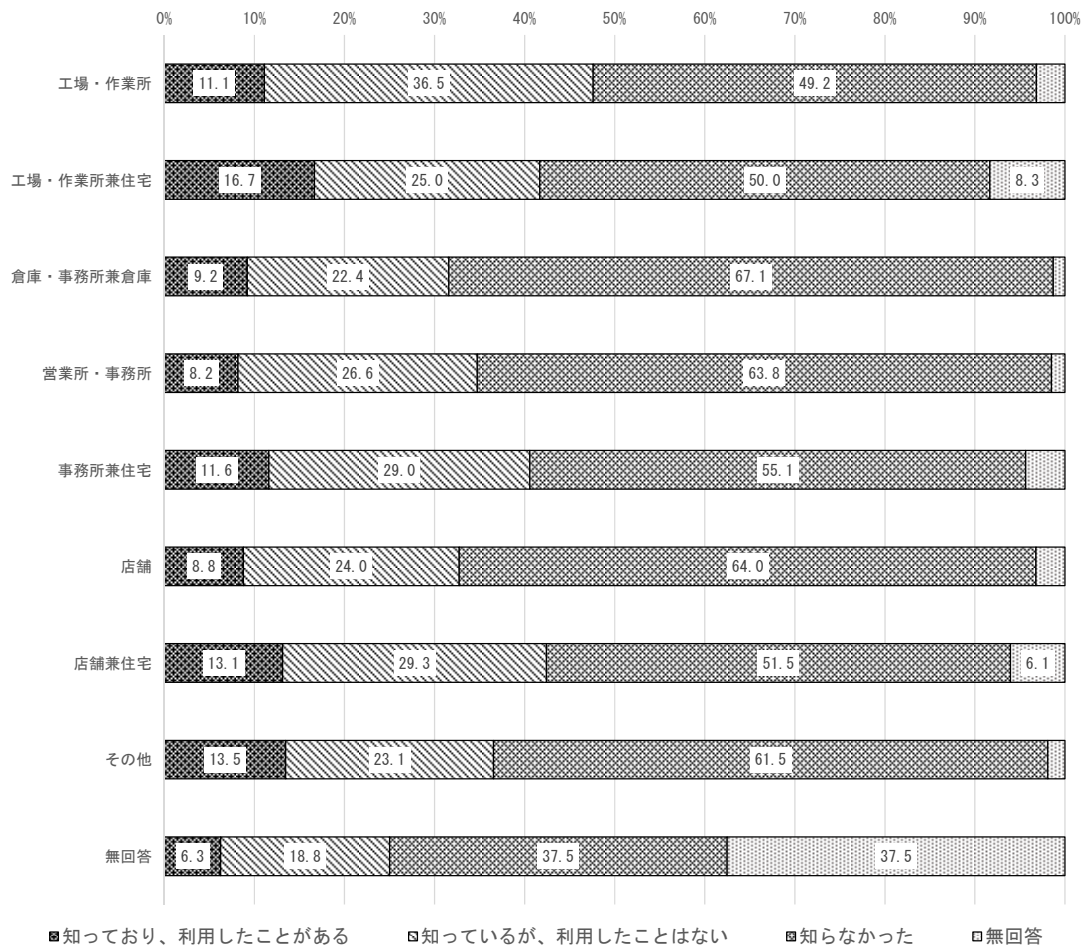


②クロス集計

●事業所の形態

事業所の形態別に見ると、「知っており、利用したことがある」について全体に平均的な割合となるが、「工場・作業所兼住宅」について平均を上回る。「知っているが、利用したことがない」については「工場・作業所」が平均を上回っている。

選択肢	知ってお り、利用し たことが ある	知ってい るが、利 用したこ とはない	知らな かった	無回答	全体
工場・作業所	7	23	31	2	63
工場・作業所兼住宅	2	3	6	1	12
倉庫・事務所兼倉庫	7	17	51	1	76
営業所・事務所	33	107	257	6	403
事務所兼住宅	8	20	38	3	69
店舗	30	82	219	11	342
店舗兼住宅	13	29	51	6	99
その他	21	36	96	3	156
無回答	1	3	6	6	16
全体	122	320	755	39	1,236

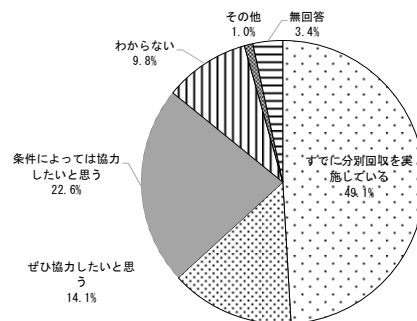


25) 紙類の分別回収方法が身近にある場合の協力度 5 (4)

①単純集計 (単一回答)

「すでに分別回収を実施している」が 49.1%を占め、次いで条件によっては協力したいと思う」22.6%、「ぜひ協力したいと思う」14.1%となる。

選択肢	件数	割合 (%)
すでに分別回収を実施している	607	49.1%
ぜひ協力したいと思う	175	14.1%
条件によっては協力したいと思う	280	22.6%
わからない	121	9.8%
その他	12	1.0%
無回答	42	3.4%
全体	1,237	100.0%



②クロス集計

●業種

業種別に見ると、「すでに分別回収を実施している」の「デパート・スーパーマーケット」が最も多く、「飲食業」が平均を下回っている。「ホテル・旅館業」及び「農林水

産業」についてはいずれかの協力をしており「わからない」あるいは「その他」とする回答はなかった。

選択肢	すでに分別回収を実施している	ぜひ協力したいと思う	条件によっては協力したいと思う	わからない	その他	無回答	全体
農林水産業	3	0	2	0	0	1	6
土木・建設業	75	21	40	10	0	4	150
食品製造業	19	3	2	4	1	1	30
食品以外の製造業	27	5	7	3	0	1	43
運輸・通信業	16	4	6	2	1	2	31
デパート・スーパーマーケット	16	0	0	1	1	0	18
コンビニエンスストア	7	3	7	2	0	0	19
その他の食品小売業	21	3	12	5	0	0	41
食品以外の小売業	48	14	31	9	2	3	107
不動産業	31	5	10	6	1	0	53
ホテル・旅館業	3	0	3	0	0	0	6
金融・保険業	9	7	5	3	0	0	24
飲食業	28	22	20	16	0	3	89
サービス業	90	32	40	15	2	7	186
物品賃貸業	2	0	3	1	0	0	6
学校・学習支援業	28	3	7	6	0	0	44
医療福祉機関	71	23	36	15	2	2	149
その他	112	28	47	22	2	14	225
無回答	1	2	2	1	0	4	10
全体	607	175	280	121	12	42	1,237

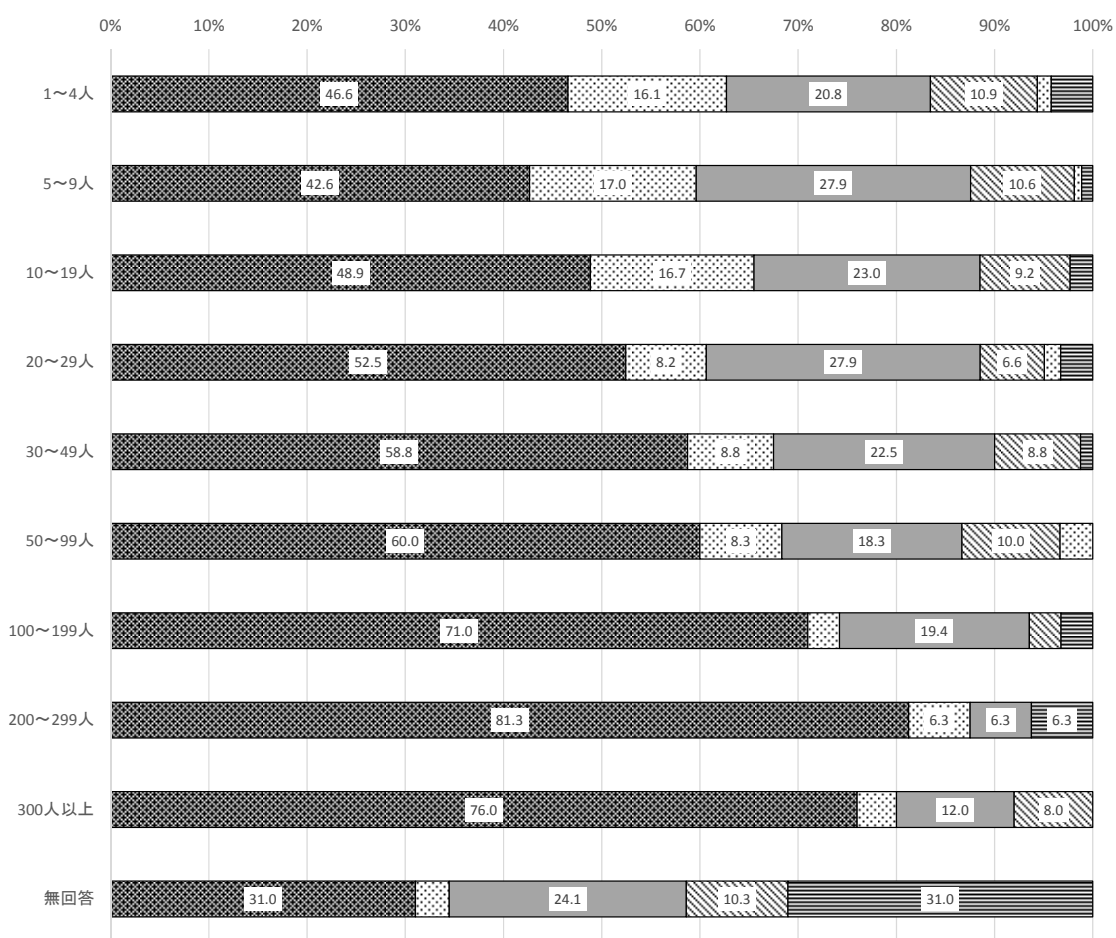


●従業員数

従業員数別に見ると、「すでに分別回収を実施している」としている事業者は従業員数の多いほどその傾向が多くなり「200～299人」及び「300人以上」の事業者が8割

程度となっている。その傾向に反して「ぜひ協力したいと思う」、「条件によっては協力したいと思う」について低くなっている。

選択肢	すでに分別回収を実施している	ぜひ協力したいと思う	条件によっては協力したいと思う	わからない	その他	無回答	全体
1～4人	231	80	103	54	7	21	496
5～9人	113	45	74	28	2	3	265
10～19人	85	29	40	16	0	4	174
20～29人	32	5	17	4	1	2	61
30～49人	47	7	18	7	0	1	80
50～99人	36	5	11	6	2	0	60
100～199人	22	1	6	1	0	1	31
200～299人	13	1	1	0	0	1	16
300人以上	19	1	3	2	0	0	25
無回答	9	1	7	3	0	9	29
全体	607	175	280	121	12	42	1,237



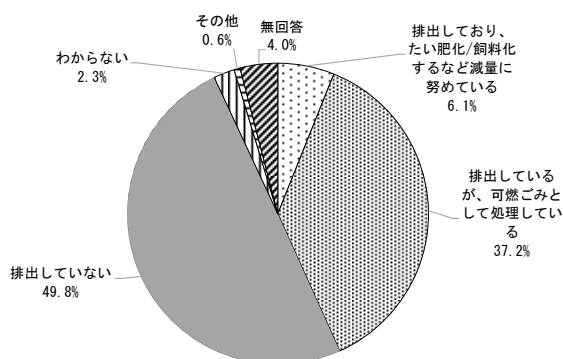
■すでに分別回収を実施している □ぜひ協力したいと思う ■条件によっては協力したいと思う □わからない □その他 ■無回答

2.6) 食品廃棄物の排出の有無 5 (5)

「排出していない」が49.8%を占め、次いで「排出しているが、可燃ごみとして処理している」37.2%、「排出しており、肥化／飼料化するなど減量に努めている」6.1%となる。

①単純集計（単一回答）

選択肢	件数	割合 (%)
排出しており、たい肥化/飼料化するなど減量に努めている	75	6.1%
排出しているが、可燃ごみとして処理している	460	37.2%
排出していない	616	49.8%
わからない	28	2.3%
その他	8	0.6%
無回答	50	4.0%
全体	1,237	100.0%

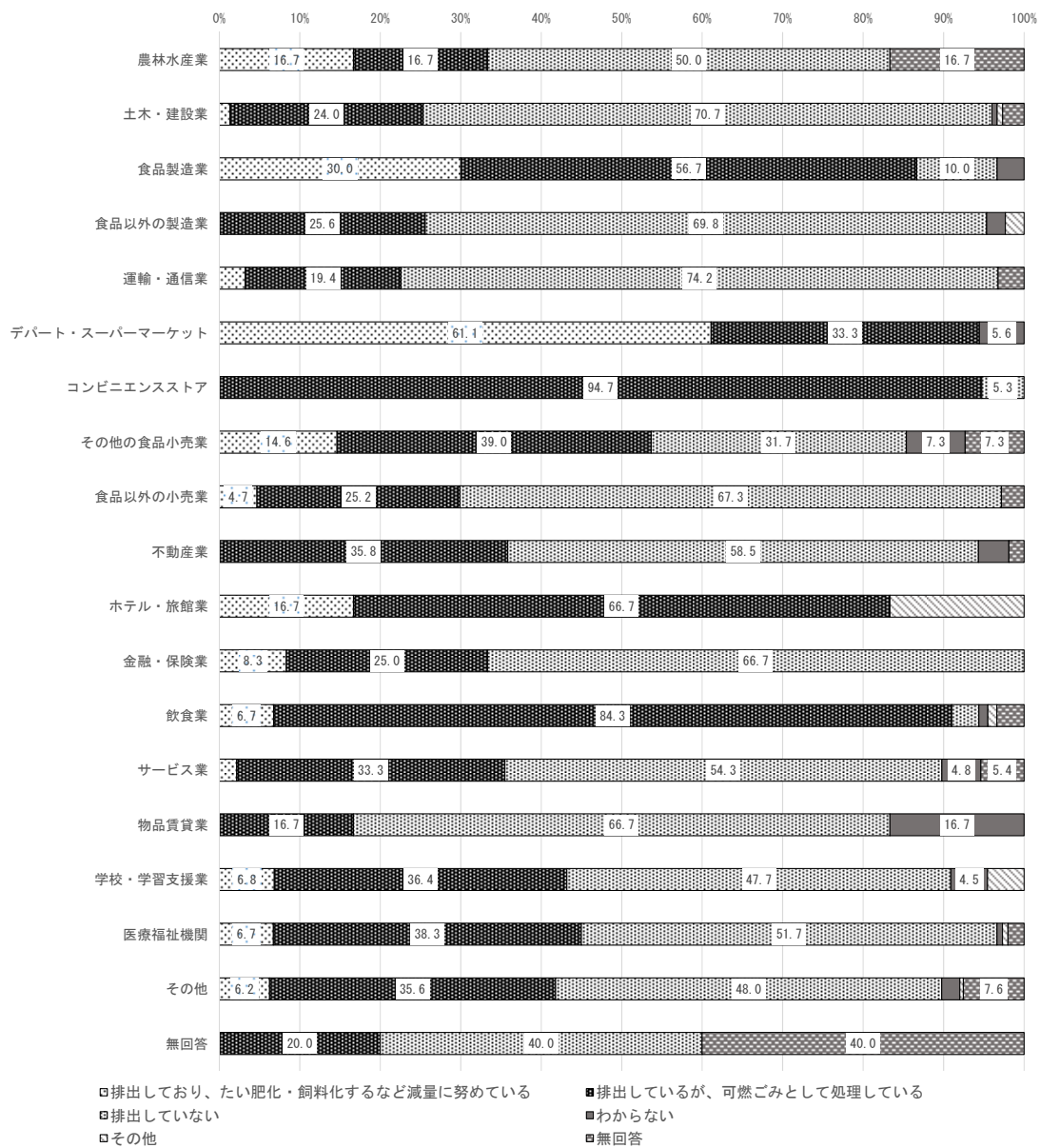


②クロス集計

●業種

業種別に見ると、「排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている」では「デパート・スーパーマーケット」が最も多く、「排出しているが、可燃ごみとして処理している」については「コンビニエンスストア」がほぼ 100%となっている。

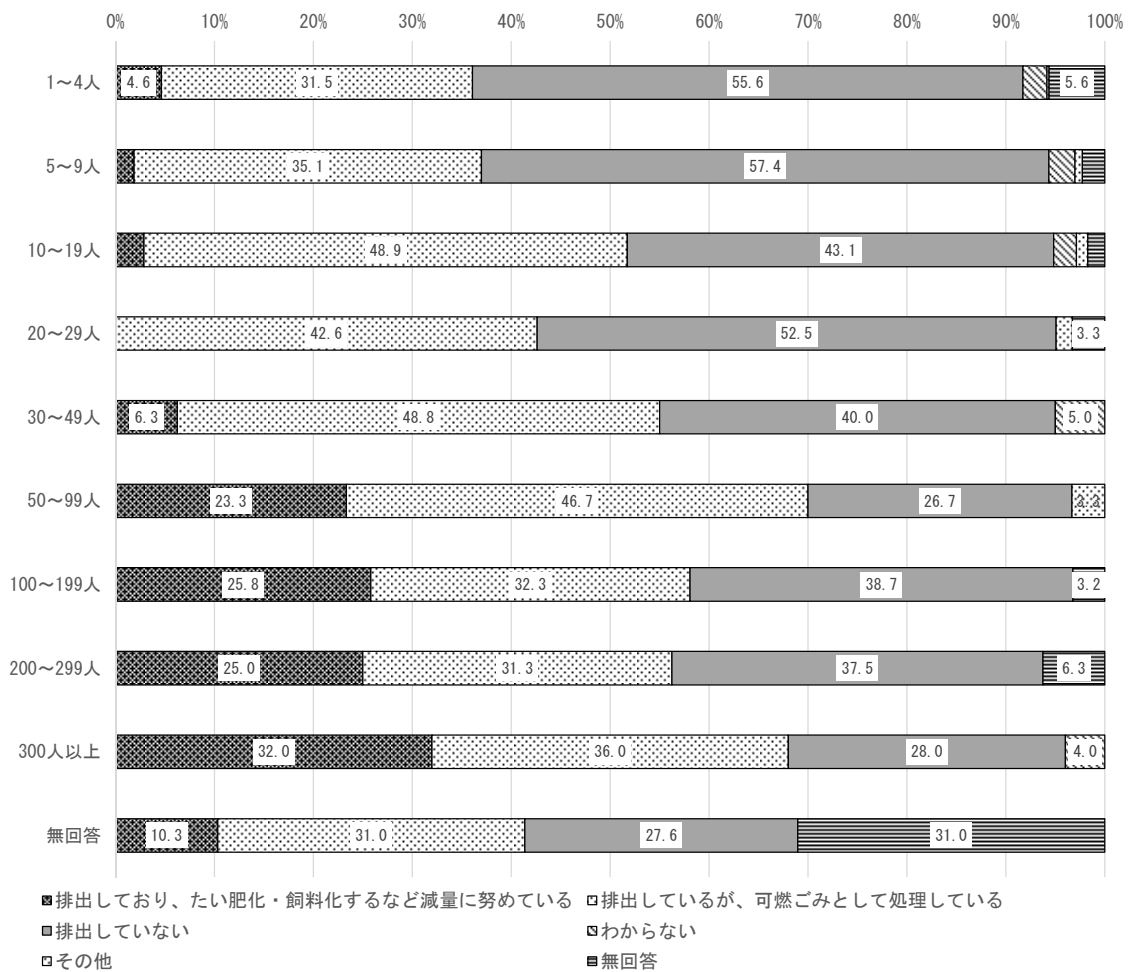
選択肢	排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている	排出しているが、可燃ごみとして処理している	排出していない	わからない	その他	無回答	全体
農林水産業	1	1	3	0	0	0	6
土木・建設業	2	36	106	1	1	1	150
食品製造業	9	17	3	1	0	0	30
食品以外の製造業	0	11	30	1	1	0	43
運輸・通信業	1	6	23	0	0	0	31
デパート・スーパーマーケット	11	6	0	1	0	0	18
コンビニエンスストア	0	18	1	0	0	0	19
その他の食品小売業	6	16	13	3	0	0	41
食品以外の小売業	5	27	72	0	0	0	107
不動産業	0	19	31	2	0	0	53
ホテル・旅館業	1	4	0	0	0	1	6
金融・保険業	2	6	16	0	0	0	24
飲食業	6	75	3	1	1	1	89
サービス業	4	62	101	9	0	0	186
物品賃貸業	0	1	4	1	0	0	6
学校・学習支援業	3	16	21	2	2	0	44
医療福祉機関	10	57	77	1	1	1	149
その他	14	80	108	5	1	17	225
無回答	0	2	4	0	0	4	10
全体	75	460	616	28	8	50	1,237



●従業員数

従業員数別に見ると、「排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている」は「20～29人」の事業者には見られず、従業員数が多くなるほどにその率は多くなっている傾向にある。「排出しているが、可燃ごみとして処理している」については「10～19人」から「50～99人」の事業者について半数程度を占めており、「排出していない」としている事業者は、「1～4人」及び「5～9人」、「20～29人」が半数以上を占めている。

選択肢	排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている	排出しているが、可燃ごみとして処理している	排出していない	わからない	その他	無回答	全体
1～4人	23	156	276	12	1	28	496
5～9人	5	93	152	7	2	6	265
10～19人	5	85	75	4	2	3	174
20～29人	0	26	32	0	1	2	61
30～49人	5	39	32	4	0	0	80
50～99人	14	28	16	0	2	0	60
100～199人	8	10	12	0	0	1	31
200～299人	4	5	6	0	0	1	16
300人以上	8	9	7	1	0	0	25
無回答	3	9	8	0	0	9	29
全体	75	460	616	28	8	50	1,237



27) 自由記入のまとめ 5 (6)

①分別収集、リサイクル等について

- 営業ゴミの袋の費用が高いと思った。でも営業ゴミは全て焼却になると思うので、処理の方法を考えると妥当なのかなとも思う。営業ゴミはどこからどこまでを捨てて良くて、どこから分別すべきなのか、細かい所がわからない。もっと細かく分かる表のようなものがあるとこちらも分別しやすいです。
- 営業ごみも家庭ごみと同じ分別をする時代ですので回収も同じになるといいですね。
- 分別したものの保管場所は、事業所も家庭も困っている事のひとつです。集積所を利用できるような形の設置が望ましいと思います。
- 仙台市のみならず、全国でゴミの分別を統一した方が、再び大規模な災害が起きた場合でも処理をしやすくできるのではないかと？（災害で忙しい時に他県の人達やボランティアの方達にゴミの分別を毎回説明する時間をもったいなく感じました。）もちろん、全国では難しいと思うので、せめて東北は東北、関東は関東等々、地方ごとに分別を統一して欲しいです。（袋も）
- 事業ごみの分別処理に家庭ごみ分別のようなプラごみの分別回収（弁当の空箱等）が何故ないのか、紙ごみより量が多いので是非回収袋をつくって頂きたい。
- 事業ゴミを減らせるように常に心がけてはいますが、どうしても紙類などの資源が減るという変化が見られません。当社ではリサイクル紙を利用するなどのごみの減量を意識していますが、行動と結果がついていきません。今後ともごみの減量に協力していきたいと思っております。

②広報、PR、教育、意識等について

- 事業ゴミと家庭ごみとの分別方法は違いますが、仙台市ではワケル君というキャラクターを使用して、分かりやすく説明しており、家庭ごみの分別方法は広く浸透しています。当社ではリサイクル可能品を分別するときに、紙類、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、灰ライター、乾電池等と分け、家庭ごみに社内も準じて社員が分かり易いように分別をしています。
- 公害処理センターに出す物と産業廃棄物に出す物との分け方がよく分かりません。業者ごとに資料があるといいと常に思っておりました。
- 他の自治体より転入してきた人が大変増えました。家庭等ではワケル君など親しみやすい形で分別の呼びかけを積極的に行っていると思いますが、事業所の方は比較すると非常に遅れている（難しい）と感じます。各個人の心がけが第一ですが、もっと費用負担が上がっても仕方がないことだと思っています。

③集積所、ごみ出し・分別等のルール、マナー、ごみの収集等について

- 市としてのごみ分別に関しての啓蒙、情報宣伝活動の徹底と各企業への更なる明確

なる指導を期待します。

- 家庭ごみから比べるとゴミの分別は大きく分かれているので、できるだけ資源として出せるものは資源にしているが、環境問題を目指すのに政令都市として優良な市となるべくリードした社会にして頂きたい。
- 可燃ゴミの中にリサイクル可能な物が混入されている袋が、道路上回収場所で見られる。指導、啓発をもっと行い可燃ゴミの総量を減少させるべきと思う。
- 家庭用のゴミ分別はよくわかるが、事業用ゴミについて具体的にリサイクルできるものなどの分別を教えてください。医療用は感染の可能性もありすべて廃棄、薬品袋なども万が一のことを考えて廃棄と思っていましたが、よい分別があれば公示して下さい。
- 大きな課題は、事業ごみ削減だと思います。企業は担当者以外、分別の知識や意識をもつ方が少なく思います。ある程度強制的にでも行政側からの排出分別について規定していただけると、担当者としても皆に働きかけやすいです。よろしく願います。
- 現実的にはゴミ処理費用の高騰がきっかけで排出抑制につながるような気がする。特にテナント入居会社だと管理会社に委託することが多く、実態が見えない。感じられないケースがほとんどだと思う。

④メーカー、販売店、製造者責任、簡易包装、ライフスタイルについて

- 市のごみ処理施策をもう一度配布してもらえば助かります。大局的には製造者が最後のゴミまでを視野においた製品をつくることです。また、紙ゴミなどは特にデパートの商品に見られる過剰な包装を簡略にすること、本屋のカバー包装を禁止すること、ダンボールを可能な限り少なくする配送方法を考えるなど、製造者責任を徹底化させることが望ましい。
- 事業所ごとに回収箱を無料設置、定期的に回収に来るようにするなど、企業側にも負担なく取り組めるようにすれば、これまで以上に細かく分別するかと思う。
- 資源物やリサイクル可能紙だと知っていても、回収場所まで運ぶ手間がかかりなかなか分別しない原因ともなっているため、その悪循環をまずなくすことを第一に考えていただきたい。
- 製造業者の方でも発泡スチロールなどあまり使わない方法を考えてほしい。

ごみ処理計画のあらままと、現在の状況

◆**山形市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）とは？**
本市の一般廃棄物処理施策の基本的な方向性などを定めた計画で、現在の計画は平成22年度末に満了したものです。計画期間は平成23年度から平成32年度の10年間となっており、平成27年度に中間評価を行う予定です。

◆**基本計画の目標**
現在の計画では、「資源循環型都市づくり」「低炭素都市づくり」「市民・事業者・市の連携や一体的な推進」を施策の基本的な方向性として定めるとともに、以下の目標を設定しました。

- (1) ごみ燃焼（資源と生活ごみ・事業ごみの量の合計）
平成32年度に平成21年度比で10%以上削減し、330,000トン以下とする。
- (2) リサイクル率（リサイクルする資源の割合）
平成32年度に40%以上とする。
- (3) 燃やすごみの量（リサイクルされないごみの量）
平成32年度に平成21年度比で16%以上削減し、267,000トン以下とする。
- (4) 濃密効率ガス排出量
ごみ処理に係る濃密効率ガス排出量を中長期的に削減する。

◆**いま、山形市のごみはどんな状況？**
山形市のごみのうち、約3分の1は事業ごみです。計画の目標を達成するために、事業ごみの削減・リサイクルを促すことが重要で、東日本大震災以後に増加した事業ごみの一層の削減に向け、山形市では、事業ごみの内容物検査や、「事業ごみの分別・出し方」ハンズレット送付など、様々な取り組みを進めています。
本アンケートは、事業者の関係の減量・分別行動の現状把握を進めることにより、今後の本市のごみ減量・リサイクル施策をより効果的・効果的に進めていくことに役立てられます。

【本市の事業ごみ量】
(平成21年度～25年度)

年度	事業ごみ (万トン)	うち可燃ごみ (万トン)
21年度	13.5	11.2
22年度	13.1	10.1
23年度	14.7	11.3
24年度	14.5	11.1
25年度	14.5	11.1

ごみに関する事業者意識調査へのご協力をお願い

～ 事業者の皆様へ山形市役所からのアンケート調査です ～

本票は、本市の清掃行政にご理解・ご協力いただけるようお願いしています。
さて本市では、資源ごみ、燃やしたごみの減量・資源化・燃やしたごみの処理に関する計画である、「山形市一般廃棄物処理基本計画」の中間評価を実施いたします。

これに伴い、事業者の皆様のごみ処理行動や、ごみに対するお考えを把握し、さらなるごみ減量・リサイクル推進を図ってまいります。

ご協力のことばはありますが、皆様のご協力をよりよくお願いいたします。
なお、本票は、山形市が株式会社エックス都市研究所に委託して発送しております。そのため、簡便な返却方法の案内も同封紙となっておりますので、あらかじめお読みください。

平成26年10月
山形市環境局長 入友 謙

■**アンケートについて**

1. 本アンケートは、市次の事業所の中から、無作為で選んだ3,500事業所にお送りしています。
2. 本アンケートへお答えいただいた情報は、上記の目的以外に活用することはありません。

■**アンケート票への記入・返信・返送の方法**

1. 宛先のアンケート票へお名前と、所属の名称を記入し、所属の名称で返送する。（返事は不要です）
2. インターネットでも返送する。<http://www.x-city.jp/return/>
3. アンケート票をメールでも返送できます。<QRコードから専用サイトへ>

1. 上記アンケートネットのページのペーパーPDFでお答えいただけるフォーマットを印刷してお送りしますので、お手持の増刷の共有に御活用ください。<mailto:shinshu@x-city.jp>

■**返信・返送の時期**

平成26年10月24日（金）までに上記のいずれかの返信・返送方法でお送りください。

■**アンケート票への記入上の注意**

1. **ごみの分別や排出量担当・管理されている方**が、代表してお答えください。
2. 一般廃棄物処理計画の達成に改善を依頼しているごみ、又は、事業者自身が知覚もしくは一般廃棄物処理計画（本市計画）（検査等）に悪影響を与えているごみについて、ご記入ください。悪影響物は対象としません。
3. お返は、H18以上の廃棄物の排出量や燃料・エネルギー消費量などで、お答えする項目の「O」を高く塗りつぶしてください。原則によって、お返は記入する欄もありません。なお、自治体間の比較のため、1文字1マスとなるようお答えください。
4. 塗りつぶすの箇所にお答えください。
5. お返は、本票裏面が返されてきた事業所についてのみ、お答えください。本店・支店などを含めたすべてのごみを対象としてはお返しません。

【お問い合わせ先】

◆**返信の目的、個人情報の取り扱いなどについて**
山形市環境局ごみ資源課 担当：中友 和洋
株式会社エックス都市研究所 担当：田中 誠彰
電話 022-214-8230 022-395-9174

～ 事業者アンケート調査 記入用紙 ～

“○”の並びつぎしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 01

1. 貴事業所の概況について

(1) 以下の各項目について、該当するもの1つだけ塗りつぶして“●”ください。

◆ 貴事業所の業種

農林水産業	土木・建設業	食品製造業	食品以外の製造業	運輸・通信業
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
デパート・スーパーマーケット	コンビニエンスストア	その他の食品小売業	食品以外の小売業	不動産業
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ホテル・旅館業	金融・保険業	飲食業	サービス業	物品賃貸業
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校・学習支援業	医療・福祉機関	その他		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

(その他に“●”をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。)(文字1マス)

◆ 貴事業所の形態

工場・作業所	工場・作業所兼住宅	倉庫・事務所兼倉庫	営業所・事務所	事務所兼住宅
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
店舗	店舗兼住宅	その他		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

(その他に“●”をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。)(文字1マス)

◆ 貴事業所のある建物の所有状況

自社所有・自己所有	賃貸	その他
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(その他に“●”をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。)(文字1マス)

“○”の並びつぎしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 02

◆ 従業員数

1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
50～99人	100～199人	200～299人	300人以上	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

※パート・役員を含む人数について、平成26年10月1日現在の状況でお答えください。

◆ 貴事業所の 延べ床面積

～49㎡	50～99㎡	100～499㎡
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
500～999㎡	1,000～2,999㎡	3000㎡以上～
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

“O”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 12

- (4) 事業所からでる新聞紙や段ボールなどの紙類について、分別回収の仕組みや回収拠点など、参加・協力できる取り組みが身近にあれば、協力しますか。
該当するもの1つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/>	すでに分別回収を実施している								
<input type="radio"/>	ぜひ協力したいと思う								
<input type="radio"/>	条件によっては協力したいと思う								
<input type="radio"/>	わからない								
<input type="radio"/>	その他								
《その他に“●”をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。《文字1マス》									

- (5) 事業所から、食品廃棄物（調理くずや残飯など）を排出しますが、該当するもの1つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/>	排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている								
<input type="radio"/>	排出しているが、可燃ごみとして処理している								
<input type="radio"/>	排出していない								
<input type="radio"/>	わからない								
<input type="radio"/>	その他								
《その他に“●”をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。《文字1マス》									

“O”の並びつばしや、文字の記入はHB以上の濃さの鉛筆、黒ボールペンを使用ください。

※集計時の整理番号として利用します。

頁 11

5. その他

- (1) 本市では、事業者への排出指導を定期的に行っていますが、受けたことがありますか。
該当するもの1つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/>	受けたことがあります、ごみ減量・リサイクルの取り組み方法を改善した								
<input type="radio"/>	受けたことがあるが、特にやり方を覚えるなどはなかった								
<input type="radio"/>	受けたことが無い								
<input type="radio"/>	その他								
《その他に“●”をつけた場合は、下記に詳細をご記入ください。《文字1マス》									

- (2) 本市では、リサイクル可能な紙類は、廃却工場へ搬入できないことになっていますが、知っていますか。(平成17年4月から)
該当するもの1つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/>	知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている								
<input type="radio"/>	知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう								
<input type="radio"/>	知っているが、あまり気にしないでごみを出している								
<input type="radio"/>	知らなかった								

※ 搬入受付で混入が認められた場合は、分別して③の事業系紙類回収庫に搬入するよう指導しています。

- (3) 本市では、環境事業所(※)の敷地内(4ヶ所)に、無料でリサイクル可能な紙類を持ち込める事業系紙類回収庫を設置していますが、知っていますか。
該当するもの1つだけ塗りつぶして“●”ください。

<input type="radio"/>	知っており、利用したことがある								
<input type="radio"/>	知っているが、利用したことはない								
<input type="radio"/>	知らなかった								

※ 事業系紙類回収庫は本市区以外の4つの環境事業所にあります。

一般廃棄物排出実態等調査 報告書（資料編）

2015年3月

発 行 仙台市 環境局

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目7-17

小田急仙台ビル10階

電話 022(214)8230／FAX 022(214)8840

調査受託 株式会社 エックス都市研究所 東北事務所

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目7番30号

角川ビル5階

電話 022(395)9174／FAX 022(395)9184
